

(様式第 10)

順大発第 403 号
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 学校法人順天堂
理事長 小川秀興 (印)

順天堂大学医学部附属順天堂医院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒113-8421 東京都文京区本郷 2-1-1
氏 名	学校法人 順天堂 理事長 小川 秀興

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

順天堂大学医学部附属順天堂医院

3 所在の場所

〒113-8431 東京都文京区本郷3-1-3	電話(03)3813-3111
----------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 総合診療科 2 腎・高血圧内科 3 膠原病・リウマチ内科 4 血液内科 5 糖尿病・内分泌内科 6 7 8 9 10 11 12	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無					
外科と組み合わせた診療科名						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
診療実績						

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

(1)精神科	(2)小児科	(3)整形外科	(4)脳神経外科	(5)皮膚科	(6)泌尿器科	7産婦人科
(8)産科	(9)婦人科	(10)眼科	(11)耳鼻咽喉科	(12)放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		(15)麻酔科	(16)救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無					
歯科と組み合わせた診療科名						
1 歯科口腔外科	2	3	4	5	6	7
歯科の診療体制						

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 循環器科	2 消化器科	3 呼吸器科	4 神経科	5 心臓血管外科	6 形成外科	7 眼科
8 リハビリテーション科	9 腫瘍内科	10 緩和ケア内科	11 病理診断科	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
15床	床	床	床	1,005床	1,020床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年8月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	616人	187.4人	803.4人	看護補助者	103.9人	診療エックス線技師	人
歯科医師	3人	3.6人	6.6人	理学療法士	28.1人	臨床検査技師	99.7人
薬剤師	95人	人	95人	作業療法士	6人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	12.4人	その他	人
助産師	人	人	人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	1,150人	9.3人	1159.3人	臨床工学士	30人	医療社会事業従事者	4.4人
准看護師	人	人	人	栄養士	人	その他の技術員	28.9人
歯科衛生士	3人	0.4人	3.4人	歯科技工士	人	事務職員	171.1人
管理栄養士	10人	1.8人	11.8人	診療放射線技師	56.7人	その他の職員	4人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年8月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	35.4人	眼科専門医	23.7人
外科専門医	74.7人	耳鼻咽喉科専門医	9.5人
精神科専門医	12.6人	放射線科専門医	10.7人
小児科専門医	30.7人	脳神経外科専門医	16.1人
皮膚科専門医	13.9人	整形外科専門医	22.7人
泌尿器科専門医	12.4人	麻酔科専門医	36.8人
産婦人科専門医	18.2人	救急科専門医	3人
		合 計	320.4人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	872人	0人	872人
1日当たり平均外来患者数	3,859人	41人	3,900人
1日当たり平均調剤数			6,034剤
必要医師数			310.9人
必要歯科医師数			1人
必要薬剤師数			77人
必要(准)看護師数			603人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法

施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	697.31m ²	鉄骨 RC造	病床数	30床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 51.34 m ² 台数 2 台	病床数		2 床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床積 75.1 m ² 共用する室名				
化学検査室	238.58m ²	SRC	(主な設備) 4号館6階			
細菌検査室	108.0m ²	SRC	(主な設備) 4号館7階			
病理検査室	116.95m ²	鉄骨/RC/SRC	(主な設備) 1号館5階、B棟5階、4号館8階			
病理解剖室	68.5m ²	鉄骨	(主な設備) 1号館地下3階			
研究室	4,044.17m ²		(主な設備) 8号館、9号館、10号館各階			
講義室	3,377.77m ²		室数 34 室	収容定員 人		
図書室	1,183.39m ²		室数 2 室	蔵書数 154,369冊程度		

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	56.3%	逆紹介率	54.0%
算出 根拠	A: 紹介患者の数	29,801人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	30,156人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,627人	
	D: 初診の患者の数	55,865人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	5人
自家液体窒素処理骨移植	1人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	16人
IL28Bの遺伝子診断によるインターフェロン治療効果の予測評価	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(1週間に1回投与するものに限る)及びカルボプラチン腹腔内投与(3週間に1回投与するものに限る)の併用療法(上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん)	1人
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法[原発性乳がん(エストロゲン受容体が陽性であつて、HER2が陰性のものに限る)]	5人
ベムトレキド [®] 静脈内投与及びシスプラチン [®] 静脈内投与の併用療法[肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る)]	3人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法	0人
慢性心不全に対する和温療法	0人
内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術[腎がん(直径七センチメートル以下であつて、リンパ節転移及び遠隔転移していないものに限る)]	5人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	172人	・膿疱性乾癬	8人
・多発性硬化症	278人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	190人	・原発性胆汁性肝硬変	76人
・全身性エリテマトーデス	1,024人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	43人
・再生不良性貧血	39人	・混合性結合組織病	194人
・サルコイドーシス	180人	・原発性免疫不全症候群	29人
・筋萎縮性側索硬化症	22人	・特発性間質性肺炎	13人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	475人	・網膜色素変性症	150人
・特発性血小板減少性紫斑病	105人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	54人	・肺動脈性肺高血圧症	15人
・潰瘍性大腸炎	449人	・神経線維腫症	21人
・大動脈炎症候群	65人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	24人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	48人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	0人
・脊髄小脳変性症	75人	・ライソゾーム病	8人
・クローン病	95人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	59人	・脊髄性筋委縮症	4人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	1,367人	・球脊髄性筋委縮症	7人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	35人
・後縦靭帯骨化症	45人	・肥大型心筋症	13人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	35人	・ミトコンドリア病	11人
・ウェゲナー肉芽腫症	31人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	154人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	55人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	52人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	17人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	106人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科外来診療環境体制加算	呼吸ケアチーム加算
特定機能病院入院基本料	病棟薬剤業務実施加算
臨床研修病院入院診療加算	データ提出加算
救急医療管理加算	特定集中治療室管理料
超急性期脳卒中加算	新生児特定集中治療室管理料1
妊産婦緊急搬送入院加算	新生児治療回復室入院医療管理料
診療録管理体制加算	小児入院医療管理料1
急性期看護補助体制加算	
看護職員夜間配置加算	
療養環境加算	
重症者等療養環境特別加算	
無菌治療室管理加算	
緩和ケア診療加算	
精神科身体合併症管理加算	
がん診療連携拠点病院加算	
栄養サポートチーム加算	
医療安全対策加算	
感染防止対策加算	
患者サポート体制充実加算	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	
ハイリスク妊婦管理加算	
ハイリスク分娩管理加算	
退院調整加算	
新生児特定集中治療室退院調整加算	
救急搬送患者地域連携紹介加算	
救急搬送患者地域連携受入加算	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	検体検査管理加算(Ⅳ)
高度難聴指導管理料	遺伝カウンセリング加算
糖尿病合併症管理料	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
がん性疼痛緩和指導管理料	植込型心電図検査
がん患者指導管理料	時間内歩行試験
外来緩和ケア管理料	胎児心エコー法
移植後患者指導管理料	ヘッドアップティルト試験
糖尿病透析予防指導管理料	人工臓腑
院内トリアージ実施料	皮下連続式グルコース測定
夜間休日救急搬送医学管理料	長期継続頭蓋内脳波検査
外来放射線照射診療料	神経学的検査
ニコチン依存症管理料	補聴器適合検査
地域連携診療計画管理料	ロービジョン検査判断料
がん治療連携計画策定料	コンタクトレンズ検査料1
がん治療連携管理料	小児食物アレルギー負荷検査
認知症専門診断管理料	内服・点滴誘発試験
肝炎インターフェロン治療計画料	センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
薬剤管理指導料	画像診断管理加算1
医療機器安全管理料1	画像診断管理加算2
医療機器安全管理料2	CT撮影及びMRI撮影
医療機器安全管理料(歯科)	冠動脈CT撮影加算
歯科治療総合医療管理料	大腸CT撮影加算
持続血糖測定器加算	心臓MRI撮影加算
造血器腫瘍遺伝子検査	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	外来化学療法加算1
検体検査管理加算(Ⅰ)	無菌製剤処理料

施設基準の種類	施設基準の種類
心大血管疾患リハビリテーション料(I)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)	植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
運動器リハビリテーション料(I)	両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
呼吸器リハビリテーション料(I)	植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
がん患者リハビリテーション料	両室ベーンク機能付き植込型除細動器移植術及び両室ベーンク機能付き植込型除細動器交換術
歯科口腔リハビリテーション料2	大動脈バルーンポンピング法(IABP法)
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	補助人工心臓
医療保護入院等診療料	腹腔鏡下肝切除術
透析液水質確保加算	生体部分肝移植術
一酸化窒素吸入療法	同種死体肝移植術
CAD/CAM冠	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)	生体腎移植術
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腫瘍脊椎骨全摘術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	胎児胸腔・羊水腔シャント術
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	輸血管管理料Ⅱ
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	自己生体組織接着剤作成術
網膜附着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
網膜再建術	内視鏡手術用支援機器加算
人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	歯周組織再生誘導手術
骨形成形成(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に限る。)、下顎骨形成(骨移植を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に限る。)	麻酔管理料(I)
乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2	麻酔管理料(Ⅱ)
経皮的冠動脈形成術	放射線治療専任加算
経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	外来放射線治療加算
経皮的冠動脈ステント留置術	高エネルギー放射線治療
経皮的中隔心筋焼灼術	1回線量増加加算

施設基準の種類	施設基準の種類
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療加算 (IGRT)	
定位放射線治療	
病理診断管理加算	
クラウン・ブリッジ維持管理料	
歯科矯正診断料	
顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断の手術を必要とするものに限る。)の術前後における歯科矯正に係るもの)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下子宮体がん根治手術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に3～4回程度 1か月に13回～15回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 45例 / 剖 検 9.0%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳内環境における封入体形成のメカニズム:封入体と神経細胞死の関連性について	服部 信孝	院・神経学	20,410,000	補委 文科省
神経軸索におけるタンパク分解機構とその破綻	内山 安男	院・神経機能構造学	20,410,000	補委 文科省
パーキンソン病病態解析に基づくオートファジー調節化合物の開発	斉木 臣二	院・神経学	18,200,000	補委 文科省
新規ヒストン修飾であるヒストンH4K5メチル化の造血分化制御における意義の解明	藤井 智明	下部消化管外科学	1,950,000	補委 文科省
RUNX1とエピジェネティック制御機構破綻の協調作用によるMDS発症機構の解明	原田 浩徳	血液学講座	2,080,000	補委 文科省
Sirtuin阻害による急性前骨髄球性白血病細胞の分化誘導	小松 則夫	院・血液内科学	1,950,000	補委 文科省
膵β細胞オートファジー不全とp62陽性の封入体形成	綿田 裕孝	院・代謝内分泌内科学	5,330,000	補委 文科省
神経細胞内の異常なリソソームとオートファゴソームの関わりについての遺伝学的研究	小池 正人	院・神経機能構造学	5,070,000	補委 文科省
「糖尿病潜伏期」の病態解明と新規介入法の開発	河盛 隆造	院・代謝内分泌内科学	5,330,000	補委 文科省
細胞内代謝機構オートファジー制御に基づいた消化器難病疾患への新規治療戦略	渡辺 純夫	院・消化器内科学	2,600,000	補委 文科省
鉱質コルチコイド/糖質コルチコイド受容体パラドックスの解明と腎臓病治療への応用	長瀬 美樹	院・解剖学・生体構造科学	12,220,000	補委 文科省
遺伝性パーキンソン病における共通分子基盤の解明	服部 信孝	院・神経学	5,200,000	補委 文科省
多能性幹細胞移植・遺伝子治療による複合的内耳治療戦略	池田 勝久	院・耳鼻咽喉科学	6,110,000	補委 文科省
非肥満者における未知のインスリン抵抗性の原因解明と臨床応用	田村 好史	院・代謝内分泌内科学	8,450,000	補委 文科省
糖尿病状態における細胞変容とオートファジー	綿田 裕孝	院・代謝内分泌内科学	8,060,000	補委 文科省
特発性正常圧水頭症(iNPH)の確かな診断法の確立と病態解明	新井 一	院・脳神経外科学	7,670,000	補委 文科省
幹細胞と増殖因子徐放剤の併用による成熟血管再生と再生組織“血管化”基盤技術の開発	水野 博司	院・形成・再建外科学	6,630,000	補委 文科省
糖尿病性潰瘍に対する慢性炎症を標的とした実用的細胞治療法の確立	田中 里佳	形成外科学講座	10,140,000	補委 文科省
我が国における冠動脈疾患の治療戦略の確立	宮内 克己	循環器内科学講座	1,040,000	補委 文科省
正常血糖妊婦と妊娠糖尿病妊婦における妊娠中の血糖変動出産後の耐糖能に与える影響	池田 富貴	代謝内分泌学講座	1,690,000	補委 文科省
低線量放射線被曝による生体微小環境内の発がん誘導機序	田部 陽子	臨床検査医学講座	1,300,000	補委 文科省
オートファジー阻害剤による大腸癌微小血管転移根治療法の開発	加藤 俊介	院・臨床腫瘍学	1,300,000	補委 文科省
近代臨床医学成立過程における疾病概念の再構築に関する研究	坂井 建雄	院・解剖学・生体構造科学	1,040,000	補委 文科省
糖尿病患者の治療中断および耐糖能異常者の2次健診未受診の関連要因の解明	横川 博英	総合診療科研究室	910,000	補委 文科省
エピジェネティクス制御をターゲットとした脂肪性肝炎の病態進展抑制の検討	今 一義	消化器内科学講座	1,170,000	補委 文科省

脂肪性肝疾患における免疫代謝調節機構の解明と免疫栄養療法の確立	池嶋 健一	院・消化器内科学	1,170,000	補委	文科省
肺高血圧症における血管平滑筋細胞増殖マーカーLR11の役割	小西 博広	循環器内科学講座	1,560,000	補委	文科省
運動療法による筋腫の安定化作用に関する検討	代田 浩之	院・循環器内科学	1,170,000	補委	文科省
肺癌のEGFR-TKI耐性機序における低酸素環境と幹細胞およびEMTの関与	高橋 和久	院・呼吸器内科学	1,690,000	補委	文科省
糖鎖異常IgA1免疫複合体および扁桃細胞のIgA腎症における病態解明	鈴木 仁	院・腎臓内科学	1,820,000	補委	文科省
腹膜線維症の再生治療における中皮細胞移植療法の確立	関口 嘉	腎臓内科学講座	650,000	補委	文科省
ニューロモデュレーションによる新規パーキンソン病治療法開発のための基礎研究	下 泰司	神経学講座	650,000	補委	文科省
家族性MDS由来iPS細胞を用いたRUNX1変異によるMDSの分子発症機序の解明	原田 浩徳	血液学講座	1,690,000	補委	文科省
小児期における消化管粘膜免疫機構の解析と消化器疾患の病態の解明	大塚 宜一	小児科学講座	1,560,000	補委	文科省
発育不全を伴う早産児におけるIGF-Iの役割とrhIGF-I投与に関する検討	東海林 宏道	院・小児思春・病態学	1,690,000	補委	文科省
脳MRI次世代拡散・血流解析を用いたパーキンソン病の微細病理変化の解明	趙 成済	放射線治療学講座	2,340,000	補委	文科省
フコイダン超常磁性体酸化鉄を用いた頭蓋内活性化血栓の検出	鈴木 通真	放射線治療学講座	2,340,000	補委	文科省
先進的放射線治療の確立に資する臨床試験放射線治療品質保証システムの開発	石倉 聡	放射線治療学講座	1,040,000	補委	文科省
血液線維素溶解系を起点としたがん増殖機構の解明	坂本 一博	院・下部消化管外科学	1,300,000	補委	文科省
海馬神経細胞新生よりてんかん原性獲得ヘシナプス小胞たんぱく質2Aの関与	菅野 秀宣	脳神経外科学講座	1,430,000	補委	文科省
滑膜間葉系幹細胞に着目したパルカンによる変形性膝関節症の骨棘形成制御	石島 旨章	院・整形外科・運動器医学	1,690,000	補委	文科省
多発性嚢胞腎における細胞微小小胞の機能解析	堀江 重郎	院・泌尿器外科学	1,300,000	補委	文科省
絨毛外絨毛細胞によるらせん動脈リモデリングにおけるmiR-210の機能の検討	板倉 敦夫	産婦人科学講座	1,430,000	補委	文科省
ヒト鼻粘膜上皮バリア機能の分子基盤	三輪 正人	耳鼻咽喉科学講座	1,430,000	補委	文科省
アトピー緑内障の病態解析	松田 彰	院・眼科学	1,560,000	補委	文科省
眼稀少疾患の遺伝子解析システムの構築	藤巻 拓郎	眼科学講座	260,000	補委	文科省
無細胞化神経へのシュワン細胞付加法としての端側神経縫合とその応用について	林 礼人	形成外科学講座	910,000	補委	文科省
初期近代における解剖学の成立過程と動物・ヒト	澤井 直	院・解剖学・生体構造科学	1,170,000	補委	文科省
医療機関におけるUDI(国際医療機器識別コード)の意義に関する研究	佐瀬 一洋	院・臨床薬理学	1,040,000	補委	文科省
CGMS(連続皮下血糖測定器)の日本人糖尿病患者における有用性の検討	清水 友章	代謝内分泌学講座	780,000	補委	文科省
HSP27による新規脳保護療法の臨床実用化に向けた研究	田中 亮太	神経学講座	1,690,000	補委	文科省
GnRHニューロンの脳内移動におけるセマフォリン3Aの役割	村上 志津子	院・神経機能構造学	1,560,000	補委	文科省
in vivoにおけるミトコンドリア品質管理機構についての組織化学的評価	小池 正人	院・神経機能構造学	1,820,000	補委	文科省

マイクロ流体チップを用いた大腸癌での血中循環癌細胞の機能解析	富木 裕一	消外(下部消化管外科)	1,040,000	補委	文科省
非がん慢性痛に対するオピオイド治療の実態調査と適正使用マニュアル・教材開発	井関 雅子	院・疼痛制御学	1,690,000	補委	文科省
脂肪の炎症が近接臓器および脂肪由来幹細胞の質に及ぼす影響	天野 篤	院・心臓血管外科学	1,430,000	補委	文科省
腹部大動脈瘤と瘤周囲脂肪との炎症性クロストークの解明	桑木 賢次	院・心臓血管外科学	2,340,000	補委	文科省
心房利尿ペプチドを導入した自己心筋幹細胞を用いた心不全治療	稲葉 博隆	心臓血管外科学講座	1,690,000	補委	文科省
異なるタイプの動脈瘤(紡錘瘤・嚢状瘤・解離性動脈瘤)発症機序の解明	磯田 菊生	循環器内科学講座	1,000,000	補委	文科省
喘息における新規バイオマーカーとしてのCD27陰性CD4陽性T細胞の役割	原田 紀宏	呼吸器内科学講座	1,950,000	補委	文科省
血管内皮間葉転換を標的とした新規の肺高血圧症治療薬の開発	長岡 鉄太郎	呼吸器内科学講座	1,560,000	補委	文科省
IgA腎症の発症と進展におけるIgA糖鎖不全と責任B細胞の解明	木原 正夫	腎臓内科学講座	1,690,000	補委	文科省
脳腎連関における腎の抗酸化作用の役割	鈴木 祐介	院・腎臓内科学	1,560,000	補委	文科省
Glucocerebrosidaseの膜輸送への役割に関する研究	波田野 琢	神経学講座	1,040,000	補委	文科省
亜鉛トランスポーター制御による2型糖尿病治療法の開発	藤谷 与士夫	院・代謝内分泌内科学	1,560,000	補委	文科省
FcγレセプターIIb欠損マウスを用いたRAとSLEの特異性を決める遺伝子の解析	天野 浩文	膠原病内科学講座	1,560,000	補委	文科省
ゲノム解析による円形脱毛症疾患感受性遺伝子同定の試み(第2段)	池田 志孝	院・皮膚科学・アレルギー学	1,560,000	補委	文科省
脊椎椎間変評価のための非ガウス分布解析拡散強調像の確立と臨床応用	堀 正明	放射線診断学講座	1,300,000	補委	文科省
各種拡散MRIの脳変性疾患への応用:マッピングから新たなバイオマーカーの創出へ	青木 茂樹	院・放射線治療学	715,000	補委	文科省
Hsp 90を標的とした低酸素細胞放射線増感に関する基礎的研究	笹井 啓資	院・放射線治療学	1,690,000	補委	文科省
血液線維素溶解系による炎症性腸疾患の病態制御機構の解明とその臨床応用	小見山 博光	消外(下部消化管外科)	1,430,000	補委	文科省
CAGE法を用いた大腸癌における新たなリンパ節転移、肝転移予測マーカーの同定	奥澤 淳司	消外(下部消化管外科)	1,300,000	補委	文科省
CAGE法によるRNA解析を用いた肺原発扁平上皮癌に特異的なマーカーの開発	高持 一矢	呼吸器外科学講座	1,300,000	補委	文科省
脳内神経ネットワークからみた吸入麻酔薬の作用機序と発達脳に与える影響に関する研究	西村 欣也	院・麻酔科学	1,170,000	補委	文科省
内耳幹細胞ホーミング機構を応用した遺伝性難聴への多能性幹細胞治療法の開発	神谷 和作	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補委	文科省
新規T細胞特異的サイトカインIL-17による慢性扁桃炎発症の分子メカニズム	一針 幸子	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補委	文科省
頭頸部癌におけるEGFR,IGF-1Rと重粒子線の関係の検討	松本 文彦	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補委	文科省
短期的電気刺激による神経再生促進の検討と糖尿病マウスへの応用について	名取 悠平	形成外科学講座	910,000	補委	文科省
細胞死関連核内タンパク質に焦点を当てたプロテオーム解析による敗血症の病態分析	射場 敏明	院・救急・災害医学	2,470,000	補委	文科省
Superior Sulcus Tumorに対する術前化学放射線治療の第2相試験	都島 由紀雄	呼吸器外科学講座	650,000	補委	文科省
神経細胞におけるp62/Nbr1分子とリソソームの極性に関する研究	内山 安男	院・神経機能構造学	2,080,000	補委	文科省

不明熱症例に対する全国の多施設共同による症例登録研究	内藤 俊夫	総合診療科研究室	910,000	補委	文科省
BHD症候群の新規診断指標の開発	瀬山 邦明	呼吸器内科学講座	1,170,000	補委	文科省
多能的細胞変性に対応するiPS由来細胞の難聴細胞治療への応用	池田 勝久	院・耳鼻咽喉科学	1,820,000	補委	文科省
アトピー網膜剥離の病態におけるアラミン分子の役割	河野 博之	眼科学講座	2,210,000	補委	文科省
肝組織修復機転におけるSOD1によるNADPHオキシダーゼの制御機序の解明	青山 友則	消化器内科学講座	650,000	補委	文科省
血管平滑筋細胞におけるオートファジーの機能解析	三田 智也	院・代謝内分泌内科学	1,560,000	補委	文科省
カテプシンL・カテプシンDのポドサイトにおける役割と蛋白尿発現メカニズムの解明	高木 美幸	腎臓内科学講座	1,040,000	補委	文科省
新規ポドサイト発現蛋白・デンドリンを用いたIgA腎症進行度診断法の確立	児玉 史子	腎臓内科学講座	1,170,000	補委	文科省
酸化ストレスによる骨代謝制御機構の解明	斎田 良知	整形外科学講座	1,300,000	補委	文科省
短腸症候群:新しい腸管再生を目指して レニン-アンギオテンシン系の役割	古賀 寛之	院・小児外科・泌尿生殖器	130,000	補委	文科省
先天性臍帯ヘルニアの病因-分子機構の解明	土井 崇	小児外科学講座	1,300,000	補委	文科省
低血糖による動脈硬化促進機序の解明	後藤 広昌	代謝内分泌学講座	1,430,000	補委	文科省
運動強度に着目した異所性脂肪蓄積、インスリン抵抗性改善メカニズムの解明	竹野 景海	代謝内分泌学講座	2,210,000	補委	文科省
真性赤血球増加症の診断確定のためのJAK2変異探索	森下 総司	輸血学研究室	1,950,000	補委	文科省
細胞極性喪失と癌細胞除去機構エントーシスにおけるオートファジーの役割の解明	稲見 義宏	消化器内科学講座	1,040,000	補委	文科省
炎症性腸疾患モデルマウスを用いたTreg移入療法の検証(根本的治療の確立へ)	石川 大	消化器内科学講座	1,300,000	補委	文科省
悪性胸膜中皮腫における新規バイオマーカー及び治療標的の探索	宿谷 威仁	呼吸器内科学講座	1,820,000	補委	文科省
分子標的治療を目指した、IgA腎症の病態におけるAPRILの病因的役割の解明	橋本 梓	腎臓内科学講座	1,820,000	補委	文科省
光遺伝学を用いたパーキンソン病の新しいニューロモジュレーションの研究	大山 彦光	神経学講座	1,690,000	補委	文科省
血族婚のあるパーキンソン病における新規原因遺伝子探索	李 元哲	神経学講座	1,300,000	補委	文科省
新規alpha-synuclein発現調節modifier遺伝子の同定と機能解明	西岡 健弥	神経学講座	780,000	補委	文科省
オートファジーとヒト膵島アミロイド蛋白を中心とした糖尿病発症機序の解明	小宮 幸次	代謝内分泌学講座	2,470,000	補委	文科省
小児アレルギー疾患におけるST2遺伝子発現と転写調節機構の解析	馬場 洋介	小児科学講座	1,430,000	補委	文科省
実質臓器における炎症性疾患重症化機構の解明と新規治療法開発の基礎研究	田代 良彦	消外(下部消化管外科)	1,820,000	補委	文科省
骨軟部腫瘍の新規治療法開発を目的としたプロテオーム解析	末原 義之	整形外科学講座	1,820,000	補委	文科省
変形性膝関節症の骨棘形成後期におけるパルカン機能解析	金子 晴香	整形外科学講座	1,690,000	補委	文科省
習慣流産と関与するヒト子宮脱落膜細胞の子宮NK細胞とレチノイド代謝経路の解析	黒田 恵司	院・産婦人科学	1,300,000	補委	文科省
iPS由来内耳前駆細胞の効率的蝸牛導入法の開発	田崎 京子	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補委	文科省

頭頸部扁平上皮癌多段階発生におけるNiban遺伝子の機能解析	伊藤 伸	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補委	文科省
DMEKインジェクターの開発	山口 昌大	眼科学講座	1,170,000	補委	文科省
気胸検出を可能とする自作生体音響システムの改良と災害現場での応用	林 伸洋	救急・災害医学研究室	650,000	補委	文科省
成人病胎児期発症説からみた低出生体重児増加と若年女性の健康力に関する検討	鈴木 光幸	院・小児思春・病態学	1,820,000	補委	文科省
アフレルシス療法でのcirculating microRNA除去と治療応用の研究	草生 真規雄	膠原病内科学講座	2,470,000	補委	文科省
心筋内中性脂肪測定法を用いた新規運動プログラム評価法の確立と臨床応用	島田 和典	院・循環器内科学	2,080,000	補委	文科省
プロバイオティクスによるインスリン抵抗性改善の検討	金澤 昭雄	代謝内分泌学講座	2,470,000	補委	文科省
胃底腺型胃癌発生におけるWnt系・Hedgehog系とGNAS遺伝子変異の関与	八尾 隆史	院・人体病理病態学	1,950,000	補委	文科省
開胸術後遷延痛における早期治療介入の予防効果と危険因子同定(遺伝子多型解析含む)	高橋 良佳	麻酔・ペインクリニック	1,300,000	補委	文科省
遺伝性血管性浮腫における自己免疫異常の病態解明と早期診断・治療を目指す研究	佐藤 信之	腎臓内科学講座	1,950,000	補委	文科省
乳腺髄様癌における腫瘍浸潤リンパ球の役割の解明	荒川 敦	人体病理病態学講座	1,300,000	補委	文科省
機能性ディスペプシアの病態解明/免疫-炎症-酸-消化管運動機能異常のクロストーク	永原 章仁	消化器内科学講座	1,820,000	補委	文科省
肝疾患とオートファジーによる細胞内小器官分解	山科 俊平	消化器内科学講座	2,990,000	補委	文科省
心臓の自己再生能力を賦活化させる試み	松下 訓	心臓血管外科学講座	1,690,000	補委	文科省
喫煙によるマウス肺組織傷害および肺胞再生に関わるmicroRNAの同定と治療応用	佐藤 匡	呼吸器内科学講座	1,820,000	補委	文科省
上皮間葉転換(EMT)を標的とした特発性肺線維症治療薬の新規開発	高橋 史行	呼吸器内科学講座	1,690,000	補委	文科省
IgA腎症におけるCX3CR1/FKN/AIM axisの役割の解明	中田 純一郎	腎臓内科学講座	2,340,000	補委	文科省
逆転写酵素阻害薬・エファビレンツは半月体形成性腎炎の新薬になり得るか?	清水 芳男	腎臓内科学講座	1,950,000	補委	文科省
ホドサイトにおけるRac1が糖尿病性腎症の発症・進展に及ぼす影響についての検討	合田 朋仁	院・腎臓内科学	1,820,000	補委	文科省
IgA腎症自然発症モデルマウスを用いた疾患感受性遺伝子の解明	堀越 哲	腎臓内科学講座	2,470,000	補委	文科省
移植脂肪幹細胞の傷害腹膜における再生誘導機序の解明	濱田 千江子	腎臓内科学講座	1,560,000	補委	文科省
脳内酸化ストレス応答における腎交感神経系と尿管L-FABPの影響	金口 泰彦	腎臓内科学講座	1,950,000	補委	文科省
パーキンソン病原因遺伝子産物によるミトコンドリア維持機構の解明	柴 佳保里	神経学講座	1,430,000	補委	文科省
筋萎縮性側索硬化症におけるイオンチャネル障害とRNA代謝障害に関する生理学的研究	金井 数明	神経学講座	3,640,000	補委	文科省
膵β細胞におけるメチル化酵素Set7/9の役割	荻原 健	代謝内分泌学講座	1,690,000	補委	文科省
血管新生阻害による関節リウマチの新規治療法の開発	野沢 和久	膠原病内科学講座	1,950,000	補委	文科省
活性型・抑制型FcγRとSLAM遺伝子異常が自己免疫疾患モデルマウスに及ぼす影響	高崎 芳成	院・膠原病・リウマチ内科学	1,820,000	補委	文科省
遺伝性血管性浮腫におけるブラジキニン分解酵素活性の解析と疾患概念の確立	大澤 勲	腎臓内科学講座	2,340,000	補委	文科省

消化管粘膜における免疫応答からみた低出生体重児に対するプロバイオティクスの有用性	清水 俊明	院・小児思春・病態学	2,210,000	補委	文科省
胎児発育における母体のインスリン抵抗性とリパーゼ活性の役割の解明	平山 哲	臨床検査医学講座	2,600,000	補委	文科省
小児周産期領域におけるESBL産生菌の疫学およびプロバイオティクスによる伝播予防	久田 研	小児科学講座	1,950,000	補委	文科省
乳癌治療中の免疫モニタリングによる治療効果の予測	堀本 義哉	乳腺・内分泌外科学	2,210,000	補委	文科省
改良型テロメスキャンを用いた大腸がん血中循環癌細胞の単離・機能解析と臨床応用	落合 匠	消外(下部消化管外科)	3,120,000	補委	文科省
CAGE法による新規大腸がん肺転移マーカーの同定	柳沼 行宏	消外(下部消化管外科)	2,340,000	補委	文科省
てんかん発作誘導が獲得するてんかん原性と慢性炎症～てんかん原性を予防する脳内環境	中島 円	院・脳神経外科学講座	2,080,000	補委	文科省
先天性正常圧水頭症の原因遺伝子の探索と水頭症の発現機序の解明	宮嶋 雅一	脳神経外科学講座	1,560,000	補委	文科省
海綿体神経損傷モデルにおけるオートファジーと神経栄養因子の分子相互作用の解明	久末 伸一	院・泌尿器外科学	1,820,000	補委	文科省
細菌性中耳炎におけるp38による中耳粘膜肥厚の分子制御とその治療	古川 正幸	耳鼻咽喉科学講座	1,950,000	補委	文科省
難聴モデルマウス前庭の形態・機能評価と前庭を標的とした遺伝子導入の検討	岡田 弘子	耳鼻咽喉科学講座	1,950,000	補委	文科省
蝸牛において予想されるTRPM4チャンネルの特異的機能の解明	村田 潤子	耳鼻咽喉科学講座	1,820,000	補委	文科省
アトピー眼症における組織線維化とナチュラルヘルパー細胞の制御	村上 晶	院・眼科学	1,560,000	補委	文科省
二分脊椎症における排便・排尿障害の病態解明と新規予防・治療法を目指した基礎研究	山高 篤行	院・小児外科・泌尿生殖器	2,340,000	補委	文科省
小児がん患者の身体活動能の評価と運動指導の効果	玉一 博之	小児科学講座	1,430,000	補委	文科省
原発不明癌の骨転移症例に対する血清あるいは尿を用いた原発巣の診断法の樹立	齋藤 剛	人体病理病態学講座	1,690,000	補委	文科省
ボドサイトバチーにおけるRhoファミリーG蛋白質を介する形態機能連関	長瀬 美樹	院・解剖学・生体構造科学	2,210,000	補委	文科省
New-timerマウスを用いた膵β細胞成熟化機構の解明	綿田 裕孝	院・代謝内分泌内科学	1,690,000	補委	文科省
クローン患者由来iPS細胞の樹立ー新たな創薬の開発を目指してー	水野 博司	院・形成・再建外科学	2,600,000	補委	文科省
エコードップラー法による胎生期聴覚検査機器の開発と臨床応用	笠井 美里	耳鼻咽喉科学講座	2,210,000	補委	文科省
筋音図を用いた嚥下機能の定量的評価とバイオフィードバックへの試み	沖崎 貴子	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補委	文科省
低酸素/脳虚血負荷による神経細胞死誘導機構の解明	砂堀 毅彦	院・神経機能構造学	1,950,000	補委	文科省
生体神経組織のマイトファジーイメージング法の樹立とその応用	井下 強	神経学講座	2,210,000	補委	文科省
ヒストンH4メチル化修飾を介したエピジェネティックな脂肪蓄積制御機構の解明	藤井 智明	下部消化管外科学	1,040,000	補委	文科省
腎臓の発生に必須なSall1蛋白のボドサイト障害からの回復期・再生期における役割	細江 佳子	腎臓内科学講座	1,560,000	補委	文科省
脂肪細胞の褐色化における亜鉛シグナルの役割解明	福中 彩子	代謝内分泌学講座	2,470,000	補委	文科省
視線計測を用いた極早産児における社会的認知機能の発達の变化に関する検討	細澤 麻里子	小児科学講座	1,430,000	補委	文科省
カルシウムポンプ異常症グリエー病の抗紫外線治療への試み	上條 麻弥	皮膚科学講座	2,080,000	補委	文科省

炎症性皮膚疾患の新規治療に向けた皮膚炎症におけるオートファジー機能解析	高木 敦	皮膚科学講座	1,300,000	補 委	文科省
ERとHER2のクロストークによる乳癌薬物治療抵抗性機序の解明	徳田 恵美	乳腺・内分泌外科学	1,560,000	補 委	文科省
大腸癌発生進展における機能性RNAの機能解析	高橋 里奈	下部消化管外科学	1,560,000	補 委	文科省
変形性膝関節症に関連する滑膜の力学的負荷応答機序におけるパールカンの機能	二見 一平	整形外科科学講座	2,340,000	補 委	文科省
発達期および老年期の脳内神経伝達からみた吸入麻酔薬の影響とその解析	菅澤 佑介	麻酔・ペインクリニック	1,040,000	補 委	文科省
抗菌ペプチドの発現抑制は黄色ブドウ球菌による好酸球性副鼻腔炎の誘因である	倉野 香	耳鼻咽喉科学講座	2,210,000	補 委	文科省
好酸球性副鼻腔炎から新規同定された真菌は炎症性サイトカインを分泌させる	廣津 幹夫	耳鼻咽喉科学講座	2,080,000	補 委	文科省
眼球振動計測による内視鏡下副鼻腔手術(ESS)危険度警告システムの開発	矢部 鮎美	耳鼻咽喉科学講座	1,820,000	補 委	文科省
コネキシン26変異を伴う遺伝性難聴病態におけるプログラム細胞死の解析	井下 綾子	耳鼻咽喉科学講座	1,950,000	補 委	文科省
徐放型多血小板血漿と骨伝導バイオマテリアル混合移植による新規頭蓋骨再生治療法開発	清水 梓	形成外科学講座	1,950,000	補 委	文科省
糖尿病脂肪組織由来幹細胞の細胞生物学的特性の解明	須田 俊一	形成外科学講座	1,690,000	補 委	文科省
幹細胞と多血小板血漿の混合移植による骨再生を目指した最適多血小板血漿精製法の解明	田島 聖士	形成外科学講座	1,300,000	補 委	文科省

計 177

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入する

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Doe K, Nozawa K, Okada T, Tada K, Yamaji K, Tamura N, Takasaki Y	膠原病内科	Usefulness of minor salivary gland biopsy in the diagnosis of IgG4-related disease: a case report.	Int J Clin Exp Pathol 7: 2673-2677, 2014.
2	Doe K, Nozawa K, Hiruma K, Yamada Y, Matsuki Y, Nakano S, Ogasawara M, Nakano H, Ikeda K, Ikegami T, Fujisiro M, Kawasaki M, Ikeda	膠原病内科	Antibody against chromatin assembly factor-1 is a novel autoantibody specifically recognized in systemic lupus erythematosus.	Lupus 2014; 23: 1031-41, 2014.
3	Fujimoto S, Kobayashi S, Suzuki K.	膠原病内科	Epidemiology and classification of vasculitis-international comparative study and latest international trend	Nihon Jinzo Gakkai Shi. 2014;56(2):80-6,2014.
4	Gorai M, Ogasawara M, Matsuki Y, Yamada Y, Murayama G, Sugisaki N, Nemoto T, Ando S, Minowa K, Kon T, Tada K, Matsushita M, Yamaji K.	膠原病内科	Weighting with the Lansbury articular index improves the correlation of ultrasound score with serum matrix metalloproteinase-3 level in rheumatoid arthritis patients.	Mod Rheumatol 24: 915-919, 2014
5	Ikeda K, Takasaki Y, Sekigawa I.	膠原病内科	Rapid onset of small interstitial perforation after successful steroid treatment in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis.	Mod Rheumatol 2014; 11: 1-3,2014.
6	Kaneko T, Amano H, Kawano S, Minowa K, Ando S, Watanabe T, Nakano S, Suzuki J, Morimoto S, Tokano Y, Takasaki Y	膠原病内科	Increased serum concentration of BAFF/APRIL and IgA2 subclass in patients with mixed connective tissue disease complicated by interstitial lung	Mod Rheumatol 24: 310-315, 2014.
7	Kawasaki A, Furukawa H, Nishida N, Warabi E, Kondo Y, Ito S, Matsumoto I, Kusaoi M, Amano H, Suda A, Nagaoka S, Setoguchi K, Nagai T, Hirohata S.	膠原病内科	Association of Functional Polymorphisms in interferon Regulatory Factor 2(IRF2) with Susceptibility to Systemic Lupus Erythematosus: A Case-Control	PLOS ONE 9: e109764, 2014.
8	Masuda H, Miyazaki I, Shimada K, Tamura N, Matsudaira R, Yoshihara T, Ohsaka H, Sai E, Matsumori R, Fukao K, Hiki M, Kume A, Kiyonagi T, Takasaki Y, Nakashima R, Imura Y, Hosono Y, Aeto M, Murakami A, Watanabe K, Handa T, Mishima M, Hirakata M, Takeuchi T, Fujio K, Yamamoto K.	膠原病内科	Disease duration and severity impacts on long-term cardiovascular events in Japanese patients with rheumatoid arthritis.	J Cardiol 64: 566-570, 2014.
9	Nozawa K, Fujisiro M, Takamori K, Sekigawa I.	膠原病内科	he multicenter study of a new assay for simultaneous detection of multiple anti-aminoacyl-tRNA synthetases in myositis and interstitial pneumonia.	PLoS One 9: e85062, 2014.
10	Sada K, Yamamura M, Harigai M, Fujii T, Dobashi H, Takasaki Y, Ito S, Yamada H, Wada T, Hirahashi J, Arimura Y, Makino H, and for the Suzuki S, Morimoto S, Fujisiro M, Kawasaki M, Hayakawa K, Miyashita T, Ikeda K, Miyazawa K, Yanagida M, Takamori K, Ogawa H, Sekigawa I.	膠原病内科	Inhibition of rheumatoid arthritis by blocking connective tissue growth factor.	World J Orthopedics 2014; 18: 1-7,2014.
11	Terai C, Iitsumi I, Sakurai T, Moriguchi M, Azuma T, Kaneko M, Kawagoe M, Hoshi K, Yoshida H, Matsui T, Nakajima K, Okuyama A, Tokai N, Ogasawara M.	膠原病内科	Classification and characteristics of Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis in a nationwide, prospective, inception	Arthritis Res Ther 16: R101, 2014.
12	Gorai M, Matsuki Y, Yamada Y, Murayama G, Sugisaki N, Nemoto T, Ando S, Minowa K, Kon T, Tada K, Matsushita M, Yamaji K.	膠原病内科	Inhibition of the insulin-like growth factor system is a potential therapy for rheumatoid arthritis.	Autoimmunity 48: 251-258, 2014.
13	Yamada R, Kusaoi M, Murayama G, Yasui M, Hishinuma R, Nemoto T, Hohtatsu K, Kageyama M, Kawamoto T, Sugimoto K, Sekiya F, Kon T, Ogasawara	膠原病内科	The efficacy of mizoribine for the treatment of rheumatoid arthritis and its correlation with renal function.	Mod Rheumatol. . 2014 Mar;24(2):304-9,2014.
14		膠原病内科	Predictive value of bone destruction and duration of clinical remission for subclinical synovitis in rheumatoid arthritis patients.	Mod Rheumatol: 1-6, 2014(inpress)
15		膠原病内科	Reduction in bradykinin generation during leukocytapheresis using novel cellsorba(TM) CS-180S: Effects of changing the filling solution.	J Clin Apher 29: 90-96, 2014

16	Yumura W, Kobayashi S, Suka M, Hayashi T, Ito S, Nagafuchi H, Yamada H, Ozaki S;	膠原病内科	Assessment of the Birmingham vasculitis activity score in patients with MPO-ANCA-associated vasculitis: sub-analysis from a study by the Japanese Study Group	Mod Rheumatol.2014 Nov;24(6):892-6.2014.
17	Kamo A, Negi O, Tengara S, Kamata Y, Noguchi A, Ogawa H, Tominaga M, Takamori K	皮膚科学講座	Histamine H4 Receptor Antagonists Ineffective against itch and Skin Inflammation in Atopic Dermatitis Mouse Model.	J of Investigative Dermatology, 2014; vol 134 No2:546-548
18	Kimura U, Takeuchi K, Kinoshita A, Takamori K, Suga Y	皮膚科学講座	Long-pulsed 1064-nm neodymium:yttrium-aluminum-garnet laser treatment for refractory warts on hands and feet.	J Dermatol, 2014; 41(3):252-257
19	Yoshihara N, Takagi A, Ueno T, Ikeda S	皮膚科学講座	Inverse correlation between microtubule-associated protein 1A/1B-light chain 3 and p62/sequestosome-1 expression in the progression of cutaneous squamous cell	J Dermatol, 2014; 41(4):311-315
20	Tominaga M, Takamori K	皮膚科学講座	Itch and nerve fibers with special reference to atopic dermatitis: therapeutic implications.	J Dermatol, 2014; 41(3):205-212
21	Fukai T, Hasegawa T, Nagata A, Matsumura M, Kudo Y, Shiraiishi E, Kamiya Y, Hirasawa Y, Ikeda S	皮膚科学講座	Case of erlotinib-induced photosensitivity.	J Dermatol, 2014; 41(5):445-446
22	Kawai M, Suzuki T, Hiruma M, Ikeda S	皮膚科学講座	A retrospective cohort study of tinea pedis and tinea unguium in inpatients in a psychiatric hospital.	Med Mycol J, 2014; 55(2):E35-41
23	Yohida A, Takagi A, Ikejima A, Takenaka H, Fukai T, Ikeda S	皮膚科学講座	A retrospective study of 231 Japanese vitiligo patients with special reference to phototherapy.	Acta Dermatovenerol Croat, 2014; 22(1):13-18
24	Hiruma M, Cho O, Hiruma M, Kurakado S, Sugita T, Ikeda S	皮膚科学講座	Genotype analyses of human commensal scalp fungi, Malassezia globosa, and Malassezia restricta on the scalps of patients with dandruff and healthy	Mycopathologia, 2014; 177(5-6):263-269
25	Amagai M, Tanikawa A, Shimizu T, Hashimoto T, Ikeda S, Kurosawa M, Niizeki H, Aoyama Y, Iwatsuki K, Kitajima Y	皮膚科学講座	Japanese guidelines for the management of pemphigus.	J Dermatol, 2014; 41(6):471-486
26	Ran Y, Yamazaki M, Tsuboi R, Ogawa H	皮膚科学講座	Adherence and proliferation of keratinocytes cultured with Candida albicans.	J Dermatol, 2014; 41(6):554-556
27	Kiatsurayanon C, Niyonsaba F, Smithrithee R, Akiyama T, Ushio H, Hara M, Okumura K, Ikeda S, Ogawa H	皮膚科学講座	Host defense (Antimicrobial) peptide, human β -defensin-3, improves the function of the epithelial tight-junction barrier in human keratinocytes.	J Invest Dermatol, 2014; 134(8):2163-2173
28	Takai T, Chen X, Xie Y, Vu AT, Le TA, Kinoshita H, Kawasaki J, Kamijo S, Hara M, Ushio H, Baba T, Hiramatsu K, Ikeda S, Ogawa H, Okumura K, Nakamura Y, Nakano N, Ishimaru K, Hara M, Ikegami T, Tahara Y, Katoh R, Ogawa H, Okumura K, Shibata S, Nishiyama C, Nakao A	皮膚科学講座	TSLP expression induced via Toll-like receptor pathways in human keratinocytes.	Methods Enzymol, 2014; 535:371-387
29	Ishimaru K, Hara M, Ikegami T, Tahara Y, Katoh R, Ogawa H, Okumura K, Shibata S, Nishiyama C, Nakao A	皮膚科学講座	Circadian regulation of allergic reactions by the mast cell clock in mice.	J Allergy Clin Immunol, 2014; 133(2):568-75
30	Hiruma J, Kano R, Kimura U, Takamori K, Hasegawa A, Tsuboi R	皮膚科学講座	Mating type gene for isolates of Trichophyton mentagrophytes from gainea pigs.	J Dermatol, 2014; 41(8):743-745
31	Hasegawa T, Ikeda S	皮膚科学講座	Surgical management with CO2 laser for pseudosyndactyly in recessive dystrophic epidermolysis bullosa.	J Dermatol, 2014; 41(8):767-768
32	Mabuchi T, Ota T, Manabe Y, Ikoma N, Ozawa A, Terui T, Ikeda S, Inoko H, Oka A	皮膚科学講座	HLA-C*12:02 is a susceptibility factor in late-onset type of psoriasis in Japanese.	J Dermatol, 2014; 41(8):697-704

33	Sugiura K, Suga Y, Akiyama M	皮膚科学講座	Dorfman-Chanarin syndrome without mental retardation caused by a homozygous ABHD5 splice site mutation that skips exon 6.	J Dermatol Sci, 2014;75(3):199-201
34	Tsutsui-Takeuchi M, Ushio H, Fukuda M, Yamada T, Niyonsaba F, Okumura K, Ogawa H, Ikeda S	皮膚科学講座	Roles of retinoic acid-inducible gene-1-like receptors (RLRs), Toll-like receptor (TLR) 3 and 2'-5' oligoadenylate synthetase as viral recognition receptors on human mast	Immunol Res, 2015;61(3):240-249
35	Smithrithee R, Niyonsaba F, Kiatsurayanon C, Ushio H, Ikeda S, Okumura K, Ogawa H	皮膚科学講座	Human β -defensin-3 increases the expression of interleukin-37 through CCR6 in human keratinocytes.	J Dermatol Sci,2015;77(1):46-53
36	Wakabayashi M, Hasegawa T, Yamaguchi T, Funakushi N, Suto H, Ueki R, Kobayashi H, Ogawa H, Ikeda S	皮膚科学講座	Yokukansan, a traditional Japanese medicine, adjusts glutamate signaling in cultured keratinocytes.	Biomed Res Int, 2014
37	Akiyama T, Niyonsaba F, Kiatsurayanon C, Nguyen TT, Ushio H, Fujimura T, Ueno T, Okumura K, Ogawa H, Ikeda S	皮膚科学講座	The human cathelicidin LL-37 host defense peptide upregulates tight junction-related proteins and increases human epidermal keratinocyte barrier function.	J Innate Immun, 2014; 6(6):739-53
38	Hattori F, Kiatsurayanon C, Okumura K, Ogawa H, Ikeda S, Okamoto K, Niyonsaba F	皮膚科学講座	The antimicrobial protein S100A7/psoriasin enhances the expression of keratinocyte differentiation markers and strengthens the skin's tight junction	Br J Dermatol, 2014;171(4):742-53
39	Ihsii S, Hasegawa T, Hirasawa Y, Tsunemi Y, Kawashima M, Ikeda S	皮膚科学講座	Acute generalized exantematous pustulosis induced by oral prednisolone.	J Dermatol, 2014; 41(12):1135-1136
40	Yoshihara N, Nakano H, Sawamura D, Ikeda S	皮膚科学講座	Novel missense mutation of COL 7A1 in a recessive dystrophic epidermolysis bollosa patient with mild clinical phenotype.	J Dermatol, 2014; 41(10):939-940
41	Iida H, Takai T, Hirasawa Y, Kamijo S, Shimura S, Ochi H, Nishioka I, Maruyama N, Ogawa H, Okumura K, Ikeda S	皮膚科学講座	Epicutaneous administration of papain induces IgE and IgG responses in a cysteine protease activity-dependent manner.	Allergol Int, 2014; Jun;63(2):219-226
42	Oike M, Yokokawa H, Fukuda H, Haniu T, Oka F, Hisaoka T, Isonuma H	総合診療科研究室	Association between abdominal fat distribution and a sign of atherosclerosis in the carotid artery.	Obes Res Clin Pract. 2014; 8: e448-e458
43	Yokokawa H, Goto A, Sanada H, Watanabe T, Felder RA, Jose PA, Yasumura S.	総合診療科研究室	Association between control to target blood pressures and healthy lifestyle factors among Japanese hypertensive patients: Longitudinal data analysis from	Obes Res Clin Pract. 2014;8:e364-73.
44	Ianei M, Yokokawa H, Murai K, Sakamoto R, Amari Y, Boku S, Inui A, Fujibayashi K, Uehara Y, Isonuma H, Kikuchi K, Naito T.	総合診療科研究室	Factors influencing the diagnostic accuracy of the rapid influenza antigen detection test (RIADT): a cross-sectional study.	BMJ Open. 2014 Jan 2;4(1):e003885.
45	Yamanouchi M, Uehara Y, Yokokawa H, Hosoda T, Watanabe Y, Shiga T, Inui A, Otsuki Y, Fujibayashi K, Isonuma H, Naito T.	総合診療科研究室	Analysis of 256 cases of classic fever of unknown origin.	Intern Med. 2014;53:2471-5.
46	Amari Y, Uehara Y, Watanabe Y, Inui A, Sugihara E, Yokokawa H, Isonuma H, Naito T	総合診療科研究室	Status of Antimicrobial use among dentists in Japan.	J Gen Hosp Med. 2014. 6: 8-15.
47	Suzuki-Saito T, Yokokawa H, Shimada K, Goto A, Yasumura S.	総合診療科研究室	Factors associated with change in glycemic control in Japanese patients: Analyses of patients' misperception.	Journal of Diabetology. 2014 October 3:1. [Epub ahead of print]
48	Okamoto A, Yokokawa H, Sanada H.	総合診療科研究室	Dipeptidyl Peptidase-4 Inhibitor (Vildagliptin) Improves Glycemic Control After Meal Tolerance Test by Suppressing Glucagon Release.	Drugs R D. 2014 Sep 10. [Epub ahead of print]
49	Sanada H, Yokokawa H, Yatabe J, Williams SM, Felder RA, Jose PA, Takenosita S.	総合診療科研究室	Association between lifestyle-related disorders and visceral fat mass in Japanese males: a hospital based cross-sectional study.	Environ Health Prev Med. 2014; 19:429-435.

50	Junko Sato, Akio Kanazawa, Fuki Ikeda, Tomoaki Yoshihara, Hiromasa Goto, Hiroko Abe, Koji Komiya, Minako Kawaguchi, Tomoaki Shimizu, Takeshi Ogihara.	総合診療科研究室	Gut Dysbiosis and Detection of “Live Gut Bacteria” in Blood of Japanese Patients With Type 2 Diabetes.	Diabetes Care, 2014; 37:2343–2350 DOI: 10.2337/dc13–
51	MN Aunga, Motoyuki Yuasa, Saiyud Moolphate, Tustomu Kitajima, Hiroshi Fukuda, Thaworn Lorga and Eiji Marui.	総合診療科研究室	Challenges for Smoking Cessation Intervention as Part of Primary Health Care Services in Developing Countries. <i>Journal of Smoking Cessation</i> .	Journal of Smoking Cessation, 2014; DOI: http://dx.doi.org/10.
52	Yoko Goto, Hirohide Yokokawa, Hiroshi Fukuda, Toshio Naito, Teruhiko Hisaoka & Hiroshi Isonuma.	総合診療科研究室	Body mass index and waist circumference are independent risk factors for low vital capacity among Japanese participants of a health checkup: a single-institution cross-	Environmental Health and Preventive Medicine, 2014;
53	Terai C, Tsutsumi T, Sakurai T, Moriguchi M, Azuma T, Kaneko M, Kawagoe M, Hoshi K, Yoshida H, Matsui T, Nakajima K, Okuyama A, Yumura W,	総合診療科研究室	The efficacy of mizoribine for the treatment of rheumatoid arthritis and its correlation with renal function.	Mod Rheumatol. . 2014 Mar;24(2):304–9
54	Kobayashi S, Suka M, Hayashi T, Ito S, Nagafuchi H, Yamada H, Ozaki S.	総合診療科研究室	Assessment of the Birmingham vasculitis activity score in patients with MPO-ANCA-associated vasculitis: sub-analysis from a study by the Japanese Study Group	Mod Rheumatol.2014 Nov;24(6):892–6
55	Fujimoto S, Kobayashi S, Suzuki K.	総合診療科研究室	Epidemiology and classification of vasculitis-international comparative study and latest international trend	Nihon Jinzo Gakkai Shi. 2014;56(2):80–6
56	19. Suzuki M, Inui A, Sakurai T, Mitsuhashi K, Isonuma H, Dambara T, Naito T	総合診療科研究室	A case of Vibrio cholerae O1 infection in Japan with no history of recent travel to cholera-endemic areas.	J Gen Hosp Med 7: 23–25, 2014
57	Naito T, Matsuda N, Tanei M, Watanabe Y, Watanabe A	総合診療科研究室	Relationship between public subsidies and vaccination rates with the 23-valent pneumococcal vaccine in elderly persons, including the influence of the free	J Infect Chemother 20: 450–453, 2014,
58	Takahashi H, Tsubouchi A, Murai K, Yamanouchi M, Tanei M, Sakamoto R, Uehara Y, Fan CK, Naito T	総合診療科研究室	Seroprevalence of Toxoplasma gondii infection among HIV- infected patients in Tokyo, Japan.	Clin Res HIV/AIDS 1: 1007–1010; 2014
59	Takahashi H, Kutasy B, Pes L, Paradisi F, Puri P.	総合診療科研究室	Decidual β -carotene-15,15'-oxygenase-1 and 2 (BCMO1,2) expression is increased in nitrofen model of congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Surg Int. 2015 Jan;31(1):37–43. doi: 10.1007/s00383–
60	Takahashi H, Friedmacher F, Fujiwara N, Hofmann A, Takahashi T, Puri P.	総合診療科研究室	Downregulation of p300 gene expression in airway mesenchyme of nitrofen-induced hypoplastic lungs.	Pediatr Surg Int. 2014 Apr;30(4):431–5. doi: 10.1007/s00383–
61	Hiromizu Takahashi, Akiko Tsubouchi, Kenji Murai, Masashi Yamanouchi, Mika Tanei, Rino Sakamoto, Yuki Uehara, Chia-Kwung Fan and Toshio Naito.	総合診療科研究室	Seroprevalence of Toxoplasma gondii Infection among HIV- Infected Patients in Tokyo, Japan.	Clin Res HIV/AIDS 1(2): 1007 (2014)
62	Takahashi T, Friedmacher F, Takahashi H, Hofmann AD, Puri P.	総合診療科研究室	Kif7 expression is decreased in the diaphragmatic and pulmonary mesenchyme of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia.	J Pediatr Surg. 2015 Jun;50(6):904–7. doi:
63	Friedmacher F, Hofmann AD, Takahashi T, Takahashi H, Kutasy B, Puri P.	総合診療科研究室	acid upregulates leptin signaling in hypoplastic rat lungs with experimental congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Surg Int. 2014 Dec;30(12):1183–90. doi:
64	Takahashi T, Friedmacher F, Takahashi H, Hofmann AD, Puri P.	総合診療科研究室	Disruption of copper-dependent signaling pathway in the nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Surg Int. 2015 Jan;31(1):31–5. doi: 10.1007/s00383–014-3620–9. Epub
65	Takahashi T, Friedmacher F, Takahashi H, Hofmann AD, Puri P.	総合診療科研究室	Myogenin gene expression is not altered in the developing diaphragm of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Surg Int. 2014 Sep;30(9):901–6. doi: 10.1007/s00383–
66	Friedmacher F, Fujiwara N, Hofmann AD, Takahashi H, Gosemann JH, Puri P.	総合診療科研究室	Evidence for decreased lipofibroblast expression in hypoplastic rat lungs with congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Surg Int. 2014 Oct;30(10):1023–9. doi:

67	Friedmacher F, Fujiwara N, Hofmann AD, Takahashi H, Alvarez LA, Gosemann JH, Puri P.	総合診療科研究室	Prenatal retinoic acid increases lipofibroblast expression in hypoplastic rat lungs with experimental congenital diaphragmatic hernia.	J Pediatr Surg. 2014 Jun;49(6):876-81; discussion 881. doi:
68	Hofmann AD, Friedmacher F, Hunziker M, Takahashi H, Duess JW, Gosemann JH, Puri P.	総合診療科研究室	Upregulation of serotonin-receptor-2a and serotonin transporter expression in the pulmonary vasculature of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia.	J Pediatr Surg. 2014 Jun;49(6):871-4; discussion 874-5. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2014.01.015. Epub 2014 Jan 31.
69	Friedmacher F, Fujiwara N, Hofmann AD, Takahashi H, Gosemann JH, Puri P.	総合診療科研究室	Expression of Eya1 and Six1 is decreased in distal airways of rats with experimental pulmonary hypoplasia.	J Pediatr Surg. 2014 Feb;49(2):301-4. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2013.11.043. Epub
70	Friedmacher F, Hofmann AD, Takahashi H, Takahashi T, Gosemann JH, Puri P.	総合診療科研究室	Disruption of THY-1 signaling in alveolar lipofibroblasts in experimentally induced congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Surg Int. 2014 Feb;30(2):129-35. doi: 10.1007/s00383-
71	Hofmann AD, Friedmacher F, Takahashi H, Hunziker M, Gosemann JH, Puri P.	総合診療科研究室	Decreased apelin and apelin-receptor expression in the pulmonary vasculature of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia.	Pediatr Surg Int. 2014 Feb;30(2):197-203. doi: 10.1007/s00383-
72	Hatta K, Otachi T, Fujita K, Morikawa F, Ito S, Tomiyama H, Abe T, Sudo Y, Takebayashi H, Yamashita T, Katayama S, Nakase R, Shirai Y, Usui C.	精神医学講座	Antipsychotic switching versus augmentation among early non-responders to risperidone or olanzapine in acute-phase schizophrenia.	Schizophr Res. 2014 Sep;158(1-3):213-22. doi: 10.1016/j.schres.2014.07.015. Epub 2014 Jul 31.
73	Hatta K, Kishi Y, Wada K, Odawara T, Takeuchi T, Shiganami T, Tsuchida K, Oshima Y, Uchimura N, Akaho R, Watanabe A, Taira T, Nishimura K, Hashimoto	精神医学講座	Antipsychotics for delirium in the general hospital setting in consecutive 2453 inpatients: a prospective observational study.	Int J Geriatr Psychiatry. 2014 Mar;29(3):253-62. doi: 10.1002/gps.3999. Epub 2013 Jun 25.
74	Shibata N, Nagata I, Iagai K, Shinagawa S, Ohnuma T, Kawai E, Kasanuki K, Shimazaki H, Toda A, Tagata Y, Nakada T, Nakayama K, Yamada H, Nagane A, Baba H,	精神医学講座	Association between the catechol-O-methyltransferase polymorphism Val158Met and Alzheimer's disease in a Japanese population.	Int J Geriatr Psychiatry. 2014 Dec 9. doi: 10.1002/gps.4237. [Epub ahead of print]
75	Nakano Y, Maeshima H, Hukatsu M, Ozawa K, Suzuki T, Arai H	精神医学講座	Comparative study of cognitive impairment between medicated and medication-free patients with remitted major depression: Class-specific influence by tricvcllc	Psychiatry Res.2014 Apr 16. pii: S0165-1781(14)00291-1.
76	Kohno K, Baba H, Inoue T, Nakai Y, Toyomaki A, Suzuki T, Hatano K, Arai H, Terao T.	精神医学講座	Dose-dependent effects of light on hyperthymic temperament.	J Affect Disord. 2014 Jun;162:26-9.
77	Kasanuki K, Iseki E, Kondo D, Fujishiro H, Minegishi M, Sato K, Katsuse O, Hino H, Kosaka K, Arai H.	精神医学講座	Neuropathological investigation of hypocretin expression in brains of dementia with Lewy bodies.	Neurosci Lett.2014 May 21;569:68-73.
78	Komatsu M, Shibata N, Ohnuma T, Kuerban B, Tomson K, Toda A, Tagata Y, Nakada T, Shimazaki H, Arai H.	精神医学講座	Polymorphisms in the aldehyde dehydrogenase 2 and dopamine hydroxylase genes are not associated with Alzheimer's disease.	J Neural Transm. 2014 Apr;121(4):427-32.
79	Hatta K, Kishi Y, Wada K, Takeuchi T, Odawara T, Usui C, Nakamura H; DELIRIA-J Group.	精神医学講座	Preventive effects of ramelteon on delirium: a randomized placebo-controlled trial.	JAMA Psychiatry. 2014 Apr;71(4):397-403. doi: 10.1001/jamapsychiatry.2013.3320.
80	Chiba Y, Iseki E, Fujishiro H, Ota K, Kasanuki K, Arai H, Hirayasu Y, Sato K.	精神医学講座	Primary visual cortical metabolism and rapid eye movement sleep behavior disorder in dementia with Lewy bodies.	Psychiatry Clin Neurosci. 2014 Feb;68(2):137-44.
81	Nishioka K, Tanaka R, Shimura H, Hirano K, Hatano T, Miyakawa K, Arai H, Hattori N, Urabe T.	精神医学講座	Quantitative evaluation of electroconvulsive therapy for Parkinson's disease with refractory psychiatric symptoms.	J Neural Transm. 2014 Nov;121(11):1405-10.
82	Fukuta M, Kirino E, Inoue R, Arai H.	精神医学講座	Response of schizophrenic patients to dynamic facial expressions: an event-related potentials study.	Neuropsychobiology. 2014;70(1):10-22.
83	Arai H, Ichimiya Y, Shibata N, Nakajima T, Sudoh S, Tokuda T, Sujaku T, Yokokawa S, Hoshii N, Noguchi H, Bille A.	精神医学講座	Safety and tolerability of immune globulin intravenous (human), 10% solution in Japanese subjects with mild to moderate Alzheimer's disease.	Psychogeriatrics. 2014 Sep;14(3):165-74. doi: 10.1111/psyg.12055.

84	Katsuta N, Ohnuma T, Maeshima H, Takebayashi Y, Higa M, Takeda M, Nakamura T, Nishimon S, Sannohe T, Hotta Y, Hanzawa R, Higashiyama R.	精神医学講座	Significance of measurements of peripheral carbonyl stress markers in a cross-sectional and longitudinal study in patients with acute-stage schizophrenia.	Schizophrenia. Schizophr Bull 40: 1366-1373, 2014
85	Sato-Ichikawa A, Ohnuma T, Shimazaki H, Shibata N, Arai H	精神医学講座	Satisfaction and Side Effects in Outpatients with Schizophrenia Medicated with Antipsychotics.	Juntendo Medical Journal 60: 337-344, 2014
86	Kawakami I, Katsuse O, Aoki N, Togo T, Suzuki K, Isojima D, Kondo D, Iseki E, Kosaka K, Akiyama H, Hirayasu Y	精神医学講座	Autopsy case of concurrent Huntington's disease and neurofibromatosis type 1.	Psychogeriatrics 14: 8-16, 2014
87	Hatta K, Ito H.	精神医学講座	Strategies for Early Non-response to Antipsychotic Drugs in the Treatment of Acute-phase Schizophrenia.	Clin Psychopharmacol Neurosci. 2014 Apr;12(1):1-7. doi: 10.9758/cpn.2014.12.1.1. Epub 2014 Apr 24. Review.
88	Baba H, Kohno K, Inoue T, Nakai Y, Toyomaki A, Suzuki T, Hatano K, Arai H, Terao T.	精神医学講座	The effects of mental state on assessment of bipolar temperament.	J Affect Disord. 2014 Jun;161:1-3.
89	Hatta K, Kishi Y, Takeuchi T, Wada K, Odawara T, Usui C, Machida Y, Nakamura H; DELIRIA-J Group.	精神医学講座	The predictive value of a change in natural killer cell activity for delirium.	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2014 Jan 3;48:26-31. doi: 10.1016/j.pnpb.2013.09.008. Epub 2013 Sep
90	Ota K, Iseki E, Murayama N, Chiba Y, Fujishiro H, Kasanuki K, Manabe Y, Arai H, Sato K.	精神医学講座	Three presenile patients in which neuropsychological and neuroimaging examinations suggest possible progression to dementia with Lewy bodies.	Psychogeriatrics. 2014 Mar;14(1):72-80.
91	Mochizuki AA, Sudo MM, Kirino E, Itoh K	精神医学講座	Brain activation associated with motor imagery of coordination exercises and social abilities.	European Journal of Sport Science 14(7), 671-677, 2014 (DOI:10.1080/17461391.2014.893019)
92	Sudo MM, Mochizuki AA, Itoh K, Kirino E	精神医学講座	Is there an association of L2 proficiency with social and physical abilities? Effects of various types of abilities on English proficiency.	Journal of the Phonetic Society of Japan 18(2): 1-9, 2014
93	Kyo S, Ono M, Sawa Y, Nakatani T, Tabayashi K, Saiki Y, Tominaga R; HeartMate II Japanese Clinical Investigators.	臨床薬理学講座	Results of the prospective multicenter Japanese bridge to transplant study with a continuous-flow left ventricular assist device.	J Artif Organs. 2014 Jun;17(2):142-8. doi: 10.1007/s10047-013-0752-y. Epub 2014 Jan 28.
94	Kataoka Y, Yasuda S, Miyamoto Y, Sase K, Kosuge M, Kimura K, Yoshimasa Y, Miyazaki S; DIANA study investigators.	臨床薬理学講座	Clinical predictors of atheroma progression despite optimal glycemic control in early-stage diabetic patients with coronary artery disease: Insight from the DIANA	J Atheroscler Thromb. 2014;21(5):509-18. Epub 2014 Jan 15.
95	Taguchi T, Kobayashi H, Kanamori Y, Segawa O, Yamataka A, Sugiyama M, Iwanaka T, Shimojima N, Kuroda T, Nakazawa A, Oda Y, Mivoshi K, Jeiri S.	病院管理学講座	Isolated intestinal neuronal dysplasia Type B (IND-B) in Japan: results from a nationwide survey.	Pediatr Surg Int, 2014; 30: 815-822
96	Morita Y, Aida H, Yamaguchi T, Azuma M, Suzuki S, Suetake N, Yukishita T, Lee K, Kobayashi H	病院管理学講座	Effects of prolonged night shifts on salivary α -amylase, secretory immunoglobulin, cortisol, and chromogranin A levels in nurses.	Health, 2014; 6: 2014-2025
97	Yamaguchi S, Morita Y, Lee KK, Yamaguchi T, Koga N, Kobayashi H	病院管理学講座	Assessment of biological reaction to whole body vibration training by evaluating changes in salivary components and cutaneous blood flow.	Health, 2014; 6: 1049-1056
98	Iba T, Miki T, Hashiguchi N, Yamada A, Nagaoka I	救急・災害医学研究室	Combination of antithrombin and recombinant thrombomodulin attenuates leukocyte-endothelial interaction and suppresses the increase of intrinsic DAMPs	J Surg Res, 2014; 187(2): 581-586.
99	Iba T, Nagaoka I, Yamada A, Nagayama M, Miki T	救急・災害医学研究室	Effect of Hemoperfusion Using Polymyxin B-immobilized Fibers on Acute Lung Injury in a Rat Sepsis Model.	Int J Med Sci, 2014;11(3): 255-261.
100	Hu Z, Murakami T, Suzuki K, Tamura H, Kuwahara-Arai K, Iba T, Nagaoka I.	救急・災害医学研究室	Antimicrobial Cathelicidin Peptide LL-37 Inhibits the LPS/ATP-Induced Pyroptosis of Macrophages by Dual Mechanism.	PLoS One, 2014; 9(1): e85765.

101	Iba T, Aihara K, Yamada A, Nagayama M, Tabe Y, Ohsaka A.	救急・災害医学研究室	Rivaroxaban attenuates leukocyte adhesion in the microvasculature and thrombus formation in an experimental mouse model of type 2 diabetes mellitus.	Thromb Res, 2014; 133(2): 276–280.
102	Iba T, Miki T, Hashiguchi N, Tabe Y, Nagaoka I.	救急・災害医学研究室	Combination of antithrombin and recombinant thrombomodulin modulates neutrophil cell–death and decreases circulating DAMPs levels in endotoxemic	Thromb Res, 2014; 134(1): 169–173.
103	Iba T, Saitoh D, Wada H, Asakura H.	救急・災害医学研究室	Efficacy and bleeding risk of antithrombin supplementation in septic disseminated intravascular coagulation: a secondary survey	Critical Care, 2014 ; 18(5): 497.
104	Masataka Nagayama,1 Youichi Yanagawa,1 Koichiro Aihara,1 Shin Watanabe,1Masaaki Takemoto,1 Tomoko Nakazato,1 Takashi	救急・災害医学研究室	Analysis of non–traumatic truncal back pain in patients who visited an emergency room	Acute Medicine & Surgery 2014; doi: 10.1002/ams2.16
105	Omori K, Kondo A, Ishikawa K, Osaka H, Ode Y, Yanagawa Y, Okamoto K.	救急・災害医学研究室	Preparedness for disaster in Juntendo University Shizuoka Hospital.	Juntendo Medical Journal 2014;60:121–5
106	Omori K, Ishikawa K, Obinata M, Mishima K, Fukusato S, Ohsaka H, Oode Y, Yanagawa Y.	救急・災害医学研究室	Significance of the vacuum phenomenon in patients with trauma evaluated by whole–body computed tomography.	Am J Emerg Med. 2014 Dec 3
107	Omori K, Ohsaka H, Ishikawa K, Obinata M, Oode Y, Kondo A, Kanda A, Fujii M, Sakurada M, Nakao Y, Suwa T, Okamoto K, Yanagawa Y.	救急・災害医学研究室	Introduction of a physician–staffed helicopter emergency medical service in eastern shizuoka prefecture in Japan.	Air Med J. 2014;33(6):292–5
108	Ohsaka H, Omori K, Obinata M, Ishikawa K, Oode Y, Yanagawa Y.	救急・災害医学研究室	Analysis of trauma cases after a record snowfall in a rural district in Japan.	J Emerg Trauma Shock. 2014;7(4):341.
109	Yanagawa Y, Omori K, Obinata M, Ohsaka H, Ishikawa K, Kitamura S, Kitagawa Y, Ihara Y.	救急・災害医学研究室	Significance of hypernatremia following the correction of severe hyperglycemia.	Am J Emerg Med. 2014;32(7):800–1.
110	Inoue T, Omori K, Ohsaka H, Yanagawa Y.	救急・災害医学研究室	Analysis of patients with cardiopulmonary arrest after recreational scuba diving at Eastern Shizuoka in Japan.	J Emerg Trauma Shock. 2014;7(1):56–7.
111	Kondo A, Yanagawa Y, Omori K, Ohsaka H, Ishikawa K, Oode Y, Nomura T, Sugita M, Okamoto K.	救急・災害医学研究室	Importance of smoking and the occurrence of acute poisoning due to waterproof spray.	Acute Medicine & Surgery 2014; 1(4): 191–194.
112	Nagayama M, Yanagawa Y, Aihara K, Watanabe S, Takemoto M, Nakazato T, Hashimoto T, Takayama T, Takazawa Y, Iba T, Kaneko K, Tanaka H.	救急・災害医学研究室	Analysis of non–traumatic truncal back pain in patients who visited an emergency room.	Acute Medicine & Surgery 2014;1(2): 94–100.
113	Inoue T, Yanagawa Y, Omori K, Osaka H, Oode Y, Sugita M, Okamoto K	救急・災害医学研究室	A case of thalamic hemorrhage with takotsubo cardiomyopathy	Acute Medicine & Surgery 2014;1:176 –180
114	Matsuo T, Yanagawa Y, Takeuchi Y, Inoue T, Omori K., Osaka H, Hayashi N, Oode Y, Shimizu T, Sato N, Okamoto K	救急・災害医学研究室	Hypoxic cardiopulmonary arrest with full recovery after induced hypothermic therapy	Acute Medicine & Surgery 2014;1:122–125
115	Suginaka H, Okamoto K, Hirano Y, Fukumoto Y, Morikawa M, Oode Y, Sumi Y, Inoue Y, Matsuda S, Tanaka H	救急・災害医学研究室	Hospital disaster response using business impact analysis.	Prehospital and Disaster Medicine 29: 561–568, 2014
116	Sumi Y, Woehrlie I, Chen Y, Bao Y, Li X, Yao Y, Inoue Y, Tanaka H, Junger WG	救急・災害医学研究室	Plasma ATP is required for neutrophil activation in a mouse sepsis model.	Shock 42: 142–147, 2014
117	Morikawa M, Hagiwara A, Sakamoto T, Kimura A:	救急・災害医学研究室	Blunt cardiac injury with scintigraphic perfusionmetabolism mismatch.	Acute Medicine & Surgery, 2014; 1: 58–60.

118	Kaneke T, Kawamura Y, Maekawa T, Tagami T, Nakamura T, Saito N, Kitazawa Y, Ishikura H, Sugita M, Okuchi K, Rinka H, Watanabe A, Kase Y, Morisawa K, Fujitani S, Taira Y, Kushimoto S, Kitazawa Y, Okuchi K, Ishikura H, Sakamoto T, Tagami T, Yamaguchi J, Sugita M, Kase Y, Kanemura	救急・災害医学研究室	Global end-diastolic volume is an important contributor to increased extravascular lung water in patients with acute lung injury and acute respiratory	Journal of Intensive Care 2014, 2:25
119	Tagami T, Iosa R, Omura M, Fukushima H, Kaneko T, Endo T, Rinka H, Murai A, Yamaguchi J, Yoshikawa K, Saito N, Uzu H, Kase Y, Takatori M, Izumino H, Tagami T, Nakamura T, Kushimoto S, Tosa R, Watanabe A, Kaneko T, Fukushima H, Rinka H, Kudo D, Uzu H, Murai A, Takatori M, Izumino H, Kase	救急・災害医学研究室	Difference in pulmonary permeability between indirect and direct acute respiratory distress syndrome assessed by the transpulmonary thermodilution	Journal of Intensive Care 2014, 2:24
120	Tagami T, Iosa R, Omura M, Fukushima H, Kaneko T, Endo T, Rinka H, Murai A, Yamaguchi J, Yoshikawa K, Saito N, Uzu H, Kase Y, Takatori M, Izumino H, Tagami T, Nakamura T, Kushimoto S, Tosa R, Watanabe A, Kaneko T, Fukushima H, Rinka H, Kudo D, Uzu H, Murai A, Takatori M, Izumino H, Kase	救急・災害医学研究室	Effect of a selective neutrophil elastase inhibitor on mortality and ventilator-free days in patients with increased extravascular lung water: a post hoc	Journal of Intensive Care 2014, 2:69
121	Tagami T, Iosa R, Omura M, Fukushima H, Kaneko T, Endo T, Rinka H, Murai A, Yamaguchi J, Yoshikawa K, Saito N, Uzu H, Kase Y, Takatori M, Izumino H, Tagami T, Nakamura T, Kushimoto S, Tosa R, Watanabe A, Kaneko T, Fukushima H, Rinka H, Kudo D, Uzu H, Murai A, Takatori M, Izumino H, Kase	救急・災害医学研究室	Early-phase changes of extravascular lung water index as a prognostic indicator in acute respiratory distress syndrome patients.	Annals of Intensive Care 2014, 4:27
122	So Sakamoto, Shunji Fujimori, Fumio Sakamoto	救急・災害医学研究室	Primary Helicobacter pylori Eradication Rates of Lansoprazole, Amoxicillin, and Metronidazole Therapy is Much Higher than Lansoprazole, Amoxicillin and	J Gastrointest Dig Syst 2014.
123	Akihiko Kondo, Youichi Yanagawa, Kazuhiko Omori, Hiromichi Ohsaka, Kouhei Ishikawa, Yasumasa Oode, Tomohisa Nomura, Manabu Sugita, and Ken	救急・災害医学研究室	:Importance of smoking and the occurrence of acute poisoning due to waterproof spray.	Acute Medicine & Surgery. 1;191-194, 2014
124	Ohta T, Toshida H, Murakami A.	眼科学講座	Simplified and safe method of sutureless intrascleral posterior chamber intraocular lens fixation: Y-fixation technique.	J Cataract Refract Surg, 2014; 40(1):2-7
125	Ohta T.	眼科学講座	Reply.	J Cataract Refract Surg, 2014; 40(5):851-852
126	Hiratsuka Y, Yamada M, Akune Y, Murakami A, Okada AA, Yamashita H, Ohashi Y, Yamagishi N, Tamura H, Fukuhara S, Takura T.	眼科学講座	Eye Care Comparative Effectiveness Research Team (ECCERT) Assessment of vision-related quality of life among patients with cataract and the outcomes of cataract	Jpn J Ophthalmol, 2014; 58(5):415-422
127	Hamanaka T, Otoro K, Ono K, Ishida N.	眼科学講座	Long-term results of non-valved Glaucoma drainage implant surgery and glaucoma drainage implant combined with trabeculectomy.	Indian J Ophthalmol, 2014; 62(9):911-916
128	Nakatani S, Murakami A.	眼科学講座	Three-Year outcome of Descemet stripping automated endothelial keratoplasty for bullous keratopathy after argon laser iridotomy.	Cornea, 2014; 33(8):780-788
129	Sasaki H, Kokubun T.	眼科学講座	Alkali Burn Treated with 2% Rebamipide Ophthalmic Suspension: A Case Report.	Case Rep Ophthalmol, 2014; 5(3):380-385
130	Mochizuki Y, Iida A, Lyons E, Kageyama R, Nakauchi H, Murakami A, Watanabe S.	眼科学講座	Use of cell type-specific transcriptome to identify genes specifically involved in Müller glia differentiation during retinal development.	Dev Neurobiol, 2014; 74(4):426-437
131	Kobayashi H, Okamoto H, Murakami A, Iwata T.	眼科学講座	Plasma proteome analysis on cynomolgus monkey (macaca fascicularis) pedigrees with early onset drusen formation.	Exp Anim, 2014.; 63(3):305-310
132	Arai E, Fujimaki T, Yanagawa A, Fujiki K, Yokoyama T, Okumura A, Shimizu T, Murakami A.	眼科学講座	Familial cases of Norrie disease detected by copy number analysis.	Jpn J Ophthalmol, 2014; 58(5):448-454
133	Arai R, Kimura I, Imamura Y, Shinoda K, Matsumoto CS, Seki K, Ishida M, Murakami A, Mizota A.	眼科学講座	Photoreceptor inner and outer segment layer thickness in multiple evanescent white dot syndrome.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol, 2014; 52(10):1645-1651
134	Asada Y, Ebihara N, Funaki T, Yokoi N, Murakami A, Matsuda A.	眼科学講座	Vernal keratoconjunctivitis with giant papillae on the inferior tarsal conjunctiva.	Cornea, 2014; 33(1):32-34

135	Suzuki T, Fujimaki T, Yanagawa A, Arai E, Fujiki K, Wada Y, Murakami A.	眼科学講座	A novel exon 17 deletion mutation of R PGRI1 gene in two siblings with Leber congenital amaurosis.	Jpn J Ophthalmol, 2014; 58(6):528-535
136	Iida A, Iwagawa T, Kuribayashi H, Satoh S, Mochizuki Y, Baba Y, Nakauchi H, Furukawa T, Koseki H, Murakami A, Watanabe S.	眼科学講座	Histone demethylase Jmjd3 is required for the development of subsets of retinal bipolar cells.	Proc Natl Acad Sci U S A, 2014; 111(10):3751-3756
137	Korobelnik JF, Holz FG, Roeder J, Ogura Y, Simader C, Schmidt-Erfurth U, Lorenz K, Honda M, Vittori R, Berliner AJ, Hiemeyer F, Stenner B, Zeitz O.	眼科学講座	GALILEO Study Group: Intravitreal Aflibercept Injection for Macular Edema Resulting from Central Retinal Vein Occlusion: One-Year Results of the Phase	Ophthalmology, 2014; 121(1):202-208
138	Ishikawa K, Yoshida S, Nakao S, Nakama T, Kita T, Asato R, Sassa Y, Arita R, Miyazaki M, Enaida H, Oshima Y, Murakami N, Niuro H, Ono J, Matsuda A.	眼科学講座	Periostin promotes the generation of fibrous membranes in proliferative vitreoretinopathy.	FASEB J, 2014; 28(1):131-142
139	Okayama Y, Matsuda A, Kashiwakura JI, Sakaki-Sakamoto T, Nunomura S, Shimokawa T, Yamaguchi K, Takahashi S, Ra C.	眼科学講座	Highly expressed cytoplasmic Fc ϵ RI β in human mast cells functions as a negative regulator of the FcR γ -mediated cell activation signal.	Clin Exp Allergy, 2014; 44(2):238-249
140	Hua J, Jin Y, Chen Y, Inomata T, Lee H, Chauhan SK, Petasis NA, Serhan CN, Dana R.	眼科学講座	The resolvin D1 analogue controls maturation of dendritic cells and suppresses alloimmunity in corneal transplantation.	Invest Ophthalmol Vis Sci, 2014; 55(9):5944-5951
141	Fukushima A, Ohashi Y, Ebihara N, Uchio E, Okamoto S, Kumagai N, Shoji J, Takamura E, Nakagawa Y, Namba K, Fujiwara H, Mizazaki D.	眼科学講座	Therapeutic effects of 0.1% tacrolimus eye drops for refractory allergic ocular diseases with proliferative lesion or corneal involvement.	Br J Ophthalmol, 2014; 98(8):1023-1027
142	Fukushima A, Ebihara N.	眼科学講座	Efficacy of Olopatadine versus Epinastine for Treating Allergic Conjunctivitis Caused by Japanese Cedar Pollen: A Double-Blind Randomized Controlled Trial.	Adv Ther, 2014; 31(10):1045-1058
143	Hattori N, Nomoto M; 6500-004 Study Group.	神経学講座	Sustained efficacy of apomorphine in Japanese patients with advanced Parkinson's disease.	Parkinsonism Relat Disord. 2014 Aug;20(8):819-23.
144	Hattori N, Saiki S, Imai Y.	神経学講座	Regulation by mitophagy.	Int J Biochem Cell Biol.2014 Aug;53:147-50.
145	Amo T, Saiki S, Sawayama T, Sato S, Hattori N.	神経学講座	Detailed analysis of mitochondrial respiratory chain defects caused by loss of PINK1.	Neurosci Lett.2014 Sep 19;580:37-40.
146	Asano T, Koike M, Sakata S, Takeda Y, Nakagawa T, Hatano T, Ohashi S, Funayama M, Yoshimi K, Asanuma M, Toyokuni S, Mochizuki H, Uchivama Y.	神経学講座	Possible involvement of iron-induced oxidative insults in neurodegeneration.	Neurosci Lett. 2015 Feb 19;588:29-35.
147	Fujimaki T, Saiki S, Tashiro E, Yamada D, Kitagawa M, Hattori N, Imoto M.	神経学講座	Identification of licopyranocoumarin and glycyrurol from herbal medicines as neuroprotective compounds for Parkinson's disease.	PLoS One. 2014 Jun 24;9(6):e100395.
148	Fukae J, Fukaya C, Oshima H, Ishii K, Tsuboi Y, Katayama Y, Hattori N.	神経学講座	[Successful treatment with bilateral deep brain stimulation of the subthalamic nucleus for benign tremulous parkinsonism].	Rinsho Shinkeigaku. 2014;54(6):511-4.Japanese.
149	Fukae J, Ishikawa K, Hatano T, Yoritaka A, Takanashi M, Shimo Y, Tsugawa J, Tsuboi Y, Hattori N.	神経学講座	Serum uric acid concentration is linked to wearing-off fluctuation in Japanese Parkinson's disease patients.	J Parkinsons Dis. 2014;4(3):499-505.
150	Funabe S, Tanaka K, Hayashi A, Yamashiro K, Shimura H, Hattori N.	神経学講座	Reversible dropped head syndrome after hemispheric striatal infarction.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Apr;23(4):785-7.
151	Furuya N, Ikeda S, Sato S, Soma S, Ezaki J, Oliva Trejo JA, Takeda-Ezaki M, Fujimura T, Arikawa-Hirasawa E, Tada N, Komatsu M, Tanaka K.	神経学講座	PARK2/Parkin-mediated mitochondrial clearance contributes to proteasome activation during slow-twitch muscle atrophy via NFE2L1 nuclear translocation.	Autophagy. 2014 Apr;10(4):631-41.

152	Hamada, K., Terauchi, A., Nakamura, K., Higo, T., Nukina, N., Matsumoto, N., Hisatsune, C., Nakamura, T. & Mikoshiba, K.	神経学講座	Aberrant calcium signaling by transglutaminase-mediated posttranslational modification of inositol 1,4,5-trisphosphate receptors.	Proc Natl Acad Sci USA 111, E3966-75 (2014). DOI: 10.1073/pnas.1409
153	Hatano T, Funayama M, Kubo S, Mata IF, Oji Y, Mori A, Zabetian CP, Waldherr SM, Yoshino H, Oyama G, Shimo Y, Fujimoto K, Oshima H.	神経学講座	Identification of a Japanese family with LRRK2 p.R1441G-related Parkinson's disease.	Neurobiol Aging. 2014;35:2656.e17-23.
154	Hatano T, Hattori N, Kawanabe T, Terayama Y, Suzuki N, Iwasaki Y, Fujioka T; Yokukansan Parkinson's Disease Study Group.	神経学講座	An exploratory study of the efficacy and safety of yokukansan for neuropsychiatric symptoms in patients with Parkinson's disease.	J Neural Transm. 2014;121(3):275-81.
155	Hauser RA, Gordon MF, Mizuno Y, Poewe W, Barone P, Schapira AH, Rascol O, Debieuvre C, Fraessdorf M.	神経学講座	Minimal clinically important difference in Parkinson's disease as assessed in pivotal trials of pramipexole extended release.	Parkinsons Dis. ;2014:467131. doi: 10.1155/2014/467131. Epub 2014
156	Hongo H, Tanaka Y, Shimada Y, Tanaka R, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Dermatomal sensory manifestations in lateral medullary infarction.	J Stroke Cerebrovasc Dis.2014 Jan;23(1):182-3.
157	Hori M, Yoshida M, Yokoyama K, Kamagata K, Kumagai F, Fukunaga I, Kamiya K, Suzuki M, Masutani Y, Hamasaki N, Suzuki Y, Kyogoku S.	神経学講座	Multiple sclerosis: Benefits of q-space imaging in evaluation of normal-appearing and periplaque white matter.	Magn Reson Imaging. 2014 Jul;32(6):625-9.
158	Ishikawa K, Motoi Y, Mizuno Y, Kubo S, Hattori N.	神経学講座	Effects of donepezil dose escalation in Parkinson's patients with dementia receiving long-term donepezil treatment: an exploratory study.	Psychogeriatrics. 2014 Jun;14(2):93-100.
159	Ishikawa K, Saiki S, Furuya N, Yamada D, Imamichi Y, Li Y, Kawajiri S, Sasaki H, Koike M, Tsuboi Y, Hattori N.	神経学講座	P150glued-associated disorders are caused by activation of intrinsic apoptotic pathway.	PLoS One. 2014 Apr 10;9(4):e94645.
160	Kamagata K, Tomiyama H, Hatano T, Motoi Y, Abe O, Shimoji K, Kamiya K, Suzuki M, Hori M, Yoshida M, Hattori N, Aoki S.	神経学講座	A preliminary diffusional kurtosis imaging study of Parkinson disease: comparison with conventional diffusion tensor imaging.	Neuroradiology. 2014 Mar;56(3):251-8.
161	Kano O, Yoshioka M, Nagayama H, Hamada S, Maeda T, Hasegawa T, Kadowaki T, Sengoku R, Terashi H, Hatano T, Nomoto N, Inoue M, Shimura	神経学講座	Rhinorrhea in Parkinson's disease: a consecutive multicenter study in Japan.	JNeurol Sci. 2014 Aug 15;343(1-2):88-90.
162	Kashihara K, Kondo I, Mizuno Y, Kikuchi S, Kuno S, Hasegawa K, Hattori N, Mochizuki H, Mori H, Murata M, Nomoto M, Takahashi R, Takeda A.	神経学講座	Official Japanese Version of the Movement Disorder Society-Unified Parkinson's Disease Rating Scale: validation against the original English version.	Mov Disord Clin Pract (Hoboken). 2014 Sep 1;1(3):200-212.
163	Kerever A, Mercier F, Nonaka R, de Vega S, Oda Y, Zalc B, Okada Y, Hattori N, Yamada Y, Arikawa-Hirasawa E.	神経学講座	Perlecan is required for FGF-2 signaling in the neural stem cell niche.	Stem Cell Res. 2014 Mar;12(2):492-505.
164	Kino Y, Washizu C, Kurosawa M, Oma Y, Hattori N, Ishiura S, Nukina N.	神経学講座	Nuclear localization of MBNL1: splicing-mediated autoregulation and repression of repeat-derived aberrant proteins.	Hum Mol Genet. 2014 Sep 30. pii: ddu492.
165	Kurita N, Ueno Y, Watanabe M, Miyamoto N, Shimura H, Nonaka S, Tsutsumi S, Yasumoto Y, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Three cases of cervicocephalic artery dissection in an amusement park.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Nov-Dec;23(10):e467-
166	Kuroki T, Yamashiro K, Tanaka R, Hirano K, Shimada Y, Hattori N.	神経学講座	Vertebral artery dissection in patients with autosomal dominant polycystic kidney disease.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Nov-Dec;23(10):e441-3.
167	Li Y, Sekine T, Funayama M, Li L, Yoshino H, Nishioka K, Tomiyama H, Hattori N.	神経学講座	Clinicogenetic study of GBA mutations in patients with familial Parkinson's disease.	Neurobiol Aging. 2014 Apr;35(4):935.e3-8.
168	Maki T, Takahashi Y, Miyamoto N, Liang AC, Ihara M, Lo EH, Arai K..	神経学講座	Adrenomedullin promotes differentiation of oligodendrocyte precursor cells into myelin-basic-protein expressing oligodendrocytes under pathological	Stem Cell Res. 2015 May 9;15(1):68-74.

169	Maraschi A, Ciammola A, Folci A, Sassone F, Ronzitti G, Cappelletti G, Silani V, Sato S, Hattori N, Mazzanti M, Chiergatti E, Mülle C, Passafiumi M, Sassone J.	神経学講座	Parkin regulates kainate receptors by interacting with the GluK2 subunit.	Nat Commun. 2014 Oct 15;5:5182.
170	Mitome-Mishima Y, Miyamoto N, Tanaka R, Shimosawa T, Oishi H, Arai H, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Adrenomedullin deficiency and aging exacerbate ischemic white matter injury after prolonged cerebral hypoperfusion in mice.	Biomed Res Int 2014; 861632, 2014.
171	Mitome-Mishima Y, Yamamoto M, Yatomi K, Nonaka S, Miyamoto N, Urabe T, Arai H, Oishi H.	神経学講座	Endothelial cell proliferation in Swine experimental aneurysm after coil embolization.	PLoS One 9 (2): e89047, 2014.
172	Miyamoto N, Pham LD, Maki T, Liang AC, Arai K. A radical scavenger edaravone inhibits matrix metalloproteinase-9 upregulation and blood-brain	神経学講座	A radical scavenger edaravone inhibits matrix metalloproteinase-9 upregulation and blood-brain barrier breakdown in a mouse model of prolonged cerebral	Neurosci Lett. 2014 Jun 24;573:40-5.
173	Miyazaki H, Oyama F, Inoue R, Aozaki T, Abe T, Kiyonari H, Kino Y, Kurosawa M, Shimizu J, Ogiwara I, Yamakawa K, Koshimizu Y, Fujiyama F.	神経学講座	Singular localization of sodium channel β 4 subunit in unmyelinated fibres and its role in the striatum.	Nat Commun. 2014 Nov 21;5:5525. doi: 10.1038/ncomms6525.
174	Mizuno Y, Nomoto M, Hasegawa K, Hattori N, Kondo T, Murata M, Takeuchi M, Takahashi M, Tomida T; on behalf of the Rotigotine Trial Group.	神経学講座	Rotigotine vs ropinirole in advanced stage Parkinson's disease: A double-blind study.	Parkinsonism Relat Disord. 2014;20:1388-1393.
175	Mizuno Y.	神経学講座	Recent progress and future prospect of treatment in Parkinson's disease.	Integr Med Int 2014;1:67-79.
176	Mori A, Ueno Y, Kuroki T, Hoshino Y, Shimura H, Sekiguchi Y, Noguchi M, Hamada Y, Kusunoki S, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Motor-dominant polyneuropathy due to IgM monoclonal antibody against disialosyl gangliosides in a patient with mantle cell lymphoma.	J Neurol Sci. 2014 Feb 15;337(1-2):215-8.
177	Motoi Y, Shimada K, Ishiguro K, Hattori N.	神経学講座	Lithium and Autophagy.	ACS Chem Neurosci. 2014 Apr 30. [Epub ahead of print] PubMed
178	Nakahara K, Ueda M, Yamada K, Koide T, Yoshimochi G, Funayama M, Kim JH, Yamakawa S, Mori A, Misumi Y, Uyama E, Hattori N, Ando Y.	神経学講座	Juvenile-onset parkinsonism with digenic parkin and PINK1 mutations treated with subthalamic nucleus stimulation at 45 years after disease onset.	J Neurol Sci. 2014 Oct 15;345(1-2):276-7.
179	Nishioka K, Funayama M, Vilarinho-Güell C, Ogaki K, Li Y, Sasaki R, Kokubo Y, Kuzuhara S, Kachergus JM, Cobb SA, Takahashi H, Mizuno Y, Farrer MJ, Ross	神経学講座	EIF4G1 gene mutations are not a common cause of Parkinson's disease in the Japanese population.	Parkinsonism Relat Disord. 2014;20:659-661.
180	Nishioka K, Tanaka R, Shimura H, Hirano K, Hatano T, Miyakawa K, Arai H, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Quantitative evaluation of electroconvulsive therapy for Parkinson's disease with refractory psychiatric symptoms.	J Neural Transm. 2014 Nov;121(11):1405-10.
181	Nishioka K, Tanaka R, Tsutsumi S, Yamashiro K, Nakahara M, Shimura H, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Cerebral dural sinus thrombosis associated with adenomyosis: a case report.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Aug;23(7):1985-7.
182	Nomoto M, Mizuno Y, Kondo T, Hasegawa K, Murata M, Takeuchi M, Ikeda J, Tomida T, Hattori N.	神経学講座	Transdermal rotigotine in advanced Parkinson's disease: a randomized, double-blind, placebo-controlled trial.	J Neurol. 2014;261:1887-1893.
183	Nomura, T., Watanabe, S., Kaneko, K., Yamanaka, K., Nukina, N, Furukawa, Y.	神経学講座	Intranuclear aggregation of mutant FUS/TLS as a molecular pathomechanism of amyotrophic lateral sclerosis.	J Biol Chem 289, 1192-202 (2014). DOI: 10.1074/jbc.M113.
184	Okuzumi A, Hatano T, Nakahara T, Yokoyama K, Hattori N.	神経学講座	Ophthalmic nerve hypertrophy in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy.	Neurology. 2014 Apr 29;82(17):1566-7.
185	Oyama G, Umemura A, Shimo Y, Nishikawa N, Nakajima A, Jo T, Nakajima M, Ishii H, Yamada D, Takanashi M, Arai H, Nanba E, Hattori N.	神経学講座	Posterior Subthalamic Area Deep Brain Stimulation for Fragile X-Associated Tremor/Ataxia Syndrome.	Neuromodulation. 2014 Feb 14.doi: 10.1111/ner.12150 [Epub ahead of

186	Seo JH, Maki T, Maeda M, Miyamoto N, Liang AC, Hayakawa K, Pham LD, Suwa F, Taguchi A, Matsuyama T, Ihara M, Kim KW, Lo EH, Arai K.	神経学講座	Oligodendrocyte precursor cells support blood-brain barrier integrity via TGF- β signaling.	PLoS One. 2014 Jul 31;9(7):e103174.
187	Shen Q, Yamano K, Head BP, Kawajiri S, Cheung JT, Wang C, Cho JH, Hattori N, Youle RJ, van der Bliek AM.	神経学講座	Mutations in Fis1 disrupt orderly disposal of defective mitochondria.	Mol Biol Cell. 2014 Jan;25(1):145-59.
188	Shiba-Fukushima K, Arano T, Matsumoto G, Inoshita T, Yoshida S, Ishihama Y, Ryu KY, Nukina N, Hattori N, Imai Y.	神経学講座	Phosphorylation of mitochondrial polyubiquitin by PINK1 promotes Parkin mitochondrial tethering.	PLoS Genet. 10:e1004861. 2014
189	Shiba-Fukushima K, Inoshita T, Hattori N, Imai Y.	神経学講座	Lysine 63-linked Polyubiquitination Is Dispensable for Parkin-mediated Mitophagy.	J Biol Chem. 2014 Nov 28;289(48):33131-6.
190	Shiba-Fukushima K, Inoshita T, Hattori N, Imai Y.	神経学講座	PINK1-mediated phosphorylation of Parkin boosts Parkin activity in Drosophila.	PLoS Genet. 10:e1004391. 2014
191	Shimada Y, Tanaka R, Shimura H, Yamashiro K, Urabe T, Hattori N.	神経学講座	Phosphorylation enhances recombinant HSP27 neuroprotection against focal cerebral ischemia in mice.	Neuroscience. 278:113-21. 2014
192	Shimo Y, Nakajima A, Hattori N.	神経学講座	Dopamine agonist withdrawal syndrome in a patient with restless legs syndrome without impulse control disorder or drug abuse.	Neurol Sci. 2014 Nov 2. [Epub ahead of print] PubMed PMID: 25362251.
193	Shimo Y, Natori S, Oyama G, Nakajima M, Ishii H, Arai H, Hattori N.	神経学講座	Subthalamic deep brain stimulation for a Parkinson's disease patient with duplication of SNCA.	Neuromodulation. 2014 Jan;17(1):102-3.
194	Tanaka Y, Ueno Y, Shimada Y, Yamashiro K, Tanaka R, Urabe T, Hattori N.	神経学講座	Paradoxical Brain Embolism Associated with Kimura Disease Mimics Watershed Infarction.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Nov 25. pii: S1052-
195	Tomizawa Y, Tanaka R, Sekiguchi K, Oji Y, Tanaka Y, Yamashiro K, Hattori N.	神経学講座	Cerebral infarction in a case of Parry-Romberg syndrome.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Feb;23(2):393-4.
196	Ueno Y, Koike M, Shimada Y, Shimura H, Hira K, Tanaka R, Uchiyama Y, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	L-carnitine enhances axonal plasticity and improves white-matter lesions after chronic hypoperfusion in rat brain.	J Cereb Blood Flow Metab. 2014 Dec 3. doi: 10.1038/icbfm.201
197	Ueno Y, Okuzumi A, Watanabe M, Tanaka Y, Shimada Y, Yamashiro K, Tanaka R, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Cerebral small artery diseases may be associated with aortic arch calcification in stroke patients.	J Atheroscler Thromb. 2014;21(10):1011-21.
198	Ueno Y, Yamashiro K, Tanaka Y, Watanabe M, Shimada Y, Kuroki T, Miyamoto N, Daimon M, Tanaka R, Miyauchi K, Daida H, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Rationale and design of the EPISTEME trial: efficacy of post-stroke intensive rosuvastatin treatment for aortogenic embolic stroke.	Cardiovasc Drugs Ther. 2014 Feb;28(1):79-85.
199	Yamanaka T, Tosaki A, Kurosawa M, Matsumoto G, Koike M, Uchiyama Y, Maity SN, Shimogori T, Hattori N, Nukina N.	神経学講座	NP-Y inactivation causes atypical neurodegeneration characterized by ubiquitin and p62 accumulation and endoplasmic reticulum disorganization.	Nat Commun. 2014 Feb 25;5:3354.
200	Yamanaka T, Wong HK, Tosaki A, Bauer PO, Wada K, Kurosawa M, Shimogori T, Hattori N, Nukina N.	神経学講座	Large-scale RNA interference screening in mammalian cells identifies novel regulators of mutant huntingtin aggregation.	PLoS One. 2014 Apr 4;9(4):e93891.
201	Yamashiro K, Tanaka R, Okuma Y, Shimura H, Ueno Y, Miyamoto N, Urabe T, Hattori N.	神経学講座	Cerebral microbleeds are associated with worse cognitive function in the nondemented elderly with small vessel disease.	Cerebrovasc Dis Extra. 2014 Dec 9;4(3):212-20.
202	Yamashiro K, Tanaka R, Tanaka Y, Miyamoto N, Shimada Y, Ueno Y, Urabe T, Hattori N.	神経学講座	Visceral fat accumulation is associated with cerebral small vessel disease.	Eur J Neurol. 2014 Apr;21(4):667-73.

203	Yamashita C, Tomiyama H, Funayama M, Inamizu S, Ando M, Li Y, Yoshino H, Araki T, Ichikawa T, Ehara Y, Ishikawa K, Mizusawa H, Hattori N.	神経学講座	Evaluation of polyglutamine repeats in autosomal dominant Parkinson's disease. Neurobiol Aging. 2014 Jul;35(7):1779.e17-21.	Neurobiol Aging. 2014 Jul;35(7):1779.e17-21.
204	Mori A, Ueno Y, Kuroki T, Hoshino Y, Snimura H, Sekiguchi Y, Noguchi M, Hamada Y, Kusunoki S, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Motor-dominant polyneuropathy due to IgM monoclonal antibody against disialosyl gangliosides in a patient with mantle cell lymphoma.	J Neurol Sci 337: 215-218, 2014.
205	Oyama G, Umemura A, Shimo Y, Nishikawa N, Nakajima A, Jo T, Nakajima M, Ishii H, Yamada D, Takanashi M, Arai H, Nanba E, Hattori N.	神経学講座	Posterior subthalamic area deep brain stimulation for fragile X-associated tremor/ataxia syndrome.	Neuromodulation. 2014 Dec;17(8):721-3.
206	Nishioka K, Tanaka R, Tsutsumi S, Yamashiro K, Nakahara M, Shimura H, Hattori N, Urabe T.	神経学講座	Cerebral dural sinus thrombosis associated with adenomyosis: a case report.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2014 Aug;23(7):1985-7.
207	Shimo Y, Nakajima A, Hattori N.	神経学講座	Dopamine agonist withdrawal syndrome in a patient with restless legs syndrome without impulse control disorder or drug abuse.	Neurol Sci. 2015 Jun;36(6):1021-3. doi: 10.1007/s10072-014-1996-
208	Shimo Y, Natori S, Oyama G, Nakajima M, Ishii H, Arai H, Hattori N.	神経学講座	Subthalamic deep brain stimulation for a Parkinson's disease patient with duplication of SNCA.	Neuromodulation. 2014 Jan;17(1):102-3.
209	Noda K, Hattori N, Okuma Y.	神経学講座	Primary central nervous system lymphoma presenting as choreoathetosis. BMJ Case Rep. 2014 Apr 16;2014. pii:bcr2013203353. doi: pii:bcr2013203353. doi:	BMJ Case Rep. 2014 Apr 16;2014. pii:bcr2013203353. doi:
210	Okuma Y.	神経学講座	A patient-invented maneuver to alleviate freezing of gait using a foot loop band.	Case Rep Neurol. 2014 Nov 7;6(3):256-8. doi: 10.1159/00036905
211	Tong J, Fitzmaurice P, Furukawa Y, Schmunk GA, Wickham DJ, Ang LC, Sherwin A, McCluskey T, Boileau I, Kish SJ.	神経学講座	Is brain gliosis a characteristic of chronic methamphetamine use in the human?	Neurobiol Dis. 2014 Jul;67:107-18. doi: 10.1016/j.nbd.2014.03.015.
212	Kitami M, Oizumi H, Kish SJ, Furukawa Y.	神経学講座	Takotsubo cardiomyopathy associated with lithium intoxication in bipolar disorder: a case report.	J Clin Psychopharmacol. 2014 Jun;34(3):410-1.
213	Abe K, Okuda O, Ohishi H, Snonobe M, Arai H	脳神経外科学講座	Multiple dural arteriovenous fistulas causing rapid progressive dementia successfully treated by endovascular surgery: Case report	Neurol Med Chir (Tokyo) 2014; 54: 145-149
214	Ertinç N, Beseoglu K, Barrow DL, Bederson J, Brown RD Jr, Connolly ES Jr, Derdeyn CP, Hänggi D, Hasan D, Juvela S, Kasuya H, Kirkpatrick PJ, Knuckey Hori M, Tsutsumi S, Yasumoto Y, Ito M, Suzuki M, Tanaka FS, Kyogoku S, Nakamura M, Tabuchi T, Fukunaga I, Suzuki Y, Kamagata K, Masutani Y.	脳神経外科学講座	Multidisciplinary consensus on assessment of unruptured intracranial aneurysms: Proposal of an international research group	Stroke 2014; 45: 1523-1530
215	Hori M, Tsutsumi S, Yasumoto Y, Ito M, Suzuki M, Tanaka FS, Kyogoku S, Nakamura M, Tabuchi T, Fukunaga I, Suzuki Y, Kamagata K, Masutani Y.	脳神経外科学講座	Cervical spondylosis-evaluation of microstructural changes in spinal cord white matter and gray matter by diffusional kurtosis imaging	Magn Reson Imaging 2014; 32: 428-432
216	Kamiya K, Hori M, Miyajima M, Nakajima M, Suzuki Y, Kamagata K, Suzuki M, Arai H, Ohtomo K, Aoki S	脳神経外科学講座	Axon diameter and intra-axonal volume fraction of the corticospinal tract in idiopathic normal pressure hydrocephalus measured by q-space imaging	PLoS One 2014 Aug 5;9(8):e103842. doi:
217	Kimura T	脳神経外科学講座	In vitro performance and principles of anti-siphoning devices	Acta Neurochirurgica 2014; 156: 2191-2199
218	Kurita N, Ueno Y, Watanabe M, Miyamoto N, Shimura H, Nonaka S, Tsutsumi S, Yasumoto Y, Urabe T	脳神経外科学講座	Three case of cervicocephalic artery dissection in an amusement park	J Stroke Cerebrovasc Dis 2014; 23: 467-471
219	Mitome-Mishima Y, Miyamoto N, Tanaka R, Shimomura T, Oishi H, Arai H, Hattori N, Urabe T	脳神経外科学講座	Adrenomedullin deficiency and aging exacerbate ischemic white matter injury after prolonged cerebral hypoperfusion in mice	Biomed Res Int. 2014;2014:861632. doi: 10.1155/2014/861632. Epub 2014

220	Mitome-Mishima Y, Yamamoto M, Yatomi K, Nonaka S, Miyamoto N, Urabe T, Arai H, Oishi H	脳神経外科学講座	Endothelial cell proliferation in swine experimental aneurysm after coil embolization	PLoS One. 2014 Feb. 14;9(2):e89047. doi:
221	Nagatani K, Osada H, Sakakibara F, Takeuchi S, Otani N, Wada K, Mori K	脳神経外科学講座	Aneurysm- induced oculomotor palsy in neurofibromatosis Type 1. (Case report)	Austin J Neurosurg 2014; 1: 2
222	Nagatani K, Osada H, Takeuchi S, Otani N, Wada K, Mori K	脳神経外科学講座	Surgical resection of developmental venous anomaly causing massive intracerebral haemorrhage: A case report	Br J Neurosurg 2014; 28: 116—118, Jan
223	Nakajima M, Miyajima M, Ogino I, Sugano H, Akiba C, Domon N, Karagiozov KL, Arai H	脳神経外科学講座	Use of external lumbar cerebrospinal fluid drainage and lumboperitoneal shunts with Strata NSC valves in idiopathic normal pressure hydrocephalus: A single-center	World Neurosurg Aug. 2014. pii: S1878-8750(14)00707-
224	Nakajima M, Sugano H, Iimura Y, Higo T, Nakanishi H, Shimoi K, Karagiozov KL, Miyajima M, Arai H	脳神経外科学講座	Sturge-Weber syndrome with spontaneous intracerebral hemorrhage in childhood	J Neurosurg Pediatr 2014; 13: 90—93
225	Nakajima M, Miyajima M, Sugano H, Iimura Y, Kato M, Tsurusaki Y, Miyake N, Saitsu H, Arai H, Matsumoto N	脳神経外科学講座	The somatic GNAQ mutation c.548G>A (p.R183Q) is consistently found in Sturge-Weber syndrome	J Hum Genet 2014; 59: 691-693, Dec. doi: 10.1038/jhg.2014.9
226	Nishioka K, Tanaka R, Tsutsumi S, Yamashiro K, Nakahara M, Shimura H, Hattori N, Urabe T	脳神経外科学講座	Cerebral dural sinus thrombosis associated with adenomyosis with adenomyosis, a case report	J Stroke Cerebrovas Dis 2014; 23: 1985—1987
227	Nonaka S, Tsutsumi S, Suzuki T, Izumi H, Yasumoto Y	脳神経外科学講座	Distal middle cerebral artery aneurysm manifesting as subcortical hemorrhage	Neurosurgical Emergency 2014; 19: 226—229
228	Oishi H, Yamamoto M, Nonaka S, Shimizu T, Yoshida K, Mitsuhashi T, Arai H	脳神経外科学講座	Treatment results of endosaccular coil embolization of asymptomatic unruptured intracranial aneurysms in elderly patients	J Neurointerv Surg 2014 July 17. pii: neurintsurg-2014-011305. doi:
229	Okumura A, Yamamoto T, Miyajima M, Shimajima K, Kondo S, Abe S, Ikono M, Shimizu T	脳神経外科学講座	3p interstitial deletion including PRICKLE2 in identical twins with autistic features	Pediatr Neurol 2014; 51: 730—733
230	Otani N, Ishihara M, Fujita M, Wada K, Mori K	脳神経外科学講座	Noninvasive thermographic visualization of the extent of carotid plaque distribution during carotid endoarterectomy using an uncooled infrared camera	Surg Neurol Int 2014; 5: 144
231	Otani N, Ishihara M, Fujita M, Wada K, Mori K	脳神経外科学講座	Uncooled infrared camera for the noninvasive visualization of the vascular flow in an anastomotic vessel during neurological surgery: Technical note	Neurol Med Chir (Tokyo) 2014; 54: 502—506
232	Otani N, Wada K, Takeuchi S, Fujii K, Nagatani K, Tomura S, Ueno H, Tomiyama A, Osada H, Mori K	脳神経外科学講座	A ruptured aneurysm located at a collateral artery that expanded from the proximal A2 segment to the M1 segment associated with an anomalous branch of the	Neurologia medico-chirurgica 2014; 54: 201—204
233	Otani N, Wada K, Takeuchi S, Fujii K, Nagatani K, Tomura S, Ueno H, Tomiyama A, Osada H, Mori K	脳神経外科学講座	“Reverse” bypass using a naturally formed “bonnet” superficial temporal artery in symptomatic common carotid artery occlusion: A case report	Neurologia medico-chirurgica 2014; 54: 851—853
234	Oyama G, Shimo Y, Umemura A, Nishikawa N, Nakajima A, Jo T, Nakajima M, Ishii H, Arai H, Hattori N	脳神経外科学講座	Troubleshooting in hospitalized Parkinson's disease patients with a history of deep brain stimulation of the subthalamic nucleus	Neurology and Clinical Neuroscience 2014; 2: 188—192.
235	Oyama G, Umemura A, Shimo Y, Nishikawa N, Nakajima A, Jo T, Nakajima M, Ishii H, Yamada D, Takanashi M, Arai H, Nanba E, Hattori N	脳神経外科学講座	Posterior subthalamic area deep brain stimulation for fragile x-associated tremor/ataxia syndrome	Neuromodulation 2014; 17: 721—723, Dec. doi: 10.1111/ner.12150
236	Shimo Y, Natori S, Oyama G, Nakajima M, Ishii H, Arai H, Hattori N	脳神経外科学講座	Subthalamic deep brain stimulation for a Parkinson's disease patient with duplication of SNCA	Neuromodulation 2014; 17: 102-103, Jan. doi: 10.1111, 2014

237	Shimoji T, Tominaga D, Shimoji K, Miyajima M	脳神経外科学講座	Analysis of pre and post-operative symptoms of patients with mild trigonocephaly using several developmental and psychology tests	Childs Nerv Syst 2014 Dec. 3 [Epub ahead of print]
238	Sugano H, Nakanishi H, Nakajima M, Higo T, Iimura Y, Tanaka K, Hosozawa M, Nijima S, Arai H	脳神経外科学講座	Posterior quadrant disconnection surgery for Sturge-Weber syndrome	Epilepsia 2014; 55: 683-689, May. doi: 10.1111/epi.12547. Epub 2014 Feb. 22.
239	Sugiyama N, Tsutsumi S, Akiba C, Nakanishi H, Ogino I, Yasumoto Y, Arai H, Ito M	脳神経外科学講座	Solitary epicranial neurofibroma with NF1-related germline mutation	Neurol Med Chir 2014; 54: 310-313
240	Takeuchi S, Mori K, Arimoto H, Fujii K, Nagatani K, Tomura S, Otani N, Osada H, Wada K	脳神経外科学講座	Effects of intravenous infusion of hydrogen-rich fluid combined with intracisternal infusion of magnesium sulfate in severe aneurysmal subarachnoid	BMC Neurology 2014; 14
241	Takeuchi S, Wada K, Nagatani K, Otani N, Osada H, Nawashiro H	脳神経外科学講座	Sulfasalazine and temozolomide with radiation therapy for newly diagnosed glioblastoma	Neurol India 2014; 62: 42-47, Jan.-Feb.
242	Takeuchi S, Wada K, Otani N, Osada H, Nagatani K, Mori K	脳神経外科学講座	Temporal profile of plasma adiponectin level and delayed cerebral ischemia in patients with subarachnoid hemorrhage	J Clin Neurosci 2014; 21: 1007-1010, June
243	Tokugawa J, Nakao Y, Kudo K, Iimura K, Esaki T, Yamamoto T, Mori K	脳神経外科学講座	Posterior auricular artery-middle cerebral artery bypass: A rare superficial temporal artery variant with well-developed posterior auricular artery-case report.	Neurol Med Chir (Tokyo) 2014; 54: 841-844, Oct.
244	Tomiyama A, Uekita T, Kamata R, Sasaki K, Takita J, Ohira M, Nakagawara A, Kitanaka C, Mori K, Yamaguchi H, Sakai R	脳神経外科学講座	Flotillin-1 regulates oncogenic signaling in neuroblastoma cells by regulating ALK membrane association	Cancer Research 2014 74: 3790-3801, July
245	Tsutsumi S, Akiba C, Suzuki T, Nakanishi H, Izumi H, Yasumoto Y, Ito M	脳神経外科学講座	Skull base chondroid chordoma: Atypical case manifesting as intratumoral hemorrhage and literature review	Clin Neuroradiol 2014 24: 313-320
246	Tsutsumi S, Ito M, Arai H, Yasumoto Y	脳神経外科学講座	Malignant peripheral nerve sheath tumor manifesting as severe buttock pain	Turk Neurosurg 2014: in press
247	Tsutsumi S, Nakamura M, Tabuchi T, Yasumoto Y	脳神経外科学講座	The superior ophthalmic vein: Delineation with high-resolution magnetic resonance imaging	Surg Radiol Anat, 2014, in press
248	Tsutsumi S, Ogino I, Miyajima M, Nakamura M, Yasumoto Y, Arai H, Ito M	脳神経外科学講座	Cranial arachnoid protrusions and contiguous diploic veins in CSF drainage	AJNR Am J Neuroradiol 2014 35: 1735-1739, Sept., doi:
249	Tsutsumi S, Yasumoto Y, Saeki H, Ito M	脳神経外科学講座	Cranial dural cavernous angioma	Clin Neuroradiol Neurol 2014; 24: 155-159
250	Yatomi K, Oishi H, Yamamoto M, Suga Y, Nonaka S, Yoshida K, Arai H	脳神経外科学講座	Radiological changes in infantile dissecting anterior communicating artery aneurysm treated endovascularly: A case report and five-year follow-up	Interv Neuroradiol Neurol 2014 20: 796-803, Dec.
251	Asaoka D, Nagahara A, Hojo M, Sasaki H, Shimada Y, Yoshizawa T, Osada T, Watanabe S	消化器内科学講座	The Relationship between H. pylori Infection and Osteoporosis in Japan.	Gastroenterol Res Pract. 2014;2014:340765. Epub 2014 Jun 12.
252	AsaokaD,NagaharaA, HojoM,SasakiH,ShimadaY,YoshizawaT,OsadaT,WatanabeS	消化器内科学講座	The Relationship between H. pylori Infection and Osteoporosis in Japan.	Gastroenterol Res Pract. 2014;2014:340765.
253	AsaokaD,NagaharaA, MatsumotoK,HojoM, WatanabeS	消化器内科学講座	Current perspectives on reflux laryngitis.	Clin J Gastroenterol. 2014 Dec;7(6):471-5.

254	AsaokaD,NagaharaA,ShimadaY,MatsumotoK,UeyamaH,MatsumotoK,NakagawaY,TakedaT,TanakaI,SasakiH,OsadaT,HojoM,WatanabeS	消化器内科学講座	Risk factors for osteoporosis in Japan: is it associated with Helicobacter pylori?	Ther Clin Risk Manag. 2015 Mar 6;11:381-91.
255	BeppuK,OsadaT,SakamotoN,ShibuyaT,MatsumotoK,NagaharaA,TeraiT,OgiharaT,WatanabeS	消化器内科学講座	Optimal timing for resuming antithrombotic agents and risk factors for delayed bleeding after endoscopic resection of colorectal tumors.	Gastroenterol Res Pract. 2014;2014:825179. Epub 2014 Dec 7.
256	FukuoY,YamashinaS,SonoueH,ArakawaA,NakaderaE,AoyamaT,UchiyamaA,KonK,IkejimaK,WatanabeS	消化器内科学講座	Abnormality of autophagic function and cathepsin expression in the liver from patients with non-alcoholic fatty liver disease.	Hepatol Res. 2014 Sep;44(9):1026-36.
257	GotoSP,SakamotoN,MitomiH,MurakamiT,RitsunoH,UeyamaH,MatsumotoK,ShibuyaT,OsadaT,NagaharaA,OgiharaT,YaoT,WatanabeS	消化器内科学講座	Histological Distinction between the Granular and Nongranular Types of Laterally Spreading Tumors of the Colorectum.	Gastroenterol Res Pract. 2014;2014: Epub 2014 Aug 11.
258	HidakaY,MitomiH,SaitoT,TakahashiM,LeesY,MatsumotoK,YaoT,WatanabeS	消化器内科学講座	Alteration in the Wnt/ β -catenin signaling pathway in gastric neoplasias of fundic gland (chief cell predominant) type.	Hum Pathol. 2013 Nov;44(11):2438-48.
259	HigashiharaY,KatoJ,NagaharaA,IzumikI,KonishiM,KodaniT,SerizawaN,OsadaT,WatanabeS,	消化器内科学講座	with URLC10 and VEGFR1 epitope peptides in patients with advanced gastric cancer.	Int J Oncol. 2014 Mar;44(3):662-8.
260	HojoM,NagaharaA,AsaokaD,UeyamaH,ShimadaY,MatsumotoK,WatanabeS	消化器内科学講座	Symptoms of gastro-esophageal reflux disease: A comparative study between elderly and younger patients in Japan.	Health, 2014;6:1700-1705.
261	ItoT,OkuboH,Kokubus,MiyazakiA,AndoH,FujimuraA,WatanabeS	消化器内科学講座	Radiofrequency ablation combined with chemolipiodolization in a porcine liver: Comparison of the pharmacokinetic analysis with cisplatin powder and	Hepatol Res. 2015 May;45(5):589-94. Epub 2014 Jul 28.
262	IzumikI,OsadaT,SakamotoN,KodaniT,HigashiharaY,RitsunoH,ShibuyaT,NagaharaA,OgiharaT,KikuchiK,WatanabeS	消化器内科学講座	Frequent occurrence of fever in patients who have undergone endoscopic submucosal dissection for colorectal tumor, but bacteremia is not a significant cause.	Surg Endosc. 2014 Oct;28(10):2899-904.
263	KagawaI,OkaiA,KobayashiY,HiasaY,KitamuraT,SakugawaH,AdachiY,AnzaiK,TsuruyaK,AraseY,HiroseS,ShiraishiK,ShinaT,SatoT,TingW,TanakaM,HavashiH,KawabeN,RohiKawaiI,IakahashiS,SuzukiH,SasakiH,NagaharaA,AsaokaD,MatsuhisaT,MasaokaT,NishizawaT,SuzukiM,ItoM,KuriharaN,OmataF,MizunoS,ToriA,KawakamiK,OhkusaT,Tokoidos,OhkusaT,NakaeK,YokoyamaT,ShibuyaT,SakamotoN,UchiyamaK,ArakawaH,OsadaT,NagaharaA,WatanabeS,TajiriH	消化器内科学講座	Recessive inheritance of population-specific intronic LINE-1 insertion causes a Rotor syndrome phenotype.	Hum Mutat 36: 327-332, 2014.
264	KawaiI,IakahashiS,SuzukiH,SasakiH,NagaharaA,AsaokaD,MatsuhisaT,MasaokaT,NishizawaT,SuzukiM,ItoM,KuriharaN,OmataF,MizunoS,ToriA,KawakamiK,OhkusaT,Tokoidos,OhkusaT,NakaeK,YokoyamaT,ShibuyaT,SakamotoN,UchiyamaK,ArakawaH,OsadaT,NagaharaA,WatanabeS,TajiriH	消化器内科学講座	Changes in the first line Helicobacter pylori eradication rates using the triple therapy—a multicenter study in the Tokyo metropolitan area (Tokyo Helicobacter	J Gastroenterol Hepatol. 2014 Dec;29 Suppl 4:29-32.
265	KawaiI,IakahashiS,SuzukiH,SasakiH,NagaharaA,AsaokaD,MatsuhisaT,MasaokaT,NishizawaT,SuzukiM,ItoM,KuriharaN,OmataF,MizunoS,ToriA,KawakamiK,OhkusaT,Tokoidos,OhkusaT,NakaeK,YokoyamaT,ShibuyaT,SakamotoN,UchiyamaK,ArakawaH,OsadaT,NagaharaA,WatanabeS,TajiriH	消化器内科学講座	Factors associated with incomplete colonoscopy at a Japanese academic hospital.	World J Gastroenterol. 2014 Jun 14;20(22):6961-7.
266	KonishiM,ShibuyaT,MoriH,KurashitaE,TakedaT,NomuraO,FukuoY,MatsumotoK,SakamotoN,OsadaT,NagaharaA,OgiharaT,WatanabeS	消化器内科学講座	Usefulness of flexible spectral imaging color enhancement for the detection and diagnosis of small intestinal lesions found by capsule endoscopy.	Scand J Gastroenterol. 2014 Apr;49(4):501-5.
267	KumagaiE,ShibuyaI,MakinoM,MurakamiT,TakashimaS,RitsunoH,UeyamaH,KodaniT,SasakiH,MatsumotoK,SakamotoN,OsadaT,NagaharaA,OgiharaT,WatanabeS	消化器内科学講座	A Randomized Prospective Study of Bowel Preparation for Colonoscopy with Low-Dose Sodium Phosphate Tablets versus Polyethylene Glycol Electrolyte Solution.	Gastroenterol Res Pract. 2014;2014:879749. Epub 2014 Sep 15
268	MiwaH,KusanoM,ArisawaI,OshimaT,KatoM,JohT,SuzukiH,TominagaK,NakadaK,NagaharaA,FutagamiS,ManabeN,InuiA,HarumaK,HiguchiK,Yakubik,HongoM,UemuraN,Kin	消化器内科学講座	Evidence-based clinical practice guidelines for functional dyspepsia.	J Gastroenterol. 2015 Feb;50(2):125-39.
269	MorimotoT,MitomiH,SaitoT,TakahashiM,MurakamiT,SakamotoN,YaoT,WatanabeS	消化器内科学講座	Distinct profile of HIF1 α , PTCH, EphB2, or DNA repair protein expression and BRAF mutation in colorectal serrated adenoma.	J Gastroenterol Hepatol. 2014 Jun;29(6):1192-9.
270	KonK,KatoJ,KonishiM,ShibuyaT,SakamotoN,NagaharaA,YaoT,FujimeM,WatanabeS	消化器内科学講座	diagnosis with endoscopy followed by successful treatment.	Intern Med. 2014;53(24):2777-81.

271	Nagahara A, Suzuki T, Nagata N, Sugai N, Takeuchi Y, Sakurai K, Miyamoto M, Inoue K, Akiyama J, Mabe K, Konuma I, Kamada T, Haruma K.	消化器内科学講座	A multicentre randomised trial to compare the efficacy of omeprazole versus rabeprazole in early symptom relief in patients with reflux	J Gastroenterol Dec;49(12):1536-47. Epub 2013 Dec 24. PubMed Scand J Gastroenterol. 2014 Apr;49(4):409-17.
272	NagaharaA,HojoM,AsaokaD,SasakiH,WatanabeS	消化器内科学講座	A randomized prospective study comparing the efficacy of on-demand therapy versus continuous therapy for 6 months for long-term maintenance with omeprazole 20 mg	J Gastroenterol Hepatol. 2015 Mar;30 Suppl 1:25-30.
273	NagaharaA,MiwaH,AsaokaD, ShimadaY,SasakiH,MatsumotoK,OsadaT,HojoM,WatanabeS,	消化器内科学講座	Pretreatment prediction of symptom response to proton pump inhibitor therapy.	J Gastroenterol Hepatol 29:137-143,2014
274	NaritaH,GendaT,TsuzuraH,SatoS,KanemitsuY,IshikawaS, KikuchiT,HiranoK,IijimaK,WadaR,IchidaT	消化器内科学講座	Prediction of liver stiffness hepatocellular carcinoma in chronic hepatitis C patients on interferon-based anti-viral therapy	J Viral Hepat 78:762-768,2014
275	OmataM,NishiguchiS,Uemoy MochizukiH,IzumiN,IkedaF, ToyodaH,YokosukaO,NireiK ,GendaT,UmemuraT,TakeharaT,SakamotoN,NishigakiY,NakaneK,TodaN,IdeT,Yanase	消化器内科学講座	Sofosbuvir plus ribavirin in Japanese patients with chronic genotype 2 HCV infection an open-label,phase 3 trial	Surg Endosc. 2014 Nov;28(11):3143-9.
276	RitsunoH,SakamotoN,OsadaT,GotoSP,MurakamiT,UeyamaH,MoriH,MatsumotoK,BepuK,ShibuyaT,NagaharaA, OgiharaT,WatanabeS,	消化器内科学講座	device-assisted endoscopic submucosal dissection of large superficial colorectal tumors using the S-O clip.	BMC Gastroenterol. 2014 Jul 2;14:116.
277	SakataY,IominagaK,KatoM, TakedaH,ShimoyamaY,TakeuchiT,IwakiriR,FurutaK,SakuraiK,OdakaT,KusunokiH,NagaharaA,IwakiriK,FurutaT,MurakamiK,MiwaH,KinoshitaY	消化器内科学講座	Clinical characteristics of elderly patients with proton pump inhibitor-refractory non-erosive reflux disease from the G-PRIDE study who	Juntendo Medical Journal 2014. 60(2):94-99
278	Shibuya T,Watanabe S	消化器内科学講座	Diagnosis of Small-Intestinal Disease with Capsule Endoscopy	Gastroenterol Res Pract. 2015;2015:252963.
279	ShimadaY,NagaharaA ,HojoM,AsaokaD,SasakiH,UeyamaH,MatsumotoK,WatanabeS	消化器内科学講座	Upper gastrointestinal mucosal injury and symptoms in elderly low-dose aspirin users.	J Histochem Cytochem. 2014 Sep;62(9):645-60.
280	SuyamaY,KoikeM,AsaokaD,MoriH,Oguro M,UenoT,NagaharaA ,WatanabeS,UchiyamaY	消化器内科学講座	Increased immunoreactivity of cathepsins in the rat esophagus under chronic acid reflux esophagitis.	Juntendo Medical Journal 2014. 60(6):568-575
281	TakedaT,SugiyamaM, KantoT,KorenagaM, MizogamiM,WatanabeS	消化器内科学講座	Establishment of a Practical Workflow Using a Next Generation Sequencer to Search for Novel SNPs Associated with the Anti-Radiotherapy for patients with unresectable advanced hepatocellular carcinoma with invasion to intrahepatic large vessels: efficacy and outcomes.	Case Rep Gastroenterol. 2014 Jun 7;8(2):206-10.
282	TanakaY,NakazawaT,Komori S,HidakaH,OkuwakiY,TakadaJ,WatanabeM,ShibuyaA,MinamotoT,YamamotoH,Kokubu S,HayakawaK,KoizumiW	消化器内科学講座	Successful retrieval of a retained capsule endoscope with single incision laparoscopic surgery.	J Gastroenterol. 2014 Oct;49(10):1392-405.
283	TashiroY,KawaiM,Takehara K,MunakataS,IshiyamaS,SugimotoK,TakahashiM,KojimaY, GotoM,TomikiY,ShibuyaT,OsadaT,WatanabeS,SakamotoK	消化器内科学講座	A randomized, placebo-controlled, double-blind clinical trial of rikkunshito for patients with non-erosive reflux disease refractory to proton-pump inhibitor: the	Int J Mol Sci 15:6556-6568,2014
284	IominagaK,KatoM,IkedaH, ShimoyamaY,UmegakiE,IwakiriR,FurutaK,SakuraiK,OdakaT,KusunokiH,NagaharaA,IwakiriK,FurutaT,MurakamiK ,MiwaH,KinoshitaY,Haruma	消化器内科学講座	Expression of aldo-keto reductase family 1 member b10 in the early stages of human hepatocarcinogenesis	Endoscopy 2014; 46: 153-157
285	TsuzuraH,GendaT,SatoS,MurataA,KanemitsuY,IshikawaS ,KikuchiT,MoriM,HiranoK,IijimaK,WadaR,IchidaT	消化器内科学講座	Gastric adenocarcinoma of the fundic gland type (chief cell predominant type)	Int J Med Sci 11:850-856,2014
286	UeyamaH,Matsumoto K,NagaharaA,HayashiT,YaoTakashi,WatanabeS	消化器内科学講座	Presence of Antibodies against Self Human Leukocyte Antigen Class II Molecules in Autoimmune Hepatitis	
287	YamagiwaS,Kamimura H,TakamuraM,Genda T,IchidaT,NomotoM,AoyagiY	消化器内科学講座		

288	Yamagiwa S, Tamura Y, Takamura M, Genda T, Ichida T, Ishikawa T, Kamimura T, Takahashi T, Suda T, Matsuda Y, Nomoto M, Aoyagi Y	消化器内科学講座	Increase of fucosylated alpha-fetoprotein fraction at the onset of autoimmune hepatitis and acute liver failure	Hepatol Res 44:368-375,2014
289	Arezzo A, Passera R, Saito Y, Sakamoto T, Kobayashi N, Sakamoto N, Yoshida N, Naito Y, Fujishiro M, Niimi K, Ohya T, Ohata K, Okamura S, Iizuka S, Takeuchi Y, Ueda N, Fusaroli P, Bonino	消化器内科学講座	Systematic review and meta-analysis of endoscopic submucosal dissection versus transanal endoscopic microsurgery for large noninvasive rectal lesions.	Surg Endosc. 2014 Feb;28(2):427-38.
290	Ogita M, Miyauchi K, Miyazaki T, Naito R, Konishi H, Tsuboi S, Dohi T, Kasai T, Yokoyama T, Okazaki S, Kurata T, Daida H.	循環器内科学講座	Low high-density lipoprotein cholesterol is a residual risk factor associated with long-term clinical outcomes in diabetic patients with stable coronary artery disease who impact of admission glycemia and glycosylated hemoglobin A1c on long-term clinical outcomes of non-diabetic patients with acute coronary syndrome.	Heart Vessels, 2014; 29: 35-41
291	Naito R, Miyauchi K, Ogita M, Kasai T, Kawaguchi Y, Tsuboi S, Konishi H, Okazaki S, Kurata T, Daida H.	循環器内科学講座	Craniofacial anatomical risk factors in men with obstructive sleep apnea and heart failure: a pilot study.	J Cardiol, 2014; 63: 106-111
292	Inoshita A, Kasai T, Takahashi M, Inoshita H, Kasagi S, Kawana F, Ishiwata S, Ohno M, Yamaguchi T, Narui K, Ikeda K.	循環器内科学講座	Effect of rostral fluid shift on pharyngeal resistance in men with and without obstructive sleep apnea.	Sleep Breath, 2014; 18: 439-445
293	White LH, Motwani S, Kasai T, Yumino D, Amirthalingam V, Bradley TD.	循環器内科学講座	Impact of pre-discharge nocturnal pulse oximetry (sleep-disordered breathing) on post-discharge clinical outcomes in hospitalized patients with left ventricular	Respir Physiol Neurobiol, 2014; 192: 17-22
294	Ohmura T, Iwama Y, Kasai T, Kato T, Suda S, Takagi A, Daida H.	循環器内科学講座	Effect of intensified diuretic therapy on overnight rostral fluid shift and obstructive sleep apnea in patients with uncontrolled hypertension.	Am J Cardiol, 2014; 113: 697-700
295	Kasai T, Bradley TD, Friedman O, Logan AG.	循環器内科学講座	Relationship of heart rate variability to sleepiness in patients with obstructive sleep apnea with and without heart failure.	J Hypertens, 2014; 32: 673-680
296	Taranto Montemurro L, Floras JF, Picton P, Kasai T, Alshaer H, Gabriel JM, Bradley TD.	循環器内科学講座	Long-term prognosis and clinical characteristics of young adults (≤ 40 years old) who underwent percutaneous coronary intervention	J Clin Sleep Med, 2014; 10: 271-276.
297	Konishi H, Miyauchi K, Kasai T, Naito R, Tsuboi S, Ogita M, Tamura H, Okazaki S, Daida H.	循環器内科学講座	Therapeutic effectiveness of potassium iodine in drug-naïve patients with Graves' disease: a single-center experience.	J Cardiol, 2014; 64: 171-174.
298	Uchida T, Goto H, Kasai T, Takeno K, Abe H, Shigehara N, Sato J, Honda A, Mita T, Kanazawa A, Fujitani Y, Watada H.	循環器内科学講座	Early hemodynamic performance of the trifecta bioprosthetic valve in patients with aortic valve disease	Endocrine, 2014; 47: 506-511.
299	Maruyama M, Daimon M, Kawata T, Kasai T, Ichikawa R, Miyazaki S, Ohmura H, Yamamoto T, Amano A, Daida H.	循環器内科学講座	Prevalence of amiodarone-induced thyrotoxicosis and associated risk factors in Japanese patients.	Circ J, 2014; 78: 1372-1378.
300	Uchida T, Kasai T, Takagi A, Sekita G, Komiya K, Takeno K, Shigehara N, Shimada K, Miyauchi K, Fujitani Y, Daida H, Watada H.	循環器内科学講座	A randomized, double crossover study to investigate the influence of saline infusion on sleep apnea severity in men.	Int J Endocrinol, 2014; 2014: 534904
301	Yadollahi A, Gabriel JM, White LH, Taranto Montemurro L, Kasai T, Bradley TD.	循環器内科学講座	Influence of rostral fluid shift on upper airway size and mucosal water content.	Sleep, 2014; 37: 1699-1705
302	Kasai T, Motwani SS, Elias RM, Gabriel JM, Taranto Montemurro L, Yanagisawa N, Spiller N, Paul N, Bradley TD.	循環器内科学講座	Circulating soluble LRI1, a novel marker of smooth muscle cell proliferation, is enhanced after coronary stenting in response to vascular injury.	J Clin Sleep Med, 2014; 10: 1079-1074
303	Ogita M, Miyauchi K, Jiang M, Kasai T, Tsuboi S, Naito R, Konishi H, Dohi T, Yokoyama T, Okazaki S, Shimada K, Bujo H, Daida H.	循環器内科学講座	Left atrial appendage wall-motion velocity associates with recurrence of nonparoxysmal atrial fibrillation after catheter ablation.	Atherosclerosis, 2014; 237: 374-378
304	Ariyama M, Kato R, Matsumura M, Yoshimoto H, Nakajima Y, Nakano S, Kasai T, Tanno J, Senbonmatsu T, Matsumoto K, Nishimura S.	循環器内科学講座		Echocardiography, 2014 Jun 11 [Epub]

305	Brijbassi M, Kasai T, Taranto Montemurro L, Bradley TD	循環器内科学講座	Effect of an anti-supine shirt for treatment of supine-related obstructive sleep apnea.	J Sleep Disord Ther. 2014; 3: 174
306	Naito R, Miyauchi K, Konishi H, Tsuboi S, Ogita M, Kasai T, Tamura H, Okazaki S, Daida H.	循環器内科学講座	Comparison of long-term clinical outcomes between sirolimus- and paclitaxel-eluting stents in real-world clinical practice.	Heart Vessels, 2014 Aug 13 [Epub]
307	Nakano S, Kasai T, Tanno J, Sugi K, Sekine Y, Muramatsu T, Sendonmatsu T, Nishimura S.	循環器内科学講座	The effects of adaptive servo-ventilation on dyspnoea, haemodynamic parameters and plasma catecholamine concentration in acute cardiogenic pulmonary oedema.	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care, 2014 Sep 1 [epub]
308	Nishizaki Y, Shimada K, Iani S, Ogawa T, Ando J, Takahashi M, Yamamoto M, Shinozaki T, Miyauchi K, Nagao K, Hirayama A, Yoshimura M, Komuro I.	循環器内科学講座	Significance of imbalance in the Ratio of Serum n-3 to n-6 Polyunsaturated Fatty Acids in Patients with Acute Coronary Syndrome.	Am J Cardiol. 2014; 113: 441-445
309	Miyazaki T, Shimada K, Hiki M, Kume A, Kitamura Y, Oshida K, Yanagisawa N, Kiyonagi T, Matsumori R, Daida H. High hexacosanoic acid levels are associated	循環器内科学講座	High hexacosanoic acid levels are associated with coronary artery disease.	Atherosclerosis. 2014; 223: 429-433
310	Ito T, Sato K, Maekawa H, Sakurada M, Orita H, Shimada K, Daida H, Wada R, Abe M, Hino O, Kajiyama Y.	循環器内科学講座	Elevated levels of serum fatty acid synthase in patients with gastric carcinoma.	Oncol Lett. 2014; 7: 616-620
311	Yoshi H, Onuma T, Yamazaki T, Watada H, Matsuhisa M, Matsumoto M, Kitagawa K, Kitakaze M, Yamasaki Y, Kawamori R; PROFIT-I Study Group.	循環器内科学講座	Effects of pioglitazone on macrovascular events in patients with type 2 diabetes mellitus at high risk of stroke: the PROFIT-I study.	J Atheroscler Thromb. 2014; 21: 563-73
312	Miyazaki T, Hiki M, Shimada K, Kume A, Kiyonagi T, Sumiyoshi K, Daida H	循環器内科学講座	High Molecular Weight Adiponectin Level is Associated with Atherogenic Lipoprotein Profiles in Healthy Japanese Males.	J Atheroscler Thromb.2014; 21: 672-9
313	Masuda H, Miyazaki T, Shimada K, Tamura N, Matsudaira R, Yoshihara T, Ohsaka H, Sai E, Matsumori R, Fukao K, Hiki M, Kume A, Kiyonagi T, Takasaki Y.	循環器内科学講座	Disease duration and severity impacts on long-term cardiovascular events in Japanese patients with rheumatoid arthritis.	J Cardiol. 2014; 64: 366-370
314	Sai E, Shimada K, Yokoyama T, Sato S, Nishizaki Y, Miyazaki T, Hiki M, Tamura Y, Aoki S, Watada H, Kawamori R, Daida H.	循環器内科学講座	Evaluation of myocardial triglyceride accumulation assessed by 1H-magnetic resonance spectroscopy in apparently healthy Japanese subjects.	Intern Med. 2015 in press
315	Akita K, Isoda K, Shimada K, Daida H.	循環器内科学講座	Dipeptidyl-peptidase-4 inhibitor, alogliptin, attenuates arterial inflammation and neointimal formation after injury in low-density lipoprotein (LDL) receptor-Omega 3 polyunsaturated fatty acids	J Am Heart Assoc. 2015 in press
316	Yoshihara T, Shimada K, Fukao K, Sai E, Sato-Okabayashi Y, Matsumori R, Shiozawa T, Alshahi H, Miyazaki T, Tada N, Daida H.	循環器内科学講座	suppress the development of aortic aneurysms through the inhibition of macrophage-mediated inflammation.	Circ J. 2015 in press
317	Sai E, Shimada K, Miyauchi K, Masaki Y, Kojima T, Miyazaki T, Kurata T, Ogita M, Tsuboi S, Yoshihara T, TMiyazaki T, Ohsaka A, Daida H.	循環器内科学講座	Increased cystatin-C levels as a risk factor of cardiovascular events in patients with preserved estimated glomerular filtration rate after elective percutaneous coronary	Heart Vessels. 2015 in press
318	Miyazaki T, Hiki M, Shimada K, Kume A, Kiyonagi T, Sumiyoshi K, Ohmura H, Daida H	循環器内科学講座	The High Molecular Weight Adiponectin Level is Associated with the Atherogenic Lipoprotein Profiles in Healthy Japanese Males	J Atheroscler Thromb 2014; 21: 672-679
319	Mida T, Nishimura K, Okamura T, Hirayama S, Ohmura H, Yoshida H, Miyashita Y, Ai M, Tanaka A, Sumino H, Murakami M, Inoue I, Kawamori Y.	循環器内科学講座	Validation of homogeneous assays for HDL-cholesterol using fresh samples from healthy and diseased subjects	Atherosclerosis 2014; 233: 253-259
320	Daida H, Nohara K, Hata M, Kaku K, Kawamori R, Kishimoto J, Kurabayashi M, Masuda I, Sakuma I, Yamazaki T, Yokoi H, and Yoshida M, for the	循環器内科学講座	Can intensive lipid-lowering therapy improve the carotid intima-media thickness in Japanese subjects under primary prevention for cardiovascular disease?	J Atheroscler Thromb 2014; 21: 739-754
321	Kondo T, Takamura K, Fujimoto S, Takase S, Sekine T, Matsutani H, Rybicki FJ, Kumamaru KK.	循環器内科学講座	Motion artifacts on coronary CT angiography images in patients with a pericardial effusion.	J Cardiovasc Comput Tomogr 2014; 8: 19-25

322	Kondo T, Matsutani H, Groarke J, Takamura T, Fujimoto S, Rybicki J, Kumamaru KK.	循環器内科学講座	Electrocardiogram electrode repositioning for 320-row coronary CT angiography in patients with regular and recurrent premature ventricular contractions.	J Cardiovasc Comput Tomogr 2014; 8: 13-18
323	Yamamoto H, Awai K, Kuribayashi S, Kihara Y.; PREDICT Investigators.	循環器内科学講座	Rationale and design of the PREDICT (Plaque Registration and Evaluation Detected in Computed Tomography) registry.	J Cardiovasc Comput Tomogr 2014; 8: 90-96
324	Fujimoto S, Kondo T, Kodama T, Fujisawa Y, Groarke J, Kumamaru KK, Takamura K, Matsunaga E, Miyauchi K, Daida H, Rybicki EJ.	循環器内科学講座	A novel method for non-invasive plaque morphology analysis by coronary computed tomography angiography.	Int J Cardiovasc Imaging 2014; 30: 1373-82
325	Sano H, Kasama S, Fujimoto S, Toyama T, Takama N, Koitabashi N, Ichikawa S, Suzuki Y, Matsumoto N, Sato Y, Kurabayashi M.	循環器内科学講座	Effects of statin therapy on cardiac sympathetic nerve activity and left ventricular remodeling in patients with chronic heart failure: a propensity score-	Medicine 2014; 93: e214
326	Chiang SJ, Daimon M, Ishii K, Kawata T, Miyazaki S, Hirose K, Ichikawa R, Miyauchi K, Yeh MH, Chang NC, Daida H.	循環器内科学講座	Assessment of elevation of and rapid change in left ventricular filling pressure using a novel global strain imaging diastolic index.	Circ J 2014; 78 :419-27
327	Ueno Y, Yamashiro K, Tanaka Y, Watanabe M, Shimada Y, Kuroki T, Miyamoto N, Daimon M, Tanaka R, Miyauchi K, Daida H	循環器内科学講座	Hattori N, Urabe T. Rationale and design of the EPISTEME trial: efficacy of post-stroke intensive rosuvastatin treatment for aortogenic embolic stroke.	Cardiovasc Drugs Ther 2014; 28: 79-85
328	Naito R, Miyauchi K, Ogita M, Kasai T, Kawaguchi Y, Tsuboi S, Konishi H, Okazaki S, Kurata T, Daida H.	循環器内科学講座	Impact of admission glycemia and glycosylated hemoglobin A1c on long-term clinical outcomes of non-diabetic patients with acute coronary syndrome.	J Cardiol. 2014; 63: 106-11
329	Ogita M, Miyauchi K, Miyazaki T, Naito R, Konishi H, Tsuboi S, Dohi T, Kasai T, Yokoyama T, Okazaki S, Kurata T, Daida H	循環器内科学講座	Low high-density lipoprotein cholesterol is a residual risk factor associated with long-term clinical outcomes in diabetic patients with stable coronary artery disease who	Heart Vessels 2014; 29: 35-41
330	Dai Y, Konishi H, Takagi A, Miyauchi K, Daida H	循環器内科学講座	Red cell distribution width predicts short- and long-term outcomes of acute congestive heart failure more effectively than hemoglobin.	Exp Ther Med 2014; 8: 600-606
331	Shiomi H, Kozuma K, Morimoto T, Igarashi K, Kadota K, Tanabe K, Morino Y, Akasaka T, Abe M, Suwa S, Muramatsu T, Kobayashi M, Dai K, Nakao K.	循環器内科学講座	RESET Investigators. Long-term clinical outcomes after everolimus- and sirolimus-eluting coronary stent implantation: final 3-year follow-up of the randomized	Circ Cardiovasc Interv 2014; 7: 343-54
332	Nakajima N, Miyauchi K, Yokoyama T, Ogita M, Miyazaki T, Tamura H, Nishino A, Yokoyama K, Okazaki S, Kurata T, Suwa S, Daida H.	循環器内科学講座	Effect of combination of ezetimibe and a statin on coronary plaque regression in patients with acute coronary syndrome: ZEUS trial (eZetimibe Ultrasound Study).	International Journal of Cardiology. Metabolic &
333	Konishi H, Miyauchi K, Kasai T, Tsuboi S, Ogita M, Naito R, Sai E, Fukushima Y, Katoh Y, Okai I, Tamura H, Okazaki S, Daida H	循環器内科学講座	Impact of Lipoprotein(a) as Residual Risk on Long-Term Outcomes in Patients After Percutaneous Coronary Intervention	Am J Cardiol.2015; 115: 157-60
334	Kurano M, Suzuki A, Inoue A, Tokuhara Y, Kano K, Matsumoto H, Igarashi K, Ohkawa R, Nakamura K, Dohi T, Miyauchi K, Daida H, Tsukamoto K, Ikeda H, Inaba SI, Weisz G.	循環器内科学講座	Possible Involvement of Minor Lysophospholipids in the Increase in Plasma Lysophosphatidic Acid in Acute Coronary Syndrome	Arterioscler Thromb Vasc Biol 2014 Nov 25
335	Kobayashi N, Saito S, Dohi T, Dong L, Wang L, Moran JA, Rabbani LE, Parikh MA, Leon MB, Moses JW, Mintz GS, Maehara A.	循環器内科学講座	Prevalence and anatomical features of acute longitudinal stent deformation: An intravascular ultrasound study	Catheter Cardiovasc Interv. 2014 Sep 1;84(3):388-96.
336	Sato A, Isoda K, Adachi T	循環器内科学講座	Serial images of porcelain atrium	Eur Heart J, 2014; 35: 1495
337	Mori H, Isoda K, Kimura T, Akita K, Adachi T	循環器内科学講座	Mechanical clot fragmentation using a Swan-Ganz catheter is useful for acute massive pulmonary thromboembolism	J Cardiol Case, 2014; 9 : 94-97
338	Isoda K, Akita K, Isobe S, Niida T, Adachi T, Iwakura Y, Daida H	循環器内科学講座	Interleukin-1 receptor antagonist originating from bone marrow-derived cells and non-bone marrow-derived cells helps to suppress arterial inflammation and	J Atheroscler Thromb, 2014; 21 : 1208-1218

339	Ryo Naito, Tetsuro Miyazaki, Kazunori Kajino, Hiroyuki Daida	循環器内科学講座	Fulminant Pneumococcal Infection	BMJ Case Report
340	Sasaki S, Daimon M, Kawata T, Miyazaki S, Ichikawa R, Maruyama M, Shuo-Ju Chiang, Mahara K, Watanabe H, Sumiyoshi T, Tomoike H, Daida H.	循環器内科学講座	Factors responsible for elevated plasma B-type natriuretic peptide levels in severe aortic stenosis: comparison between elderly and younger patients.	J Cardiol 64 476-481
341	Ainai A, Atsuta R, Shirabe K, Toda S, Wakabayashi-Takahara M, Morishima T, Ichiyama T, Hasegawa S, Wakiguchi H, Okada S, Gui Kang Y, Fujii N, Hasegawa Akamatsu H, Kaira K,	呼吸器内科学講座	Cytokine profile of bronchoalveolar lavage fluid from a mouse model of bronchial asthma during seasonal H1N1 infection.	Cytokine. 2014 Oct;69(2):206-10.
342	Murakami H, Serizawa M, Koh Y, Ono A, Shukuya T, Tsuya A, Nakamura Y, Kenmotsu H, Naito T, Takahashi T, Endo M, Akamatsu H, Koh Y,	呼吸器内科学講座	The Impact of Clinical Outcomes According to EGFR Mutation Status in Patients with Locally Advanced Lung Adenocarcinoma Who Received	Am J Clin Oncol 2014;37(2): 144-7.
343	Kenmotsu H, Naito T, Serizawa M, Kimura M, Mori K, Imai H, Ono A, Shukuya T, Taira T, Murakami H, Ohde Y, Endo M, Nakajima Akamatsu H, Mori K, Naito T, Imai H, Ono A, Shukuya T, Taira T, Kenmotsu H,	呼吸器内科学講座	Multiplexed molecular profiling of lung cancer using pleural effusion	J Thorac Oncol. 2014 Jul;9(7):1048-52.
344	Murakami H, Endo M, Harada H, Takahashi T, Yamamoto N.	呼吸器内科学講座	Progression-free survival at 2 years is a reliable surrogate marker for the 5-year survival rate in patients with locally advanced non-small cell lung cancer	BMC Cancer. 2014 Jan 14;14:18.
345	Ando K, Kaneko N, Doi T, Aoshima M, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Prevalence and risk factors of aortic aneurysm in patients with chronic obstructive pulmonary disease	J Thorac Dis. 2014; Oct;6(10):1388-95
346	Ando K, Takahashi F, Kato M, Kaneko N, Doi T, Ohe Y, Koizumi F, Nishio K, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Tocilizumab, a proposed therapy for the cachexia of interleukin6-expressing lung cancer.	PLoS One. 2014; Jul;9(7): e102436
347	Fujii M, Iwakami S, Itoigawa Y, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Interesting radiological images of a tuberculous abscess.	Intern Med. 2014; 53(10):1097-8
348	Haga T, Kataoka H, Ebana H, Otsuji M, Seyama K, Tatsumi K, Kurihara M.	呼吸器内科学講座	Thoracic endometriosis-related pneumothorax distinguished from primary spontaneous pneumothorax in females.	Lung. 2014; Aug;192(4):583-7.
349	Hasegawa S, Wakiguchi H, Okada S, Gui Kang Y, Fujii N, Hasegawa M, Hasegawa H, Ainai A, Atsuta R, Shirabe K, Toda S, Wakabayashi-Takahara M,	呼吸器内科学講座	Cytokine profile of bronchoalveolar lavage fluid from a mouse model of bronchial asthma during seasonal H1N1 infection	Cytokine. 2014; Oct;69(2):206-10
350	Imai H, Takahashi T, Mori K, Ono A, Akamatsu H, Shukuya T, Taira T, Kenmotsu H, Naito T, Murakami H, Endo M, Nakajima T, Yamamoto N.	呼吸器内科学講座	Individual-level data on the relationships of progression-free survival, post-progression survival, and tumor response with overall survival in patients with advanced non-	Neoplasma. 2014;61(2):233-40.
351	Ito R, Gon Y, Nunomura S, Atsuta R, Harada N, Hattori T, Maruoka S, Okayama Y, Ra C, Hashimoto S.	呼吸器内科学講座	Development of assay for determining free IgE levels in serum from patients treated with omalizumab.	Allergol Int. 2014 May;63 Suppl 1:37-47.
352	Iwakami S, Ihara H, Fujii M, Takahashi K	呼吸器内科学講座	A pulmonary nodule exhibiting temporary spontaneous regression.	Intern Med. 2014; 53(4): 337-8
353	Kamachi F, Harada N, Usui Y, Sakanishi T, Ishii N, Okumura K, Miyake S, Akiba H	呼吸器内科学講座	OX40 ligand regulates splenic CD8 ⁺ dendritic cell-induced Th2 responses in vivo.	Biochem Biophys Res Commun. 2014 Feb 7;444(2):235-40.
354	Kanaji N, Basma H, Nelson A, Farid M, Sato T, Nakanishi M, Wang X, Michalski J, Li Y, Gunji Y, Feghali-Bostwick C, Liu X, Rennard S,	呼吸器内科学講座	Fibroblasts that resist cigarette smoke-induced senescence acquire profibrotic phenotypes.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 2014 Sep 1;307(5):L364-73.
355	Kato M, Shukuya T, Takahashi F, Mori K, Suina K, Asao T, Kanemaru R, Honma Y, Muraki K, Sugano K, Shibayama R, Koyama R, Shimada N, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Pemetrexed for advanced non-small cell lung cancer patients with interstitial lung disease.	BMC Cancer .2014;Jul;14(1): 508

356	Ko R, Kenmotsu H, Hisamatsu Y, Akamatsu H, Omori S, Nakashima K, Oyakawa T, Wakuda K, Shukuya T, Ono A, Imai H, Taira T, Naito T, Murakami	呼吸器内科学講座	The effect of gefitinib in patients with postoperative recurrent non-small cell lung cancer harboring mutations of the epidermal growth factor receptor.	Int J Clin Oncol. 2014; Oct 25. [Epub ahead of print]
357	Koike K, Ishigami A, Sato Y, Hirai T, Yuan Y, Kobayashi E, Tobino K, Sato T, Sekiya M, Takahashi K, Fukuchi Y, Maruyama N, Seyama K.	呼吸器内科学講座	Vitamin C prevents cigarette smoke-induced pulmonary emphysema in mice and provides pulmonary restoration.	Am J Respir Cell Mol Biol. 2014; 50(2):347-57
358	Kumasaka T, Hayashi I, Mitani K, Kataoka H, Kikkawa M, Tobino K, Kobayashi E, Gunji Y, Kunogi M, Kurihara M, Seyama K.	呼吸器内科学講座	Characterization of pulmonary cysts in Birt-Hogg-Dubé syndrome: histopathological and morphometric analysis of 229 pulmonary cysts from 50	Histopathology. 2014; Jul;65(1):100-10.
359	Kuriyama S, Morio Y, Toba M, Nagaoka T, Takahashi F, Iwakami S, Seyama K, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Genistein attenuates hypoxic pulmonary hypertension via enhanced nitric oxide signaling and the erythropoietin system.	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 2014; Jun 1;306(11):L996-
360	Li YJ, Kanaji N, Wang XQ, Sato T, Nakanishi M, Kim M, Michalski J, Nelson AJ, Farid M, Basma H, Patil A, Toews ML, Liu X, Rennard SL	呼吸器内科学講座	Prostaglandin E2 switches from a stimulator to an inhibitor of cell migration after epithelial-to-mesenchymal transition.	Prostaglandins Other Lipid Mediat. 2014; Oct 31;116-117C:1-9
361	Mizugaki H, Fujiwara Y, Yamamoto N, Yagishita S, Kitazono S, Tanaka A, Horinouchi H, Kanda S, Nokihara H, Tsuta K, Asamura H, Tamura T.	呼吸器内科学講座	Adjuvant chemotherapy in patients with completely resected small cell lung cancer: a retrospective analysis of 26 consecutive cases.	Jpn J Clin Oncol. 2014; Sep;44(9):835-40.
362	Murakami A, Hayashi T, Terao Y, Mori T, Kumasaka T, Seyama K, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Cystic, nodular and cavitory metastases to the lungs in a patient with endometrial stromal sarcoma of the uterus.	Intern Med. 2014; 53(9):1001-5
363	Murakami A, Takahashi F, Nurwidya F, Kobayashi I, Minakata K, Hashimoto M, Nara T, Kato M, Tajima K, Shimada N, Iwakami S, Moriyama M, Moriyama H.	呼吸器内科学講座	Hypoxia increases gefitinib-resistant lung cancer stem cells through the activation of insulin-like growth factor 1 receptor.	PLoS One. 2014; Jan; 9(1): e86459
364	Nakagawa N, Saito Y, Sasaki M, Tsuda Y, Mochizuki H, Takahashi H	呼吸器内科学講座	Comparison of clinical profile in elderly patients with nursing and healthcare-associated pneumonia, and those with community-acquired pneumonia.	Geriatr Gerontol Int. 2014; Apr;14(2):362-71
365	Nakashita T, Ando K, Kaneko N, Takahashi K, Motojima S.	呼吸器内科学講座	Potential risk of TNF inhibitors on the progression of interstitial lung disease in patients with rheumatoid arthritis.	BMJ Open 2014; 4:e005615
366	Nurwidya F, Takahashi F, Kobayashi I, Murakami A, Kato M, Minakata K, Nara T, Hashimoto M, Yagishita Y, Baskoro H, Hidayat M, Shimada N, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Treatment with insulin-like growth factor 1 receptor inhibitor reverses hypoxia-induced epithelial-mesenchymal transition in non-small cell lung cancer	Biochem Biophys Res Commun. 2014; 12;455(3-4):332-8
367	Sato T, Suzuki Y, Mori T, Maeda M, Abe M, Hino O, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Newly established ELISA for N-ERC/mesothelin improves diagnostic accuracy in patients with suspected pleural mesothelioma.	Cancer Med. 2014; Oct;3(5):1377-84
368	Sekimoto Y, Nishizaki Y, Sesoko M, Sai E, Yamashita H, Yamagami S, Daida H.	呼吸器内科学講座	Syncope due to paroxysmal complete atrioventricular block in a patient with aortic valve stenosis.	Intern Med. 2014;53(12):1347-9. Epub 2014 Jun 15
369	Shiota S, Inoue Y, Takekawa H, Kotajima M, Nakajyo M, Usui C, Yoshioka Y, Koga T, Takahashi K.	呼吸器内科学講座	Effect of continuous positive airway pressure on regional cerebral blood flow during wakefulness in obstructive sleep apnea.	Sleep Breath. 2014; 18(2):289-95.
370	Shukuya T, Serizawa M, Watanabe M, Akamatsu H, Abe M, Imai H, Tokito T, Ono A, Taira T, Kenmotsu H, Naito T, Murakami H, Takahashi T, Endo M, Ohde	呼吸器内科学講座	Identification of actionable mutations in malignant pleural mesothelioma.	Lung Cancer. 2014; Oct;86(1):35-40.
371	Shukuya T, Takahashi T, Imai H, Tokito T, Ono A, Akamatsu H, Taira T, Kenmotsu H, Naito T, Murakami H, Endo M, Yamamoto N.	呼吸器内科学講座	Comparison of cisplatin plus pemetrexed and cisplatin plus gemcitabine for the treatment of malignant pleural mesothelioma in Japanese patients.	Respir Investig. 2014; Mar;52(2):101-6.
372	Suina K, Hayashi T, Mitani K, Suzuki K, Takahashi K, Seyama K.	呼吸器内科学講座	What's the role of sirolimus on the treatment of lymphangioleiomyomatosis (LAM)?: Merely tuning up of LAM-associated dysfunctional lymphatic vessels	Respir Investig. 2014; Jul;52(4):274-6

373	Toba M, Alzoubi A, O'Neill K, Abe K, Urakami T, Komatsu M, Alvarez D, Järvinen TA, Mann D, Ruoslahti E, McMurtry IF, Oka M	呼吸器内科学講座	A novel vascular homing peptide strategy to selectively enhance pulmonary drug efficacy in pulmonary arterial hypertension	Am J Pathol. 2014; Feb;184(2):369-75
374	Toba M, Alzoubi A, O'Neill KD, Gairhe S, Matsumoto Y, Oshima K, Abe K, Oka M, McMurtry IF	呼吸器内科学講座	Temporal hemodynamic and histological progression in Sugen5416/hypoxia/normoxia-exposed pulmonary arterial hypertensive rats.	Am J Physiol Heart Circ Physiol. 2014; 306(2):H243-50
375	Tokito I, Shukuya I, Akamatsu H, Ono A, Taira T, Kenmotsu H, Naito T, Murakami H, Takahashi T, Endo M, Mori K, Yamamoto N	呼吸器内科学講座	Toxicity and efficacy of chemotherapy for non-small cell lung cancer with cavitory lesions.	Respir Investig. 2014; May;52(3):184-9.
376	Tomiki Y, Dambara T, Okuda T, Nishizuka M, Kempe K, Suzuki T, Shimizu T	呼吸器内科学講座	Knowledge in Reflected in Clinical Skills and Attitudes in Medical Education: Relationships Between CBT/Graduation Examination and	JUNTENDO MEDICAL JOURNAL. 2014; 60:43-48
377	Wang XQ, Mao LJ, Fang QH, Kobayashi T, Kim HJ, Sugiura H, Kawasaki S, Togo S, Kamio K, Liu X, Rennard SL	呼吸器内科学講座	Sphingosylphosphorylcholine induces α -smooth muscle actin expression in human lung fibroblasts and fibroblast-mediated gel contraction via S1P2 receptor and	Prostaglandins Other Lipid Mediat. 2014; Jan;108:23-30.
378	Yagishita S, Horinouchi H, Katsui Taniyama T, Nakamichi S, Kitazono S, Mizugaki H, Kanda S, Fujiwara Y, Nokihara H, Yamamoto N, Sumi M	呼吸器内科学講座	Epidermal Growth Factor Receptor Mutation Is Associated With Longer Local Control After Definitive Chemoradiotherapy in Patients With Stage	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2014 Oct 13. pii: S0360-3016(14)04051-6.
379	Pereira S, Park E, Mori Y, Haber CA, Han P, Uchida T, Stavara L, Oprescu AI, Koulaian K, Ivovic A, Yu Z, Li D, Bowman TA, Dewald J, El-Benna J, Brindley DN	代謝内科学講座	FFA-induced Hepatic Insulin Resistance in vivo is mediated by PKC- δ , NADPH Oxidase, and Oxidative Stress	Am J Physiol Endocrinol Metab, 307: E34-46, 2014
380	Katakami N, Kaneto H, Matsuoka TA, Takahara M, Osonoi T, Saitou M, Kawai K, Ishibashi F, Kashiwagi A, Kawamori R, Shimomura I, Yamazaki Y	代謝内科学講座	Accumulation of oxidative stress-related gene polymorphisms and the risk of coronary heart disease events in patients with type 2 diabetes - An 8-year	Atherosclerosis, 235: 408-414, 2014
381	Miyashita K, Miyatsuka T, Matsuoka TA, Sasaki S, Takebe S, Yasuda T, Watada H, Kaneto H, Shimomura I	代謝内科学講座	Sequential introduction and dosage balance of defined transcription factors affect reprogramming efficiency from pancreatic duct cells into insulin-producing cells	Biochem Biophys Res Commun, 444: 514-519, 2014
382	Yamamoto E, Uchida T, Abe H, Taka H, Fujimura T, Komiya K, Hara A, Ogihara T, Fujitani Y, Ueno T, Takeda S, Watada H	代謝内科学講座	Increased expression of ERp57/GRP58 is protective against pancreatic beta cell death caused by autophagic failure	Biochem Biophys Res Commun, 453: 19-24, 2014
383	Inagaki N, Ueki K, Tanizawa Y, Watada H, Nakamura J, Yamada Y, Shimomura I, Nishimura R, Yamazaki T, Kadowaki T	代謝内科学講座	Protocol for a large-scale prospective observational study with alogliptin in patients with type 2 diabetes: J-BRAND Registry	BMJ Open, 4: e004760, 2014
384	Kaku K, Watada H, Iwamoto Y, Utsunomiya K, Terachi Y, Tobe K, Tanizawa Y, Araki E, Ueda M, Suganami H, Watanabe D	代謝内科学講座	Efficacy and safety of monotherapy with the novel sodium/glucose cotransporter-2 inhibitor tofogliflozin in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus: a combined	Cardiovasc Diabetol, 13: 65, 2014
385	Sawada N, Jiang A, Takizawa F, Safdar A, Manika A, Tesmenitsky Y, Kang KT, Bischoff J, Kalwa H, Sartoretto JL, Kamei Y, Benjamin JE, Watada H	代謝内科学講座	Endothelial PGC-1 α mediates vascular dysfunction in diabetes	Cell Metab, 19: 246-258, 2014
386	Osonoi Y, Mita T, Osonoi I, Saito M, Tamasawa A, Nakayama S, Someya Y, Ishida H, Kanazawa A, Gosho M, Fujitani Y, Watada H	代謝内科学講座	Morningness-eveningness questionnaire score and metabolic parameters in patients with type 2 diabetes mellitus	Chronobiol Int, 31: 1017-1023, 2014
387	Ogawa H, Matsui K, Saito Y, Sugiyama S, Jinnouchi H, Sugawara M, Masuda I, Mori H, Waki M, Yoshiyama M, Watada H	代謝内科学講座	Differences between rosuvastatin and atorvastatin in lipid-lowering action and effect on glucose metabolism in Japanese hypercholesterolemic patients with	Circ J, 78: 2512-2515, 2014
388	Miyatsuka T, Matsuoka TA, Sasaki S, Kubo F, Shimomura I, Watada H, German MS, Hara M	代謝内科学講座	Chronological analysis with Fluorescent Timer reveals unique features of newly generated beta cells	Diabetes, 63: 3388-3393, 2014
389	Sato J, Kanazawa A, Ikeda F, Yoshihara T, Goto H, Abe H, Komiya K, Kawaguchi M, Shimizu T, Ogihara T, Tamura Y, Sakurai Y, Yamamoto R	代謝内科学講座	Gut dysbiosis and detection of "live gut bacteria" in blood of Japanese patients with type 2 diabetes	Diabetes Care, 37: 2343-2350, 2014

390	Weng J, Soegondo S, Schnell O, Sheu WH, Grzeszczak W, Watada H, Yamamoto N, Kalra S	代謝内分泌学講座	Efficacy of acarbose in different geographical regions of the world: analysis of a real-life database	Diabetes Metab Res Rev, 31: 155-167, 2014
391	Sanke H, Mita T, Yoshii H, Yokota A, Yamashiro K, Ingaki N, Onuma T, Someya Y, Komiya K, Tamura Y, Shimizu T, Ohmura C, Kanazawa A, Fujitani	代謝内分泌学講座	Relationship between olfactory dysfunction and cognitive impairment in elderly patients with type 2 diabetes mellitus	Diabetes Res Clin Pract, 106: 465-473, 2014
392	Sato F, Mita T, Yamamoto R, Hirose T, Ito C, Tamura Y, Yokota A, Someya Y, Uchida T, Uchino H, Kawamori R, Goshō M, Kanazawa A, Watada H	代謝内分泌学講座	Reliability and validity of the Japanese version of the Diabetes Quality-Of-Life questionnaire for Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	Diabetol Int, 5: 21-29, 2014
393	Shigihara N, Uchida T, Yorifuji T, Toyofuku Y, Tamaki M, Fujitani Y, Watada H	代謝内分泌学講座	Olmesartan and telmisartan comparably preserve pancreatic beta-cell mass with reduction of oxidative stress in db/db mice	Diabetol Int, 5: 62-68, 2014
394	Mita T, Katakami N, Shiraiwa T, Yoshii H, Onuma T, Kuribayashi N, Osonoi T, Kaneto H, Kosugi K, Umayahara Y, Yamamoto T, Matsumoto K, Yokoyama H	代謝内分泌学講座	Rationale, design, and baseline characteristics of a clinical trial for prevention of atherosclerosis in patients with insulin-treated type 2 diabetes	Diabetol Metab Syndr, 6: 35, 2014
395	Uchida T, Goto H, Kasai T, Komiya K, Takeno K, Abe H, Shigihara N, Sato J, Honda A, Mita T, Kanazawa A, Fujitani Y, Watada H	代謝内分泌学講座	Therapeutic effectiveness of potassium iodine in drug-naïve patients with Graves' disease: a single-center experience	Endocrine, 47: 506-511, 2014
396	Yasunari E, Mita T, Osonoi Y, Azuma K, Goto H, Ohmura C, Kanazawa A, Kawamori R, Fujitani Y, Watada H	代謝内分泌学講座	Repetitive hypoglycemia increases circulating adrenaline level with resultant worsening of intimal thickening after vascular injury in male Goto-Kakizaki rat	Endocrinology, 155: 2244-2253, 2014
397	Tanizawa Y, Kaku K, Araki E, Tobe K, Terauchi Y, Utsunomiya K, Iwamoto Y, Watada H, Ohtsuka W, Watanabe D, Suganami H	代謝内分泌学講座	Long-term safety and efficacy of tofogliflozin, a selective inhibitor of sodium-glucose cotransporter 2, as monotherapy or in combination with other	Expert Opin Pharmacother, 15: 749-766, 2014
398	Hara K, Fujita H, Johnson TA, Yamauchi T, Yasuda K, Horikoshi M, Peng C, Hu C, Ma RC, Imamura M, Iwata M, Tsunoda T, Morizono T, Shojima N, So WY, Leung Yokoi H, Nohara K, Daida H, Hata M, Kaku K, Kawamori R, Kishimoto J, Kurabayashi M, Masuda I, Sakuma I, Yamazaki T, Yoshida M	代謝内分泌学講座	Genome-wide association study identifies three novel loci for type 2 diabetes	Hum Mol Genet, 23: 239-246, 2014
399	Uchida T, Kasai T, Takagi A, Sekita G, Komiya K, Takeno K, Shigihara N, Shimada K, Miyauchi K, Fujitani Y, Daida H, Watada H	代謝内分泌学講座	Change in carotid intima-media thickness in a high-risk group of patients by intensive lipid-lowering therapy with rosuvastatin	Int Heart J, 55: 146-152, 2014
400	Inami Y, Hamada C, Seto T, Hotta Y, Aruga S, Inuma J, Azuma K, Ito H, Kaneko K, Watada H, Tomino Y	代謝内分泌学講座	Prevalence of amiodarone-induced thyrotoxicosis and associated risk factors in Japanese patients	Int J Endocrinol, 2014: 534904, 2014
401	Kuroda K, Uchida T, Nagai S, Ozaki R, Yamaguchi T, Sato Y, Brosens JJ, Takoda S	代謝内分泌学講座	Effect of AST-120 on Endothelial Dysfunction in Adenine-Induced Uremic Rats	Int J Nephrol, 2014: 164125, 2014
402	Daida H, Nohara K, Hata M, Kaku K, Kawamori R, Kishimoto J, Kurabayashi M, Masuda I, Sakuma I, Yamazaki T, Yokoi H, Yoshida M	代謝内分泌学講座	Elevated serum thyroid-stimulating hormone is associated with decreased anti-Mullerian hormone in infertile women of reproductive age	J Assist Reprod Genet, 32: 243-247, 2014
403	Teramoto T, Kawamori R, Miyazaki S, Teramukai S, Sato Y, Okuda Y, Shirayama M	代謝内分泌学講座	Can intensive lipid-lowering therapy improve the carotid intima-media thickness in Japanese subjects under primary prevention for cardiovascular disease?	J Atheroscler Thromb, 21: 739-754, 2014
404	Yoshii H, Onuma T, Yamazaki T, Watada H, Matsuhisa M, Matsumoto M, Kitagawa K, Kitakaze M, Yamasaki Y, Kawamori R	代謝内分泌学講座	Lipid and blood pressure control for the prevention of cardiovascular disease in hypertensive patients: A subanalysis of the OMEGA study	J Atheroscler Thromb, 22: 62-75, 2014
405	Kawaguchi M, Tamura Y, Kakehi S, Takeno K, Sakurai Y, Watanabe T, Funayama T, Sato F, Ikeda S, Ogura Y, Saga N, Naito H, Fujitani Y, Kanazawa A, Kawamori	代謝内分泌学講座	Effects of pioglitazone on macrovascular events in patients with type 2 diabetes mellitus at high risk of stroke: The PROFIT-1 Study	J Atheroscler Thromb, 21: 563-573, 2014
406		代謝内分泌学講座	Association between expression of FABPpm in skeletal muscle and insulin sensitivity in intramyocellular-lipid-accumulated non-obese men	J Clin Endocrinol Metab, 99: 3343-3352, 2014

407	Shigihara N, Fukunaka A, Hara A, Komiya K, Honda A, Uchida T, Abe H, Toyofuku Y, Tamaki M, Ogihara T, Miyatsuka T, Hiddinga HJ, Sakagashira S.	代謝内分泌学講座	Human IAPP-induced pancreatic beta cell toxicity and its regulation by autophagy	J Clin Invest, 124: 3634-3644, 2014
408	Uchida T, Shigihara N, Takeno K, Komiya K, Goto H, Abe H, Sato J, Honda A, Fujitani Y, Watada H	代謝内分泌学講座	Characteristics of patients with graves disease and intrathyroid hypovascularity compared to painless thyroiditis	J Ultrasound Med, 33: 1791-1796, 2014
409	Kawamori R, Kaku K, Hanafusa T, Oikawa T, Kageyama S, Hotta N	代謝内分泌学講座	Effect of combination therapy with repaglinide and metformin hydrochloride on glycemic control in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus	Journal of Diabetes Investigation, 5: 72-79, 2014
410	Kudo-Fujimaki K, Hirose T, Yoshihara T, Sato F, Someya Y, Ohmura C, Kanazawa A, Fujitani Y, Watada H	代謝内分泌学講座	Efficacy and safety of nateglinide plus vildagliptin combination therapy compared with switching to vildagliptin in type 2 diabetes patients inadequately controlled	Journal of Diabetes Investigation, 5: 400-409, 2014
411	Watanabe T, Tamura Y, Kakehi S, Funayama T, Takeno K, Kawaguchi M, Yamamoto L, Sato F, Ikeda S, Taka H, Fujimura T, Fujitani Y, Kawamori	代謝内分泌学講座	Effects of sitagliptin on ectopic fat contents and glucose metabolism in type 2 diabetic patients with fatty liver: A pilot study	Journal of Diabetes Investigation, 6: 164-172, 2014
412	Shimoji K, Uka T, Tamura Y, Yoshida M, Kamagata K, Hori M, Motoi Y, Watada H, Kawamori R, Aoki S	代謝内分泌学講座	Diffusional kurtosis imaging analysis in patients with hypertension	Jpn J Radiol, 32: 98-104, 2014
413	Bin BH, Hojyo S, Hosaka I, Bhin J, Kano H, Miyai T, Ikeda M, Kimura-Someya T, Shirouzu M, Cho EG, Fukue K, Kambe T, Ohashi W, Kim KH, Seo J, Choi DH, Nam	代謝内分泌学講座	Molecular pathogenesis of spondylocheirodysplastic Ehlers-Danlos syndrome caused by mutant ZIP13 proteins	EMBO Mol Med. 2014;6:1028-1042
414	Wakabayashi K, Hamada C, Kanda R, Nakano T, Io H, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Adipose-derived mesenchymal stem cells transplantation facilitate experimental peritoneal fibrosis repair by suppressing epithelial-mesenchymal transition.	J Nephrol, 2014
415	Shimamoto M, Ohsawa I, Suzuki H, Hisada A, Nagamachi S, Honda D, Inoshita H, Shimizu Y, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Impact of Body Mass Index on Progression of IgA Nephropathy Among Japanese Patients.	J Clin Lab Anal, 2014
416	Satake K, Shimizu Y, Sasaki Y, Yanagawa H, Suzuki H, Suzuki Y, Horikoshi S, Honda S, Shibuya K, Shibuya A, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Serum under-O-glycosylated IgA1 level is not correlated with glomerular IgA deposition based upon heterogeneity in the composition of immune complexes in IgA	BMC Nephrol, 2014 Jun 13;15:89.
417	Tomino Y.	腎臓内科学講座	Fluctuation of serum C3 levels reflects disease activity and metabolic background in patients with IgA nephropathy: response to comment.	J Nephrol, 2014 Aug;27(4):463.
418	Nagamachi S, Ohsawa I, Suzuki H, Sato N, Inoshita H, Hisada A, Honda D, Shimamoto M, Shimizu Y, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Properdin has an ascendancy over factor H regulation in complement-mediated renal tubular damage.	BMC Nephrol, 2014;15:82
419	Yanagawa H, Suzuki H, Suzuki Y, Kiryluk K, Gharavi AG, Matsuoka K, Makita Y, Julian BA, Novak J, Tomino Y.	腎臓内科学講座	A panel of serum biomarkers differentiates IgA nephropathy from other renal diseases.	PLoS One, 2014 May 23;9(5):e98081.
420	Inami Y, Hamada C, Seto T, Hotta Y, Aruga S, Inuma J, Azuma K, Io H, Kaneko K, Watada H, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Effect of AST-120 on Endothelial Dysfunction in Adenine-Induced Uremic Rats.	Int J Nephrol. 2014;2014:164125.
421	Aizawa M, Suzuki Y, Suzuki H, Pang H, Kihara M, Nakata J, Yamaji K, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Uncoupling of glomerular IgA deposition and disease progression in alymphoplasia mice with IgA nephropathy.	PLoS One, 2014 Apr 17;9(4):e95365.
422	Akizawa T, Saito A, Gejyo F, Suzuki M, Nishizawa Y, Tomino Y, Tsubakihara Y, Akiba T, Hirakata H, Watanabe Y, Kawanishi H, Bessho M, Udagawa Y, Aoki Shimamoto K, Aitdo K,	腎臓内科学講座	Impacts of recombinant human erythropoietin treatment during predialysis periods on the progression of chronic kidney disease in a large-scale cohort	Ther Apher Dial. 2014 Apr;18(2):140-8.
423	Fujita T, Hasebe N, Higaki J, Horiuchi M, Imai Y, Imaizumi T, Ishimitsu T, Ito M, Ito S, Itoh H, Iwao H, Kai H, Kario K, Kashihara N,	腎臓内科学講座	The Japanese Society of Hypertension Guidelines for the Management of Hypertension (JSH 2014).	Hypertens Res. 2014 Apr;37(4):253-390.

424	Oliva Trejo JA, Asanuma K, Kim EH, Takagi-Akiba M, Nonaka K, Hidaka T, Komatsu M, Tada N, Ueno T, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Transient increase in proteinuria, poly-ubiquitylated proteins and ER stress markers in podocyte-specific autophagy-deficient mice following unilateral	Biochem Biophys Res Commun. 2014 Apr 18;446(4):1190-6.
425	Omote K, Gohda T, Murakoshi M, Sasaki Y, Kazuno S, Fujimura T, Ishizaka M, Sonoda Y, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Role of the TNF pathway in the progression of diabetic nephropathy in KK-A(y) mice.	Am J Physiol Renal Physiol. 2014 Jun 1;306(11):F1335-47.
426	Kawamura T, Yoshimura M, Miyazaki Y, Okamoto H, Kimura K, Hirano K, Matsushima M, Utsunomiya Y, Ogura M, Yokoo T, Okonogi H, Ishii T.	腎臓内科学講座	A multicenter randomized controlled trial of tonsillectomy combined with steroid pulse therapy in patients with immunoglobulin A nephropathy.	Nephrol Dial Transplant. 2014 Aug;29(8):1546-53.
427	Maiguma M, Suzuki Y, Suzuki H, Okazaki K, Aizawa M, Muto M, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Dietary zinc is a key environmental modifier in the progression of IgA nephropathy.	PLoS One. 2014 Feb 28;9(2):e90558.
428	Nakata J, Suzuki Y, Suzuki H, Sato D, Kano T, Yanagawa H, Matsuzaki K, Horikoshi S, Novak J, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Changes in nephritogenic serum galactose-deficient IgA1 in IgA nephropathy following tonsillectomy and steroid therapy.	PLoS One. 2014 Feb 21;9(2):e89707.
429	Akizawa T, Saito A, Gejyo F, Suzuki M, Nishizawa Y, Tomino Y, Tsubakihara Y, Akiba T, Hirakata H, Watanabe Y, Kawanishi H, Bessho M, Udagawa Y, Aoki Tanaka E, Asanuma K, Kim E, Sasaki Y, Oliva Trejo JA, Seki T, Nonaka K, Asao R, Nagai-Hosoe Y, Akiba-Takagi M, Hidaka T, Takagi M, Koyanagi A, Mizutani S.	腎臓内科学講座	Low Hemoglobin Levels and Hypo-Responsiveness to Erythropoiesis-Stimulating Agent Associated With Poor Survival in Incident Japanese Hemodialysis	Ther Apher Dial. 2014 Oct;18(5):404-13.
430	Seto T, Hamada C, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Notch2 activation ameliorates nephrosis.	Nat Commun. 2014;5:3296.
431	Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, Okazaki K, Yanagawa H, Ieiri N, Sato M, Sato T, Taguma Y, Matsuoaka J, Horikoshi S, Novak J, Hotta O, Tomino Hosoya J, Kimura K, Itoh S, Inaba M, Uchida S, Tomino Y, Makino H, Matsuo S, Yamamoto T, Ohno I, Shibagaki Y, Iimuro S, Imai N, Kuwabara M, Hayakawa	腎臓内科学講座	Suppressive effects of iron overloading on vascular calcification in uremic rats.	J Nephrol. 2014 Apr;27(2):135-42.
432	Suzuki H, Raska M, Yamada K, Moldoveanu Z, Julian BA, Wyatt RJ, Tomino Y, Gharavi AG, Novak J.	腎臓内科学講座	Serum levels of galactose-deficient immunoglobulin (Ig) A1 and related immune complex are associated with disease activity of IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol. 2014 Oct;18(5):770-7.
433	Io H, Maeda K, Sekiguchi Y, Shimaoka T, Aruga S, Nakata J, Nakamoto H, Hotta Y, Koyanagi I, Inaba M, Kanda R, Nakano T, Wakabayashi K, Sasaki Y.	腎臓内科学講座	The effect of febuxostat to prevent a further reduction in renal function of patients with hyperuricemia who have never had gout and are complicated by	Trials. 2014 Jan 16;15:26.
434	Nakamoto H, Hamada C, Shimaoka T, Sekiguchi Y, Io H, Kaneko K, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Cytokines alter IgA1 O-glycosylation by dysregulating C1GalT1 and ST6GalNAc-II enzymes.	J Biol Chem. 2014 Feb 21;289(8):5330-9.
435	Kanda R, Hamada C, Kaneko K, Nakano T, Wakabayashi K, Hara K, Io H, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Accumulation of advanced glycation end products and beta 2-microglobulin in fibrotic thickening of the peritoneum in long-term peritoneal dialysis patients.	J Artif Organs. 2014 Mar;17(1):60-8.
436	Miyazaki Y, Kawamura T, Joh K, Okonogi H, Koike K, Utsunomiya Y, Ogura M, Matsushima M, Yoshimura M, Horikoshi S, Suzuki Y, Furusu A, Yasuda T, Shirai	腎臓内科学講座	Comparison between the fixation of peritoneal dialysis catheters to the peritoneal wall and the conventional placement technique: clinical experience	Semin Dial. 2014 Jul-Aug;27(4):E42-7.
437	Kanda R, Hamada C, Kaneko K, Nakano T, Wakabayashi K, Hara K, Io H, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Paracrine effects of transplanted mesothelial cells isolated from temperature-sensitive SV40 large T-antigen gene transgenic rats during	Nephrol Dial Transplant. 2014 Feb;29(2):289-300.
438	Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, Sakamoto N, Joh K, Kawamura T, Tomino Y, Matsuo S.	腎臓内科学講座	Overestimation of the risk of progression to end-stage renal disease in the poor prognosis' group according to the 2002 Japanese histological classification for	Clin Exp Nephrol. 2014 Jun;18(3):475-80.
439	Wakabayashi K, Asanuma K, Takeda Y, Arakawa A, Osawa I, Horikoshi S, Yao T, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Proposal of remission criteria for IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol. 2014 Jun;18(3):481-6.
440		腎臓内科学講座	Hyaline vascular type of unicentric Castleman's disease with proliferation of glomerular endothelial cells.	Clin Nephrol. 2014 Jun;81(6):445-50.

441	Seki T, Asanuma K, Asao R, Nonaka K, Sasaki Y, Oliva Trejo JA, Kurosawa H, Hirayama Y, Horikoshi S, Tomino Y, Saito A.	腎臓内科学講座	Significance of urinary full-length megalin in patients with IgA nephropathy.	PLoS One. 2014 Dec 12;9(12):e114400.
442	Tomino Y,	腎臓内科学講座	Pathogenesis and treatment of chronic kidney disease: a review of our recent basic and clinical data.	Kidney Blood Press Res. 2014;39(5):450-89.
443	Yamaji K, Suzuki Y, Suzuki H, Satake K, Horikoshi S, Novak J, Tomino Y.	腎臓内科学講座	The kinetics of glomerular deposition of nephritogenic IgA.	PLoS One. 2014 Nov 19;9(11):e113005.
444	Suzuki Y, Suzuki H, Makita Y, Takahata A, Takahashi K, Muto M, Sasaki Y, Kelimu A, Matsuzaki K, Yanagawa H, Okazaki K, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Diagnosis and activity assessment of immunoglobulin A nephropathy: current perspectives on noninvasive testing with aberrantly glycosylated immunoglobulin A-	Int J Nephrol Renovasc Dis. 2014 Oct 30;7:409-14.
445	Wakabayashi K, Hamada C, Kanda R, Nakano T, Io H, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	ORAL ASTAXANTHIN SUPPLEMENTATION PREVENTS PERITONEAL FIBROSIS IN RATS.	Perit Dial Int. 2014 Oct 7. pii: pdi.2013.00317. [Epub ahead of
446	Ohsawa I, Honda D, Nagamachi S, Hisada A, Shimamoto M, Inoshita H, Mano S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Clinical and laboratory characteristics that differentiate hereditary angioedema in 72 patients with angioedema.	Allergol Int. 2014 Dec;63(4):595-602.
447	Shimizu Y, Sonoda A, Nogi C, Ogushi Y, Kanda R Yamaguchi S, Nohara N, Aoki T, Yamada K, Nakata J, Io H, Kuruu A, Hamada C, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	B-type (brain) natriuretic peptide and pruritus in hemodialysis patients.	Int J Nephrol Renovasc Dis. 2014 Aug 25;7:329-35.
448	Wakabayashi K, Hamada C, Kanda R, Nakano T, Io H, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Adipose-derived mesenchymal stem cells transplantation facilitate experimental peritoneal fibrosis repair by suppressing epithelial-mesenchymal transition.	J Nephrol. 2014 Oct;27(5):507-14.
449	Shimamoto M, Ohsawa I, Suzuki H, Hisada A, Nagamachi S, Honda D, Inoshita H, Shimizu Y, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Impact of Body Mass Index on Progression of IgA Nephropathy Among Japanese Patients.	J Clin Lab Anal. 2014 Aug 17.
450	Satake K, Shimizu Y, Sasaki Y, Yanagawa H, Suzuki H, Suzuki Y, Horikoshi S, Honda S, Shibuya K, Shibuya A, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Serum under-O-glycosylated IgA1 level is not correlated with glomerular IgA deposition based upon heterogeneity in the composition of immune complexes in IgA	BMC Nephrol. 2014 Jun 13;15:89.
451	Tomino Y.	腎臓内科学講座	Fluctuation of serum C3 levels reflects disease activity and metabolic background in patients with IgA nephropathy: response to comment.	J Nephrol. 2014 Aug;27(4):463.
452	Nagamachi S, Ohsawa I, Suzuki H, Sato N, Inoshita H, Hisada A, Honda D, Shimamoto M, Shimizu Y, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Properdin has an ascendancy over factor H regulation in complement-mediated renal tubular damage.	BMC Nephrol. 2014 May 22;15:82.
453	Yanagawa H, Suzuki H, Suzuki Y, Kiryluk K, Gharavi AG, Matsuoka K, Makita Y, Julian BA, Novak J, Tomino Y.	腎臓内科学講座	A panel of serum biomarkers differentiates IgA nephropathy from other renal diseases.	PLoS One. 2014 May 23;9(5):e98081.
454	Inami Y, Hamada C, Seto T, Hotta Y, Aruga S, Inuma J, Azuma K, Io H, Kaneko K, Watada H, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Effect of AST-120 on Endothelial Dysfunction in Adenine-Induced Uremic Rats.	Int J Nephrol. 2014;2014:164125.
455	Aizawa M, Suzuki Y, Suzuki H, Pang H, Kihara M, Nakata J, Yamaji K, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Uncoupling of glomerular IgA deposition and disease progression in alymphoplasia mice with IgA nephropathy.	PLoS One. 2014 Apr 17;9(4):e95365.
456	Akizawa T, Saito A, Gejyo F, Suzuki M, Nishizawa Y, Tomino Y, Tsubakihara Y, Akiba T, Hirakata H, Watanabe Y, Kawanishi H, Bessho M, Udagawa Y, Aoki	腎臓内科学講座	Impacts of recombinant human erythropoietin treatment during predialysis periods on the progression of chronic kidney disease in a large-scale cohort	Ther Apher Dial. 2014 Apr;18(2):140-8.
457	Oliva Trejo JA, Asanuma K, Kim EH, Takagi-Akiba M, Nonaka K, Hidaka T, Komatsu M, Tada N, Ueno T, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Transient increase in proteinuria, poly-ubiquitylated proteins and ER stress markers in podocyte-specific autophagy-deficient mice following unilateral	Biochem Biophys Res Commun. 2014 Apr 18;446(4):1190-6.

458	Omote K, Gohda T, Murakoshi M, Sasaki Y, Kazuno S, Fujimura T, Ishizaka M, Sonoda Y1 Tomino Y.	腎臓内科学講座	Role of the TNF pathway in the progression of diabetic nephropathy in KK-A(y) mice.	Am J Physiol Renal Physiol. 2014 Jun 1;306(11):F1335-47.
459	Kawamura T, Yoshimura M, Miyazaki Y, Okamoto H, Kimura K, Hirano K, Matsushima M, Utsunomiya Y, Ogura M, Yokoo T, Okonogi H, Ishii T.	腎臓内科学講座	A multicenter randomized controlled trial of tonsillectomy combined with steroid pulse therapy in patients with immunoglobulin A nephropathy.	Nephrol Dial Transplant. 2014 Aug;29(8):1546-53.
460	Maiguma M, Suzuki Y, Suzuki H, Okazaki K, Aizawa M, Muto M, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Dietary zinc is a key environmental modifier in the progression of IgA nephropathy.	PLoS One. 2014 Feb 28;9(2):e90558.
461	Nakata J, Suzuki Y, Suzuki H, Sato D, Kano T, Yanagawa H, Matsuzaki K, Horikoshi S, Novak J, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Changes in nephritogenic serum galactose-deficient IgA1 in IgA nephropathy following tonsillectomy and steroid therapy.	PLoS One. 2014 Feb 21;9(2):e89707.
462	Akizawa T, Saito A, Gejyo F, Suzuki M, Nishizawa Y, Tomino Y, Tsubakihara Y, Akiba T, Hirakata H, Watanabe Y, Kawanishi H, Bessho M, Udagawa Y, Aoki Tanaka E, Asanuma K, Kim E, Sasaki Y, Oliva Trejo JA, Seki T, Nonaka K, Asao R, Nagai-Hosoe Y, Akiba-Takagi M, Hidaka T, Takagi M, Koyanagi A, Mizutani S.	腎臓内科学講座	Low hemoglobin levels and hyporesponsiveness to erythropoiesis-stimulating agent associated with poor survival in incident Japanese hemodialysis	Ther Apher Dial. 2014 Oct;18(5):404-13.
463	Tanaka E, Asanuma K, Kim E, Sasaki Y, Oliva Trejo JA, Seki T, Nonaka K, Asao R, Nagai-Hosoe Y, Akiba-Takagi M, Hidaka T, Takagi M, Koyanagi A, Mizutani S.	腎臓内科学講座	Notch2 activation ameliorates nephrosis.	Nat Commun. 2014;5:3296.
464	Seto T, Hamada C, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Suppressive effects of iron overloading on vascular calcification in uremic rats.	J Nephrol. 2014 Apr;27(2):135-42.
465	Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, Okazaki K, Yanagawa H, Ieiri N, Sato M, Sato T, Taguma Y, Matsuo K, Horikoshi S, Novak J, Hotta O, Tomino Y, Hosoya T, Kimura K, Itoh S, Inaba M, Uchida S, Tomino Y, Makino H, Matsuo S, Yamamoto T, Ohno I, Shibagaki Y, Jimuro S, Imai N, Kuwabara M, Havakava M.	腎臓内科学講座	Serum levels of galactose-deficient immunoglobulin (Ig) A1 and related immune complex are associated with disease activity of IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol. 2014 Oct;18(5):770-7.
466	Hosoya T, Kimura K, Itoh S, Inaba M, Uchida S, Tomino Y, Makino H, Matsuo S, Yamamoto T, Ohno I, Shibagaki Y, Jimuro S, Imai N, Kuwabara M, Havakava M.	腎臓内科学講座	The effect of febuxostat to prevent a further reduction in renal function of patients with hyperuricemia who have never had gout and are complicated by	Trials. 2014 Jan 16;15:26.
467	Suzuki H, Raska M, Yamada K, Moldoveanu Z, Julian BA, Wyatt RJ, Tomino Y, Gharavi AG, Novak J.	腎臓内科学講座	Cytokines alter IgA1 O-glycosylation by dysregulating C1GalT1 and ST6GalNAc-II enzymes.	J Biol Chem. 2014 Feb 21;289(8):5330-9.
468	Nakamoto H, Hamada C, Shimaoka T, Sekiguchi Y, Ito H, Kaneko K, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Accumulation of advanced glycation end products and beta 2-microglobulin in fibrotic thickening of the peritoneum in long-term peritoneal dialysis patients.	J Artif Organs. 2014 Mar;17(1):60-8.
469	Ito H, Maeda K, Sekiguchi Y, Shimaoka T, Aruga S, Nakata J, Nakamoto H, Hotta Y, Koyanagi I, Inaba M, Kanda R, Nakano T, Wakabayashi K, Sasaki Y.	腎臓内科学講座	Comparison between the fixation of peritoneal dialysis catheters to the peritoneal wall and the conventional placement technique: clinical experience	Semin Dial. 2014 Jul-Aug;27(4):E42-7.
470	Kanda R, Hamada C, Kaneko K, Nakano T, Wakabayashi K, Hara K, Ito H, Horikoshi S, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Paracrine effects of transplanted mesothelial cells isolated from temperature-sensitive SV40 large T-antigen gene transgenic rats during	Nephrol Dial Transplant. 2014 Feb;29(2):289-300.
471	Miyazaki Y, Kawamura T, Joh K, Okonogi H, Koike K, Utsunomiya Y, Ogura M, Matsushima M, Yoshimura M, Horikoshi S, Suzuki Y, Furusu A, Yasuda T, Shirai	腎臓内科学講座	Overestimation of the risk of progression to end-stage renal disease in the poor prognosis' group according to the 2002 Japanese histological classification for	Clin Exp Nephrol. 2014 Jun;18(3):475-80.
472	Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, Sakamoto N, Joh K, Kawamura T, Tomino Y, Matsuo S.	腎臓内科学講座	Proposal of remission criteria for IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol. 2014 Jun;18(3):481-6.
473	Wakabayashi K, Asanuma K, Takeda Y, Arakawa A, Osawa I, Horikoshi S, Yao T, Tomino Y.	腎臓内科学講座	Hyaline vascular type of unicentric Castleman's disease with proliferation of glomerular endothelial cells.	Clin Nephrol. 2014 Jun;81(6):445-50.
474	Kajihara T, Tanaka K, Oguro T, Tochigi H, Prechapanich J, Uchino S, Itakura A, Sucurovic S, Murakami K, Brosens JJ, Ishihara O.	産婦人科学講座	Androgens modulate the morphological characteristics of human endometrial stromal cells decidualized in vitro.	Reprod Sci. 2014; 21: 372-380.

475	Matsumura Y, Yamamoto Y, Kikuchi I, Takahashi N, Mtsuda Y, Saito T, Yorifuji T, Makino S, Itakura A, Takeda S.	産婦人科学講座	Early detection of thrombosis after cesarean section using changes in D-dimer levels.	Hypertens Res Pregnancy 2014; 2:26-29
476	Ishihara O, Araki R, Kuwahara A, Itakura A, Saito H, Adamson DG.	産婦人科学講座	The impact of frozen-thawed single blastocyst transfer on maternal and neonatal outcome: Ananalysis of 277,042 single embryo transfer cycles between	Fertil Steril. 2014; 101: 128-33.
477	Yorifuji T, Makino S, Yamamoto Y, Tanaka T, Itakura A, Takeda S.	産婦人科学講座	Effectiveness of delayed absorbable monofilament suture in emergency cerclage.	Taiwan J Obstet Gynecol. 2014; 53: 382-4.
478	AOKI Y, KIKUCHI I, Kumakiri J, Kitade M, Shinjo A, Ozaki R, Kawasaki Y, Takeda S.	産婦人科学講座	Long unidirectional barbed suturing technique with extracorporeal traction in laparoscopic myomectomy.	BMC Surg. 2014 Oct 27;14(1):84
479	Kumakiri J, Kikuchi I, Kitade M, Jinushi M, Shinjo A, Takeda S.	産婦人科学講座	Potential risk of port-site adhesions in patients after laparoscopic myomectomy using radially expanding trocars.	Int J Gynaecol Obstet. 2014 Sep 18.
480	Kikuchi I, Kuwatsuru R, Yamazaki K, Kumakiri J, Aoki Y, Takeda S.	産婦人科学講座	Evaluation of the Usefulness of the MRI Jelly Method for Diagnosing Complete Cul-de-Sac Obliteration.	Biomed Res Int. 2014; 2014:437962
481	Kikuchi I, Kawaga N, Silber S, et.al.	産婦人科学講座	Successful ovarian vitrification and back-transplantation to preserve fertility in a patient requiring chemotherapy for malignant lymphoma.	J Blood Lymph 2014 4: 116.
482	Yojro Maruyama ,Toshiaki Miyazaki, Kazuhiro Ikeda, Toshiyuki Okumura, Wataru Sato, Kuniko Horie-Inoue, Koji Okamoto, Satoru Takeda.	産婦人科学講座	Short Hairpin RNA Library-Based Functional Screening Identified Ribosomal Protein L31 That Modulates Prostate Cancer Cell Growth via p53 Pathway	PLoS ONE 9(10): e108743. doi:10.1371/journal.pone.0108743
483	Keiji Kuroda, Toyoyoshi Uchida, Saki Nagai, Rie Ozaki, Takashi Yamaguchi, Yuichi Sato, Jan J Brosens, SatoruTakeda	産婦人科学講座	Elevated serum thyroid-stimulating hormone is associated with decreased anti-Müllerian hormone in infertile women of reproductive age.	J Assist Reprod Genet. 2014 in press
484	Koji Nakagawa, Joanne Kwak-Kim, Kuniaki Ota, Keiji Kuroda, Michi Hisano, Rikikazu Sugiyama, Koushi Yamaguchi	産婦人科学講座	Immunosuppression with Tacrolimus Improved Reproductive Outcome of Women with Repeated Implantation Failure and Elevated Peripheral Blood Th1/Th2	Am J Reprod Immunol. 2014 in press
485	C Gong, K Fujino, LJ Monteiro, AR Gomes, R Drost, H Davidson-Smith, S Takeda, US Khoo, J Jonkers, D Sproul and EW-F Lam	産婦人科学講座	FOXAI repression is associated with loss of BRCA1 and increased promoter methylation and chromatin silencing in breast cancer	Oncogene, 2014 22 December
486	Murakami K, Lee YH, Lucas ES, Chan YW, Durairaj RP, Takeda S, Moore JD, Tan BK, Quenby S, Chan JK, Gargett CE, Brosens JJ.	産婦人科学講座	Decidualization induces a secretome switch in perivascular niche cells of the human endometrium.	Endocrinology. 2014;155(11):4542-53.
487	Matsumura Y, Yamamoto Y, Kikuchi I, Takahashi N, Matsuda Y, Saito T, Yorifuji T, Makino S, Itakura A, Takeda S.	産婦人科学講座	Early detection of thrombosis after cesarean section using changes in D-dimer levels	Hypertension Research in Pregnancy 2(1), 26-29, 2014
488	Tanaka T, Makino S, Yorifuji T, Saito T, Koshiishi T, Tanaka S, Ota A, Takeda S	産婦人科学講座	Vertical compression sutures for control of postpartum hemorrhage from a placenta previa in cesarean section - To evaluate the usefulness of this technique.	Hypertension reseach in pregnancy. 2(1) 21-25 2014
489	Yorifuji T, Makino S, Yamamoto Y, Tanaka T, Itakura A, Takeda S	産婦人科学講座	Effectiveness of delayed absorbable monofilament suture in emergency cerclage.	Taiwan J Obstet Gynecol. 53: 382-384, 2014
490	Okabe F, Makino S, Kato K, Matsuoka K, Seki H, Takeda S	産婦人科学講座	The effect of progesterone on genes involved in preterm labor.	J Reprod Immunol. 104-105:80-91. 2014
491	Nishioka E, Yokoyama K, Matsukawa T, Vigh M, Hirayama S, Ueno T, Miida T, Makino S, Takeda S	産婦人科学講座	Evidence that birth weight is decreased by maternal lead levels below 5 µg/dl in male newborns	Reprod Toxicol. 2014;47:21-6

492	Matsumura Y, Yamamoto Y, Kikuchi I, Takahashi N, Matsuda Y, Saito T, Yorifuji T, Makino S, Itakura A, Takeda S.	産婦人科学講座	Early detection of thrombosis after cesarean section using changes in D-dimer levels.	Hypertens Res Pregnancy 2014;2:26-29.
493	Yamamoto Y, Thebaud B, Vadivel A, Eaton F, Jain V, Hornberger LK.	産婦人科学講座	Doppler parameters of fetal lung hypoplasia and impact of sildenafil.	Am J Obstet Gynecol. 2014;211(3):263.e1-8.
494	Yuko Matsumura, Yuka Yamamoto, Iwaho Kikuchi, Nanase Takahashi, Yuko Matsuda, Tomomi Saito, Takashi Yorifuji, Shintaro Makino, Atsuo Itakura.	産婦人科学講座	Prediction of thrombosis after cesarean section using the change of D-dimer level	Hypertension Resarch in pregnancy 2014(2: 26-29)
495	Tanaka T, Makino S, Yorifuji T, Saito T, Koshiishi T, Tanaka S, Ota A, Takeda S.	産婦人科学講座	Vertical compression sutures for control of postpartum hemorrhage from a placenta previa in cesarean section.	Hypertension research in pregnancy, 2014; 2: 21-25
496	Kumakiri J, Kikuchi I, Kitade M, Jinushi M, Shinjo A, Takeda S.	産婦人科学講座	Potential risk of port-site adhesions in patients after laparoscopic myomectomy using radially expanding trocars.	Int J Gynaecol Obstet. 2015;128(1):5-9.
497	AOKI Y, KIKUCHI I, Kumakiri J, Kitade M, Shinjo A, Ozaki R, Kawasaki Y, Takeda S.	産婦人科学講座	Long unidirectional barbed suturing technique with extracorporeal traction in laparoscopic myomectomy.	BMC Surg. 2014 27;14:84.
498	Kazunori Kinoshita, Jun Takeda, Kikumitsu Matsuoka, Satoru Takeda, Yutaka Eguchi, Hiroshi Oda, Naomi Eguchi, Yoshihiro Urade	産婦人科学講座	L-PGDS levels in preeclampsia Expression of lipocalin-type prostaglandin D synthase in preeclampsia patients: a novel marker for preeclampsia Hypertension Research In	Hypertens Res Pregnancy 2014; 2: 72-77
499	Satoru Takeda, Jun Takeda, Taro Koshiishi, Shintaro Makino, Katsuyuki Kinoshita	産婦人科学講座	Fetal station based on the trapezoidal plane and assessment of head descent during instrumental delivery	Hypertens Res Pregnancy 2014; 2: 65-71
500	AOKI Y, KIKUCHI I, Kumakiri J, Kitade M, Shinjo A, Ozaki R, Kawasaki Y, Takeda S.	産婦人科学講座	Long unidirectional barbed suturing technique with extracorporeal traction in laparoscopic myomectomy.	BMC Surg. 2014 Oct 27;14(1):84
501	Arihiro S, Satoshi Y, Masao N, Yoshiharu T, Satoru T, Motoi S, Koyo Y, Atsushi T, Mami M, Kozo A, Shoko N, Katsuhiko T, Noriaki I, Masanobu O, Tomoya M.	産婦人科学講座	Multiple pregnancy, short cervix, part-time worker, steroid use, low educational level and male fetus are risk factors for preterm birth in Japan: A multicenter, prospective	J. Obstet. Gynaecol. Res. Vol. 40, No. 1: 53-61, January 2014
502	Kumakiri J, Kikuchi I, Kitade M, Jinushi M, Shinjo A, Takeda S.	産婦人科学講座	Potential risk of port-site adhesions in patients after laparoscopic myomectomy using radially expanding trocars.	Int J Gynaecol Obstet. 2014 Sep 18.
503	Kikuchi I, Kuwatsuru R, Yamazaki K, Kumakiri J, Aoki Y, Takeda S	産婦人科学講座	Evaluation of the Usefulness of the MRI Jelly Method for Diagnosing Complete Cul-de-Sac Obliteration.	Biomed Res Int. 2014; 2014:437962
504	Kikuchi I, Kawaga N, Silber S	産婦人科学講座	et.al.Successful ovarian vitrification and back-transplantation to preserve fertility in a patient requiring chemotherapy for malignant lymphoma.	J Blood Lymph 2014 4: 116
505	Saeki H, Suzuki C, Yamasaki S, Hashizume A, Izumi H, Suzuki F, Ishi K, Nojima M, Hino O, Saeki HI, Suzuki C, Yamasaki S, Hashizume A, Izumi H, Suzuki F, Ishi K.	産婦人科学講座	Cotyledonoid dissecting leiomyoma of the uterus: report of two cases.	Arch Gynecol Obstet. 2014 Aug 13
506	Yusuf N, Inagaki T, Kusunoki S, Okabe H, Yamada I, Matsumoto A, Terao Y, Takeda S, Kato K	産婦人科学講座	SPARC was overexpressed in human endometrial cancer stem-like cells and promoted migration activity.	Gynecol Oncol. 2014 Apr 25. pii: S0090-8258(14)00866-
507	Goto Y, Kametani Y, Kikugawa A, Tsuda B, Miyazawa M, Kajiwara H, Terao Y, Takekoshi S, Nakamura N, Takeda S, Mikami M	産婦人科学講座	Defect of tropomyosin-related kinase B isotype expression in ovarian clear cell adenocarcinoma	Biosci Trends. 2014;8(2):93-100.
508	Yoshinori I surusaki, Eriko Koshimizu, Hirofumi Ohashi, Shubha Phadke, Ikuyo Kou, Masaaki Shina, Toshitomi Suzuki I, Nobuhiko Okamoto, Shintaro Imamura.	産婦人科学講座	De novo SOX11 mutations cause Coffin-Siris syndrome	NATURE COMMUNICATIONS 5:4011, DOI: 10.1038/ncomms50

509	Keisuke Murakami, Yie Hou Lee, Emma S Lucas, Yi-Wah Chan, Ruban Peter Durairaj, Satoru Takeda, Jonathan D. Moore, Bee K Tan, Siobhan Quenby, Jerry K. Y.	産婦人科学講座	Decidualization induces a secretome switch in perivascular niche cells of the human endometrium.	Endocrinology doi: 10.1210/en.2014-1370
510	Yamamoto E, Uchida T, Abe H, Taka H, Fujimura T, Komiya K, Hara A, Ogihara T, Fujitani Y, Ueno T, Takeda S, Watada H.	産婦人科学講座	Increased expression of ERp57/GRP58 is protective against pancreatic beta cell death caused by autophagic failure.	Biochem Biophys Res Commun. 2014 Sep 18. pii: S0006-291X(14)01656-8.
511	Maruyama Y, Miyazaki T, Ikeda K, Okumura T, Sato W, Horie-Inoue K, Okamoto K, Takeda S, Inoue S.	産婦人科学講座	Short Hairpin RNA Library-Based Functional Screening Identified Ribosomal Protein L31 That Modulates Prostate Cancer Cell Growth via p53 Pathway.	PLoS One. 2014 Oct 6;9(10):e108743. doi:
512	Suzuki T, Tsurusaki Y, Nakashima M, Miyake N, Saitsu H, Takeda S, Matsumoto N	産婦人科学講座	Precise detection of chromosomal translocation or inversion breakpoints by whole-genome sequencing.	Journal of Human Genetics (2014), 2014; doi:10.1038/jhg.20
513	Shirane S, Araki M, Morishita S, Edahiro Y, Takei H, Choi M, Sunami Y, Hironaka Y, Noguchi M, Koike M, Noda N, Ohsaka A.	内科学血液学講座	JAK2, CARL, and MPL mutation spectrum in Japanese myeloproliferative neoplasms patients.	Haematologica, 2014; 99(5): 625-634
514	Aoki T, Izutsu K, Suzuki R, Nakaseko C, Arima H, Shimada K, Tomita A, Sasaki M, Takizawa J, Mitani K, Igarashi T, Maeda Y, Fukuhara N, Ishida E, Niitsu	内科学血液学講座	Prognostic significance of pleural or pericardial effusion and the implication of optimal treatment in primary mediastinal large B-cell lymphoma: a multicenter	Haematologica, 2014; 99: 1817-1825
515	Yasuda H, Takaku T, Tomomatsu J, Hosone M, Tanaka H, Komatsu N.	内科学血液学講座	Spontaneous Regression of Cutaneous Blastic Plasmacytoid Dendritic Cell Neoplasm Followed by Acute Monocytic Leukemia Evolving from Myelodysplastic	Intern Med, 2014; 53(23): 2717-2720.
516	Edahiro Y, Morishita S, Takahashi K, Hironaka Y, Yahata Y, Sunami Y, Shirane S, Tsutsui M, Noguchi M, Koike M, Imai K, Kirito K, Noda N, Sekisuchi Y.	内科学血液学講座	JAK2V617F mutation status and allele burden in classical Ph-negative myeloproliferative neoplasms in Japan.	Int J Hematol, 2014; 99: 625-634.
517	Komatsu N.	内科学血液学講座	Guest editorial: Acute promyelocytic leukemia: change from "highly fatal to highly curable" leukemia.	Int J Hematol, 2014; 100: 16-17
518	Takei H, Morishita S, Araki M, Edahiro Y, Sunami Y, Hironaka Y, Noda N, Sekiguchi Y, Tsuneda S, Ohsaka A, Komatsu N.	内科学血液学講座	Detection of MPLW515L/K mutations and determination of allele frequencies with a single-tube PCR assay.	PLOS ONE., 2014; 9(8): e104958
519	Koike M, Masuda A, Ichikawa K, Shigemitsu A, Komatsu N.	内科学血液学講座	Plasmablastic lymphoma of the duodenal and jejunum.	Int J Clin Exp pathol, 2014; 15: 4479-4483
520	Lam K, Muselman A, Du R, Harada Y, Scholl AG, Yan M, Matsuura S, Weng S, Harada H, Zhang DE.	内科学血液学講座	Hmga2 is a direct target gene of RUNX1 and regulates expansion of myeloid progenitors in mice.	Blood, 2014; 124(14): 2203-2212
521	Nakahara F, Kitaura J, Uchida T, Nishida C, Togami K, Inoue D, Matsukawa T, Kagiya Y, Enomoto Y, Kawabata KC, Chen-Yi L, Komeno Y, Izawa K, Oki T.	内科学血液学講座	Hes1 promotes blast crisis in chronic myelogenous leukemia through MMP-9 upregulation in leukemic cells.	Blood, 2014; 123(25): 3932-3942
522	Kimura Y, Gotoh A, Katagiri S, Hoshi Y, Uchida S, Yamasaki A, Takahashi Y, Fukutake K, Kiguchi T, Ohyashiki K.	内科学血液学講座	Transfusion-transmitted hepatitis E in a patient with myelodysplastic syndromes.	Blood Transfus, 2014; 12(1): 103-106
523	Uchida T, Kitaura J, Nakahara F, Togami K, Inoue D, Maehara A, Nishimura K, Kawabata KC, Doki N, Kakihana K, Yoshioka K, Izawa K, Oki T.	内科学血液学講座	Hes1 upregulation contributes to the development of FIP1L1-PDGRA-positive leukemia in blast crisis.	Exp Hematol, 2014; 42(5):369-379
524	Mitsumori T, Nozaki Y, Kawashima I, Yamamoto T, Shobu Y, Nakajima K, Morishita S, Komatsu N, Kirito K.	内科学血液学講座	Hypoxia inhibits JAK2V617F activation via suppression of SHP-2 function in myeloproliferative neoplasm cells.	Exp Hematol, 2014; 42(9): 783-792
525	Ngo MC, Ando J, Leen AM, Ennamuri S, Lapteva N, Vera JF, Min-Venditti A, Mims MP, Heslop HE, Bollard CM, Gottschalk S, Rooney CM.	内科学血液学講座	Complementation of antigen-presenting cells to generate T lymphocytes with broad target specificity.	J Immunother, 2014; 37(4): 193-203

526	Sakurai M, Kunimoto H, Watanabe N, Fukuchi Y, Yuasa S, Yamazaki S, Nishimura T, Sadahira K, Fukuda K, Okano H, Nakauchi H, Morita Y, Sashida G, Harada H, Matsui H, Oshima M, Yui M, Harada Y, Tanaka S, Mochizuki-Kashio M, Wang C, Saraya A, Muto T, Hayashi Y, Suzuki K, Yoshimi A, Ioya T, Kawazu M, Ueno T, Tsukamoto A, Iizuka H, Nakagawa M, Nannya Y, Arai S, Harada H, Usuki K, Hayashi Y, Ito E, Kirito K, Nakajima H.	内科学血液学講座	Impaired hematopoietic differentiation of RUNX1-mutated induced pluripotent stem cells derived from FPD/AML patients.	Leukemia, 2014; 28(12): 2344-2354
527	Sekiguchi Y, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sugimoto K, Nakamura N, Sawada T, Ohta Y, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	Ezh2 loss promotes development of myelodysplastic syndrome but attenuates its predisposition to leukaemic transformation.	Nat Commun, 2014; 5: 4177
528	Sekiguchi Y, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sugimoto K, Nakamura N, Sawada T, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	Recurrent CDC25C mutations drive malignant transformation in FPD/AML.	Nat Commun, 2014; 5: 4770
529	Sekiguchi Y, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sugimoto K, Nakamura N, Sawada T, Ohta Y, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	A Case of Advanced Primary Thyroid Double-Hit B Cell Lymphoma in Which Complete Remission has been Maintained After High-Dose Chemotherapy and Patient with refractory multiple myeloma developing eosinophilia after lenalidomide treatment and lung cancer 9 months later: case report and review of the literature.	Indian J Hematol Blood Transfus, 2014; Suppl 1: 166-173
530	Sekiguchi Y, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sugimoto K, Nakamura N, Sawada T, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	Acquired factor v inhibitor developing after treatment with dabigatran etexilate methanesulfonate: a case report and review of the literature.	Indian J Hematol Blood Transfus, 2014; Suppl 1: 264-270
531	Sekiguchi Y, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sugimoto K, Nakamura N, Sawada T, Ichinose T, Ozaki D, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	Spontaneous regression of a clinically-advanced histologically low-grade follicular lymphoma involving the breast: case report and review of the literature.	Indian J Hematol Blood Transfus, 2014; Suppl 1: 275-279
532	Ichikawa K, Noguchi M, Koike M, Aritaka N, Sekiguchi Y, Sunami Y, Tsutsui M, Hosone M, Hirano T, Gotoh A, Komatsu N.	内科学血液学講座	Rituximab plus a CHOP-like regimen, central nervous system prophylaxis, and contralateral testicular irradiation for localized primary testicular diffuse large B-1-cell lymphoblastic leukemia/lymphoma with t(7;14)(p15;q32) [TCR γ -TCL1A translocation]: a case report and a review of the literature.	Int J Hematol, 2014; 100(4): 370-378
533	Sugimoto KJ, Shimada A, Wakabayashi M, Sekiguchi Y, Izumi H, Ota Y, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	A case of recurrent autoimmune hemolytic anemia during remission associated with acute pure red cell aplasia and hemophagocytic syndrome due to human intravascular large B-cell lymphoma with pontine involvement successfully treated with R-CHOP therapy and intrathecal administration: a case report and review of literature.	Int J Clin Exp Pathol, 2014; 7(5): 2615-2623
534	Sekiguchi Y, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sugimoto K, Nakamura N, Sawada T, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	Primary platelet-derived growth factor-producing, spindle-shaped diffuse large B-cell lymphoma of the skull: a case report and literature review.	Int J Clin Exp Pathol, 2014; 7(5): 2624-2635
535	Sekiguchi Y, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sugimoto K, Kinoshita A, Suga Y, Tomita S, Izumi H, Nakamura N, Sawada T, Ohta Y, Komatsu N.	内科学血液学講座	A case of post-mogamulizumab relapse of acute-type adult T-cell leukemia/lymphoma successfully treated with mogamulizumab and etoposide.	Int J Clin Exp Pathol, 2014; 7(6): 3363-3369
536	Sekiguchi Y, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sugimoto K, Tomita S, Izumi H, Nakamura N, Sawada T, Ohta Y, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	A case of secondary plasma cell leukemia resistant to novel agents, in which stringent complete remission was achieved and maintained for a long period of time	Int J Clin Exp Pathol, 2014; 7(7): 4381-4390
537	Wakabayashi M, Sekiguchi Y, Shimada A, Ichikawa K, Sugimoto K, Tomita S, Izumi H, Nakamura N, Sawada T, Ohta Y, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	Diffuse large B-cell lymphoma solely involving bilateral adrenal glands and stomach: report of an extremely rare case with review of the literature.	Int J Clin Exp Pathol, 2014; 7(9): 6278-6290
538	Sugimoto KJ, Shimada A, Ichikawa K, Wakabayashi M, Sekiguchi Y, Izumi H, Ota Y, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	IgG3 subclass-positive primary thymic MALT lymphoma without trisomy 3 and trisomy 18: report of a case and review of literature.	Int J Clin Exp Pathol, 2014; 7(9): 6313-6322
539	Ichikawa K, Noguchi M, Koike M, Aritaka N, Sekiguchi Y, Sunami Y, Tsutsui M, Hosone M, Hirano T, Gotoh A, Komatsu N.	内科学血液学講座	Rituximab plus a CHOP-like regimen, central nervous system prophylaxis, and contralateral testicular irradiation for localized primary testicular diffuse large B-	Int J Clin Exp Pathol, 2014; 7(11): 8190-8197
540	Ichikawa K, Noguchi M, Koike M, Aritaka N, Sekiguchi Y, Sunami Y, Tsutsui M, Hosone M, Hirano T, Gotoh A, Komatsu N.	内科学血液学講座	Localized primary testicular diffuse large B-	Int J Clin Exp Pathol, 2014; 7(12): 8980-8987
541	Ichikawa K, Noguchi M, Koike M, Aritaka N, Sekiguchi Y, Sunami Y, Tsutsui M, Hosone M, Hirano T, Gotoh A, Komatsu N.	内科学血液学講座	Localized primary testicular diffuse large B-	Int J Hematol, 2014; 100(4): 370-378
542	Ichikawa K, Noguchi M, Koike M, Aritaka N, Sekiguchi Y, Sunami Y, Tsutsui M, Hosone M, Hirano T, Gotoh A, Komatsu N.	内科学血液学講座	Localized primary testicular diffuse large B-	Int J Hematol, 2014; 100(4): 370-378

543	Sakurai H, Sugimoto KJ, Shimada A, Imai H, Wakabayashi M, Sekiguchi Y, Ota Y, Izutsu K, Takeuchi K, Komatsu N, Noguchi M.	内科学血液学講座	Primary CNS CCND1/MYC-Positive Double-Hit B-Cell Lymphoma: A Case Report and Review of the Literature.	J Clin Oncol, 2014; Mar 31.
544	Mor A, Ueno Y, Shimura H; Sekiguchi Y, Noguchi M, Hamada Y, Kusunoki S, Kuroki T, Kambe T, Nishioka K, Hoshino Y, Hattori N, Urabe T.	内科学血液学講座	Motor-dominant polyneuropathy due to IgM monoclonal antibody against disialosyl gangliosides in a patient with mantle cell lymphoma.	J Neurol Sci, 2014; 337(1-2): 215-218
545	Sugimoto KJ, Shimada A, Wakabayashi M, Sekiguchi Y, Nakamura N, Sawada T, Ota Y, Komatsu N, Noguchi M	内科学血液学講座	CD56-positive adult T-cell leukemia/lymphoma: a case report and a review of the literature.	Med Mol Morphol, 2014;
546	Gordon CT, Jimenez-Fernandez S, Daniels LB, Kahn AM, Tarsa M, Matsubara T, Shimizu C, Burns JC, Gordon JB.	小児科学講座	Pregnancy in women with a history of Kawasaki disease: management and outcomes.	BJOG 121:1431-8.
547	Hamasaki Y, Kofoe Y, Ebisawa M, Kondo N, Nishima S, Nishimuta T, Morikawa A, Aihara Y, Akasawa A, Adachi Y, Arakawa H, Ikebe T.	小児科学講座	Japanese pediatric guideline for the treatment and management of bronchial asthma 2012.	Pediatr Int 56:441-50.
548	Okada S, Hasegawa S, Suzuki Y, Matsubara T, Shimomura M, Okuda M, Ichiyama T, Ohga S.	小児科学講座	Acute pericardial effusion representing the TNF- α -mediated severe inflammation but not the coronary artery outcome of Kawasaki disease.	Scand J Rheumatol 29:1-6.
549	Iijima K, Sako M, Nozu K, Mori R, Tsuchida N, Kamei K, Miura K, Aya K, Nakanishi K, Ohtomo Y, Takahashi S, Tanaka R, Kaito H, Nakamura H.	小児科学講座	Rituximab for childhood-onset, complicated, frequently relapsing nephrotic syndrome or steroid-dependent nephrotic syndrome: a multicentre, double-blind.	Lancet 384:1273-81.
550	Kantake M, Yoshitake H, Ishikawa H, Araki Y, Shimizu T.	小児科学講座	Postnatal epigenetic modification of glucocorticoid receptor gene in preterm infants: a prospective cohort study.	BMJ Open 4:e005318.
551	Shibuya S, Ogasawara Y, Izumi H, Kantake M, Obinata K, Yoshida K, Lane GJ, Yamagata A, Okazaki T.	小児科学講座	A case of congenital diaphragmatic hernia with intradiaphragmatic pulmonary sequestration: case report and literature review.	Pediatr Surg Int 30: 961-3.
552	Okumura A, Yamamoto T, Miyajima M, Shimojima K, Kondo S, Abe S, Ikeno M, Shimizu T.	小児科学講座	3p Interstitial Deletion Including PRICKLE2 in Identical Twins With Autistic Features.	Pediatr Neurol 51:730-3.
553	Okumura A, Abe S, Nakazawa M, Shimizu T.	小児科学講座	Is attitude toward epilepsy and driving affected by media coverage?.	Pediatr Int 56:759-62.
554	Arai E, Fujimaki T, Yanagawa A, Fujiki K, Yokoyama T, Okumura A, Shimizu T, Murakami A.	小児科学講座	Familial cases of Norrie disease detected by copy number analysis.	Jpn J Ophthalmol 58:448-54.
555	Ando N, Okumura A, Kobayashi S, Negishi Y, Hattori A, Okanishi T, Abe S, Ikeno M, Igarashi A, Saitoh S, Shimizu T.	小児科学講座	Fulminant encephalopathy with marked brain edema and bilateral thalamic lesions.	Neuro Pediatrics 45:256-60.
556	Akagi K, Kawai T, Watanabe N, Yokoyama M, Arai K, Harayama S, Oana S, Onodera M.	小児科学講座	A case of macrophage activation syndrome developing in a patient with chronic granulomatous disease-associated colitis.	J Pediatr Hematol Oncol 36:169-72.
557	Watanabe T, Shimizu T, Takahashi M, Sato K, Ohno M, Fuchimoto Y, Maekawa T, Arai K, Mizutani K, Morimoto N, Kanamori Y.	小児科学講座	Cricopharyngeal achalasia treated with myectomy and post-operative high-resolution manometry.	Int J Pediatr Otorhinolaryngol 78:1182-5.
558	Watanabe T, Arai K, Takahashi M, Ohno M, Sato K, Fuchimoto Y, Wada T, Ida S, Kawahara H, Kanamori Y.	小児科学講座	Esophago-gastric motility and nutritional management in a child with ATR-X syndrome.	Pediatr Int 56:48-51.
559	Nakanishi K, Kawasaki S, Takahashi K, Shimizu T, Amano A.	小児科学講座	Successful treatment of a rare case of neonatal Ebstein anomaly in a very low-birth-weight premature neonate.	J Card Surg 29:709-11.

560	Sugano H, Nakanishi H, Nakajima M, Higo T, Iimura Y, Tanaka K, Hosozawa M, Nijima S, Arai H.	小児科学講座	Posterior quadrant disconnection surgery for Sturge-Weber syndrome.	Epilepsia 55:683-9.
561	Niizuma T, Okumura A, Kinoshita K, Shimizu T.	小児科学講座	Acute encephalopathy associated with human metapneumovirus infection.	Jpn J Infect Dis 67:213-5.
562	Curciarello R, Steele A, Cooper D, MacDonald TT, Kruidenier L, Kudo T	小児科学講座	The role of Galectin-1 and Galectin-3 in the mucosal immune response to Citrobacter rodentium infection.	PLoS One 9:e107933.
563	Shoji H, Murano Y, Mori M, Matsunaga N, Ohkawa N, Saganuma H, Ikeno M, Hisata K, Hirayama S, Ueno T, Miida T, Shimizu T.	小児科学講座	Lipid profile and atherogenic indices soon after birth in Japanese preterm infants.	Acta Paediatr 103:22-6.
564	Shoji H, Ikeda N, Hosozawa M, Ohkawa N, Matsunaga N, Saganuma H, Hisata K, Tanaka K, Shimizu T.	小児科学講座	Oxidative stress early in infancy and neurodevelopmental outcome in very low-birthweight infants.	Pediatr Int 56:709-13.
565	Hirano D, Fujinaga S, Shinozaki T, Endo A, Watanabe T, Murakami H, Ida H.	小児科学講座	Optimal urinary protein-to-creatinine ratio as a renal biopsy criterion in children with asymptomatic proteinuria.	Clin Nephrol 82:115-21.
566	Endo A, Watanabe K, Ohye T, Suzuki K, Matsubara T, Shimizu N, Kurahashi H, Yoshikawa T, Katano H, Inoue N, Inoue K, Takagi M, Morio T, Mizutani S.	小児科学講座	Molecular and virological evidence of viral activation from chromosomally integrated human herpesvirus 6A in a patient with X-linked severe combined immunodeficiency.	Clin Infect Dis 59:545-8.
567	Sakai R, Fink G, Kawachi I.	小児科学講座	Evaluating the effect of Japan's 2004 postgraduate training program on the spatial distribution of pediatricians.	J Epidemiol 24:239-49.
568	Suzuki M, Sai JK, Shimizu T.	小児科学講座	Acute pancreatitis in children and adolescents.	World J Gastrointest Pathophysiol 5:416-26.
569	Tajiri H, Tanaka Y, Takano T, Suzuki M, Abukawa D, Miyoshi Y, Shimizu T, Brooks S.	小児科学講座	Association of IL28B polymorphisms with virological response to peginterferon and ribavirin therapy in children and adolescents with chronic hepatitis C.	Hepatol Res 44:E38-44.
570	Sakaguchi S, Oda M, Shinkoda Y, Manabe A.	小児科学講座	Parents' perception of pediatric cancer centers in Japan.	Pediatr Int 56:196-9.
571	Ishida Y, Maeda M, Urayama KY, Kiyotani C, Aoki Y, Kato Y, Goto S, Sakaguchi S, Sugita K, Tokuyama M, Nakadate N, Ishii E, Tsuchida M, Ohara A, The Kato Y, Maeda M, Aoki Y, Ishii E, Ishida Y, Kiyotani C, Goto S, Sakaguchi S, Sugita K, Tokuyama M, Nakadate H, Kikuchi A, Tsuchida M, Ohara A.	小児科学講座	Acute lymphoblastic leukaemia treated by the Tokyo Children's Cancer Study Group protocols: a retrospective cohort study.	Br J Haematol 164:101-12.
572	Kato Y, Maeda M, Aoki Y, Ishii E, Ishida Y, Kiyotani C, Goto S, Sakaguchi S, Sugita K, Tokuyama M, Nakadate H, Kikuchi A, Tsuchida M, Ohara A.	小児科学講座	Pain management during bone marrow aspiration and biopsy in pediatric cancer patients.	Pediatr Int 56:354-9.
573	Saganuma H, Ikeda N, Ohkawa N, Nagata S, Shoji H, Shimizu T.	小児科学講座	Fat emulsion given to very-low-birth-weight infants increases urinary L-FABP.	Pediatr Int 56:207-10.
574	Nishizaki N, Hirano D, Nishizaki Y, Fujinaga S, Nagata S, Ohtomo Y, Kaneko K, Shimizu T.	小児科学講座	Increased urinary angiotensinogen is an effective marker of chronic renal impairment in very low birth weight children.	Clin Exp Nephrol 18:642-8.
575	Nishizaki N, Fujinaga S, Hirano D, Murakami H, Kamei K, Ohtomo Y, Shimizu T, Kaneko K.	小児科学講座	Membranoproliferative glomerulonephritis Type 3 associated with Kabuki syndrome.	Clin Nephrol 81:369-73.
576	Ohkawa N, Okumura A, Miyata R, Tanuma N, Hayashi M, Sato H, Shimizu T.	小児科学講座	Cerebrospinal fluid oxidative stress marker levels and cytokine concentrations in a neonate with incontinentia pigmenti.	Pediatr Neurol 51:737-40.

577	Mori M, Ohtsuka Y, Ishida A, Yamazaki S, Jimbo K, Inage E, Aoyagi Y, Kudo T, Suzuki R, Shimizu T.	小児科学講座	Outcome of infants presenting rectal bleeding: a retrospective study in a single institution.	Pediatr Int 56:884-90.
578	Endo A, Someya T, Nakagawa M, Murano Y, Sakuraya K, Hara S, Fujinaga S, Ohtomo Y, Murakami H, Shimizu T.	小児科学講座	Synergistic protective effects of mizoribine and angiotensin II receptor blockade on cyclosporine a nephropathy in rats.	Pediatr Res 75:38-44.
579	Jimbo K, Ohtsuka Y, Kojima Y, Hosoi K, Ohbayashi N, Ikuse T, Aoyagi Y, Fujii T, Kudo T, Shimizu T.	小児科学講座	Increased expression of CXCR3 axis components and MMPs in pediatric IBD patients.	Pediatr Int 56:873-83.
580	Minowa K, Arai K, Kasahara M, Sakamoto S, Shimizu H, Nakano N, Ito R, Obayashi N, Nakazawa A, Ishiguro A.	小児科学講座	Romiplostim treatment allows for platelet transfusion-free liver transplantation in pediatric thrombocytopenic patient with primary sclerosing cholangitis.	Pediatr Transplant 18:E212-5.
581	Ikeda N, Shoji H, Murano Y, Mori M, Matsunaga N, Suganuma H, Ikono M, Hisata K, Hirayama S, Ueno T, Miida T, Shimizu T.	小児科学講座	Effects of breastfeeding on the risk factors for metabolic syndrome in preterm infants.	J Dev Orig Health Dis 5:459-64.
582	Ikeda N, Suganuma H, Ohkawa N, Nagata S, Shoji H, Shimizu T.	小児科学講座	Measurement of cytokine levels in cerebrospinal fluid over time in neonatal Enterococcal meningitis.	Pediatr Int 56:e45-7
583	Inage E, Kasakura K, Yashiro T, Suzuki R, Baba Y, Nakano N, Hara M, Tanabe A, Oboki K, Matsumoto K, Saito H, Nivonsaba E, Ohtsuka Y.	小児科学講座	Critical Roles for PU.1, GATA1, and GATA2 in the expression of human Fc ϵ RI on mast cells: PU.1 and GATA1 transactivate FCER1A, and GATA2	J Immunol 192:3936-46.
584	Igarashi A, Okumura A, Komatsu M, Tomita O, Abe S, Ikono M, Saito M, Nakazawa T, Shimizu T.	小児科学講座	Amplitude-integrated EEG revealed nonconvulsive status epilepticus in children with non-accidental head injury.	Eur J Paediatr Neurol 18:806-10.
585	Sakuraya K, Endo A, Someya T, Hirano D, Murano Y, Fujinaga S, Ohtomo Y, Shimizu T.	小児科学講座	The synergistic effect of mizoribine and a direct renin inhibitor, aliskiren, on unilateral ureteral obstruction induced renal fibrosis in rats.	J Uro 191:1139-46.
586	Tomita O, Iijima K, Ishibashi T, Osumi T, Kobayashi K, Okita H, Saito M, Mori T, Shimizu T, Kiyokawa N.	小児科学講座	Sensitivity of SNX2-ABL1 toward tyrosine kinase inhibitors distinct from that of BCR-ABL1.	Leuk Res 38:361-70.
587	Masuzawa A, Kiyotani C, Osumi T, Shioda Y, Iijima K, Tomita O, Nakabayashi K, Oboki K, Yasuda K, Sakamoto H, Ichikawa H, Hata K, Yoshida T.	小児科学講座	Poor responses to tyrosine kinase inhibitors in a child with precursor B-cell acute lymphoblastic leukemia with SNX2-ABL1 chimeric transcript.	Eur J Haematol 92:263-7.
588	Nakao A, Ito T, Han X, Lu YJ, Hisata K, Tsujiwaki A, Matsunaga N, Komatsu M, Hiramatsu K, Shimizu T.	小児科学講座	Intestinal carriage of methicillin-resistant Staphylococcus aureus in nasal MRSA carriers hospitalized in the neonatal intensive care unit.	Antimicrob Resist Infect Control 3:14
589	Nakao A, Hisata K, Matsunaga N, Fujimori M, Yoshikawa N, Murakami M, Kikuchi K, Takahashi H, Shimizu T.	小児科学講座	The clinical utility of a near patient care rapid microarray-based diagnostic test for influenza and respiratory syncytial virus infections in the pediatric setting.	Diagn Microbiol Infect Dis 78:363-7.
590	Odo M, Koh K, Takada T, Yamashita A, Narita M, Kuzumaki N, Ikegami D, Sakai H, Iseki M, Inada E, Narita M	麻酔科学ペインクリニック	Changes in circadian rhythm for mRNA expression of melatonin 1A and 1B receptors in the hypothalamus under a neuropathic pain-like state	Synapse 2014 68:153-8
591	Sugasawa Y, Hayashida M, Inada E	麻酔科学ペインクリニック	Discrete subaortic stenosis diagnosed intraoperatively.	J Anesth. 2014 ;28(2):311
592	Wakabayashi S, Yamaguchi K, Kumakura S, Murakami T, Someya A, Kajiyama Y, Nagaoka I, Inada E	麻酔科学ペインクリニック	Effects of anesthesia with sevoflurane and propofol on the cytokine/chemokine production at the airway epithelium during esophagectomy	Int J Mol Med 2014;34:137-44
593	Kawagoe I, Inada E, Ishikawa S, Matsunaga T, Takamochi K, Oh S, Suzuki K	麻酔科学ペインクリニック	Perioperative management of carinal pneumonectomy: a retrospective review of 13 patients	J Anesth 2014; Oct 28. [Epub ahead of print]

594	Koga H, Suzuki K, Nishimura K, Okawada M, Doi T, Lane GJ, Inada E, Okazaki T, Yamataka A.	麻酔科学ペインクリニック	Comparison of the value of tissue-sealing devices for thoracoscopic pulmonary lobectomy in small children: a first report	Pediatr Surg Int. 2014 ;30(9):937-40
595	Ando N, Sugasawa Y, Inoue R, Aosaki T, Miura M, Nishimura K.	麻酔科学ペインクリニック	Effects of the volatile anesthetic sevoflurane on tonic GABA currents in the mouse striatum during postnatal development	Eur J Neurosci. 2014;40(8):3147-57
596	Ide S, Nishizawa D, Fukuda K, Kasai S, Hasegawa J, Hayashida M, Minami M, Ikeda K.	麻酔科学ペインクリニック	Haplotypes of P2RX7 gene polymorphisms are associated with both cold pain sensitivity and analgesic effect of fentanyl.	Mol Pain. 2014;10:75
597	Tulafu M, Mitaka C, Hnin Si MK, Abe S, Kitagawa M, Ikeda S, Eishi Y, Kurata S, Tomita M	麻酔科学ペインクリニック	Atrial natriuretic peptide attenuates kidney-lung crosstalk in kidney injury	J Surg Res 2014;186:217-225
598	Zhao D, Zhou J, Haraguchi G, Arai H, Mitaka C	麻酔科学ペインクリニック	Procalcitonin for the differential diagnosis of infectious and non-infectious systemic inflammatory response syndrome after cardiac surgery.	J Intensive Care 2014;2:35
599	Mitaka C, Fujiwara N, Yamamoto M, Toyofuku T, Haraguchi G, Tomita M	麻酔科学ペインクリニック	Polymyxin B-immobilized fiber column hemoperfusion removes endotoxin through a 24-hour treatment period.	J Crit Care 2014;29:728-32
600	Mitaka C, Hnin Si MK, Tulafu M, Qi Y, Uchida T, Abe S, Kitagawa M, Ikeda S, Eishi Y, Tomita M	麻酔科学ペインクリニック	Effects of atrial natriuretic peptide on inter-organ crosstalk among the kidney, lung, and heart in a rat model of renal ischemia-reperfusion injury.	Intensive Care Medicine Experimental 2014;2:2014
601	Kitajima Y, Yamaguchi K, Hori K, Murakami T, Someya A, Konishi K, Hara A, Hachisu M, Kajiyama Y, Nagaoka I, Inada E	麻酔科学ペインクリニック	The relationship between the preoperative transition of serum anticholinergic activity and postoperative delirium in patients undergoing esophagectomy and	Juntendo Med J 2014;60: 147-50
602	Okada H, Amano K, Okutomi T, Unno N, Hoshi K	麻酔科学ペインクリニック	Association between intrapartum fetal head malrotation and motor block by neuraxial analgesia: A randomized trial.	Canadian Journal of Anesthesia 2014; 61:1132-3.
603	Nishizawa D, Fukuda K, Kasai S, Hasegawa J, Aoki Y, Nishi A, Saita N, Koukita Y, Nagashima M, Katoh R, Satoh Y, Tagami M, Higuchi S, Ujike H, Ozaki N, Inada	麻酔科学ペインクリニック	Genome-wide association study identifies a potent locus associated with human opioid sensitivity.	Mol Psychiatry. 2014;19(1):55-62.
604	Nishizawa D, Fukuda K, Kasai S, Ogai Y, Hasegawa J, Sato N, Yamada H, Tanioka F, Sugimura H, Hayashida M, Ikeda K.	麻酔科学ペインクリニック	Association between KCNJ6 (GIRK2) gene polymorphism rs2835859 and postoperative analgesia, pain sensitivity, and nicotine dependence.	J Pharmacol Sci. 2014;126(3):253-63
605	Kanaya A, Kuratani N, Satoh D, Kurosawa S	麻酔科学ペインクリニック	Lower incidence of emergence agitation in children after propofol anesthesia compared with sevoflurane: a meta-analysis of randomized controlled trials.	J Anesth 2014 28(1):4-11
606	Kikuchi T, Tanabe Y, Kumakura S, Tanaka H	麻酔科学ペインクリニック	Local anesthetic infiltration of the wound for postoperative pain management in pediatric cases.	Juntendo Med J 2014;60:166-9
607	Godai, K, Hasegawa-Moriyama, M, Kurimoto, T, Saito, T, Yamada, T, Sato, T, Kojima, M, Kanmura, Y.	麻酔科学ペインクリニック	Peripheral administration of morphine attenuates postincisional pain by regulating macrophage polarization through COX-2-dependent pathway	Mol Pain 2014 10:36
608	Koh K, Hamada A, Hamada Y, Yanase M, Sakaki M, Someya K, Narita M, Kuzumaki N, Ikegami D, Sakai H, Iseki M, Inada E, Narita M.	麻酔科学ペインクリニック	Possible involvement of activated locus coeruleus-noradrenergic neurons in pain-related sleep disorders.	Neurosci Lett.2014; 589:200-6,
609	Watanabe K, Kashiwagi K, Kamiyama T, Yamamoto M, Fukunaga M, Inada E, Kamiyama K.	麻酔科学ペインクリニック	High-dose remifentanyl suppresses stress response associated with pneumoperitoneum during laparoscopic colectomy.	J Anesth 2014; 28:334-340
610	Yokoyama S, Ueshima H, Miida T, Nakamura M, Takata K, Fukukawa T, Goto T, Harada-Shiba M, Sano M, Kato K, Matsuda K	臨床検査医学講座	High-density lipoprotein levels have markedly increased over the past twenty years in Japan.	J Atheroscler Thromb , 2014; 21: 151-160

611	Tabe Y, Jin L, Konopleva M, Shikami M, Kimura S, Andreeff M, Raffeld M, Miida T	臨床検査医学講座	Class IA PI3K inhibition inhibits cell growth and proliferation in mantle cell lymphoma.	Acta Haematol 13, 2014; 1: 59-69
612	Shoji H, Murano Y, Mori M, Matsunaga N, Ohkawa N, Suganuma H, Ikeno M, Hisata K, Hirayama S, Ueno T, Miida T, Shimizu T	臨床検査医学講座	Lipid profile and atherogenic indices soon after birth in Japanese preterm infants.	Acta Paediatr, 2014; 103: 22-26
613	Miida T, Nishimura K, Okamura T, Hirayama S, Ohmura H, Yoshida H, Miyashita Y, Ai M, Tanaka A, Sumino H, Murakami M, Inoue I, Kawamori Y.	臨床検査医学講座	Validation of homogeneous assays for HDL-cholesterol using fresh samples from healthy and diseased subjects.	Atherosclerosis, 2014; 233: 253-259
614	Idei M, Hirayama S, Miyake N, Kon M, Horiuchi Y, Ueno T, Miyake K, Sato N, Yoshii H, Yamashiro K, Onuma T, Miida T	臨床検査医学講座	The mean postprandial triglyceride concentration is an independent risk factor of carotid atherosclerosis in patients with type 2 diabetes.	Clin Chimica Acta, 2014; 430: 134-139
615	Nagasaka H, Tsukahara H, Okano Y, Hirano K, Sakurai T, Hui S P, Ohura T, Usui H, Yorifuji T, Hirayama S, Ohtake A, Miida T.	臨床検査医学講座	Changes of lipoproteins in phenylalanine hydroxylase-deficient children for the first early of life.	Clin Chim Acta, 2014; 433: 1-4
616	Yamaguchi S, Zhang B, Tomonaga T, Seino U, Kanagawa A, Nagasaka H, Suzuki A, Miida T, Yamada S, Sasaguri Y, Doi T, Saku K, Okazaki M, Tochino Y.	臨床検査医学講座	Selective evaluation of high density lipoprotein from mouse small intestines by an in situ perfusion technique.	J Lipid Res, 2014; 55: 905-918
617	Nishioka E, Yokoyama K, Matsukawa T, Vigh M, Hirayama S, Ueno T, Miida T, Makino S, Takeda S	臨床検査医学講座	Evidence that birth weight is decreased by lead at its maternal levels below 5 μ g/dl in male but not in female newborns.	Reprod Toxicol, 2014; 47: 21-26
618	Ikeda N, Shoji H, Murano Y, Mori M, Matsunaga N, Suganuma H, Ikeno M, Hisata K, Hirayama S, Ueno T, Miida T, Shimizu T	臨床検査医学講座	Effects of breastfeeding on the risk factors for metabolic syndrome in preterm infants.	J Dev Orig Health Dis, 2014; 5: 459-464
619	Yamada H, Tabe Y, Watanabe K, Morishita S, Yuri M, Yokoo M, Hori T, Shimizu N, Kimura S, Ohsaka A	臨床検査医学講座	Harmonization of quantitative BCR-ABL measurements using the secondary reference material anchored to the WHO primary standards.	Int J Lab Hematol, 2014; 12274
620	Yoshimura M, Ishizawa J, Dilip A, Ruvalo V, Quintas-Cardama A, McDonnell TJ, Neelapu SS, Kwak LW, Shacham S, Kauffman M, Tabe Y, Yokoo M, Kimura S.	臨床検査医学講座	Induction of p53-mediated transcription and apoptosis by Exportin-1 (XPO1) inhibition in mantle cell lymphoma.	Cancer Sci, 2014; 5 (7): 795-801
621	Bourner G, Salle BD, George T, Tabe T, Baum H, Culp N, Keng T B, on behalf of the International Committee for Standardization in	臨床検査医学講座	ICSH guidelines for the verification and performance of automated cell counters for body fluids.	Int J Lab Hematol, 2014; 36 (6): 598-612
622	Iba T, Miki T, Hashiguchi N, Tabe Y, Nagaoka I	臨床検査医学講座	Combination of antithrombin and recombinant thrombomodulin modulates neutrophil cell-death and decreases circulating DAMPs levels in endotoxemic	Thromb Res, 2014; 134(1): 169-173
623	Iba T, Aihara K, Yamada A, Nagayama M, Tabe Y, Ohsaka A	臨床検査医学講座	Rivaroxaban attenuates leukocyte adhesion in the microvasculature and thrombus formation in an experimental mouse model of type 2 diabetes mellitus.	Thromb Res, 2014; 133(2): 276-280
624	Ohara N, Hanyu O, Hirayama S, Nakagawa O, Aizawa Y, Ito S, Sone H	臨床検査医学講座	Hypertension increases urinary excretion of immunoglobulin G, ceruloplasmin and transferrin in normoalbuminuric patients with type 2 diabetes mellitus.	Journal of Hypertension, 2014; 32: 432-438
625	Odagiri F, Inoue H, Sugihara M, Suzuki T, Murayama T, Shioya T, Konishi M, Nakazato Y, Daida H, Sakurai T, Morimoto S, Kurebayashi N	臨床検査医学講座	Effects of Candesartan on Electrical Remodeling in the Hearts of Inherited Dilated Cardiomyopathy Model Mice.	Plos One, 2014; 9(7): e0101838
626	Maruyama, M, Ai T, Chua SK, Park HW, Lee YS, Shen MJ, Chang PC, Lin SF, Chen PS	臨床検査医学講座	Hypokalemia Promotes Late Phase 3 Early Afterdepolarization and Recurrent Ventricular Fibrillation During Isoproterenol Infusion in Langendorff	Heart Rhythm, 2014; 11: 697-706
627	Yu CC, Ai T, Weiss J, Chen PS	臨床検査医学講座	Apamin does not inhibit human cardiac Na ⁺ current, L-type Ca ²⁺ current or other major K ⁺ currents.	PLoS ONE, 2014; 9(5): e96691

628	Ito T, Kajino K, Abe M, Sato K, Maekawa H, Sakurada M, Orita H, Wada R, Kajiyama Y, Hino O	上部消化管外科学講座	ERC/mesothelin is expressed in human gastric cancer tissues and cell lines.	Oncol Rep, 2014; 31(1):27-33.
629	Saito T, Mitomi H, Imamhasan A, Hayashi T, Mitani K, Takahashi M, Kajiyama Y, Yao T.	上部消化管外科学講座	Downregulation of sFRP-2 by epigenetic silencing activates the β -catenin/Wnt signaling pathway in esophageal basaloid squamous cell carcinoma.	Virchows Arch, 2014;464(2):135-143.
630	Ito T, Sato K, Maekawa H, Sakurada M, Orita H, Shimada K, Daida H, Wada R, Abe M, Hino O, Kajiyama Y.	上部消化管外科学講座	Elevated levels of serum fatty acid synthase in patients with gastric carcinoma.	Oncol Lett, 2014; 7(3) :616-620.
631	Wakabayashi S, Yamaguchi K, Kumakura S, Murakami T, Someya A, Kajiyama Y, Nagaoka I, Inada E.	上部消化管外科学講座	Effects of anesthesia with sevoflurane and propofol on the cytokine/chemokine production at the airway epithelium during esophagectomy.	Int J Mol Med, 2014;34(1):137-144.
632	Hashiguchi I, Nasu M, Hashimoto T, Kuniyasu T, Inoue H, Sakai N, Ouchi K, Amano T, Isayama F, Tomita N, Iwanuma Y, Tsurumaru M, Kajiyama Y.	上部消化管外科学講座	Docetaxel, cisplatin and 5-fluorouracil adjuvant chemotherapy following three-field lymph node dissection for stage II/III N1, 2 esophageal cancer.	Mol Clin Oncol, 2014; 5: 719-724.
633	Udagawa H, Ueno M, Shinohara H, Haruta S, Lee S, Momose K, Tsurumaru M	上部消化管外科学講座	Should lymph nodes along the thoracic duct be dissected routinely in radical esophagectomy?	Esophagus, 2014; 11(3): 204-210.
634	Saito T, Mitomi H, Imamhasan A, Hayashi T, Kurisaki-Arakawa A, Mitani K, Takahashi M, Kajiyama Y, Yao T.	上部消化管外科学講座	PTCH1 mutation is a frequent event in oesophageal basaloid squamous cell carcinoma.	Mutagenesis, 2014 Nov 13. [Epub ahead of print]
635	Iizuka T, Kikuchi D, Yamada A, Hoteya S, Kajiyama Y, Kaise M.	上部消化管外科学講座	Polyglycolic acid sheet application to prevent esophageal stricture after endoscopic submucosal dissection for esophageal squamous cell carcinoma.	Endoscopy, 2014 Nov 20. [Epub ahead of print]
636	Shinjo K, Sato K, Tada T, Maekawa H, Sakurada M, Orita H, Ito T, Saita M, Sugimoto K.	上部消化管外科学講座	Endoscopic foreign body retrieval using laparoscopic shears after gastrostomy.	Turk J Gastroenterol. 2014 Dec;25 Suppl 1:S304-5.
637	Orita H, Ito T, Kushida T, Sakurada M, Maekawa H, Wada R, Suehara Y, Kubota D, Sato K.	上部消化管外科学講座	Pfetin as a risk factor of recurrence in gastrointestinal stromal tumors.	Biomed Res Int. 2014;2014:651935
638	Orita H, Ito T, Sakurada M, Maekawa H, Yamano M, Wada R, Yao T and Sato K	上部消化管外科学講座	Gastric Type Adenocarcinoma with Fundic Gland Differentiation in the Duodenum Resected by ESD (Endoscopic Submucosal Dissection)	J Cancer Sci Clin Oncol 1: 101
639	Sysa-Shah P, Xu Y, Guo X, Pin S, Bedja D, Bartock R, Tsao A, Hsieh A, Wolin MS, Moens A, Raman V, Orita H, Gabrielson KL.	上部消化管外科学講座	Geranylgeranylacetone blocks doxorubicin-induced cardiac toxicity and reduces cancer cell growth and invasion through RHO pathway inhibition.	Mol Cancer Ther. 2014 Jul;13(7):1717-28.
640	Hideki Shibata, Koichi Sato, Takashi Tada, Hiroshi Maekawa, Mutsumi Sakurada, Hajime Orita, Tomoaki Ito	上部消化管外科学講座	Perforation of Meckel's diverticulum caused by a fish bone: A case report	Int J Case Rep Images 2014;5(2):113-117
641	Shingo Kawano, Koichi Sato, Hiroshi Maekawa, Mutsumi Sakurada, Hajime Orita, Ryo Wada	上部消化管外科学講座	Primary duodenal adenocarcinoma of the fourth portion diagnosed using double-balloon enteroscopy and surgically resected: A case report	Int J Case Rep Images 2014;5(7):496-500
642	Kiichi Sugimoto, Koichi Sato, Hiroshi Maekawa, Mutsumi Sakurada, Hajime Orita, Tomoaki Ito, Ryo Wada	上部消化管外科学講座	Analysis of predictive factors for lymph node metastasis in submucosal invasive colorectal	Surgical Science, 2014, 5, 75-83
643	Ishizaki Y, Yoshimoto J, Sugo H, N, Imamura H, Kawasaki S,	肝胆膵外科学講座	Validation of mucosal sutureless pancreatojejunostomy after pancreatoduodenectomy	Am Surg. 80:149-54, 2014
644	Sato G, Ishizaki Y, Sugo H, Yoshimoto J, Imamura H, Kawasaki S	肝胆膵外科学講座	Factors influencing clinically significant delayed gastric emptying after subtotal stomach-preserving pancreatoduodenectomy	World J Surg 38:968-75, 2014

645	Ishizaki Y, Mizuno T, Hara K, Kawasaki S.	肝胆膾外科学講座	Advanced segmental atrophy of the liver with marked elastosis	Surgery (in press)
646	Ishizaki Y, Konishi N, Yoshimoto J, Sugo H, Imamura H, Kawasaki S	肝胆膾外科学講座	Evaluation of esophagogastric varices after adult-to-adult living donor liver transplantation using a left lobe graft	Dig Surg 31:283-290, 2014
647	Wada M, Nakamura H, Koga H, Miyano G, Lane GJ, Okazaki T, Urao M, Murakami H, Kasahara M, Sakamoto S, Ishizaki Y, Kawasaki S, Yamataka A, Shigetoshi Naito, Hiroshi Imamura, Akira Tsukada, Yutaka Matsuyama, Jiro Yoshimoto, Hiroyuki Sugo, Yoichi Ishizaki, Seiji Kawasaki	肝胆膾外科学講座	Experience of treating biliary atresia with three types of portoenterostomy at a single institution: extended, modified Kasai, and laparoscopic modified Kasai.	Pediatr Surg Int 30:863-70:2014
648	Yoshimoto, Hiroyuki Sugo, Yoichi Ishizaki, Seiji Kawasaki	肝胆膾外科学講座	Postoperative recurrence pattern and prognosis of patients with hepatocellular carcinoma, with particular reference to the hepatitis viral infection status	Liver International, Volume 34, Issue 5, pages 802-813, May 2014
649	Silva Enciso J, Kato TS, Jin Z, Chung C, Yang J, Takayama H, Mancini DM, Schulze PC	心臓血管外科学講座	Effect of Peripheral Vascular Disease on Mortality in Cardiac Transplant Recipients (from the United Network of Organ Sharing Database)	Am J Cardiol, 2014;114:1111-1115
650	Tsuyuki Y, Matsushita S, Dohi S, Yamamoto T, Tambara K, Inaba H, Amano A	心臓血管外科学講座	Factors for Sac Size Change of Abdominal Aortic Aneurysm after Endovascular Repair	Ann Thorac Cardiovasc Surg, 2014 Feb 4
651	Kajimoto K, Yamamoto T, Amano A	心臓血管外科学講座	Coronary artery bypass revascularization using bilateral internal thoracic arteries in diabetic patients: a systematic review and meta-analysis	Ann Thorac Surg, 2014 [in press]
652	Hirose H, Sarosiek K, Cavarocchi NC.	心臓血管外科学講座	Ad hoc cost analysis of the new gastrointestinal bleeding algorithm in patients with ventricular assist device.	ASAIO J, 2014;60:351-352
653	Sarosiek K, Kang CY, Johnson CM, Pitcher H, Hirose H, Cavarocchi NC.	心臓血管外科学講座	Perioperative use of the imacor hemodynamic transesophageal echocardiography probe in cardiac surgery patients: initial experience.	ASAIO J, 2014;60:553-558
654	Kato TS, Murata M, Amano A	心臓血管外科学講座	Pre-operative Risk Stratification of Patients with Heart Failure Undergoing Elective Open Heart Surgery	Austin J Clin Cardiol, 2014;1:2
655	Keisuke Nakanishi, Terumasa Morita, Atsushi Amano	心臓血管外科学講座	Novel visualised three-dimensional images are useful for treating coronary artery fistulas in infants	Cardiology in the Young, 2014;Mar 3:1-3[Epub ahead of print]
656	Keisuke Nakanishi, MD, Shiori Kawasaki, MD, PhD, Ken Takahashi, MD, PhD, and Atsushi Amano, MD, PhD.	心臓血管外科学講座	A New Technique for Venous Unifocalization of the Bilateral Superior Vena Cava with the Glenn Procedure	Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery, 2014 Mar 1[Epub ahead of
657	Maruyama M, Daimon M, Kawata T, Kasai T, Ichikawa R, Miyazaki S, Ohmura H, Yamamoto T, Amano A, Daïda H	心臓血管外科学講座	Early Hemodynamic Performance of the Tr, IF:ecta Bioprosthetic Valve in Patients With Aortic Valve Disease	Circ J, 2014;Apr 9
658	Carter TI, Bodzin AS, Hirose H, West S, Hasz R, Maley WR, Cavarocchi NC.	心臓血管外科学講座	Outcome of organs procured from donors on extracorporeal membrane oxygenation (ECMO) support: an analysis of kidney and liver allograft data.	Clin Transplant, 2014;28:816-520
659	Kato TS, Colombo PC, Nahumi N, Kitada S, Takayama H, Naka Y, Di Tullio MR, Homma S, Mancini D, Jorde UP, Uriel N	心臓血管外科学講座	Value of serial echo-guided ramp studies in a patient with suspicion of device thrombosis after left ventricular assist device implantation	Echocardiography, 2014;31:E5-9
660	Akashi H, Kato T, Hashimura K, Kitazawa M, Shahzad K, Farr M, Donna M, Takayama H, Naka Y, Yamamoto T, Amano A	心臓血管外科学講座	Normalization of Pulmonary Hypertension by the Use of Left Ventricular Assist Device in Patients with End-Stage Heart Failure: A Possible Contribution to Donor	International Journal of Gerontology, 2014;8:42-44
661	Unai S, Hirose H, Cook G, Lee Y, Miura S, Kigawa I, Fukuda S, Miyairi T.	心臓血管外科学講座	Coronary artery spasm following off-pump coronary artery bypass surgery.	Intl Heart J, 2014 10;55:451-454

662	Kajimoto K, Yamamoto T, Amano A	心臟血管外科学講座	Is off-pump CABG really inferior to on-pump strategies for long-term survival?	J Am Coll Cardiol, 2014;64: 1181
663	Kato TS, Schulze PC	心臟血管外科学講座	Reply: cardiac hepatopathy versus end-stage liver disease: two different entities	J Am Coll Cardiol, 2014;63: 1810-1811
664	Khawaja I, Chokshi A, Ji R, Kato TS, Xu K, Zizola C, Wu C, Forman DE, Ota T, Kennel P, Takayama H, Naka Y, George I, Mancini D, Schulze PC	心臟血管外科学講座	Ventricular assist device implantation improves skeletal muscle function, oxidative capacity, and growth hormone/insulin-like growth factor-1 axis	J Cachexia Sarcopenia Muscle, 2014;5: 297-305
665	Chung CJ, Wu C, Jones M, Kato TS, Dam TT, Givens RC, Templeton DL, Maurer MS, Naka Y, Takayama H, Mancini DM, Schulze PC	心臟血管外科学講座	Reduced handgrip strength as a marker of frailty predicts clinical outcomes in patients with heart failure undergoing ventricular assist device placement	J Card Fail, 2014; 20:310-315
666	Sera F, Kato TS, Farr M, Russo C, Jin Z, Marboe CC, Di Tullio MR, Mancini D, Homma S	心臟血管外科学講座	Left ventricular longitudinal strain by speckle-tracking echocardiography is associated with treatment-requiring cardiac allograft rejection	J Card Fail, 2014; 20:359-364
667	Nakanishi K, Kawasaki S, Takahashi K, Shimizu T, Amano A.	心臟血管外科学講座	Successful treatment of a rare case of neonatal Ebstein anomaly in a very low-birth-weight premature neonate	J Card Surg, 2014 Sep;29(5):709-11. Epub 2014 Jun 18.
668	Tanaka D, Pitcher HT, Cavarocchi NC, Hirose H.	心臟血管外科学講座	Can procalcitonin differentiate infection from systemic inflammatory reaction in patients on extracorporeal membrane oxvgenation?	J Heart Lung Transplant, 2014;33(11):1186-1188
669	Kato TS, Lippel M, Naka Y, Mancini DM, Schulze PC	心臟血管外科学講座	Post-transplant survival estimation using pre-operative albumin levels	J Heart Lung Transplant, 2014; 33:547-548
670	Pronschinske KB, Qiu S, Wu C, Kato TS, Khawaja T, Takayama H, Naka Y, Templeton DL, George I, Farr MA, Mancini DM, Christian Schulze P.	心臟血管外科学講座	Neutrophil gelatinase-associated lipocalin and cystatin C for the prediction of clinical events in patients with advanced heart failure and after ventricular assist device	J Heart Lung Transplant, 2014; 33:1215-1222
671	Kajimoto K	心臟血管外科学講座	Current States-of-the-art of Coronary Artery Bypass Surgery	J Jpn Coron Assoc, 2014;20[in press]
672	Hirose H, Gupta S, Pitcher H, Miessau J, Yang Q, Yang J, Cavarocchi N.	心臟血管外科学講座	Feasibility of diagnosis of postcardiotomy tamponade by miniaturized transesophageal echocardiography.	J Surg Res, 2014; 190:276-279
673	Yokoyama Y, Matsushita S, Iesaki T, Yamamoto T, Inaba H, Okada T, Amano A	心臟血管外科学講座	Denervation of gastroepiploic artery graft can reduce vasospasm	J Thorac Cardiovasc Surg, 2014;147:951-955
674	Tomoyuki Fujita, Shori Kawasaki, Satoshi Matsushita, Hirotaka Inaba, Terumasa Morita, Kenji Kuwaki, Taira Yamamoto, Keiichi Tambara, Kan Cavarocchi, NC,	心臟血管外科学講座	Effect of Regular Medication Using Super High Dose Diuretics for Pleural Effusions at Early Stage After the Fontan Procedure	Juntendo Medical Journal, 2014; 60(1):35-42
675	Wallace S, Hong EY, Tropea A, Byrne J, Pitcher HT, Hirose H	心臟血管外科学講座	A cost-reducing extracorporeal membrane oxygenation (ECMO) program model: a single institution experience.	Perfusion published online, 2014;May 13
676	Rei Kansaku, Naoki Sakakibara, Atsushi Amano, Hisako Endo, Takashi Shimabukuro, Michiaki Sueishi	心臟血管外科学講座	Histological difference between pulsed wave laser and continuous wave laser in endovenous laser ablation	Phlebology, 2014; May 30[Epub ahead of print]
677	Atsumi Ohishi, Satoshi Matsushita*, Shizuyuki Dohi, Taira Yamamoto, Hirotaka Inaba, Kenji Kuwaki, Atsushi Amano	心臟血管外科学講座	Endovascular Repair for Abdominal Aortic Aneurysm Reduces Postoperative Blood Endotoxin Levels Assayed by the EAA Method Compared with Open Abdominal	World Journal of Cardiovascular Surgery, 2014;4: 87-94 Published
678	Robert A. Sorabella M.D., Hiro Akashi M.D., Halit Yerebakan M.D., Marc Najjar M.D., Ayesha Mannan B.S., Mathew R. Williams M.D., Craig R. Smith M.D.	心臟血管外科学講座	Myocardial Protection Using Del Nido Cardioplegia Solution in Adult Reoperative Aortic Valve Surgery	Journal of Cardiac Surgery, July 2014; 29: Issue 4, 445-449

679	Matsushita S, Yamamoto T, Dohi S, Tamura N, Takasaki Y and Amano A	心臓血管外科学講座	Bentall surgery in a patient after aortic valve replacement due to Takayasu arteritis	Austin J Clin Cardiol, 2014; 1(3):2
680	Kato TS, Armstrong HF, Schulze PC, Lippel M, Farr M, Bacchetta M, Bartels NM, Di Tullio MR, Homma S, Mancini D.	心臓血管外科学講座	Changes in Left and Right Ventricular Function Before and After Lung Transplantation: –Serial Echocardiographic Assessment–	The Journal of Heart and Lung Transplantation, 2014;33(4):S141
681	Suzuki K, Matsushita S, Suzuki H, Kuroda K, Inaba H, Arakawa A, Hayashi T, Amano A, Kuwatsuru R	心臓血管外科学講座	Cystic Tumor of the Atrioventricular Node: Computed Tomography and Magnetic Resonance Imaging Findings.	J Thorac Imaging, 2014 Oct 9
682	Nakasuji A, Matsushita S, Inaba H, Yamamoto T, Kuwaki K, Inada E and Amano A.	心臓血管外科学講座	Evaluation of a new formula for calculating heparin dose for cardiopulmonary bypass patients	Open Journal of Thoracic Surgery, 2014;4(2):32–38
683	Khawaja T, Greer C, Thadani SR, Kato TS, Bhatia K, Shimbo D, Konkak A, Bokhari S, Einstein AJ, Schulze PC	心臓血管外科学講座	Increased Regional Epicardial Fat Volume Associated with Reversible Myocardial Ischemia in Patients with Suspected Coronary Artery Disease	J Nucl Cardiol, 2014 Oct 24; [Epub ahead of print]
684	Matsushita S, Naito M and Amano A.	心臓血管外科学講座	Micro-computed tomography provides accurate measurement for cardiac function in infarcted rat heart.	OJMI, 2014;4(2): 72–79
685	M.A. Farr, J. Mitchell, M. Lippel, T. Kato, L. Dove, S. Murthy, U. Jorde, H. Takayama, J. Emond, Y. Naka, D. Mancini, J. Lefkowitz, P. Schulze	心臓血管外科学講座	The Combination of Liver Biopsy With MELD–XI Scores for Post–Heart Transplant Outcome Prediction in Patients With Advanced Heart Failure and	The Journal of Heart and Lung Transplantation, 2014;33(4):S157
686	Farr M, Mitchell M, Lippel M, Kato TS, Jin Z, Ippolito P, Dove L, Jorde UP, Takayama H, Emond J, Naka Y, Mancini D, Lefkowitz JH, Schulze PC	心臓血管外科学講座	The Combination of Liver Biopsy with MELD–XI Scores for Post-transplant Outcome Prediction in Patients with Advanced Heart Failure and Suspected	J Heart Lung Transplant, 2014 December 22; Published Online
687	Akashi H	心臓血管外科学講座	Left Ventricular Assist Device–Acquired Aortic Insufficiency.	Circ J, 2014;Dec 12
688	Martin ST, Kato TS, Farr M, McKeen JT, Cheema F, Ji M, Ross A, Yerebakan H, Naka Y, Takayama H, Restaino S, Mancini D, Schulze PC	心臓血管外科学講座	Similar Survival in Patients Following Heart Transplantation Receiving Induction Therapy Using Daclizumab vs. Basiliximab	Circ J, 2014 Dec 12; [Epub ahead of print]
689	T.S. Kato, M.S. Kim, C. Wu, M. Farr, D. Mancini, P. Schulze	心臓血管外科学講座	The Predictive Power of Invasive Hemodynamics and MELD Scores in Ambulatory Patients With Advanced Heart Failure	The Journal of Heart and Lung Transplantation, 2014;33(4):S169
690	Castillero E1, Akashi H2, Wang C1, Najjar M1, Ji R3, Kennel PJ3, Sweeney HL4, Schulze PC3, George I5.	心臓血管外科学講座	Cardiac myostatin upregulation occurs immediately after myocardial ischemia and is involved in skeletal muscle activation of atrophy.	Biochem Biophys Res Commun. 2015 Jan 30;457(1):106–11. doi:
691	Hattori A, Suzuki K, Takamochi K, Oh S.	呼吸器外科学講座	Clinical features of multiple lung cancers based on thin–section computed tomography: What are the appropriate surgical strategies for second lung	Surg Today. 2015 Feb;45(2):189–96. doi: 10.1007/s00595–
692	Hattori A, Suzuki K, Aokage K, Mimae T, Nagai K, Tsuboi M, Okada M.	呼吸器外科学講座	Prognosis of lung cancer patients with a past history of colorectal cancer.	Jpn J Clin Oncol. 2014. Nov;44(11):1088–95. doi:
693	Hattori A, Suzuki K, Maeyashiki T, Fukui M, Kitamura Y, Matsunaga T, et al.	呼吸器外科学講座	The presence of air bronchogram is a novel predictor of negative nodal involvement in radiologically pure–solid lung cancer.	Eur J Cardiothorac Surg. 2014;45(4):699–702
694	Hattori A, Suzuki K, Matsunaga T, Fukui M, Tsushima Y, Takamochi K, et al.	呼吸器外科学講座	Tumour standardized uptake value on positron emission tomography is a novel predictor of adenocarcinoma in situ for c–Stage IA lung cancer patients with a part–	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2014;18(3):329–34
695	Hattori A, Suzuki K, Matsunaga T, Miyasaka Y, Takamochi K, Oh S.	呼吸器外科学講座	What is the appropriate operative strategy for radiologically solid tumours in subcentimetre lung cancer patients?	Eur J Cardiothorac Surg. 2015 Feb;47(2):244–9. doi:

696	Hattori A, Suzuki K, Matsunaga T, Takamochi K, Oh S.	呼吸器外科学講座	Prognostic Significance of the Standardized Uptake Value on Positron Emission Tomography in Patients with Multiple Clinical-N0 Lung Cancers.	Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Dec 2. [Epub ahead of print]
697	Hattori A, Suzuki K, Matsunaga T, Takamochi K, Oh S.	呼吸器外科学講座	Visceral pleural invasion is not a significant prognostic factor in patients with a part-solid lung cancer.	Ann Thorac Surg. 2014 Aug;98(2):433-8. doi:
698	Hattori A, Suzuki K, Takamochi K, Oh S.	呼吸器外科学講座	Clinical features of multiple lung cancers based on thin-section computed tomography: What are the appropriate surgical strategies for second lung	Surg Today 2015;45(2):189-96
699	Hattori A, Suzuki K, Takamochi K, Oh S.	呼吸器外科学講座	Is Bilateral Pulmonary Lobectomy Feasible in Patients with Bilateral Lung Cancers?	Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Jul 15.
700	Hiroyasu Ueno, Aritoshi Hattori, Takeshi Matsunaga, Kazuya Takamochi, Shiaki Oh, Kenji Suzuki.	呼吸器外科学講座	Is Lower Zone Mediastinal Nodal Dissection Always Mandatory for Lung Cancer in the Lower Lobe?	Surgery Today in press
701	Kinno T, Tsuta K, Shiraishi K, Mizukami T, Suzuki M, Yoshida A, Suzuki K, Asamura H, Furuta K, Kohno T, Kushima R.	呼吸器外科学講座	Clinicopathological features of nonsmall cell lung carcinomas with BRAF mutations.	Ann Oncol. 2014 Jan;25(1):138-42
702	Koga H, Suzuki K, Nishimura K, Okawada M, Doi T, Lane GJ, et al.	呼吸器外科学講座	Comparison of the value of tissue-sealing devices for thoracoscopic pulmonary lobectomy in small children: a first report.	Pediatric surgery international. 2014;30(9):937-40
703	Kozu Y, Oh S, Takamochi K, Suzuki K.	呼吸器外科学講座	Surgical outcomes of pulmonary metastases from esophageal carcinoma diagnosed by both pathological and clinical criteria.	Surg Today. 2014
704	Kozu Y, Suzuki K, Oh S, Matsunaga T, Tsushima Y, Takamochi K.	呼吸器外科学講座	Single institutional experience with primary mediastinal cysts: clinicopathological study of 108 resected cases.	Annals of thoracic and cardiovascular surgery : official journal of the
705	Matsunaga T, Suzuki K, Takamochi K, Oh S.	呼吸器外科学講座	Reply to Riquet et al.	Eur J Cardiothorac Surg. 2014 Oct 4. pii: ezu374. [Epub ahead of print]
706	Matsunaga T, Suzuki K, Takamochi K, Oh S.	呼吸器外科学講座	Time to refine N2 staging? N2 α and cN2 β based on local regional involvement provide a more accurate prognosis in surgically treated IIIA non-small-cell lung	Eur J Cardiothorac Surg. 2014 Jul;46(1):86-91.
707	Miyasaka Y, Suzuki K, Oh S, Takamochi K.	呼吸器外科学講座	Cardiomegaly Is a Significant Predictor of Postoperative Atelectasis following Left Upper Superior Segmentectomy.	Thorac Cardiovasc Surg. 2014
708	Soma S, Tsuta K, Takano T, Hatanaka Y, Yoshida A, Suzuki K, et al.	呼吸器外科学講座	Intratumoral distribution of EGFR-amplified and EGFR-mutated cells in pulmonary adenocarcinoma.	Pathology, research and practice. 2014;210(3):155-60
709	Suzuki M, Shiraishi K, Yoshida A, Shimada Y, Suzuki K, Asamura H, et al.	呼吸器外科学講座	HER2 gene mutations in non-small cell lung carcinomas: Concurrence with her2 gene amplification and her2 protein expression and phosphorylation.	Lung Cancer 2015;87(1):14-22
710	Takahiro Tsumori, Koji Tsuta, MD, PhD, Kyohei Masai, Tomoaki Kinno, Tomoko Taniyama, Akihiko Yoshida, Kenji Suzuki, Hitoshi Tsuda.	呼吸器外科学講座	Hitoshi Tsuda: p40 is the best marker for diagnosing pulmonary squamous cell carcinoma: comparison with p63, cytokeratin 5/6, desmocollin-3, and sox2.	Appl Immunohistochem Mol Morphol. 2014 May-
711	Takamochi K, Oh S, Miyasaka Y, Matsunaga T, Kitamura Y, Fukui M, Suzuki K.	呼吸器外科学講座	Prospective randomized trial comparing buttressed versus nonbuttressed stapling in patients undergoing pulmonary lobectomy.	Thorac Cardiovasc Surg. 2014 Dec;62(8):696-704.
712	Tsubokawa N, Mima T, Aokage K, Hattori A, Suzuki K, Nagai K, et al.	呼吸器外科学講座	Surgical outcomes of non-small-cell lung carcinoma in patients previously treated for gastric cancer.	Eur J Cardiothorac Surg. 2014

713	Watanabe Y, Tsuta K, Kusumoto M, Yoshida A, Suzuki K, Asamura H, Tsuda H.	呼吸器外科学講座	Clinicopathological Features and Computed Tomographic Findings of 52 Surgically Resected Adenosquamous Carcinomas of the Lung	Ann Thorac Surg 2014;97:245-52
714	Yukio Watanabe, Kouya Shiraishi, Fumiaki Takahashi, Akihiko Yoshida, Kenji Suzuki, Hisao Asamura, Masahiro Takeuchi, Koh Funata, Koji	呼吸器外科学講座	Biomarker expression and druggable gene alterations for development of an appropriate therapeutic protocol for pulmonary adenosquamous carcinoma.	Histopathology. 2014
715	Yukio Watanabe, Masahiko Kusumoto, Yoshida Akihiko, Kenji Suzuki, Hisao Asamura, Koji Tsuta.	呼吸器外科学講座	Surgically Resected Solitary Cavitary Lung Adenocarcinoma: Association between Clinical, Pathological, and Radiological Findings, and Prognosis.	Ann Thorac Surg. 2014 (In press)
716	Yukio Watanabe, Shinji Sasada, Christine Chavez, Yuji Matsumoto, Takehiro Izumo, Takaaki Tsuchida.	呼吸器外科学講座	Flex-rigid Pleuroscopy Under Local Anesthesia in Patients with Dry Pleural Dissemination on Radiography.	Jpn J Clin Oncol. Aug;44(8):749-755,2014.
717	Yukio Watanabe, Shinji Sasada, Takehiro Izumo, Yukiko Nakamura, Christine Chavez, Shun-ichi Watanabe, Takaaki Tsuchida.	呼吸器外科学講座	Intractable Obstructive Endobronchial Granulation Caused by Surgical Materials after Sleeve Resection for Tracheal Carcinoma.	Ann Thorac Surg. Dec;98(6):2200-2,2014.
718	Koga H, Okawada M, Doi T, Miyano G, G Lane GJ, Yamataka A	小児外科学講座	Comparison between closed and open techniques for creating a retroperitoneal space for retroperitoneoscopic renal surgery in	Pediatr Surg Int 30
719	Koga H, Suzuki K, Nishimura K, Okawada M, Doi T, Lane GJ, Inada E, Okazaki T, Yamataka A	小児外科学講座	Comparison of the value of tissue-sealing devices for thoracoscopic pulmonary lobectomy in small children: A First report	Pediatr Surg Int 30
720	Koga H, Yamoto M, Okazaki T, Okawada M, Doi T, Miyano G, Fukumoto K, Lane GJ, Urushihara N, Yamataka A	小児外科学講座	Thoracoscopic repair of type-C esophageal atresia does not require direct manipulation of lung parenchyma in comparison to open	Pediatr Surg Int 30
721	Wada M, Nakamura H, Koga H, Miyano G, Lane GJ, Okazaki T, Urao M, Murakami H, Uchi T, Seō S,	小児外科学講座	Experience of treating biliary atresia with three types of portoenterostomy at a single institution: extended, modified Kasai, and laparoscopic	Pediatr Surg Int, 2
722	Yazaki Y, Okawada M, Doi T, Miyano G, Koga H, Lane GJ, Yamataka A	小児外科学講座	Traction-assisted dissection with soft tissue coverage is effective for repairing recurrent urethrocutaneous fistula following hypospadias surgery	Pediatr Surg Int, 2014; Published online
723	Shibuya S, Ogasawara Y, Izumi H, Kantake M, Obinata K, Yoshida K, Lane GJ, Yamataka A, Okazaki T	小児外科学講座	A case of congenital diaphragmatic hernia with intradiaphragmatic pulmonary sequestration: case report and literature review	Pediatr Surg Int. 2014 Sep;30(9):961
724	Sueyoshi R, Okawada M, Fujimura J, Saito M, Koga H, Lane GJ, Yamataka A	小児外科学講座	Successful complete resection of Ewing sarcoma arising from the bladder in a 10-year-old boy after chemotherapy	Pediatr Surg Int. 2014 Sep;30(9):965-9.
725	Takahashi T, Friedmacher F, Takahashi H, Hofmann AD, Puri P.	小児外科学講座	Disruption of copper-dependent signaling pathway in the nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia	Pediatr Surg Int. [
726	Takahashi T, Friedmacher F, Takahashi H, Hofmann AD, Puri P.	小児外科学講座	Myogenin gene expression is not altered in the developing diaphragm of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia	Pediatr Surg Int. 2014 Sep;30(9):901-6.
727	Koga H, Ochi T, Okaw	小児外科学講座	Comparison of outcomes between laparoscopy-assisted and posterior sagittal anorectoplasties for male imperforate anus with recto-bulbar	J Pediatr Surg 49:
728	Pandya KA, Koga H, Okawada M, Coran AG, Yamataka A, Teitelbaum DH	小児外科学講座	Vaginal Anomalies and Atresia Associated with Imperforate Anus: Diagnosis and Surgical Management.	J Pediatr Surg 20
729	Takahashi T, Friedmacher F, Takahashi H, Hofmann AD, Puri P.	小児外科学講座	Klf7 expression is decreased in the diaphragmatic and pulmonary mesenchyme of Disruption of nitrofen-induced congenital	J Pediatr Surg. [In

730	Miyano G, Miyake H, Kaneshiro M, Morita K, Nouse H, Yamoto M, Fukumoto K, Horikoshi Y, Kudo K, Hamazaki M, Urushihara N.	小児外科学講座	Mediastinal extracardiac fetal rhabdomyoma; case report.	J Pediatr Surg Case Report, 2014; 2(4): 196–199
731	Miyano G, Nakazawa Y, Mitsunaga M, Kaneshiro M, Miyake H, Morita K, Nouse H, Yamoto M, Fukumoto K, Tanaka Y, Nishiguchi T, Urushihara N.	小児外科学講座	Cervical rhabdomyosarcoma and Exit procedure; case report.	J Pediatr Surg Ca
732	Okuyama H, Koga H, Ishimaru T, Kawashima H, Yamataka A, Urushihara N, Segawa O, Uchida H, Iwanaka T	小児外科学講座	Current practice and outcomes of thoracoscopic esophageal atresia and tracheoesophageal fistula repair: A multiinstitutional in Japan	J Laparoendosc A
733	Miyano G, Fukuzawa H, Morita K, Kaneshiro M, Miyake H, Nouse H, Yamoto M, Fukumoto K, Urushihara N	小児外科学講座	Laparoscopic repair of malrotation. What are the indications in neonates and children?	J Laparoendosc Adv Surg Tech A (in press)
734	Miyano G, Yamoto M, Kaneshiro M, Miyake H, Morita K, Nouse H, Koyama M, Okawada M, Doi T, Koga H, Fukumoto K, Lane GJ, Yamataka A, Urushihara N	小児外科学講座	Diaphragmatic eventration in children; laparoscopy versus thoracoscopic plication.	J Laparoendosc Adv Surg Tech A (in press)
735	Miyano G, Morita K, Kaneshiro M, Miyake H, Nouse H, Yamoto M, Koyama M, Nakanno R, Tanaka Y, Fukumoto K, Urushihara N.	小児外科学講座	Air seal intelligent flow system and anchor port enabled laparoscopic Toupet fundoplication performed on a 1.8kg infant: Video	J Laparoendosc Adv Surg Tech B; Video (in press)
736	Miyano G, Morita K, Kaneshiro M, Miyake H, Nouse H, Yamoto M, Koyama M, Nakanno R, Tanaka Y, Fukumoto K, Urushihara N.	小児外科学講座	Laparoscopic Toupet fundoplication performed on a 1.8kg infant using air seal intelligent flow system and anchor port: technical report	Asian J Endosc Surg (in press)
737	Miyano G, Morita K, Kaneshiro M, Miyake H, Koyama M, Nouse H, Yamoto M, Nakanno R, Tanaka Y, Kawamura T, Nishiguchi T, Fukumoto K, Urushihara N.	小児外科学講座	Unilateral pulmonary agenesis associated with esophageal atresia and tracheoesophageal fistula: A case report with prenatal diagnosis	Afr J Pediatr Surg (in press)
738	Miyano G, Nouse H, Morita K, Hideaki Nakajima, Koyama M, Kaneshiro M, Miyake H, Yamoto M, Fukumoto K, Urushihara N.	小児外科学講座	Idiopathic Gastric Perforation in Duchenne Muscular Dystrophy: A Case Report	Afr J Pediatr Surg (in press)
739	Takahashi T, Okazaki T, Lane GJ, Yamataka A.	小児外科学講座	Mesenteric Inflammatory Pseudotumor of the small intestine presenting with intestinal obstruction in a child: Case report and literature review	Afr J Pediatr Surg. 2014 Oct–Dec;11(4):347–350
740	Takahashi T, Miyano G, Lane GJ, Arakawa A, Yamataka A.	小児外科学講座	A child with colocolonic intussusceptions due to a large colonic polyp: Case report and literature review	Afr J Pediatr Surg. 2014 Jul–Sep;11(3):261–263
741	Sueyoshi R, Woods Ignatoski KM, Okawada M, Hartmann B, Holst J,	小児外科学講座	Stimulation of intestinal growth and function with DPP4 inhibition in a mouse short bowel syndrome model.	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol.
742	Sueyoshi R, Woods Ignatoski KM, Okawada M, Teitelbaum DH.	小児外科学講座	Distraction-induced intestinal growth: the role of mechanotransduction mechanisms in a mouse model of short bowel syndrome	Tissue Eng Part A. 2014 Feb;20(3–4):830–
743	Takahashi T, Friedmacher F, Takahashi H, Hofmann AD, Puri P.	小児外科学講座	Lysyl Oxidase expression is decreased in the developing diaphragm and lungs of nitrofen-induced congenital diaphragmatic hernia	Eur J Pediatr Surg
744	Tsujimura A, Kiuchi H, Soda T, Takezawa K, Okuda H, Fukuhara S, Takao T, Nonomura N, Miyagawa Y	泌尿器科学講座	Sexual life of Japanese patients with erectile dysfunction taking phosphodiesterase type 5 inhibitors: an Internet survey using the Psychological	Int J Urol, 2014; 21(8): 821–825
745	Kawano H, Muto S, Ohmoto Y, Iwata F, Fujiki H, Mori T, Yan L, Horie S.	泌尿器科学講座	Exploring urinary biomarkers in autosomal dominant polycystic kidney disease.	Clin Exp Nephrol. 2014 Dec 28.
746	Ayako Ohtaka Mayuko Kanayama Hiroaki Aoki Kazutaka Terai Fumitaka Shimizu Shinichi Hisasue Yoshiaki Wakumoto Shigeo Horie	泌尿器科学講座	Spermatic cord metastasis of gastric cancer diagnosed from right groin pain	ICCJ-D-14-00043

747	Kosuke Kitamura, Satoru Muto, Isao Yokota, Kazutane Hoshimoto, Tatsuro Kaminaga, Syou-ichiro Sugiura, Hisamitsu Ide, Raizo Yamaguchi	泌尿器科学講座	Feasibility of Multi-parametric Prostate Magnetic Resonance Imaging in Cancer Distribution Detection: Histopathological Correlation Using Prostatectomy	Prostate Int 2014;2(4):1-8
748	Yoshiro Sakamoto, Kaori Fukaya, Masaki Haraoka, Kosuke Kitamura, Yoichiro Toyonaga, Michio Tanaka, Shigeo Horie	泌尿器科学講座	Analysis of prostate cancer localization toward improved diagnostic accuracy of transperineal prostate biopsy	Prostate Int 2014;2(3):114-120
749	Ide H, Lu Y, Tanaka T, Wakumoto Y, Kitamura K, Muto S, Yamaguchi R, Masumori N, Horie S.	泌尿器科学講座	Circulating tumor cell count during zoledronic acid treatment in men with metastatic prostate cancer: a pilot study.	Prostate Int. 2014 Sep;2(3):147-51
750	Abdelhamed A, Hisasue S, Shirai M, Matsushita K, Wakumoto Y, Tsujimura A, Tsukamoto T, Horie S.	泌尿器科学講座	Testosterone replacement alters the cell size in visceral fat but not in subcutaneous fat in hypogonadal aged male rats as a late-onset hypogonadism animal model.	Research and reports in urology. 2015;7:35-40.
751	Masuda, H., Hisasue, S., Murata, H. et al.:	泌尿器科学講座	The Impact of Salivary Testosterone Levels on the Quality of Life of a Community-Based Population in Japan.	Journal of Men's Health, 11: 80, 2014
752	Asahina M, Saito T, Arakawa A, Suehara Y, Takagi T, Hisasue S, Kaneko K, Horie S, Yao T:	泌尿器科学講座	A case of primary spindle cell variant of embryonal rhabdomyosarcoma of the prostate.	Int J Clin Exp Pathol. 2014 Jul 15;7(8):5181-5. 2014.
753	Takeuchi M, Hisasue S, Hashimoto K, Tsukamoto T, Masumori N.	泌尿器科学講座	Impact of visceral fat ratio on sleep-related erection: A retrospective study of elderly patients.	Int J Urol. Jun 3 2014.
754	Matsuda Y, Hisasue S, Kumamoto Y, et al.	泌尿器科学講座	Correlation between Erection Hardness Score and Nocturnal Penile Tumescence Measurement.	J Sex Med. Jun 12 2014.
755	Horie S, Hisasue S, Nakao M, et al.	泌尿器科学講座	Correlation between the Japanese Aging Male Questionnaire (JAMQ) and Aging Male's Symptom (AMS) scale in Japanese male.	The aging male : the official journal of the International Society for the
756	Naoko Takazawa	泌尿器科学講座	Bladder metastasis of Extramammary Paget's disease: a case report	順天堂醫事雑誌60巻5号
757	Hiroki Yamada, Yoko Iabe, Ken Watanabe, Soji Morishita, Maiko Yuri, Masako Yokoo, Takashi Horii, Norio Shimizu, Sinya Kimura, Akimichi Ohsaka.	輸血学講座	Harmonization of quantitative BCR-ABL measurements using the secondary reference material anchored to the WHO primary standards.	Int J Lab Hematol. 12274.2014
758	Shirane S, Araki M, Morishita S, Edahiro Y, Takei H, Yoo Y, Choi M, Sunami Y, Hironaka Y, Noguchi M, Koike M, Sato E, Ohsaka A, and Komatsu N	輸血学講座	Consequences of the JAK2V617F allele burden for the prediction of transformation into myelofibrosis from polycythemia vera and essential thrombocytopenia	Int J Hematol 101(2): 148-53 (2014)
759	Shirane S, Araki M, Morishita S, Edahiro Y, Sunami Y, Hironaka Y, Noguchi M, Koike M, Ohsaka A, and Komatsu N	輸血学講座	JAK2, CALR, and MPL mutation status in Japanese myeloproliferative neoplasms patients	Haematologica 100(2): e46-8 (2014)
760	Harada SK, Ikeda K, Ogawa K, Ohkawara H, Kimura H, Kai T, Noji H, Morishita S, Komatsu N, and Takeishi Y	輸血学講座	Dysregulation of the MIRLET7/HMGA2 axis with methylation of the CDKN2A promoter in myeloproliferative neoplasms	Br J Haematol 168(3): 338-49 (2015)
761	Mitumori T, Nozaki Y, Kawashima I, Yamamoto T, Shobu Y, Nakajima K, Morishita S, Komatsu N, and Kiritto K	輸血学講座	Hypoxia inhibits JAK2V617F activation via suppression of SHP-2 function in MPN cells	Exp Hematol 42(9): 783-92.e1 (2014)
762	Takei H, Morishita S, Araki M, Edahiro Y, Sunami Y, Hironaka Y, Noda N, Sekiguchi Y, Tsuneda S, Ohsaka A, and Komatsu N	輸血学講座	Detection of MPLW515L/K mutations and determination of allele frequencies with a single-tube PCR assay	PLoS ONE 9(8): e104958 (2014)
763	Yamada H, Tabe Y, Watanabe K, Morishita S, Yuri M, Yokoo M, Horii T, Shimizu N, Kimura S, and Ohsaka A	輸血学講座	Harmonization of quantitative BCR-ABL measurement using the secondary reference material anchored to the WHO primary standards	Int J Lab Hematol, DOI: 10.1111/ijlh.12274 (2014)

764	Iba T, Aihara K, Yamada A, Nagayama M, Tabe Y, Ohsaka A	輸血学講座	Rivaroxaban attenuates leukocyte adhesion in the microvasculature and thrombus formation in an experimental mouse model of type 2 diabetes mellitus.	Thromb Res. 2014;133(2):276-80
765	Eda Hiro Y, Morishita S, Takahashi K, Hironaka Y, Yahata Y, Sunami Y, Shirane S, Tsutsui M, Noguchi M, Koike M, Imai K, Kirito K, Noda N, Sekiguchi Y.	輸血学講座	JAK2V617F mutation status and allele burden in classical Ph-negative myeloproliferative neoplasms in Japan.	Int J Hematol. 2014;99(5):625-34
766	HIROTSU, M., Shiozawa, A., Ono, N., Miwa, M., Kikuchi, K., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	Fungal extracts detected in eosinophilic chronic rhinosinusitis induced cytokines from the nasal polyp cells.	Laryngoscope(2014) 124, E347-353
767	Inoshita, A., Karasawa, K., Funakubo, M., Miwa, A., Ikeda, K., and Kamiya, K.	耳鼻咽喉科学講座	Dominant negative connexin26 mutation R75W causing severe hearing loss influences normal programmed cell death in postnatal organ of Corti.	BMC Genet (2014)15, 1
768	Inoshita, A., Kasai, T., Takahashi, M., Inoshita, H., Kasagi, S., Kawana, F., Ishiwata, S., Ohno, M., Yamaguchi, T., Narui, K., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	Craniofacial anatomical risk factors in men with obstructive sleep apnea and heart failure: a pilot study.	Sleep Breath (2014) 18, 439-445
769	Ito, K., Shimoji, K., Miyata, Y., Kamiya, K., Minamimoto, R., Kubota, K., Okasaki, M., Morooka, M., and Yokoyama, J.	耳鼻咽喉科学講座	Prognostic value of post-treatment (18)F-FDG PET/CT for advanced head and neck cancer after combined intra-arterial chemotherapy and radiotherapy.	Chin J Cancer Res(2014) 26, 30-37
770	Kamiya, K., Michel, V., Giraudet, F., Riederer, B., Foucher, I., Papal, S., Perfettini, I., Le Gal, S., Verpy, E., Xia, W., Seidler, U., Georgescu, M. M.	耳鼻咽喉科学講座	An unusually powerful mode of low-frequency sound interference due to defective hair bundles of the auditory outer hair cells.	Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of
771	Kidokoro, Y., Karasawa, K., Minowa, O., Sugitani, Y., Noda, T., Ikeda, K., and Kamiya, K.	耳鼻咽喉科学講座	Deficiency of transcription factor Brn4 disrupts cochlear gap junction plaques in a model of DFN3 non-syndromic deafness.	PLoS One(2014) 9, e108216
772	Matsumoto, F., Fujimaki, M., Ohba, S., Kojima, M., Yokoyama, J., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	Relationship between insulin-like growth factor-1 receptor and human papillomavirus in patients with oropharyngeal cancer.	Head Neck(2014)
773	Ohba, S., Yokoyama, J., Fujimaki, M., Kojima, M., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	A novel procedure for transtracheal resection for recurrent thyroid cancer involving a trachea and esophagus.	World J Surg Oncol (2014)12, 303
774	Ohba, S., Yokoyama, J., Kojima, M., Fujimaki, M., Anzai, T., Komatsu, H., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	Significant preservation of swallowing function in chemoradiotherapy for advanced head and neck cancer by prophylactic swallowing exercise.	Head Neck(2014)
775	Sakuraba, M., Murata, J., Teruyama, R., Kamiya, K., Yamaguchi, J., Okano, H., Uchiyama, Y., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	Spatiotemporal expression of TRPM4 in the mouse cochlea.	J Neurosci Res(2014)92, 1409-1418
776	Yokoyama, J., Ohba, S., Fujimaki, M., Anzai, T., Kojima, M., Ikeda, K., Suzuki, M., Yoshimoto, H., and Inoue, K.	耳鼻咽喉科学講座	Impact of intra-arterial chemotherapy including internal carotid artery for advanced paranasal sinus cancers involving the skull base.	Br J Cancer (2014)111, 2229-2234
777	Yokoyama, J., Ohba, S., Fujimaki, M., Kojima, M., Suzuki, M., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	Significant improvement in superselective intra-arterial chemotherapy for advanced paranasal sinus cancer by using indocyanine green fluorescence.	Eur Arch Otorhinolaryngol(2014) 271, 2795-2801
778	Yokoyama, J., Ooba, S., Fujimaki, M., Anzai, T., Kojima, M., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	Impact of removing mastoid process for advanced parotid cancer on facial nerve identification, preservation and reconstruction.	Head Face Med (2014)10, 6
779	Yokoyama, J., Ooba, S., Fujimaki, M., Anzai, T., Yoshii, R., Kojima, M., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	Impact of indocyanine green fluorescent image-guided surgery for parapharyngeal space tumours.	J Craniomaxillofac Surg (2014) 42, 835-838
780	Yokoyama, J., Yazawa, M., Yoshimoto, H., Ueki, K., Kawamoto, S., Ohba, S., Fujimaki, M., and Ikeda, K.	耳鼻咽喉科学講座	A novel procedure for reconstruction utilizing superficial femoral vein grafts following en bloc resection of carotid artery and head and neck malignant	Interact Cardiovasc Thorac Surg (2014)19, 175-177

781	Kamiya, K., Yum, S. W., Kurebayashi, N., Muraki, M., Ogawa, K., Karasawa, K., Miwa, A., Guo, X., Gotoh, S., Sugitani, Y., Yamapaka, H., Ito-	耳鼻咽喉科学講座	Assembly of the cochlear gap junction macromolecular complex requires connexin 26.	The Journal of clinical investigation (2014) 124, 1598-1607
782	Aiko Kurisaki-Arakawa, Keisuke Akaike, Ran Tomomasa, Atsushi Arakawa, Yoshiyuki Suehara, Tatsuya Takagi, Kazuo Kaneko, Takashi Yao.	整形外科学講座	A case of low-grade fibromyxoid sarcoma with unusual central necrosis in a 77-year-old man confirmed by FUS-CREB3L2 gene fusion.	Int J Surg Case Reports 5,1123-1127, 2014.
783	Aiko Kurisaki-Arakawa, Yoshiyuki Suehara, Atsushi Arakawa, Tatsuya Takagi, Michiko Takahashi, Keiko Mitani, Kazuo Kaneko, Takashi Yao, Tsuyoshi Saito	整形外科学講座	Deeply located low-grade fibromyxoid sarcoma with FUS-CREB3L2 gene fusion in a 5-year-old boy with review of literature.	Diagnostic Pathol : 9(1),163, 2014.
784	Akaike K, Kurisaki-Arakawa A, Hara K, Suehara Y, Takagi T, Mitani K, Kaneko K, Yao T, Saito T.	整形外科学講座	Distinct clinicopathologic features of NAB2-STAT6 fusion gene variants in solitary fibrous tumor with emphasis on the acquisition of highly malignant potential.	Hum Pathol. 2015 46(3):347-56
785	Akaike K, Suehara Y, Takagi T, Kaneko K, Saito T.	整形外科学講座	Eggshell-like mineralized recurrent lesion in the popliteal region after treatment of giant cell tumor of bone with denosumab	Skeletal Radiol 2014 43(12):1767-72
786	Asahina M, Saito T, Arakawa A, Suehara Y, Takagi T, Hisasue S, Kaneko K, Horie S, Yao T.	整形外科学講座	A case of primary spindle cell variant of embryonal rhabdomyosarcoma of the prostate. International journal of clinical and experimental pathology	Int J Clin Exp Pathol 2014 7(8):5181-5
787	Baba T, Homma Y, Takazawa N, Kobayashi H, Matsumoto M, Aritomi K, Yuasa T, Kaneko K	整形外科学講座	Is urinary incontinence the hidden secret complications after total hip arthroplasty?	Eur J Orthop Surg Trauma 24:1455-60, 2014
788	Baba T, Futamura K, Aoki K, Homma Y, Shitoto K, Kaneko K	整形外科学講座	Combination of multi-osteosynthesis devices for femoral trochanteric fracture of giantism	Eur Orthop Trauma 5: 367-369, 2014
789	Cao K, Watanabe K, Kawakami N, Tsuji T, Hosogane N, Yonezawa I, Machida M, Yagi M, Kaneko S, Toyama Y, Matsumoto M	整形外科学講座	Selection of Lower Instrumented Vertebra in Treating Lenke Type 2A Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Spine. 39, E253-61, 2014
790	Cao K, Watanabe K, Hosogane N, Toyama Y, Yonezawa I, Machida M, Yagi M, Kaneko S, Kawakami N, Tsuji T, Matsumoto M.	整形外科学講座	The Association of Postoperative Shoulder Balance With Adding-on in Lenke Type II Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Spine 39, E705-12, 2014
791	Fujiwara T, Katsuda I, Hagiwara K, Kosaka N, Yoshioka Y, Takahashi RU, Takeshita F, Kubota D, Kondo T, Ichikawa H, Yoshida A, Kobayashi E.	整形外科学講座	Clinical relevance and therapeutic significance of microRNA-133a expression profiles and functions in malignant osteosarcoma-initiating cells.	Stem Cells. 2014; 32(4): 959-73.
792	Futamura K, Baba T, Kudo T, Homma Y, Yuichiro M, Shitoto K, Kaneko K.	整形外科学講座	Fixation for the open proximal tibia fracture approached by posteromedian for gastrocnemius flap combined with anterolateral approach.	Eur Orthop Traumatol 2014 Epub ahead of print
793	Hada S, Kaneko H, Sadatsuki R, Liu L, Futami I, Kinoshita M, Yusup A, Saita Y, Takazawa Y, Ikeda H, Kaneko K, Ishijima M.	整形外科学講座	The degeneration and destruction of femoral articular cartilage shows a greater degree of deterioration than that of the tibial and patellar articular cartilage in	Osteoarthritis Cartilage. 22:1583-9, 2014 IF:4.663
794	Hashimoto T, Sakuraba K	整形外科学講座	Strength Training for the Intrinsic Flexor Muscles of the Foot-Effects on Muscle Strength, the Foot Arch, and Dynamic Parameters before and after the training.	J. Phys. Ther. Sci. 26:373-376, 2014
795	Hashimoto T, Sakuraba K	整形外科学講座	Assessment of effective ankle joint positioning in strength training for intrinsic foot flexor muscles: A comparison of intrinsic foot flexor muscle activity in a	J. Phys. Ther. Sci. 26:451-454, 2014
796	Hernigou P, Pariat J, Queinnee S, Homma Y, Lachaniette CH, Chevallier N, Rouard H	整形外科学講座	Supercharging irradiated allografts with mesenchymal stem cells improves acetabular bone grafting in revision arthroplasty.	Int Orthop. 38, 1913-21, 2014
797	Hernigou J, Picard L, Alves A, Silvera J, Homma Y, Hernigou P	整形外科学講座	Understanding bone safety zones during bone marrow aspiration from the iliac crest: the sector rule	Int Orthop. 38, 2377-84, 2014

798	Hernigou J, Alves A, Homma Y, Guissou I, Hernigou P	整形外科学講座	Anatomy of the ilium for bone marrow aspiration: map of sectors and implication for safe trocar placement	Int Orthop. 38, 2585-90, 2014
799	Hirohisa Katagiri, Rieko Okada, Tatsuya Takagi, Mitsuru Takahashi, Hideki Murata, Hideyuki Harada, Tetsuo Nishimura, Hirofumi Asakura, Hirofumi Ogawa	整形外科学講座	New prognostic factors and scoring system for patients with skeletal metastasis.	Cancer Medicine 3(5);1359-1367, 2014.
800	Homma Yasuhiro, Kaneko K, Hernigou P	整形外科学講座	Supercharging allografts with mesenchymal stem cells in operating room during hip revision.	Int orthop. 38, 2033-44, 2014
801	Igeta Y, Naito K, Sugiyama Y, Kaneko K, Obayashi O	整形外科学講座	Pulmonary thromboembolism after operation for bilateral open distal radius fractures: a case report.	BMC Research Notes. 7: 36. 2014. Doi: 10.1186/10.1186/1
802	Ishii M, Kim Y, Suehara Y, Kawasaki T, Matsuoka J, Akaike K, Mukaiharu K, Kubota D, Okubo T, Saito T, Takagi T, Kaneko K.	整形外科学講座	The Recognition of Locomotive Syndrome in 2014: A Cross-sectional Study in the Orthopaedic Outpatients in Tokyo.	British Journal of Medicine & Medical Research 2015 6(6) 606-616
803	Itoigawa Y, Sperling JW, Steinmann SP, Chen Q, Song P, Chen S, Itoi E, Hatta T, An KN.	整形外科学講座	Feasibility assessment of shear wave elastography to rotator cuff muscle.	Epub Clin Ana, .2014 Dec 30.
804	Izuo N, Nojiri H, Uchiyama S, Noda Y, Kawakami S, Kojima S, Sasaki T, Shirasawa T, Shimizu T	整形外科学講座	Brain-specific superoxide dismutase 2 deficiency causes perinatal death with spongiform encephalopathy in mice.	Oxid Med Cell Longev. 2014, Epub ahead
805	Kanda A, Kaneko K, Obayashi O, Mogami A	整形外科学講座	A 42-year-old patient presenting with femoral head migration after hemiarthroplasty performed 22 years earlier: a case report.	J. Medical Case Reports 2015, 9:17 doi:10.1186/1752-1947-9-17
806	Kaneko M, Sakuraba K	整形外科学講座	Association between femoral anteversion and lower extremity posture upon single-leg landing: implications for anterior cruciate ligament injury.	Journal of Physical Therapy Science. 25 (10) :1213-17. 2013
807	Kastenhuber ER, Huse JI, Berman SH, Pedraza A, Zhang J, Suehara Y, Viale A, Cavatore M, Heguy A, Szerlip N, Ladanyi M, Brennan CW	整形外科学講座	Quantitative assessment of intragenic receptor tyrosine kinase deletions in primary glioblastomas: their prevalence and molecular correlates.	Acta Neuropathologica 2014 127(5):747-59
808	Kawasaki T, Ota C, Urayama S, Maki N, Nagayama M, Kaketa T, Takazawa Y, Kaneko K.	整形外科学講座	Incidence of and risk factors for traumatic anterior shoulder dislocation. An epidemiologic study in high school rugby players.	J Shoulder Elbow Surg. 2014; 23:1624-1630.
809	Kawasaki T, Maki N, Shimizu K, Ota C, Urayama S, Moriya S, Kaketa T, Kobayashi H, Kaneko K.	整形外科学講座	Do stingers affect scapular kinematics in rugby players?	J Shoulder Elbow Surg. 2014; 23:e293-e299.
810	Keisuke Akaike, Yoshiyuki Suehara, Tatsuya Takagi, Kazuo Kaneko, Tsuyoshi Saito	整形外科学講座	An eggshell-like mineralized recurrent lesion in the popliteal region after treatment of giant cell tumor of the bone with denosumab.	Skeletal Radiology :43,1767-1772, 2014
811	Kikuta K, Kubota D, Yoshida A, Morioka H, Toyama Y, Chuuman H, Kawai A	整形外科学講座	An analysis of factors related to the tail-like pattern of myxofibrosarcoma seen on MRI.	Skeletal Radiol. 2015; 44(1):55-62.
812	Kimoto-Nira H, Nagakura Y, Kodama C, Shimizu T, Okuda M, Sasaki K, Koikawa N, Sakuraba K, Suzuki C, Suzuki Y. :	整形外科学講座	Effects of ingesting fermented milk by using Lactococcus lactis H61 on skin health in young women: A randomized double-blind study.	J Dairy Sci 97(9): 5898-5903, 2014
813	Kubota D, Yoshida A, Kawai A, Kondo T.	整形外科学講座	Proteomics identified overexpression of SET oncogene product and possible therapeutic utility of protein phosphatase 2A in alveolar soft part sarcoma.	J Proteome Res. 2014; 2;13(5):2250-61.
814	Kubota T, Yoshida A, Kikuta K, Saito T, Suehara Y, Gotoh M, Kawai A, Kondo T.	整形外科学講座	Proteomic approach to gastrointestinal stromal tumor identified prognostic biomarkers	Journal of Proteomics & Bioinformatics 2014 7(1):10-16.

815	Kurisaki-Arakawa A, Akaike K, Tomomasa R, Arakawa A, Suehara Y, Takagi T, Kaneko K, Yao T, Saito T.	整形外科学講座	A case of low-grade fibromyxoid sarcoma with unusual central necrosis in a 77-year-old man confirmed by FUS-CREB3L2 gene fusion.	International Journal of Surgery Case Reports. 2014 5(12): 1123-1127
816	Kurisaki-Arakawa A, Suehara Y, Arakawa A, Takagi T, Takahashi M, Mitani K, Kaneko K, Yao T, Saito T.	整形外科学講座	Deeply located low-grade fibromyxoid sarcoma with FUS-CREB3L2 gene fusion in a 5-year-old boy with review of literature	Diagn Pathol 2014 9(1): 163.
817	Loviy CM, McDonald NT, Chen H, Jin H, Lim D, Suehara Y, Wang Lu, Chen X, Lu P, Red-Brewer M, Johnson DH, Horn L, Ladanvi M, Pao W.	整形外科学講座	Rationale for co-targeting IGF-1R and ALK in ALK fusion positive lung cancer	Nature Medicine 2014 20(9):1027-34
818	Maezawa K, Nozawa M, Yuasa T, Arimoto K, Ogawa S, Maruyama Y, Kaneko K.	整形外科学講座	Mid-term clinical results of total hip arthroplasty using a Wagner standard cup for dysplastic hip.	Journal of Orthopaedics 11: 170-173, 2014
819	Maruyama Y, Osawa A, Mamiya Y, Kaneko K	整形外科学講座	Marked varus deformity due to insufficiency fracture of the proximal tibia treated by open-wedge high tibial osteotomy: A case report	Eur Orthop Traumatol. 2014 (Epub ahead of print. DOI:
820	Matsuo T, Watari T, Naito K, Mogami A, Kaneko K, Obayashi O	整形外科学講座	Percutaneous cerclage wiring for the surgical treatment of displaced patella fractures.	Strat Traum Limb Recon. 9: 19-23. 2014
821	Miki Asahina, Tsuyoshi Saito, Atsushi Arakawa, Yoshiyuki Suehara, Tatsuya Takagi, Shin-ichi Hisasue, Kazuo Kaneko, Shigeo Horie, Takashi Yao	整形外科学講座	A case of primary spindle cell variant of embryonal rhabdomyosarcoma of the prostate.	Int J Clin Exp l Pathol : 7(8),5181-5185, 2014.
822	Morikawa D, Itoigawa Y, Nojiri H, Sano H, Itoi E, Saijo Y, Kaneko K, Shimizu T	整形外科学講座	Contribution of oxidative stress to the degeneration of rotator cuff entheses.	J Shoulder Elbow Surg, 2014 May;23(5):628-35.
823	Morikawa D, Itoigawa Y, Nojiri H, Sano H, Itoi E, Saijo Y, Kaneko K, Shimizu T	整形外科学講座	Contribution of oxidative stress to the degeneration of rotator cuff entheses.	J Shoulder Elbow Surg. 23, 628-35, 2014
824	Morikawa D, Itoigawa Y, Nojiri H, Sano H, Itoi E, Saijo Y, Kaneko K, Shimizu T	整形外科学講座	Contribution of oxidative stress to the degeneration of rotator cuff entheses.	J Shoulder Elbow Surg, 2014; 23: 628-635
825	Mukaihara K, Kubota D, Yoshida A, Asano N, Suehara Y, Kaneko K, Kawai A, Kondo T	整形外科学講座	Proteomic Profile of Epithelioid Sarcoma	Journal of Proteomics & Bioinformatics 2014 7: 158-165
826	Naito K, Sugiyama Y, Igeta Y, Kaneko K, Obayashi O.	整形外科学講座	Irreducible dislocation of the thumb interphalangeal joint due to displaced flexor pollicis longus tendon: case report and new reduction technique.	Arch Orthop Traum Surg, 2014; 134: 1175-1178
827	Naito K.	整形外科学講座	Radius styloid process fractures treated with break-away screws: two cases report.	J Exerc Sports Orthop, 2014; 1: 1
828	Nishida Y, Kobayashi E, Kubota D, Setsu N, Ogura K, Tanzawa Y, Nakatani F, Kato Y, Chuman H, Kawai A.	整形外科学講座	Chronic expanding hematoma with a significantly high fluorodeoxyglucose uptake on ¹⁸ F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography, mimicking a	J Med Case Rep. 2014; 21;8:349.
829	Ochiai S, Watanabe A, Oda Hideshi, Ikeda H	整形外科学講座	Effectiveness of thermotherapy using a heat and steam generating sheet for cartilage in knee osteoarthritis.	J. Phys. Ther. Sci. 26: 281-284. 2014
830	Okubo T, Suehara Y, Kawasaki T, Akaike K, Toda M, Okubo N, Kubota D, Mukaihara K, Kim Y, Kaketa T, Homma Y, Shimanouchi N, Saito T, Takagi T and Omori R, Yanagawa Y,	整形外科学講座	An Outpatient-based Survey about the Recognition of Locomotive Syndrome and the Results of the Loco-check at a University Hospital in Tokyo	British Journal of Medicine & Medical Research 2014 4: 3255-3268. 2014
831	Osaka H, Kondo A, Yasumasa Oode, Ken Okamoto, Atsuyuki Kubota*, Keishoku Sakuraba, Akio Kanda, Akira Itoi,	整形外科学講座	Analysis of patients with bodyboarding injuries transported by physician-staffed emergency helicopter,	Journal of Trauma, 2014

832	Orita H, Ito T, Kushida T, Sakurada M, Maekawa H, Wada R, Suehara Y, Kubota D, Sato K.	整形外科学講座	Pfetin as a risk factor of recurrence in gastrointestinal stromal tumors.	Biomed Res Int., 2014;651935.
833	Saita Y, Ishijima M, Mogami A, Kubota M, Baba T, Kaketa T, Nagao M, Sakamoto Y, Sakai K, Kato R, Nagura N, Miyagawa K, Wada T, Liu L, Obayashi O.	整形外科学講座	The fracture sites of atypical femoral fractures are associated with the weight-bearing lower limb alignment.	Bone. 66:105-10, 2014
834	Saita Y, Ishijima M, Mogami A, Kubota M, Baba T, Kaketa T, Nagao M, Sakamoto Y, Sakai K, Homma Y, Kato R, Nagura N, Miyagawa K, Wada T, Liu	整形外科学講座	The incidence of and risk factors for developing atypical femoral fractures in Japan.	J Bone Miner Metab 2014 Epub ahead of print
835	Sugiyama Y, Naito K, Igeta Y, Obata H, Kaneko K, Obayashi O.	整形外科学講座	Treatment strategy for distal radius fractures with ipsilateral arteriovenous shunts.	J Hand Surg Am, 2014; 39: 2265-2268
836	Sugiyama Y, Naito K, Igeta Y, Kaneko K, Obayashi O.	整形外科学講座	Ulnar para-metacarpal flap for recurrence of the Dupuytren's disease with skin ulcer: A case report.	J Orthop Cas Rep, 2014; 4: 60-63
837	Suzuki Y, Maruyama-Nagao A, Sakuraba K, Kawai S.:	整形外科学講座	Milk fortified with vitamin D could reduce the prevalence of vitamin D deficiency among Japanese female college students.	Arch Osteoporos. 9(1):188, 2014 doi:10.1007/s11657-014-0188-x
838	Suzuki Y, Shimizu T, Ota M, Hirata R, Sato K, Tamura Y, Imanishi A, Watanabe M, Sakuraba K. :	整形外科学講座	Different training status could alter the continuous blood glucose kinetics in self-paced endurance running.	Exp Ther Med. Accepted
839	Taketo Okubo, Tsuyoshi Saito, Tatsuya Takagi, Yoshiyuki Suehara, Kazuo Kaneko :	整形外科学講座	Desmoplastic fibroma of the rib with cystic change: a case report and literature review	Skeletal Radiology : 43(5),703-708, 2014.
840	Taketo Okubo, Yoshiyuki Suehara, Takayuki Kawasaki, Keisuke Akaike, Midori Toda, Naoko Okubo, Daisuke Kubota, Kenta Mukaihara, Yongji Kim, Taoka M, Morotani N, Yamauchi Y, Ojima H, Kubota D, Terukina G, Nobe Y, Nakayama H, Takahashi N, Kosuge T, Isobe T, Kondo T.	整形外科学講座	An Outpatient-based Survey about the Recognition of Locomotive Syndrome and the Results of the Loco-check at a University Hospital in Tokyo.	British J Medicine & Med Res : 4(17):3255-3268, 2014.
841	Yamauchi Y, Ojima H, Kubota D, Terukina G, Nobe Y, Nakayama H, Takahashi N, Kosuge T, Isobe T, Kondo T.	整形外科学講座	Global PROTOMAP Profiling to Search for Biomarkers of Early-Recurrent Hepatocellular Carcinoma.	J Proteome Res. 2014; 7;13(11):4847-58.
842	Tsuchiya Y, Sakuraba K: Ochi E	整形外科学講座	Effect of eccentric contractions of elbow flexor on bone formation and resorption markers.	J Sports Med Phys Fitness. 54(5): 651-657, 2014
843	Taketo Okubo, Tsuyoshi Saito, Tatsuya Takagi, Yoshiyuki Suehara, Kazuo Kaneko :	整形外科学講座	Desmoplastic fibroma of the rib with cystic change: a case report and literature review	Skeletal Radiology : 43(5),703-708, 2014.
844	Toda M, Suehara Y, Akaike K, Okubo T, Kubota D, Mukaihara K, Kaneko K, Yao T, Takagi T, Saito T.	整形外科学講座	Giant-cell tumor of bone arising in the anterior rib with a positive expression of GPX-1: a case report and review of the literature.	Int Canc Conf J 2014 3:178-182
845	Yuasa T, Yamakawa J, Maezawa K, Kaneko K.	整形外科学講座	Prospective study on antimicrobial prophylaxis in total hip arthroplasty	Eur J Orthop Surg Traumatol. Sep 21, 2014.
846	Zemirline A, Naito K, Lebailly F, Facca S, Liverneaux P.	整形外科学講座	Distal radius fixation through a mini-invasive approach of 15 mm. Part 1: feasibility study.	Eur J Orthop Surg Traumatol, 2014; 24: 1031-1037
847	Uysal AC, Tobita M, Hyakusoku H and Mizuno H	形成外科学講座	The effect of bone-marrow-derived stem cells and adipose-derived stem cells on wound contraction and epithelization	Adv Wound Care 2014; 3(6): 405-413
848	Sawada N, Jiang A, Takizawa F, Safdar A, Manika A, Tesmenitsky Y, Kang KT, Bischoff J, Kalwa H, Sartoretto JL, Kamei Y, Benjamin LE, Watada H.	形成外科学講座	Endothelial PGC-1 α mediates vascular dysfunction in diabetes	Cell Metabolism 2014; 19(2): 246-258

849	Shimizu A, Tajima S, Tobita M, Tanaka R, Tabata Y and Mizuno H	形成外科学講座	growth factor incorporated in β -tricalcium phosphate for cranial regeneration in a murine model	Plast Reconstr Surg Global Open 2014; 2(3): e126
850	Komuro Y, Koizumi T and Matsumoto S	形成外科学講座	Use of a novel orbicularis oculi muscle overlap method for correction of tear-trough deformity	Aesthetic Plast Surg 2014; 38(4): 648-652
851	Masuda H, Tanaka R, Fujimura S, Ishikawa M, Akimaru H, Shizuno T, Sato A, Okada Y, Iida Y, Itoh J, Itoh Y, Kamiguchi H, Kawamoto A and Asahara T	形成外科学講座	Vasculogenic Conditioning of Peripheral Blood Mononuclear Cells Promotes Endothelial Progenitor Cell Expansion and Phenotype Transition of Anti-Inflammatory Autologous G-CSF mobilized peripheral	J Am Heart Assoc 2014; 3(3): e000743
852	Tanaka R, Masuda H, Kato S, Imagawa K, Kanabuchi K, Nakashioya C, Yoshida F, Fukui T, Kobori M, Wada M, Asahara T and Miyasaka M	形成外科学講座	blood CD34+ cell therapy for diabetic patients with chronic non-healing ulcer	Cell Transplant. 2014; 23(2): 167-179
853	Hayashi A, Labbé D, Natori Y, Yoshizawa H, Kudo H, Sakai T and Mizuno H	形成外科学講座	Experience and anatomical study of modified lengthening temporalis myoplasty for established facial paralysis	J Plast Reconstr Aesthet Surg (in press)
854	Tajima S, Tobita M, Orbay H, Hyakusoku H and Mizuno H	形成外科学講座	Direct and indirect effects on bone regeneration of a combination of adipose-derived stem cells and platelet-rich plasma	Tissue Eng (in press)
855	Sukmawati D, Fujimura S, Jitsukawa S, Ito-Hirano R, Ishii T, Sato T, Hayashi A, Itoh S, Mizuno H, Daida H and Tanaka R	形成外科学講座	Oxidative stress tolerance of early stage diabetic endothelial progenitor cell	Regenerative Therapy (in press)
856	Layliev J, Marchac M, Szapalski C, Henderson R, Saadeh P, Tanaka R and Warren SM	形成外科学講座	Endogenous cell therapy improves bone healing	J Craniofac Surg (in press)
857	Adachi Y, Sato N, Saito Y, Kimura Y, Nakata Y, Ito K, Kamiya K, Matsuda H, Tsukamoto T, Ogawa M	放射線診断学講座	Usefulness of SWI for the Detection of Iron in the Motor Cortex in Amyotrophic Lateral Sclerosis.	J Neuroimaging. 2014 Jun 3; doi:10.1111/jon.12127 [Epub ahead of
858	Fatima Z, Ichikawa T, Ishigame K, Motosugi U, Waqar AB, Hori M, Iijima H, Araki T.	放射線診断学講座	Orbital masses: the usefulness of diffusion-weighted imaging in lesion categorization.	Clin Neuroradiol. 2014 Jun;24(2):129-34.
859	Goto M, Abe O, Aoki S, Hayashi N, Miyati T, Takao H, Matsuda H, Yamashita F, Iwatsubo T, Mori H, Kunimatsu A, Ino K, Yano K, Ohtomo K.	放射線診断学講座	Influence of Parameter Settings in Voxel-based Morphometry 8. Using DARTEL and Region-of-interest on Reproducibility in Gray Matter Volumetry.	Methods Inf Med. 2015 Mar 23;54(2):171-8.
860	Goto M, Abe O, Aoki S, Hayashi N, Ohtsu H, Takao H, Miyati T, Matsuda H, Yamashita F, Iwatsubo T, Mori H, Kunimatsu A, Ino K, Yano K, Ohtomo K.	放射線診断学講座	Longitudinal gray-matter volume change in the default-mode network: utility of volume standardized with global gray-matter volume for Alzheimer's disease: a	Radiol Phys Technol. 2015 Jan;8(1):64-72.
861	Goto M, Kunimatsu A, Shojima M, Mori H, Abe O, Aoki S, Hayashi N, Gonoji W, Miyati T, Ino K, Yano K, Saito N, Ohtomo K.	放射線診断学講座	Depiction of branch vessels arising from intracranial aneurysm sacs: Time-of-flight MR angiography versus CT angiography.	Clin Neurol Neurosurg. 2014 Nov;126:177-84.
862	Hayakawa YK, Sasaki H, Takao H, Hayashi N, Kunimatsu A, Ohtomo K, Aoki S.	放射線診断学講座	Depressive symptoms and neuroanatomical structures in community-dwelling women: A combined voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging study with tract-	Neuroimage Clin. 2014;4:481-7.
863	Hori M, Tsutsumi S, Yasumoto Y, Ito M, Suzuki M, Tanaka FS, Kyogoku S, Nakamura M, Tabuchi T, Fukunaga I, Suzuki Y, Kamagata K, Masutani Y.	放射線診断学講座	Cervical spondylosis: Evaluation of microstructural changes in spinal cord white matter and gray matter by diffusional kurtosis imaging	Magn Reson Imaging. 2014 Jun;32(5):428-32.
864	Hori M, Yoshida M, Yokoyama K, Kamagata K, Kumagai F, Fukunaga I, Kamiya K, Suzuki M, Masutani Y, Hamasaki N, Suzuki Y, Kyogoku S.	放射線診断学講座	Multiple sclerosis: Benefits of q-space imaging in evaluation of normal-appearing and periplaque white matter.	Magn Reson Imaging. 2014 Jul;32(6):625-9.
865	Irie K, Suzuki M, Yamamoto M, Takano N, Suga Y, Hori M, Kamagata K, Takayama M, Yoshida M, Sato S, Hamasaki N, Oishi H, Aoki S.	放射線診断学講座	Assessing Blood Flow in an Intracranial Stent: A Feasibility Study of MR Angiography Using a Silent Scan after Stent-Assisted Coil Embolization for	AJNR Am J Neuroradiol. 2014 Dec 18; doi:10.3174/ajnr.A

866	Ishii K, Ito K, Nakanishi A, Kitamura S, Terashima A.	放射線診断学講座	Computer-assisted system for diagnosing degenerative dementia using cerebral blood flow SPECT and 3D-SSP: a multicenter study.	Jpn J Radiol. 2014 Jul;32(7):383-90.
867	Kamagata K, Shimoji K, Hori M, Nishikori A, Tsuruta K, Yoshida M, Kamiya K, Irie R, Suzuki M, Kyogoku S, Suzuki Y, Sato N, Aoki S.	放射線診断学講座	Intersite Reliability of Diffusion Tensor Imaging on Two 3T Scanners.	Magn Reson Med Sci. 2015 Feb 12; doi:10.2463/mrms.2014-0077 [Epub
868	Kamiya K, Hori M, Miyajima M, Nakajima M, Suzuki Y, Kamagata K, Suzuki M, Arai H, Ohtomo K, Aoki S.	放射線診断学講座	Axon diameter and intra-axonal volume fraction of the corticospinal tract in idiopathic normal pressure hydrocephalus measured by q-space imaging.	PLoS One. 2014;9(8):e103842.
869	Kamiya K, Sato N, Saito Y, Nakata Y, Ito K, Shigemoto Y, Ota M, Sasaki M, Ohtomo K.	放射線診断学講座	Accelerated myelination along fiber tracts in patients with hemimegalencephaly.	J Neuroradiol. 2014 Jul;41(3):202-10.
870	Kamiya K, Tanaka F, Ikeno M, Okumura A, Aoki S.	放射線診断学講座	DTI tractography of lissencephaly caused by TUBA1A mutation.	Neurol Sci. 2014 May;35(5):801-3.
871	Katagiri N, Pantelis C, Nemoto T, Zalesky A, Hori M, Shimoji K, Saito J, Ito S, Dwyer DB, Fukunaga I, Morita K, Tsujino N, Yamaguchi T, Shiraga N.	放射線診断学講座	A longitudinal study investigating sub-threshold symptoms and white matter changes in individuals with an 'at risk mental state' (ARMS).	Schizophr Res. 2015 Mar;162(1-3):7-13.
872	Katsura M, Suzuki Y, Hata J, Hori M, Sasaki H, Akai H, Mori H, Kunimatsu A, Masutani Y, Aoki S, Ohtomo K.	放射線診断学講座	Non-Gaussian diffusion-weighted imaging for assessing diurnal changes in intervertebral disc microstructure.	J Magn Reson Imaging. 2014 Nov;40(5):1208-14.
873	Kerever A, Kamagata K, Yokosawa S, Otake Y, Ochi H, Yamada T, Hori M, Kamiya K, Nishikori A, Aoki S, Arikawa-Hirasawa E.	放射線診断学講座	See-through Brains and Diffusion Tensor MRI Clarified Fiber Connections: A Preliminary Microstructural Study in a Mouse with Callosal Agenesis.	Magn Reson Med Sci. 2015 Mar 31; doi:10.2463/mrms.2014-0142 [Epub
874	Masutani Y, Aoki S.	放射線診断学講座	Fast and robust estimation of diffusional kurtosis imaging (DKI) parameters by general closed-form expressions and their extensions.	Magn Reson Med Sci. 2014;13(2):97-115.
875	Sai E, Shimada K, Yokoyama T, Sato S, Nishizaki Y, Miyazaki T, Hiki M, Tamura Y, Aoki S, Watada H, Kawamori R, Daida H.	放射線診断学講座	Evaluation of myocardial triglyceride accumulation assessed on (1)h-magnetic resonance spectroscopy in apparently healthy Japanese subjects.	Intern Med. 2015;54(4):367-73
876	Sato K, Ishigame K, Ying SH, Oishi K, Miller MI, Mori S.	放射線診断学講座	Macro- and microstructural changes in patients with spinocerebellar ataxia type 6: assessment of phylogenetic subdivisions of the cerebellum and the brain stem.	AJNR Am J Neuroradiol. 2015 Jan;36(1):84-90.
877	Suzuki M, Bachelet-Violette L, Rouzet F, Beilvert A, Autret G, Maire M, Menager C, Louedec L, Choqueux C, Saboural P, Haddad O, Chauviere C, Chauhet E, Tachibana Y, Obara T, Yoshida M, Hori M, Kamagata K, Suzuki M, Fukunaga I, Kamiya K, Yokoyama K, Hattori N, Inoue T, Aoki S.	放射線診断学講座	Ultrasoft superparamagnetic iron oxide nanoparticles coated with fucoidan for molecular MRI of intraluminal thrombus.	Nanomedicine (Lond). 2015 Jan;10(1):73-87.
878	Yokoyama J, Ohba S, Fujimaki M, Anzai T, Kojima M, Suzuki M, Ikeda K, Suzuki M, Yoshimoto H, Inoue K.	放射線診断学講座	Impact of intra-arterial chemotherapy including internal carotid artery for advanced paranasal sinus cancers involving the skull base.	Eur Radiol. 2015 Jan 11; doi:10.1007/s00330-014-3572-4
879	Yokoyama J, Ohba S, Fujimaki M, Anzai T, Kojima M, Suzuki M, Ikeda K.	放射線診断学講座	Significant improvement in superselective intra-arterial chemotherapy for advanced paranasal sinus cancer by using indocyanine green fluorescence.	Eur Arch Otorhinolaryngol. 2014 Oct;271(10):2795-
881	Kamagata K, Hori M, Kamiya K, Suzuki M, Nishikori A, Kumagai F, Yoshida M, Kyogoku S, Aoki S.	放射線診断学講座	Diffusion MR Imaging of White Matter Pathways. Visualization and Quantitative Evaluation.	Juntendo Medical Journal. 2014;60(2):100-106.
882	Kushida T, Nohara S, Yoshino K, Fujiwara D, Ouchi K, Amano T, Isayama F, Tomita N, Iwanuma Y, Sasai K, Tsurumaru M, Kajiyama Y.	放射線治療学講座	Utility of weekly docetaxel combined with preoperative radiotherapy for locally advanced esophageal cancer from pathological analysis.	Dis Esophagus. 27(4):368-73, 2014

883	Inoue T, Hattori T, Sugimoto S, Sasai K	放射線治療学講座	Design study of electron cyclotron resonance-ion plasma accelerator for heavy ion cancer therapy.	Rev Sci Instrum. 2014 Feb;85(2):02A958. doi:
884	Kunogi H, Sakanishi T, Sueyoshi N, Sasai K	放射線治療学講座	Prediction of Radiosensitivity Using Phosphorylation of Histone H2AX and Apoptosis in Human Tumour Cell Lines.	Int J Radiat Biol. 90(7):587-93, 2014
885	Melidis C, Bosch WR, Izewska J, Fidarova E, Zubizarreta E, Ulin K, Ishikura S, Followill D, Galvin J, Haworth A, Besuïen D, Clark CH, Miles	放射線治療学講座	Global harmonization of quality assurance naming conventions in radiation therapy clinical trials.	Int J Radiat Oncol Biol Phys, 2014; 90: 1242-1249
886	Nishimura S, Takeda A, Sanuki N, Ishikura S, Oku Y, Aoki Y, Kunieda E, Shigematsu N.	放射線治療学講座	Toxicities of organs at risk in the mediastinal and hilar regions following stereotactic body radiotherapy for centrally located lung tumors.	J Thorac Oncol 2014; 9: 1370-1376
887	Kubota K, Hida T, Ishikura S, Mizusawa J, Nishio M, Kawahara M, Yokoyama A, Imamura F, Takeda K, Negoro S, Harada M, Okamoto H, Yamamoto N.	放射線治療学講座	Randomized Phase III Study of Etoposide and Cisplatin versus Irinotecan and Cisplatin in Patients with Limited Small-Cell Lung Cancer Treated with Etoposide	Lancet Oncol 2014; 15: 106-113
888	Tatekawa K, Iwata H, Kawaguchi T, Ishikura S, Baba F, Otsuka S, Miyakawa A, Iwana M, Shibamoto Y.	放射線治療学講座	Changes in volume of stage I non-small-cell lung cancer during stereotactic body radiotherapy.	Radiat Oncol 2014; 9: 8
889	Shikama N, Tsujino K, Nakamura K, Ishikura S.	放射線治療学講座	Survey of advanced radiation technologies used at designated cancer care hospitals in Japan.	Jpn J Clin Oncol 2014; 44: 72-77
890	Manabe Y, Shibamoto Y, Sugie C, Baba F, Ayakawa S, Nagai A, Takemoto S, Hayashi A, Yanagi T, Ishikura S, Takeuchi M, Kawai N, Kori K.	放射線治療学講座	Toxicity and efficacy of three dose-fractionation regimens of intensity-modulated radiotherapy for localized prostate cancer.	J Radiat Res 2014; 55: 494-501
891	Nishio T, Shirato H, Ishikawa M, Miyabe Y, Kito S, Narita Y, Onimaru R, Ishikura S, Ito Y, Hiraoka M.	放射線治療学講座	Design, development of water tank-type lung phantom and dosimetric verification in institutions participating in a phase I study of stereotactic body radiation therapy in	J Radiat Res 2014; 55: 600-607
892	Naoi Y, Kunishima N, Yamamoto K, Yoda K	放射線治療学講座	A planning target volume margin formula for hypofractionated intracranial stereotactic radiotherapy under cone beam CT image guidance with a six-degrees-of-	Brit J Radiol 2014;87 doi: 10.1259/bjr.20140240
893	AI Saito, JG LI, C Liu, KR Olivier, D Kahler, K Karasawa, JF Dempsey	放射線治療学講座	The dosimetric effects of ignoring small non-bone high-density regions using the 5-bulk-density method for photon dose calculation.	Hong Kong J Radiol, 2014; 17:16-22
894	Saito AI, Olivier KR, Li JG, Liu C, Newlin HE, Schmalfluss I, Kyogoku S, Dempsey JF:	放射線治療学講座	Lung tumor motion change during stereotactic body radiotherapy (SBRT): an evaluation using MRI.	J Appl Clin Med Phys, 2014; 15(3):4434 doi: 10.1120/jacmp.v15i
895	Sato M, Kato N, Tateishi R, Muroyama R, Kowatari N, Li W, Goto K, Otsuka M, Shiina S, Yoshida H, Omata M, Koike K.	消化器画像診断・治療研究室	IL28B minor allele is associated with a younger age of onset of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C virus infection.	J Gastroenterol. 2014;49:748-754
896	Nakagomi R, Tateishi R, Shiina S, Imamura J, Fujiwara N, Asaoka Y, Kondo Y, Koike K	消化器画像診断・治療研究室	Drastically reduced neoplastic seeding related to radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma.	Am J Gastroenterol. 2014;109:774-776
897	Ikedo M, Shiina S, Nakachi K, Mitsunaga S, Shimizu S, Kojima Y, Ueno H, Morizane C, Kondo S, Sakamoto Y, Asaoka Y, Tateishi R, Koike K, Arioka H, Okusaka T, Asaoka Y, Tateishi R, Nakagomi R, Kondo M, Fujiwara N, Minami T, Sato M, Uchino K, Enooku K, Nakagawa H, Kondo Y, Shiina S, Yoshida H, Koike Fujiwara N, Tateishi R,	消化器画像診断・治療研究室	Phase I study on the safety, pharmacokinetic profile, and efficacy of the combination of TSU-68, an oral antiangiogenic agent, and S-1 in patients	Invest New Drugs. 2014;32:928-936
898	Nakagawa H, Nakagomi R, Kondo M, Minami T, Sato M, Uchino K, Enooku K, Kondo Y, Asaoka Y, Shiina S, Yoshida H, Koike K.	消化器画像診断・治療研究室	Frequency of and predictive factors for vascular invasion after radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma.	PLoS One. 2014; 9:e111662
899	Nakagawa H, Nakagomi R, Kondo M, Minami T, Sato M, Uchino K, Enooku K, Kondo Y, Asaoka Y, Shiina S, Yoshida H, Koike K.	消化器画像診断・治療研究室	Slight elevation of high-sensitivity C-reactive protein to predict recurrence and survival in patients with early stage hepatitis C-related hepatocellular	Hepatol Res. 2014 (in press)

900	Fujiwara N, Tateishi R, Kondo M, Minami T, Mikami S, Sato M, Uchino K, Enooku K, Masuzaki R, Nakagawa H, Kondo Y, Asaoka Y, Shiina S, Yoshida S	消化器画像診断・治療研究室	Cause-specific mortality associated with aging in patients with hepatocellular carcinoma undergoing percutaneous radiofrequency ablation.	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2014;26:1039-1046
901	Sato M, Kato N, Tateishi R, Muroyama R, Kowatari N, Li W, Goto K, Otsuka M, Shiina S, Yoshida H, Omata M, Koike K.	消化器画像診断・治療研究室	Impact of PNPLA3 polymorphisms on the development of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C virus infection.	Hepatol Res. 2014;44:E137-144
902	Minami T, Tateishi R, Shiina S, Fujiwara N, Mikami S, Sato M, Uchino K, Enooku K, Asaoka Y, Kondo Y, Yoshida H, Koike K.	消化器画像診断・治療研究室	Spontaneous clearance of serum hepatitis C virus RNA during the clinical course of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis C.	Hepatol Res. 2014;44:E32-37
903	Suzuki M, Sai JK, Shimizu T.	消化器画像診断・治療研究室	Acute pancreatitis in children and adolescents.	World J Gastrointest Pathophysiol. 2014;5:416-426
904	Soeda H, Shimodaira H, Gamoh M, Ando H, Isobe H, Suto T, Takahashi S, Kakudo Y, Amagai K, Mori T, Watanabe M, Yamaguchi T, Kato S, Ishioka C.	腫瘍内科学講座	Phase II trial of cetuximab plus irinotecan for oxaliplatin- and irinotecan-based chemotherapy-refractory patients with advanced and/or metastatic colorectal	Oncology. 2014;87(1):7-20.
905	Soeda H, Shimodaira H, Watanabe M, Suzuki T, Gamo M, Takahashi M, Komine K, Kato S, Ishioka C.	腫瘍内科学講座	KRAS mutation in patients with metastatic colorectal cancer does not preclude benefit from oxaliplatin-or irinotecan-based treatment.	Mol Clin Oncol. 2014 May;2(3):356-362.
906	Shiono M, Takahashi S, Kakudo Y, Takahashi M, Shimodaira H, Kato S, Ishioka C.	腫瘍内科学講座	Upper arm central venous port implantation: a 6-year single institutional retrospective analysis and pictorial essay of procedures for insertion.	PLoS One. 2014 Mar 10;9(3):e91335
907	Sato J, Kanazawa A, Ikeda F, Yoshihara T, Goto H, Abe H, Komiya K, Kawaguchi M, Shimizu T, Ogihara T, Tamura Y, Sakurai Y, Yamamoto R.	寄付講座(先進糖尿病治療学)	Gut dysbiosis and detection of "live gut bacteria" in blood of Japanese patients with type 2 diabetes	Diabetes Care, 37: 2343-2350, 2014
908	Yasunari E, Mita T, Osonoi Y, Azuma K, Goto H, Ohmura C, Kanazawa A, Kawamori R, Fujitani Y, Watada H	寄付講座(先進糖尿病治療学)	Repetitive hypoglycemia increases circulating adrenaline level with resultant worsening of intimal thickening after vascular injury in male Goto-Kakizaki rat	Endocrinology, 155: 2244-2253, 2014
909	Kawaguchi M, Tamura Y, Kakehi S, Takeno K, Sakurai Y, Watanabe T, Funayama T, Sato F, Ikeda S, Ogura Y, Saga N, Naito H, Fujitani Y, Kanazawa A, Kawamori	寄付講座(先進糖尿病治療学)	Association between expression of FABPpm in skeletal muscle and insulin sensitivity in intramyocellular-lipid-accumulated non-obese men	J Clin Endocrinol Metab, 99: 3343-3352, 2014
910	Kudo-Fujimaki K, Hirose T, Yoshihara T, Sato F, Someya Y, Ohmura C, Kanazawa A, Fujitani Y, Watada H	寄付講座(先進糖尿病治療学)	Efficacy and safety of nateglinide plus vildagliptin combination therapy compared with switching to vildagliptin in type 2 diabetes patients inadequately controlled	Journal of Diabetes Investigation, 5: 400-409, 2014
911	Miyashita K, Miyatsuka T, Matsuoaka TA, Sasaki S, Takebe S, Yasuda T, Watada H, Kaneto H, Shimomura I	寄付講座(分子糖尿病制御医学)	Sequential introduction and dosage balance of defined transcription factors affect reprogramming efficiency from pancreatic duct cells into insulin-producing cells	Biochem Biophys Res Commun, 444: 514-519, 2014
912	Osonoi Y, Mita T, Osonoi T, Saito M, Tamasaawa A, Nakayama S, Someya Y, Ishida H, Kanazawa A, Gosho M, Fujitani Y, Watada H	寄付講座(分子糖尿病制御医学)	Morningness-eveningness questionnaire score and metabolic parameters in patients with type 2 diabetes mellitus	Chronobiol Int, 31: 1017-1023, 2014
913	Miyatsuka T, Matsuoaka TA, Sasaki S, Kubo F, Shimomura I, Watada H, German MS, Hara M	寄付講座(分子糖尿病制御医学)	Chronological analysis with Fluorescent Timer reveals unique features of newly generated beta cells	Diabetes, 63: 3388-3393, 2014
914	Sanke H, Mita T, Yoshii H, Yokota A, Yamashiro K, Ingaki N, Onuma T, Someya Y, Komiya K, Tamura Y, Shimizu T, Ohmura C, Kanazawa A, Fujitani	寄付講座(分子糖尿病制御医学)	Relationship between olfactory dysfunction and cognitive impairment in elderly patients with type 2 diabetes mellitus	Diabetes Res Clin Pract, 106: 465-473, 2014
915	Mita T, Katakami N, Shiraiwa T, Yoshii H, Onuma T, Kuribayashi N, Osonoi T, Kaneto H, Kosugi K, Umayahara Y, Yamamoto T, Matsumoto K, Yokoyama H	寄付講座(分子糖尿病制御医学)	Rationale, design, and baseline characteristics of a clinical trial for prevention of atherosclerosis in patients with insulin-treated type 2 diabetes	Diabetol Metab Syndr, 6: 35, 2014
916	Yasunari E, Mita T, Osonoi Y, Azuma K, Goto H, Ohmura C, Kanazawa A, Kawamori R, Fujitani Y, Watada H	寄付講座(分子糖尿病制御医学)	Repetitive hypoglycemia increases circulating adrenaline level with resultant worsening of intimal thickening after vascular injury in male Goto-Kakizaki rat	Endocrinology, 155: 2244-2253, 2014

917	Shigihara N, Fukunaka A, Hara A, Komiya K, Honda A, Uchida T, Abe H, Toyofuku Y, Tamaki M, Ogihara T, Miyatsuka T, Hiddinga HJ, Sakagashira S.	寄付講座(分子糖尿病制御医学)	Human IAPP-induced pancreatic beta cell toxicity and its regulation by autophagy	J Clin Invest, 124: 3634-3644, 2014
918	Shimamoto M, Ohsawa I, Suzuki H, Hisada A, Nagamachi S, Honda D, Inoshita H, Shimizu Y, Horikoshi S, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Impact of Body Mass Index on Progression of IgA Nephropathy Among Japanese Patients.	J Clin Lab Anal. 2014 Aug 17. doi: 10.1002/jcla.21778
919	Satake K, Shimizu Y, Sasaki Y, Yanagawa H, Suzuki H, Suzuki Y, Horikoshi S, Honda S, Shibuya K, Shibuya A, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Serum under-O-glycosylated IgA1 level is not correlated with glomerular IgA deposition based upon heterogeneity in the composition of immune complexes in IgA	BMC Nephrol. 2014 Jun 13;15:89. doi: 10.1186/1471-2369-15-89.
920	Yanagawa H, Suzuki H, Suzuki Y, Kiriyluk K, Gharavi AG, Matsuoka K, Makita Y, Julian BA, Novak J, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	A panel of serum biomarkers differentiates IgA nephropathy from other renal diseases.	PLoS One. 2014 May 23;9(5):e98081. doi:
921	Akizawa T, Saito A, Gejyo F, Suzuki M, Nishizawa Y, Tomino Y, Tsubakihara Y, Akiba T, Hirakata H, Watanabe Y, Kawanishi H, Bessho M, Udagawa Y, Aoki Shimamoto K, Ando K, Fujita T, Hasebe N, Higaki J, Horiuchi M, Imai Y, Imaizumi T, Ishimitsu T, Ito M, Ito S, Itoh H, Iwao H, Kai H, Karjo K, Kashihara N, Shimizu Y, Sonoda A, Nogi C, Ogushi Y, Kanda R, Yamaguchi S, Nohara N, Aoki T, Yamada K, Nakata J, Ito H, Kurusu A, Hamada C, Horikoshi S, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Impacts of recombinant human erythropoietin treatment during predialysis periods on the progression of chronic kidney disease in a large-scale cohort	Ther Apher Dial. 2014 Apr;18(2):140-8.
922	Shimamoto K, Ando K, Fujita T, Hasebe N, Higaki J, Horiuchi M, Imai Y, Imaizumi T, Ishimitsu T, Ito M, Ito S, Itoh H, Iwao H, Kai H, Karjo K, Kashihara N, Shimizu Y, Sonoda A, Nogi C, Ogushi Y, Kanda R, Yamaguchi S, Nohara N, Aoki T, Yamada K, Nakata J, Ito H, Kurusu A, Hamada C, Horikoshi S, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	The Japanese Society of Hypertension Guidelines for the Management of Hypertension (JSH 2014).	Hypertens Res. 2014 Apr;37(4):253-390. doi:
923	Shimamoto K, Ando K, Fujita T, Hasebe N, Higaki J, Horiuchi M, Imai Y, Imaizumi T, Ishimitsu T, Ito M, Ito S, Itoh H, Iwao H, Kai H, Karjo K, Kashihara N, Shimizu Y, Sonoda A, Nogi C, Ogushi Y, Kanda R, Yamaguchi S, Nohara N, Aoki T, Yamada K, Nakata J, Ito H, Kurusu A, Hamada C, Horikoshi S, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	B-type (brain) natriuretic peptide and pruritus in hemodialysis patients.	Int J Nephrol Renovasc Dis. 2014 Aug 25;7:329-35. doi:
924	Aizawa M, Suzuki Y, Suzuki H, Pang H, Kihara M, Nakata J, Yamaji K, Horikoshi S, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Uncoupling of glomerular IgA deposition and disease progression in alymphoplasia mice with IgA nephropathy.	PLoS One.2014;9:e95365
925	Maiguma M, Suzuki Y, Suzuki H, Okazaki K, Aizawa M, Muto M, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Dietary zinc is a key environmental modifier in the progression of IgA nephropathy.	PLoS One.2014;9:e90558
926	Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, Okazaki K, Yanagawa H, Ieiri N, Sato M, Sato T, Taguma Y, Matsuoka J, Horikoshi S, Novak J, Hotta O, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Serum levels of galactose-deficient immunoglobulin (Ig) A1 and related immune complex are associated with disease activity of IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol.2014
927	Suzuki H, Raska M, Yamada K, Moldoveanu Z, Julian BA, Wyatt RJ, Tomino Y, Gharavi AG, Novak J.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Cytokines alter IgA1 O-glycosylation by dysregulating C1GalT1 and ST6GalNAc-II enzymes.	Chem.2014;289:5330-9
928	Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, Sakamoto N, Joh K, Kawamura T, Tomino Y, Matsuo S.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Proposal of remission criteria for IgA nephropathy.	Clin Exp Nephrol.2014;18:481-6
929	Nakata J, Suzuki Y, Suzuki H, Sato D, Kano T, Yanagawa H, Matsuzaki K, Horikoshi S, Novak J, Tomino Y.	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Changes in nephritogenic serum galactose-deficient IgA1 in IgA nephropathy following tonsillectomy and steroid therapy.	PLoS One.2014;9:e89707
930	Yamaji K, Suzuki Y, Suzuki H, Satake K, Horikoshi S, Novak J, Tomino Y	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	The kinetics of glomerular deposition of nephritogenic IgA	PLoS One2014.9:e113005
931	Suzuki Y, Suzuki H, Makita Y, Takahata A, Takahashi K, Muto M, Sasaki Y, Kelimu A, Matsuzaki K, Yanagawa H, Okazaki K, Tomino Y	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Diagnosis and activity assessment of immunoglobulin A nephropathy: current perspectives on noninvasive testing with aberrantly glycosylated immunoglobulin A-	Int J Nephrol Renovasc Dis2014.7:409-414
932	Shimamoto M, Ohsawa I, Suzuki H, Hisada A, Nagamachi S, Honda D, Inoshita H, Shimizu Y, Horikoshi S, Tomino Y	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Impact of Body Mass Index on Progression of IgA Nephropathy Among Japanese Patients	BMC Nephrol2014.PMID 25131157
933	Satake K, Shimizu Y, Sasaki Y, Yanagawa H, Suzuki H, Suzuki Y, Horikoshi S, Honda S, Shibuya K, Shibuya A, Tomino Y	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学の治療研究学講座)	Serum under-O-glycosylated IgA1 level is not correlated with glomerular IgA deposition based upon heterogeneity in the composition of immune complexes in IgA	BMC Nephrol2014.15: 89

934	Nagamachi S, Ohsawa I, Suzuki H, Sato N, Inoshita H, Hisada A, Honda D, Shimamoto M, Shimizu Y, Horikoshi S, Tomino Y	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学的治療研究学講座)	Properdin has an ascendancy over factor H regulation in complement-mediated renal tubular damage	BMC Nephrol2014.15: 82
935	Yanagawa H, Suzuki H, Suzuki Y, Kiryuk K, Gharavi AG, Matsuoka K, Makita Y, Julian BA, Novak J, Tomino Y	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学的治療研究学講座)	A panel of serum biomarkers differentiates IgA nephropathy from other renal diseases	PLoS One2014.9: e98081
936	Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, Okazaki K, Yanagawa H, Ieiri N, Sato M, Sato T, Taguma Y, Matsuoka J, Horikoshi S, Novak J, Hotta O, Tomino Y	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学的治療研究学講座)	Serum levels of galactose-deficient immunoglobulin (Ig) A1 and related immune complex are associated with disease activity of IgA nephropathy	Clin Exp Nephrol2014PMID. 24477513
937	Suzuki Y, Matsuzaki K, Suzuki H, Sakamoto N, Joh K, Kawamura T, Tomino Y, Matsuo S	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学的治療研究学講座)	Proposal of remission criteria for IgA nephropathy	Clin Exp Nephrol2014.18: 481-486
938	Kiryuk K, Li Y, Scolari F, Sanna-Cherchi S, Choi M, Verbitsky M, Fasel D, Lata S, Prakash S, Shapiro S, Fischman C, Snyder HJ, Appel G, Izzi C, Viola BF	寄付講座(慢性腎臓病(CKD)集学的治療研究学講座)	Discovery of new risk loci for IgA nephropathy implicates genes involved in immunity against intestinal pathogens.	Nat Genet 46: 1187-96, 2014
939	Shiba-Fukushima K, Arano T, Matsumoto G, Inoshita T, Yoshida S, Ishihama Y, Ryu K-K, Nukina N, Hattori N, Imai Y	寄付講座(パーキンソン病病態解明研究講座)	Phosphorylation of Mitochondrial Polyubiquitin by PINK1 Promotes Parkin Mitochondrial Tethering.	PLoS Genet.2014; 10: e1004861
940	Shiba-Fukushima K, Inoshita T, Hattori N, Imai Y	寄付講座(パーキンソン病病態解明研究講座)	Lysine 63-linked polyubiquitination is dispensable for Parkin-mediated mitophagy.	J Biol. Chem. 2014; 289: 33131-33136
941	Shiba-Fukushima K, Inoshita T, Hattori N, Imai Y	寄付講座(パーキンソン病病態解明研究講座)	PINK1-mediated phosphorylation of Parkin boosts Parkin activity in Drosophila.	PLoS Genet.2014; 10(6): e1004391
942	Sato J, Kanazawa A, Ikeda F, Yoshihara T, Goto H, Abe H, Komiya K, Kawaguchi M, Shimizu T, Ogihara T, Tamura Y, Sakurai Y, Yamamoto R, Oyama G, Umemura A, Shimo Y, Nishikawa N, Nakajima A, Jo T, Nakajima M, Ishii H, Yamada D, Takanashi M, Arai H, Nanba E, Hattori N	寄付講座(プロバイオティクス研究講座)	Gut dysbiosis and detection of "live gut bacteria" in blood of Japanese patients with type 2 diabetes.	Diabetes Care, 2014; 37(8): 2343-50.
943	Oyama G, Umemura A, Shimo Y, Nishikawa N, Nakajima A, Jo T, Nakajima M, Ishii H, Yamada D, Takanashi M, Arai H, Nanba E, Hattori N	寄付講座(運動障害疾患病態研究・治療講座)	Posterior Subthalamic Area Deep Brain Stimulation for Fragile X-Associated Tremor/Ataxia Syndrome.	Neuromodulation 17: 721-723, 2014
944	Oyama G, Shimo Y, Umemura A, Nishikawa N, Nakajima A, Jo T, Nakajima M, Ishii H, Arai H, Hattori N	寄付講座(運動障害疾患病態研究・治療講座)	Troubleshooting in hospitalized Parkinson's disease patients with a history of deep brain stimulation of the subthalamic nucleus.	Neurol Clin Neurosci 2: 188-192, 2014
945	Rika T, Takuji Y, Liu H, Masako I, Hiroyuki K, Eiichi I.	漢方医学先端臨床センター	Effects of a Traditional Japanese Medicine Goshajinkigan Tokishigyakukagoshuyushokyo on the Warm and Cold Sense Threshold and	Health, 2014; 6: 757-763
946	Wakabayashi M, Hasegawa T, Yamaguchi T, Funakushi N, Suto H, Ueki R, Kobayashi H, Ogawa H, Ikeda S.	漢方医学先端臨床センター	Yokukansan, a traditional Japanese medicine, adjusts glutamate signaling in cultured keratinocytes.	Biomed Res Int, 2014; 2014:364092. doi: 10
947	Koga N, Yamaguchi T, Lee KK, Kobayashi H.	漢方医学先端臨床センター	Kososan, a standardized traditional Japanese herbal medicine, reverses sleep disturbance in socially isolated mice via GABAA-benzodiazepine receptor complex	Phytomedicine, 2014; 21: 697-703
948	Inoshita A, Kasai T, Takahashi M, Inoshita H, Kasagi S, Kawana F, Ishiwata S, Ohno M, Yamaguchi T, Narui K, Ikeda K.	循環呼吸睡眠医学講座	Craniofacial anatomical risk factors in men with obstructive sleep apnea and heart failure: a pilot study.	Sleep Breath, 2014; 18: 439-445
949	Ohmura T, Iwama Y, Kasai T, Kato T, Suda S, Takagi A, Daida H.	循環呼吸睡眠医学講座	Impact of pre-discharge nocturnal pulse oximetry (sleep-disordered breathing) on post-discharge clinical outcomes in hospitalized patients with left ventricular	Am J Cardiol, 2014; 113: 697-700
950	Uchida T, Goto H, Kasai T, Takeno K, Abe H, Shigehara N, Sato J, Honda A, Mita T, Kanazawa A, Fujitani Y, Watada H.	循環呼吸睡眠医学講座	Therapeutic effectiveness of potassium iodine in drug-naïve patients with Graves' disease: a single-center experience.	Endocrine, 2014; 47: 506-511.

951	Tsuchida J, Fujita S, Kawano F, Tsukamoto R, Honjo K, Naito S, Ishiyama S, Miyano S, Machida M, Kitabatake T, Fujisawa M, Kojima K, Ogura K, Matsumoto T	人体病理病態学講座	A case of perforated sigmoid diverticulitis in which gram staining of ascitic fluid was useful for diagnosis.	Case Rep Surg,2014;2014:417987.
952	Matsumoto T, Fukuhara K, Yaginuma R, Ikejima K, Morizane T, Aoki Y, Ogura K, Miyazaki A, Watanabe S.	人体病理病態学講座	Non-Alcoholic steatohepatitis (NASH) influenced the disease progression of chronic hepatitis C (CH-C): Histopathological study of liver biopsies in	J Hepatitis Research, 2014;1(1):1-4
953	Ichikawa K, Aritaka N, Ogura K, Komatsu N, Hirano T.	人体病理病態学講座	Strongly suspicious hemolysis caused by azacitidine in a myelodysplastic syndrome patient.	Int,2014 Oct;14(4):1006-7
954	Aoyama T, Matsumoto T, Uchiyama A, Kon K, Yamashina S, Suzuki C, Ikejima K, Yao T, Kuwatsuru R, Watanabe S	人体病理病態学講座	Repeated severe acute hepatitis caused by hypereosinophilic syndrome, partially associated with IgG4 related disease.	Clin J Gastroenterol,2014 ;7: 516-522
955	Kushima R, Kuwata T, Yao T, Kuriki H, Hashizume K, Masuda S, Tsuda H, Ochiai A.	人体病理病態学講座	Interpretation of HER2 tests in gastric cancer: confirmation of interobserver differences and validation of a QA/QC educational program	Virchow Arch,2014;464: 539-545
956	Morimoto T, Mitomi H, Saito T, Takahashi M, Murakami T, Sakamoto N, Yao T, Watanabe S	人体病理病態学講座	Distinct profile of HIF1 α , PTCH, EphB2, or DNA repair protein expression and BRAF mutation in colorectal serrated adenoma.	J Gastroenterol Hepatol,2014; 29: 1192-1199
957	Ueyama H, Matsumoto K, Nagahara A, Hayashi T, Yao T, Watanabe S.	人体病理病態学講座	Gastric adenocarcinoma of the fundic gland type (chief cell predominant type).	Endosc ,2014;46: 153-157
958	Nomura R, Saito T, Mitomi H, Hidaka Y, Lee S-Y, Watanabe S, Yao T	人体病理病態学講座	GNAS mutation as an alternative mechanism of activation of the Wnt/ β -catenin signaling pathway in gastric adenocarcinoma of the fundic gland type.	Hum Pathol,2014; 45: 2488-2496
959	Saito T, Mitomi H, Imamhasan A, Hayashi T, Mitani K, Takahashi M, Kajiyama Y, Yao T.	人体病理病態学講座	Downregulation of sFRP-2 by epigenetic silencing activates the β -catenin/Wnt signaling pathway in esophageal basaloid squamous cell carcinoma.	Virchows Arch,2014; 464(2):135-43
960	Isoda T, Nakatsu Y, Yamauchi K, Piao J, Yao T, Honda H, Nakabeppu Y, Tsuzuki T	人体病理病態学講座	Abnormality in Wnt Signaling is Causatively Associated with Oxidative Stress-Induced Intestinal Tumorigenesis in MUTYH-Null Mice	Int J Biol Sci ,2014;10(8): 940-947
961	Goto SP, Sakamoto N, Mitomi H, Murakami T, Ritsuno H, Ueyama H, Matsumoto K, Shibuya T, Osada T, Nagahara A, Ogihara T, Yao T, Watanabe	人体病理病態学講座	Histological Distinction between the Granular and Nongranular Types of Laterally Spreading Tumors of the Colorectum.	Gastroenterol Res Pract,2014; 153935
962	Narita Y, Genda T, Tsuzura H, Sato S, Kanemitsu Y, Ishikawa S, Kikuchi T, Hirano K, Iijima K, Wada R, Ichida T	人体病理病態学講座	Liver stiffness predicts hepatocellular carcinoma in chronic hepatitis C patients on interferon-based anti-viral therapy.	J Gastroenterol Hepatol. 2014; 29:137-43
963	Ito T, Kajino K, Abe M, Sato K, Maekawa H, Sakurada M, Orita H, Wada R, Kajiyama Y, Hino O	人体病理病態学講座	ERC/mesothelin is expressed in human gastric cancer tissues and cell lines.	Oncol Rep,2014; 31 : 27-33
964	Ito T, Sato K, Maekawa H, Sakurada M, Orita H, Shimada K, Daida H, Wada R, Abe M, Hino O, Kajiyama Y	人体病理病態学講座	Elevated levels of serum fatty acid synthase in patients with gastric carcinoma.	Oncol Lett,2014; 7 : 616-20
965	Sugimoto K, Sato K, Maekawa H, Sakurada M, Orita H, Ito T, Wada R	人体病理病態学講座	Analysis of Predictive Factors for Lymph Node Metastasis in Submucosal Invasive Colorectal Carcinoma.	Surgical Science,2014; 5 : 75-83
966	Tsuzura H, Genda T, Sato S, Murata A, Kanemitsu Y, Narita Y, Ishikawa S, Kikuchi T, Mori M, Hirano K, Iijima K, Wada R, Ichida T	人体病理病態学講座	Expression of aldo-keto reductase family 1 member B10 in the early stages of human hepatocarcinogenesis.	Int J Mol Sci .2014;15:6556-68
967	Orita H, Ito T, Sakurada M, Maekawa H, Yamano M, Wada R, Yao T, Sato K	人体病理病態学講座	gland differentiation in the duodenum resected by ESD (Endoscopic submucosal dissection).	J Cancer Sci Clin Oncol ,2014;1 : 101

968	Orita H, Ito T, Kushida T, Sakurada M, Maekawa H, Wada R, Suehara Y, Kubota D, Sato K	人体病理病態学講座	Pfetin as a risk factor of recurrence in gastrointestinal stromal tumors.	Biomed Res Int. Epub 2014 May 26.
969	Morimoto T, Mitomi H, Saito T, Takahashi M, Murakami T, Sakamoto N, Yao T, Watanabe S	人体病理病態学講座	Distinct profile of HIF1 α , PTCH, EphB2 or DNA repair protein expression and BRAF mutation in colorectal serrated adenomas.	J Gastroenterology and Hepatology. 2014, 29:1192-1199.
970	Toda M, Suehara Y, Akaike K, Okubo T, Kubota D, Mukaiharu K, Kaneko K, Yao T, Takagi T, Saito T.	人体病理病態学講座	Giant-cell tumor of bone arising in the anterior chest wall with positive expressions of GPX-1: a case report with review of literature.	Int Canc Conf J. 2014, 3:178-182.
971	Okubo T, Saito T, Takagi T, Suehara Y, Kaneko K.	人体病理病態学講座	Desmoplastic fibroma of the rib with cystic change : a case report and literature review.	Skeletal Radiol 2014, 43:703-708.
972	Okubo T, Suehara Y, Kawasaki T, Akaike K, Toda M, Okubo N, Kubota D, Mukaiharu K, Kim Y, Kaketa T, Homma Y, Shimanouchi N, Saito T, Takagi T.	人体病理病態学講座	An outpatient-based survey about the recognition of locomotive syndrome and the results of the loco-check at a university hospital in Tokyo.	Brit J Med Res, 2014, 4:3255-3268.
973	Masuda Y, Kurisaki-Arakawa A, Hara K, Arakawa A, Oh S, Suzuki K, Yao T, Saito T.	人体病理病態学講座	A case of dedifferentiated solitary fibrous tumor of thoracic cavity.	Int J Clin Exp Pathol, 2014, 7:386-393.
974	Shiono S, Saito T, Fujii H, Arakawa A, Nakamura T, Yao T.	人体病理病態学講座	A case of Krukenberg carcinoma metastasized from colon cancer resembling mucinous cystadenocarcinoma of the ovary.	Int J Clin Exp Pathol, 2014, 7:394-401.
975	Akaike K, Suehara Y, Takagi T, Kaneko K, Saito T.	人体病理病態学講座	Eggshell-like mineralized recurrent lesion in the popliteal region after treatment of giant cell tumor of bone with denosumab.	Skeletal Radiol 2014, 43:1767-1772.
976	Nomura R, Saito T, Mitomi H, Hidaka Y, Lee SY, Watanabe S, Yao T.	人体病理病態学講座	GNAS mutation as an alternative mechanism of activation of the Wnt/ β -catenin signaling pathway in gastric adenocarcinoma of the fundic gland type.	Human Pathol. 2014, 45:2488-2496.
977	Shiba-Fukushima K, Inoshita T, Hattori N, Imai Y.	多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	PINK1-Mediated Phosphorylation of Parkin Boosts Parkin Activity in Drosophila.	PLoS Genetics. 2014 10: e1004391
978	Shiba-Fukushima K, Inoshita T, Hattori N, Imai Y.	多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	Lysine 63-linked polyubiquitination is dispensable for Parkin-mediated mitophagy.	J Biol Chem. 2014 289 (48) 33131-33136
979	Shiba-Fukushima K, Arano T, Matsumoto G, Inoshita T, Ishihama Y, Ryu K-K, Nukina N, Hattori N, Imai Y.	多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	Phosphorylation of Mitochondrial Polyubiquitin by PINK1 Promotes Parkin Mitochondrial Tethering.	PLoS Genet. 2014 10: e1004861
980	Hori M, Yoshida M, Yokoyama K, Kamagata K, Kumagai F, Fukunaga I, Kamiya K, Suzuki M, Masutani Y, Hamasaki N, Suzuki Y, Kyogoku S, Niino M, Mitune N.	多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	Multiple sclerosis: Benefits of q-space imaging in evaluation of normal-appearing and periplaque white matter,	Magn Reson Imaging. 2014 Jul;32(6):625-9. doi:
981	Kohriyama T, Mori M, Ohashi T, Kawachi I, Shimizu Y, Fukaura H, Nakashima I, Kusunoki S, Miyamoto K, Yoshida K.	多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	Apathy/depression, but not subjective fatigue, is related with cognitive dysfunction in patients with multiple sclerosis.	BMC Neurol. 2014 Jan 6;14:3. doi: 10.1186/1471-2377-14-3.
982	Onouchi K, Koga H, Yokoyama K, Yoshiyama T.	多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	An open-label, long-term study examining the safety and tolerability of pregabalin in Japanese patients with central neuropathic pain.	J Pain Res. 2014 Jul 28;7:439-47. doi:10.2147/JPR.S63028. eCollection Neurology. 2014 Apr 29;82(17):1566-7. doi:
983	Okuzumi A, Hatano T, Nakahara T, Yokoyama K, Hattori N.	多発性硬化症および神経難病治療・研究講座	Ophthalmic nerve hypertrophy in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy.	
984	Ishikawa KI, Motoi Y, Mizuno Y, Kubo SI, Hattori N.	寄付講座(認知症・診断・予防治療学講座)	Effect of dose escalation in Parkinson's patients with dementia receiving long-term donepezil treatment: an exploratory study	Psychogeriatrics. 2014 Jun;14(2):93-100

985	Motoi Y, Shimada K, Ishiguro K, Hattori N	寄付講座(認知症・診断・予防治療学講座)	Lithium and autophagy	ACS Chem Neurosci. 2014 Jun 18;5(6)432
986	Shimogi K, Uka T, Tamura Y, Kamagata K, Hori M, Motoi Y, Watada H, Kawamori R, Aoki S	寄付講座(認知症・診断・予防治療学講座)	Diffusional kurtosis imaging analysis in patients with hypertension	Jpn J Radiol 2014 32;98
987	Kamagata K, Tomiyama H, Hatano T, Motoi Y, Abe O, Shimoji K, Kamiya K, Suzuki M, Hori M, Yoshida M, Hattori N, Aoki S.	寄付講座(認知症・診断・予防治療学講座)	A preliminary diffusional kurtosis imaging study of Parkinson disease: comparison with conventional diffusion tensor imaging.	1. Neuroradiology. 2014 Mar;56(3):2518
988	Oishi H, Tanoue S, Teranishi K, Hasegawa H, Nonaka S, Magami S, Yamamoto M, Arai H:	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Endovascular parent artery occlusion of proximal posterior cerebral artery aneurysms: a report of two cases.	J Neurointervent Surg (in press)【査読有】
989	Mitome-Mishima Y, Oishi H, Yamamoto M, Yatomi K, Nonaka S, Miyamoto N, Urabe T, Arai H:	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Differences in tissue proliferation and maturation between Matrix2 and bare platinum coil embolization in experimental swine aneurysms.	Journal of Neuroradiology (in press)【査読有】
990	Mitome-Mishima Y, Yamamoto M, Yatomi K, Nonaka S, Miyamoto N, Urabe T, Arai H, Oishi H	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Endothelial cell proliferation in Swine experimental aneurysm after coil embolization.	PLoS One. 2014 Feb 14;9(2):e89047【査読有】
991	Mishima Y, Miyamoto N, Tanaka R, Shimosawa T, Oishi H, Arai H, Hattori N,Urabe T	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Adrenomedullin deficiency and aging exacerbates ischemic white matter injury after prolonged cerebral hypoperfusion in mice.	Biomed Res Int. Epub 2014 Jun 16.【査読有】
992	Yatomi K, Oishi H, Yamamoto M, Suga Y, Nonaka S, Yoshida K, Arai H	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Radiological changes in infantile dissecting anterior communicating artery aneurysm treated Endovascularly: A Case report and 5-Year follow-up.	Interventional Neuroradiology 20: 796-803, 2014【査読有】
993	Melake MS, Oishi H, Suga Y, Yamamoto M, Arai H	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Intercavernous sinuses dural arteriovenous fistula treated with transvenous coil embolization: A case report.	Interventional Neurology 3: 9-12, 2014【査読有】
994	Oishi H, Yamamoto M, Nonaka S, Shimizu T, Yoshida K, Mitsuhashi T, Arai H	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Treatment results of endosaccular coil embolization of asymptomatic unruptured intracranial aneurysms in elderly patients.	J Neurointervent Surg. 0: 1-6, 2014【査読有】
995	Mitsuhashi T, Takeda N, Oishi H, Arai H	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Parent artery occlusion for ruptured “true” posterior communicating artery aneurysm A case report.	Interventional Neuroradiology (in press)【査読有】
996	Masuda M, Oishi H, Yamamoto M	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Uncertainty in patients with unruptured intracranial aneurysms undergoing endovascular therapy.	Nursing Research 63: 366-374, 2014【査読有】
997	Irie R, Suzuki M, Yamamoto M, Takano N, Suga Y, Hori M, Kamagata K, Takayama M, Yoshida M, Sato S, Hamasaki N, Oishi H, Aoki S	寄付講座(脳神経血管内治療学講座)	Assessing blood flow in an intracranial stent: A feasibility study of MR angiography using a silent scan after stent-assisted coil embolization for anterior	AJNR Am J Neuroradiol (in press)【査読有】

計 997

- 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
----	-------	--------	----	-----

1	高崎 芳成, 松下 雅和, 土江 健太郎, 蛭間 香織, 山田 祐介, 野澤 和久	膠原病内科	SmDペプチドを抗原として用いた自己抗体測定試薬「エリアSmDp」の臨床的有用性の検討	医学と薬学(0389-3898)72巻1号 Page139-146(2014.12)
2	北垣内 みえ, 多田 久里守, 田村 直人, 高崎 芳成, 李 鐘碩	膠原病内科	混合性結合組織病(mixed connective tissue disease:MCTD)の治療中にhuman herpes virus-6(HHV-6)の再活性化に伴う血球貪食症候群(hemophagocytic	日本内科学会雑誌(0021-5384)103巻10号 Page2571-2573(2014.10)
3	鈴木 淳, 渡辺 崇, 稲垣 藍, 菱沼 留加, 立川 奈央, 多田 久里守, 松下 雅和, 野澤 和久, 天野 浩文, 山路 健, 田村 直人, 高崎 芳成	膠原病内科	急速に増大する肺結節影の診断に苦慮したSLEの一例	関東リウマチ(0911-4807)47号 Page292-299(2014.04)
4	坂本 淳, 平澤祐輔, 木下洋和, 池田志孝, 荒川敦	皮膚科学講座	右上口唇に生じた皮膚混合腫瘍	皮膚臨床, 2014; 56(1):134-135
5	竹内かおり, 木村有太子, 池田圭吾, 関川巖, 須賀康	皮膚科学講座	乳房の円盤状紅斑をきっかけに診断されたLupus Mastitisの1例	皮膚臨床, 2014; 56(2):197-201
6	桑江義介, 吉池高志	皮膚科学講座	Phenyl-mathyl Aminopropane乱用による壊死性潰瘍の1例	皮膚臨床, 2014; 56(3):423-425
7	齊藤麻衣子, 木村有太子, 木下綾子, 須賀康	皮膚科学講座	dyshidrosiform pemphigoid	皮膚病診療, 2014; 36(8):757-760
8	根木治, 須賀康	皮膚科学講座	左顔面の潮紅と発汗過多を主訴としたHarlequin症候群	皮膚病臨床, 2014; 36(8):733-736
9	山田真彦, 比留間翠, 池田志孝, 町田裕子, 貞政裕子, 舟串直子, 比留間政太郎	皮膚科学講座	リュープロレリン酢酸塩皮下注射により生じた脂肪壊死を伴った肉芽腫の1例	皮膚の科学, 2014; 第13巻 第2号:84-88
10	奥村和子, 春名邦隆, 須賀康	皮膚科学講座	Basedow病に合併した重度な脛骨前粘液水腫	皮膚病診療, 2014; 36(9):813-816
11	植木理恵	皮膚科学講座	特集/脱毛をきたした患者のトータルケア 円形脱毛症患者と家族を支える一患者会の活動について	MB Derma, 2014; 225:59-63
12	神谷由紀, 奥山泰裕, 高木敦, 池田志孝	皮膚科学講座	膵腺房細胞癌に伴った皮下結節性脂肪壊死症の1例	皮膚臨床, 2014; 56(13):2152-2155
13	扇谷咲子, 高木敦, 池田志孝	皮膚科学講座	Nevoid型のhyperkeratosis of nipple and areolaの2例	日本臨床皮膚科医学会雑誌, 2014; 31(4):481-485
14	土橋人士, 長谷川敏男, 原貴恵子, 池田志孝	皮膚科学講座	多発立毛筋平滑筋腫の1例	臨床皮膚科, 2014; 68(4)319-322
15	土橋人士, 長谷川敏男, 秋山俊洋, 込山悦子, 池田志孝	皮膚科学講座	右前腕の限局した再発性環状紅斑様乾癬の1例	臨床皮膚科, 2014; 68(12)943-2946
16	上條麻弥, 高木敦, 奥村康, 池田志孝, 西山千春, 小川秀興	皮膚科学講座	ダリエー病患者の紫外線曝露による悪化機序の解明と治療法開発への試み	第29回角化症研究会記録集(2014.8.2), 2014; 201:56-60
17	坂本 淳, 池田志孝, 植木理恵	皮膚科学講座	限局型Darier病の1例	第29回角化症研究会記録集(2014.8.2), 2014; 102-105

18	玉嶋恵美、竹内かおり、木村有太子、須賀康	皮膚科学講座	外陰部に認めた炎症性線状疣贅状表皮母斑の1例	第29回角化症研究会記録集(2014.8.2), 2014; 134-136
19	一宮紀子、春名邦隆、須賀康、下村裕	皮膚科学講座	LipaseH遺伝子変異を認めた先天性乏毛症/縮毛症の2症例	第29回角化症研究会記録集(2014.8.2), 2014; 138-141
20	小松修治、井関雅子、森田善仁、井福正貴、込山悦子、飯田秀雄、紺田衣里、池田志孝、稲田英一	皮膚科学講座	ペインクリニックにおける急性・亜急性帯状疱疹 患者の実態および治療への期待度調査—皮膚科単独治療群との比較—	ペインクリニック, 2014; vol.35 No4
21	扇谷咲子、土橋人土、平澤祐輔、大熊慶湖、池田志孝	皮膚科学講座	妊娠に際してinfliximabを中止しGMA/GCAPを、出産後はinfliximab再投与を行った妊婦膿疱性乾癬の1例	日本皮膚科学会雑誌, 2014;(124)6: 1127-1133
22	本間由希子、石井智子、平澤裕輔、池田志孝、赤池慶裕、末原義之、高木辰哉、金子和夫、斉藤剛	皮膚科学講座	粘液型脂肪肉腫の一例	Skin Cancer, 2014;29(3):285-288
23	高橋美妃、饗庭三代治、櫻井貴子、坂本直治、梁広石、津田裕士	総合診療科研究室	腸腰筋膿瘍7自験例の臨床像	江戸川医学会誌 31:76-78,2014
24	公文 義雄、野島 滋、木俣 敬仁、小林 茂人	総合診療科研究室	日常臨床で経験した脊椎関節炎の骨盤部MRI病変	日本脊椎関節炎学会誌 6巻1号 Page83-87(2014.10)
25	谷口 義典、井上 紘輔、藤本新平、寺田 典生、幸島 尚、執印 太郎、公文 義雄、有井薫、吉永 泰彦、小林 茂人	総合診療科研究室	膀胱癌患者におけるBCG膀胱内注入療法後反応性関節炎の後ろ向き調査	日本脊椎関節炎学会誌 6巻1号 Page55-60(2014.10)
26	内海 雄思、中村 徹、安宅 勇人、馬場 元、鈴木 利人、新井 平伊	精神医学講座	私のカルテから 問題行動を繰り返し院内自殺した神経性大食症の1症例	精神医学 (0488-1281)56巻11号 Page981-983
27	桐野 衛二、田中 昌司、福田 麻由子、稲見 理絵、井上 令一、新井 平伊	精神医学講座	青年期健常者におけるdefault mode networkと他のネットワークとの関連に関するfMRIを用いた検討	日本薬物脳波学会雑誌 (1346-5023)15巻1号 Page21-
28	熊谷 亮、田島 裕子、阿部 美香、宮川 晃一、新井 平伊	精神医学講座	インターネットの医療情報から増悪を繰り返した心気障害の1例	精神医学 (0488-1281)56巻1号 Page39-42(2014.01)
29	中村 恭子、廣澤 正孝、細見修、山倉 文幸、鈴木 利人、輪島 留美子、久保田 陵一、三芳 理恵	精神医学講座	精神科リハビリテーションとしてのスポーツ活動の有効性 歩行運動時におけるBGMや他者との交流の有無が心理的・生理的ストレス反応に及ぼす影響(原著論文)	病院・地域精神医学 (0910-4798)57巻1号 Page81-84.90(2014.10)
30	桐野 衛二	精神医学講座	非鎮静系抗精神病薬aripiprazoleとblonanserinによる統合失調症の治療に関する一考察	精神科 (1347-4790)25巻6号 Page673-679(2014.12)
31	窪田 幸久(中央公園クリニック)、木野 紀、桐野 衛二、佐野 秀典、鈴木 節夫、高松 康治、寺田 誠史、寺田 浩、夏莉 直己、馬場 香	精神医学講座	統合失調症の外来治療におけるより良い薬剤スイッチングがQOLおよびアドヒアランスに及ぼす影響	臨床精神薬理 (1343-3474)17巻9号 Page1283-1295(2014.09)
32	大沼 徹	精神医学講座	“摂食障害”か?“摂食の障害”か?—中枢性摂食障害の鑑別ポイント	消化器心身医学 21: 7-11, 2014
33	佐々木信一、南條友央太、中澤武司、木下綾子、関口康宣、成田久美、岩崎沙奈美、飯田美奈子、月山智美、古田あずき、金森由和、玉野知佐、伊藤友美、鈴木俊介、唐島孝彰、米	精神医学講座	声帯部カポジ肉腫の生検時にキシロカインショックを生じ、治療に難渋した全身性カポジ肉腫合併AIDSの一例	日本エイズ学会誌 (1344-9478)16巻4号Page606(2014.11月)
34	吉田 範敏、渡辺 心、大橋 直樹、森 義之	救急・災害医学研究室	当院における単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の検討	順天堂醫事雑誌 60(別冊2)60-64,2014

35	鶴田 あゆみ, 柳川 洋一, 近藤 彰彦, 竹内 悠二, 大坂 裕通, 大森 一彦, 林 伸洋, 大出 靖将, 岡本 健	救急・災害医学研究室	意識障害で来院した成人T細胞白血病の一例	日本救急医学会中部地方会誌10:19-21, 2014.
36	日城 佳, 柳川 洋一, 近藤 彰彦, 大坂 裕通, 大森 一彦, 大出 靖将, 岡本 健	救急・災害医学研究室	防水スプレーにより肺水腫を形成した一例	日本救急医学会中部地方会誌10:14-15, 2014.
37	吉澤 宇一, 柳川 洋一, 大森 一彦, 近藤 彰彦, 石川 浩平, 大坂 裕通, 前田 浩行, 大出 靖将, 岡本 健	救急・災害医学研究室	ナツメグ中毒の1例	日本救急医学会中部地方会誌10:8-10, 2014.
38	井上 貴昭, 中沢 武司, 麻生 恭代, 成田 久美, 秋田 美佳, 中村 美子, 石井 幸, 佐々木 信一, 田中 裕	救急・災害医学研究室	多職種ICTラウンドがもたらす効果について	日本臨床救急医学会雑誌17:25-31, 2014.
39	井上 貴昭, 石川 浩平, 福本 祐一, 滝沢 聡, 石原 唯史, 杉中 宏司, 末吉 孝一郎, 西山 和孝, 大出 靖将, 角 由佳, 松田 繁, 岡本 健, 田中 裕	救急・災害医学研究室	ABLS2010輸液療法の変更点を見直す	熱傷 40: 26-35, 2014
40	石原 唯史, 松島卓哉, 神菌淳司, 市川光太郎	救急・災害医学研究室	小児痙攣に伴う高CO2血症に関する検討	日本救急医学会雑誌25:135-140, 2014.
41	井上 貴昭	救急・災害医学研究室	敗血症に合併する中枢神経症状/sepsis associated encephalopathy ~意識障害を書初症状とする敗血症の2例~	順天堂醫事雑誌 60: 74-78, 2014
42	平野 洋平, 林 伸洋, 角 由佳, 井上 貴昭, 松田 繁, 岡本 健, 田中 裕	救急・災害医学研究室	偶発性低体温症に合併した非閉塞性腸管虚血症 (NOMI) の1例	日本救急医学会雑誌24: 437-42, 2014.
43	林 伸洋, 竹本 正明, 角 由佳, 井上 貴昭, 松田 繁, 岡本 健, 田中 裕	救急・災害医学研究室	会陰部創からの出血に対し, TAEで止血した1例.	日本救急医学会雑誌25: 69-74, 2014.
44	石原 唯史, 神菌淳司, 天本正乃, 市川光太郎	救急・災害医学研究室	蛋白漏出性胃腸を契機に診断された Budd-Chiari症候群の小児例	日本小児救急医学会誌 13: 395-398. 2014
45	村田健介, 井上貴昭, 杉中宏司, 小原圭一朗, 平野洋平, 福本祐一, 森川美樹, 角由佳, 松田繁, 岡本健, 田中裕	救急・災害医学研究室	側頭骨骨折後に出現した遅発性顔面神経麻痺の小児の1例	日本救急医学会関東地方会雑誌, 2014:35(2):294-296
46	大山 太, 吉村晶子, 嶋田淳子, 小島善和, 杉田 学	救急・災害医学研究室	大規模災害での現場医療活動におけるデジタル簡易無線の有用性の検討.	地域安全学会論文集電子ジャーナル論文 No.22, 2014
47	木村至, 中澤有吾, 渡邊慧, 海老原伸行	眼科学講座	チューブシャント手術(EX-PRESS)の治療成績と術後合併症の検討	眼科, 2014; 56(1):79-83
48	武居 敦英, 河野 博之, 村上 晶	眼科学講座	眼内レンズoptic capture固定法の術後長期の屈折度数変動について	臨眼, 2014; 68(9):1355-1361
49	臼井亜由美, 木村至, 清川正敏, 佐久間俊郎, 伊藤玲, 海老原伸行	眼科学講座	血管新生緑内障を合併する重症増殖糖尿病網膜症の治療成績と予後不良因子についての検討	眼臨紀, 2014; 7(12):928-933
50	上林功樹, 横山利幸	眼科学講座	屈折矯正および健眼遮閉下のビデオゲームにより視力改善を得た成人不同視弱視の1例	眼臨紀, 2014; 7(8):620-622
51	川守田珠里, 濱中輝彦, 百野伊恵	眼科学講座	高度の高眼圧を示す症例に対する線維柱体切除術併用チューブシャント手術—病理学的検査から判明したChandler症候群—	あたらしい眼科, 2014; 31(8):1215-1218

52	荻原彩子、稲垣圭司、箕輪有子、藤谷周子、大越貴志子、村上晶	眼科学講座	糖尿病黄斑浮腫の格子状光凝固を施行した部位の網膜感度の検討	あたらしい眼科, 2014; 31(2):289-294
53	渡邊慧、木村至、中澤有吾、海老原伸行	眼科学講座	正常眼圧緑内障患者におけるタフルプロスト点眼液による治療成績の検討	眼臨紀, 2014; 7(8):597-602
54	玉置洋、平塚義宗、岡本悦司、熊川寿郎	眼科学講座	レセプトデータ突合による医療費増加のリスク因子の検討ー特定健康診査における質問表および各検査項目の分析ー	厚生の指標, 2014; 61(6):1-5
55	頼高 朝子, 高梨 雅史, 平山 正昭, 中原 登志樹, 太田 成男, 服部 信孝.	神経学講座	パーキンソン病患者における水素水の無作為化二重盲検試験,	運動障害 24:19-24, 2014
56	飯村康司, 齋藤力三, 角田 朗, 丸木 親	脳神経外科学講座	当院における一過性脳虚血発作後予後不良例の検討 連続139症例の分析結果から	リハビリテーション医学研究財団 研究論文・事例報告集 2014: 17: 5—9
57	井中康史, 大谷直樹, 西田翔, 熊谷光祐, 藤井和也, 上野英明, 戸村 哲, 長田秀夫, 和田孝次郎, 森健太郎	脳神経外科学講座	蝶形骨縁から眼窩骨に発生したprimary intraosseous cavernous hemangiomaの1手術例	脳神経外科 2014; 42: 1051—1056
58	大谷直樹, 高里良男, 正岡博幸, 早川隆宣, 八ツ繁寛, 竹内 誠, 和田孝次郎, 森健太郎	脳神経外科学講座	けいれん発作にて発症した椎骨脳底動脈閉塞症5症例の検討	Neurosurgical Emergency 2014; 19: 76—81
59	大谷直樹, 和田孝次郎, 小林 靖, 熊谷光祐, 上野英明, 長田秀夫, 中尾保秋, 山本拓史, 森健太郎	脳神経外科学講座	Extradural temporopolar approachを用いた傍鞍部脳腫瘍に対する外科的治療戦略	脳神経外科 2014; 42: 907—916
60	大谷直樹, 和田孝次郎, 竹内 誠, 熊谷光祐, 榊原史啓, 瀬野宗一郎, 長谷公洋, 戸村 哲, 長田秀夫, 有本裕彦, 大川英徳, 森健太郎	脳神経外科学講座	急性期脳梗塞に対する経静脈的血栓溶解療法後に緊急STA-MCAバイパス術を要した症例の臨床像と治療成績	Neurosurgical Emergency 2013; 18: 168—172, 2013
61	屋田 修, 萬代秀樹, 宮嶋雅一	脳神経外科学講座	脳萎縮様の画像を呈した特発性正常圧水頭症の4例: これまでの連続41症例を検討	Geriatric Neurosurgery 27, in press
62	屋田 修, 萬代秀樹, 宮嶋雅一	脳神経外科学講座	脳萎縮様の画像を呈した特発性正常圧水頭症の4例: これまでの41症例を検討	第15回日本正常圧水頭症研究会記録集, 2014; 15
63	小野健一郎, 有本裕彦, 大川英徳, 高原喬, 田之上俊介, 清水 昭	脳神経外科学講座	同側内頸動脈の閉塞を伴った脳出血の検討	脳卒中 2014; 36: 432—437
64	齋藤力三, 飯村康司, 角田 朗, 丸木 親	脳神経外科学講座	当院で経験したダビガトラン服用患者における頭蓋内出血を伴う頭部外傷例	平成25年度リハビリテーション医学研究財団研究論文・事例報告集, 2014
65	清水 崇, 井関征佑, 大石英則, 菱井誠人	脳神経外科学講座	上矢状洞部硬膜動静脈瘻の1例: 血管内治療戦略に関する考察と教訓	脳神経外科 2014; 42:1151—1157
66	清水 崇, 堀中直明, 大石英則, 井関征佑, 菱井誠人	脳神経外科学講座	コイル塞栓術後脳動脈瘤に対する外科治療ー特にclippabilityに関する検討ー	Surg Cereb Stroke (Jpn) 2014; 42: 408—413
67	富田浩子, 小須田茂, 川口裕之, 野々山恵章, 佐野信也, 古谷健一, 森健太郎, 山村メイ子	脳神経外科学講座	当院における児童虐待の症例と画像診断	埼玉県医学雑誌 2014; 49: 389—392
68	戸村 哲, 藤井和也, 上野英明, 富山新太, 大谷直樹, 長田秀夫, 和田孝次郎, 森健太郎	脳神経外科学講座	マグネシウム溶液脳槽内投与および水素水静脈内投与の併用療法がラットの生理的パラメーターに及ぼす影響について	防衛医科大学校雑誌 2014; 39: 96—102

69	中島 円	脳神経外科学講座	特発性正常圧水頭症は髄液シャント治療によりシスタチンCが増加し、可溶性アミロイドβ凝集体生成に抑制的に働く	未病と抗老化 2014; 23: in press
70	中島 円, 宮嶋雅一, 荻野郁子, 土門直子, 秋葉ちひろ, 菅野秀宜, 新井 一	脳神経外科学講座	当施設でのSTRATA NSC可変式バルブと細径腹腔側カテーテルを用いたiNPH 60例のLPシャント短期成績	Geriatric Neurosurgery 2014; 26: 109—114
71	西田 翔, 大谷直樹, 井中康史, 森永裕介, 木村尚平, 戸村 哲, 長田秀夫, 橋本幸三, 竹内大, 和田孝次郎, 森健太郎	脳神経外科学講座	硬膜外前床突起切除と視神経管開放により著明な視力改善が得られた外傷性視神経損傷の1手術例	脳神経外科 2014; 42: 1035—1038
72	美山真崇, 大谷直樹, 井中康史, 西田 翔, 熊谷光祐, 藤井和也, 戸村 哲, 長田秀夫, 和田孝次郎, 森健太郎	脳神経外科学講座	破裂中大脳動脈瘤による血腫型重症くも膜下出血に対する外減圧術を併用した当院における治療成績	防衛医大雑誌 2014; 39: 197—202
73	森健太郎, 和田孝次郎, 大谷直樹, 長田秀夫, 戸村 哲, 山本拓二, 中尾保秋	脳神経外科学講座	Extradural temporopolar approachによる未破裂脳底動脈瘤や傍床部内頸動脈瘤のclipping術	脳卒中の外科 2014; 42: 116—121
74	森健太郎, 和田孝次郎, 長田秀夫, 大谷直樹, 富山新太, 戸村 哲, 上野英明, 藤井和也, 山本卓司, 中尾保秋	脳神経外科学講座	未破裂脳動脈瘤治療に関する新たな提案—Keyhole clipping連続240例の手術成績から—	脳卒中の外科 2015; 43: 5—11
75	森永裕介, 大谷直樹, 西田 翔, 井中康史, 木村尚平, 戸村 哲, 和田孝次郎, 森健太郎	脳神経外科学講座	片側傍脳室白質に散在するenlarged Virchow-Robin spaceの1小児例	小児の脳神経 2014; 39: 198—202
76	和田孝次郎, 有本裕彦, 大谷直樹, 長田秀夫, 富山新太, 戸村 哲, 上野英雄, 藤井和也, 長谷公洋, 竹内誠, 森健太郎	脳神経外科学講座	80歳以上の症候性内頸動脈狭窄症の画像学的, 病理学的特徴および頸動脈内膜剥離術の治療成績(原著論文)	Neurological Surgery (0301-2603) 2014; 42: 1118—1124, Dec.
77	和田孝次郎, 大谷直樹, 長田秀夫, 富山新太, 戸村 哲, 上野英明, 竹内 誠, 長谷公洋, 藤井和也, 森健太郎	脳神経外科学講座	固着を軽減したポリウレタンラミネート加工綿片を利用した脳表静脈および静脈洞からの止血	脳神経外科ジャーナル 2014; 23: 589—596
78	和田孝次郎, 熊谷光祐, 大谷直樹, 長田秀夫, 富山新太, 戸村 哲, 上野英明, 竹内 誠, 長谷公洋, 藤井和也, 森健太郎	脳神経外科学講座	超音波凝固切開装置(ハーモニックスカルペル®)を用いた頸動脈内膜切除術の安全性と有用性	Neurosonology 2014; 26: 94—97
79	佐藤俊輔, 甘楽裕徳, 玄田拓哉	消化器内科学講座	AKR1B10	日本臨床 73:394-397, 2015
80	甘楽裕徳, 玄田拓哉	消化器内科学講座	SVR後の肝発癌	肝胆膵69:883-888, 2014
81	宮地隆史, 池嶋健一, 細谷聡子, 新井久美子, 今一義, 山科俊平, 渡辺純夫	消化器内科学講座	脂肪性肝炎からの肝発癌過程における肝内自然免疫系細胞の発現動態 肝細胞特異的PTEN-KOマウスでの解析	アルコールと医学 生物学, 2014, 32巻 Page40-44
82	高嶋志在, 池嶋健一, 細谷聡子, 今一義, 山科俊平, 渡辺純夫	消化器内科学講座	グリニンによる肥満・2型糖尿病モデルKK-Ayマウスの脂肪性肝炎発症・進展抑制	アルコールと医学 生物学, 2014, 32巻 Page60-64
83	今一義, 池嶋健一, 渡辺純夫	消化器内科学講座	非B非C肝癌におけるオートファジー関連蛋白発現の変化	アルコールと医学 生物学, 2014, 32巻 Page72-75
84	山科俊平, 稲見義宏, 泉光輔, 青山友則, 内山明, 今一義, 鈴木聡子, 池嶋健一, 渡辺純夫	消化器内科学講座	肝脂肪化とオートファジー機能障害	アルコールと医学 生物学, 2014, 32巻 Page1-3
85	松本紘平, 上山浩也, 松本健史, 赤澤陽一, 中川裕太, 佐々木仁, 嶋田裕慈, 北條麻理子, 永原章仁, 八尾隆史, 渡辺純夫	消化器内科学講座	隆起型非混在乳頭腺癌の一例	Progress of Digestive Endoscopy (1348-9844)85巻

86	青山友則,内山明,柳沼礼子,福原京子,今一義,山科俊平,鈴木聡子,池嶋健一,渡辺純夫,デービット・ブレナー	消化器内科学講座	肝星細胞におけるSOD1とNADPHオキシダーゼ(NOX)の相互関係とROS産生	アルコールと医学 生物学,2014, 32巻 Page56-59
87	赤澤陽一,上山浩也,永原章仁,中川裕太,松本紘平,稲見義宏,松本健史,今一義,八尾隆史,渡辺純夫	消化器内科学講座	CT gastrographyが診断に有用であった多発性胃粘膜下腫瘍の1例	日本消化器病学会 雑誌(0446- 6586)111巻10号, Page1968-
88	倉本崇光,加藤順子,染谷秀忍,谷口源太郎,伊藤智康,村上敬,東原良恵,内山明,長田太郎,永原章仁,荻原達雄,八尾隆史,渡辺純夫	消化器内科学講座	5年間の形態変化を観察し得た粘膜下腫瘍様胃癌の1例	Progress of Digestive Endoscopy, 2014,84巻1号
89	太田一樹,三好由里子,横須賀路子,平井三鈴,橋本周太郎,小島拓人,宮本彰俊,林康博,小林修,黒田寛之,渡辺純夫	消化器内科学講座	サプリメント内服により食道潰瘍を生じた1例.	Progress of Digestive Endoscopy84,1,66- 67.
90	平井三鈴,小林修,横須賀路子,三好由里子,橋本周太郎,小島拓人,宮本彰俊,林康博,太田一樹,黒田寛之,渡辺純夫	消化器内科学講座	カプセル内視鏡が診断に有効であった日本海裂頭条虫症の1例.	Progress of Digestive Endoscopy84,1,128 -129.
91	別府加寿子,坂本直人,武田武史,磯野彩,山本悠子,石井重登,小谷知弘,水井智和,猪狩功道,折笠英紀,渡辺純夫	消化器内科学講座	腹水を契機に発見された直腸肛門部悪性黒色腫の1例	Progress of Digestive Endoscopy (1348- 9844)84巻1号
92	松森理枝,代田浩之	循環器内科学講座	糖尿病に合併した冠動脈疾患の2次予防戦略	糖尿病合併症 28 巻1号57 2014
93	南條友央太	呼吸器内科学講座	コリスチンの抗エンドトキシン作用	検査と技術、2014; 42(4):292-294
94	伊藤潤,粒来宗博,熱田了,渡井健太郎,福原正憲,林浩昭,南崇史,谷本英則,押方智也子,関谷潔史,釣水澤尚美,福富友馬,原田紀宏,前田裕二,森島去,長谷	呼吸器内科学講座	本邦における呼気一酸化窒素濃度の機種差検討. オフライン法, NO breath®の比較.	アレルギー 2014: 63(9):1241-1249,
95	井上貴昭,中澤武司,麻生蒸代,成田久美,秋田美佳,中村美子,石井 幸,佐々木信一,田中 裕	呼吸器内科学講座	多職種ICTラウンドがもたらす効果について	日臨救医会誌 2014;17: 25-31
96	磯部 全,佐々木信一,吉岡泰子,富永滋,折居美波,前野敏孝.	呼吸器内科学講座	長期にわたる副鼻腔気管支症候群の経過観察中に, MPO-ANCA関連血管炎を合併した1例	日本呼吸器学会雑 誌 2014; 3: 270-5
97	磯部 全,佐々木信一,神戸将彦,相澤智弘,原健一郎,前野敏孝.	呼吸器内科学講座	喀血を主訴とし, びまん性肺泡出血との鑑別を要した気管気管支骨軟骨形成症の1例	気管支学 2014; 36: 73-7
98	関谷充晃,市川昌子,村木慶子,鈴木洋平,植草利公,高橋和久	呼吸器内科学講座	結核性胸膜炎の治療開始後に浸潤影を認め,気管支鏡検査で初期悪化が疑われた1例	日本呼吸器学会誌 , 2014;3(1):116- 120
99	苦瓜夏希,安藤克利,佐藤弘一,山本章人,高橋和久	呼吸器内科学講座	肝細胞癌発症と同時期に高齢発症のループス胸膜炎が疑われた1例.	日本呼吸器学会 誌, , 2014; 3(1):89-92
100	桂 容子,熱田了,原田 園子,松野 圭,春日 文子,糸魚川 幸成,石森 絢子,牧野文彦,伊藤 潤,長島 修,梶山 雄一郎,原田 紀宏,高橋和久	呼吸器内科学講座	FOT(Forced Oscillation technique)を用いた気道可逆性の検討	臨床呼吸生理, 2014;46:23-26
101	藤川貴浩,長濱久美,南方邦彦,小幡賢一,田村尚亮,高橋和久	呼吸器内科学講座	小細胞肺癌の肝転移病巣自然破裂による腹腔内出血を来した1剖検例.	日本胸部臨床, 2014;73(10):1256- 1263
102	飛野 和則,芳賀 高浩,栗原 正利,熊坂利夫,瀬山 邦明.	呼吸器内科学講座	【ブラ・気胸の診断と読影】女性気胸の胸部CT画像所見の検討.	日本気胸・嚢胞性 肺疾患学会雑誌, 2014; 14;30-34

103	飛野 和則, 芳賀 高 浩, 栗原 正利, 熊坂 利夫, 瀬山 邦明.	呼吸器内科学講座	【ブラ・気胸の診断と読影】女性気胸の胸 部CT画像所見の検討.	日本気胸・嚢胞性 肺疾患学会雑誌 2014;14;30-34.
104	宇都宮 一典, 川浪大治, 加 来浩平, 寺内康夫, 戸邊一 之, 谷澤幸生, 荒木栄一, 綿 田裕孝, 岩本安彦, 菅波秀 規, 渡邊大丞	代謝内分泌学講座	選択的SGLT2阻害薬トホグリフロシンの腎 機能別に見る有効性と安全性の検討～国 内治験の併合データを用いたサブグルー プ解析～	医薬ジャーナル, 50: 36-45, 2014
105	加来浩平, 谷澤幸生, 荒木 栄一, 綿田裕孝, 岩本安彦, 宇都宮 一典, 寺内康夫, 戸 邊一之, 池田勸夫, 菅波秀 規, 渡邊大丞, 前田肇	代謝内分泌学講座	選択的SGLT2阻害薬トホグリフロシンの臨 床第Ⅲ相4試験を用いた安全性の検討～ 国内治験の併合データを用いた部分集団 解析～	医薬ジャーナル, 50: 6-13, 2014
106	岩本安彦, 加来浩平, 宇都 宮 一典, 寺内康夫, 戸邊一 之, 谷澤幸生, 荒木栄一, 綿 田裕孝, 渡邊大丞, 菅波秀 規	代謝内分泌学講座	選択的SGLT2阻害薬トホグリフロシンの年 齢別に見る有効性と安全性の検討～国内 治験の併合データを用いた部分集団解析 ～	医薬ジャーナル, 50: 14-24, 2014
107	戸邊一之, 加来浩平, 谷澤 幸生, 荒木栄一, 綿田裕孝, 岩本安彦, 宇都宮 一典, 寺 内康夫, 渡邊大丞, 菅波秀 規	代謝内分泌学講座	選択的SGLT2阻害薬トホグリフロシンの肥 満度別に見る有効性と安全性の検討～国 内治験の併合データを用いた部分集団解 析～	医薬ジャーナル, 50: 25-35, 2014
108	齊藤大祐, 野野井雄 介, 杉本大介, 佐藤 文彦	代謝内分泌学講座	原因の鑑別に苦慮した甲状腺中毒症の1 例	順天堂醫事雑誌, 60: 66-68, 2014
109	濱田 千江子, 片岩 純人, 合 田 朋仁, 井尾 浩章, 浅沼 克彦, 青木 竜弥, 富野 康日 己	腎臓内科学講座	保存期慢性腎臓病患者におけるAST- 120(クレメジン)服薬サポートプログラムの効 果 アドヒアランスの改善にむけて	Nephrology Frontier(1346- 9630)13巻1号 Page96-103
110	瀬戸さち恵, 岡垣竜吾, 鈴木 元晴, 菊地 真理子, 三木明 徳, 荒木 隆一郎, 板倉 敦 夫, 石原 理	産婦人科学講座	産科異常出血における凝固異常の発生	日本産婦人科・新 生児血液学会誌. 2014; 23: 81-88
111	新澤麗, 三木明徳, 難波聡, 鈴木元晴, 亀井良政, 石原理, 板倉敦夫.	産婦人科学講座	当科で経験した精神疾患合併妊娠の母 体・新生児予後と地域医療における役割分 担について.	埼玉産科婦人科学 会雑誌2014; 44: 154-158
112	菊地 盤	産婦人科学講座	クリニカルカンファレンス Subspecialtyを越 えて(腫瘍・生殖) がん治療前の未受精卵・ 卵巣組織保存	日本産科婦人科学 会雑誌(0300- 9165)66巻9号 Page2085-
113	尾崎理恵, 黒田恵司, 北出 真理, 熊切順, 地主誠, 新城 梓, 加藤紀子, 池本裕子, 板 垣和子, 竹田省	産婦人科学講座	当院の単一胚移植における分割遅延胚も しくは形態学的不良胚移植後の妊娠率の 検討	日本受精着床学会 雑誌 2015年32巻 (1)
114	牧野真太郎, 竹田省	産婦人科学講座	産科出血に対するIVR IVRによる止血と問 題点	日本周産期・新生 児医学会雑誌, 2014;50(1):11-13
115	牧野 真太郎, 依藤 崇志, 輿石 太郎, 木 下 二宣, 関 博之, 竹 田 省	産婦人科学講座	帝王切開癒痕部妊娠の取り扱い	日本産婦人科・新 生児血液学会誌, 2014;23(2) :41-46
116	牧野 真太郎, 平井 千裕, 依 藤 崇志, 斎藤 知見, 山本 祐華, 岩田 陸, 木下 二宣, 関 博之, 竹田 省	産婦人科学講座	産科的立場からの降圧管理	日本妊娠高血圧 学会雑誌, 2014; 20: 37-41
117	吉田恵美子, 藤原里紗, 石 田ゆり, 大野基晴, 松井泰 佳奈, 菅沼牧知子, 田中沙 織, 田中利隆, 田口雄史, 三橋直樹	産婦人科学講座	当院で経験した周産期心筋症の4症例とそ の予後の検討	日本周産期新生児 学会 投稿中
118	篠原 三津子, 堀澤 信, 地 主 誠, 北出 真理, 熊切 順, 黒田 恵司, 尾崎 理 恵, 新城 梓, 竹田 省	産婦人科学講座	エンドカメレオン®を用いた腹腔鏡下卵巣 嚢腫摘出術 8例の検討	東京産科婦人科学 会会誌, 2015;64 (1) :16-19
119	金田容秀, 氏平崇文, 藤野 一成, 木村美葵, 楠木総司, 寺尾泰久, 北出真理, 板倉 敦夫, 竹田省	産婦人科学講座	分葉状頸管腺過形成に対し腹腔鏡下子宮 全摘出術を行い術後最小偏倚型粘液性腺 癌と診断した1例	東京産科婦人科学 会会誌, 2015; 64(5): 246-252

120	阿部 弥生, 太田 剛志, 佐野 靖子, 塩澤 正之, 坂本 昇子, 藤岡 志水, 菅 直子, 田中 里美, 矢田 昌太郎, 永田 理恵, 長野 宏史, 桜井 明弘, 荻島 大貴	産婦人科学講座	当院における単孔式腹腔鏡手術導入の試み SILSTM Port, GelPOINT, EZアクセス, グローブ法の4方法を用いた比較検討	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌. 30(1) P159-163, 2014
121	佐藤 杏奈, 太田 剛志, 北川 友香梨, 松田 祐子, 坂本 昇子, 田中 里美, 矢田 昌太郎, 杉森 弥生, 永田 理恵, 荻島 大貴	産婦人科学講座	妊娠初期に円錐切除術を施行し、分娩後18ヵ月で子宮留血腫となった1例	東京産科婦人科学会会誌63(4) P609-612, 2014
122	新井 友香梨, 阿部 弥生, 村田 佳菜子, 佐野 靖子, 藤岡 志水, 坂本 昇子, 菅 直子, 田中 里美, 矢田 昌太郎, 永田 理恵, 太田 剛志, 荻島 大貴, 小倉 加奈子, 松本 俊	産婦人科学講座	子宮体部に発生した脂肪肉腫の1例	東京産科婦人科学会会誌63(1) P168-172, 2014.
123	牧原 夏子, 蝦名 康彦, 山崎 友雅, 生橋 義之, 松岡 正造, 前田 哲雄, 川上 史, 山田 秀人	産婦人科学講座	卵巢奇形腫における悪性転化の術前予測についての検討	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌30(1)P112-116. 2014
124	蝦名 康彦, 山崎 友雅, 白川 得朗, 牧原 夏子, 宮原 義也, 新谷 潔, 中林 幸土, 松岡 正造, 上中 建, 横田 一郎, 菊田 典生, 田中 恵子, 山田 秀人	産婦人科学講座	卵巢奇形腫に対して発症早期に腹腔鏡手術を施行し経過良好であった抗NMDAR抗体関連脳炎の1症例	日本産科婦人科内視鏡学会雑誌29(2) P469-474. 2014
125	中原万里子	産婦人科学講座	静脈内平滑筋腫症の1例	日産婦東京会誌 2014;63:527-532
126	今野 秀洋, 田嶋 敦, 矢田 昌太郎, 平崎 真由子, 鈴木 千賀子, 加藤 英二, 後藤 俊二, 南 宏次郎, 野島 美知夫, 吉田 幸洋	産婦人科学講座	医学の窓 妊娠中の旅行に関する危険性について 東京近郊にある巨大テーマパークからの産科緊急受診に関する検討より	千葉県医師会雑誌 66巻 303-308 2014
127	池野 洋平, 有井 大介, 中島 博史, 室岡 邦彦, 野島 美知夫, 木所 昭夫	産婦人科学講座	閉鎖式薬物混合システムを使用したシクロホスファミドの調整時間短縮とコスト節減への検証	癌と化学療法 41巻 611-615 2014
128	長井 咲樹, 白井 洋平, 窪 麻由美, 鈴木 千賀子, 田嶋 敦, 野島 美知夫, 吉田 幸洋	産婦人科学講座	高齢者に発症したことから診断に苦慮した子宮筋腫茎捻転の1例	千葉県産科婦人科医学会雑誌 8巻 27-31 2014
129	高水 藍, 鈴木 千賀子, 小田 理沙子, 伊藤 陽介, 酒井 華乃, 長井 咲樹, 加藤 紀子, 濱村 憲祐, 平崎 真由子, 上山 和也, 窪 麻由美, 白井 洋平, 田嶋 敦, 野島 美知	産婦人科学講座	転移をきたした進行子宮体癌の4症例	千葉県産科婦人科医学会雑誌 8巻 18-22 2014
130	菊地 盤	産婦人科学講座	クリニカルカンファレンス Subspecialtyを越えて(腫瘍・生殖) がん治療前の未受精卵・卵巢組織保存	日本産科婦人科学会雑誌66巻2085-2088 2014
131	國見 聡子, 糸賀 知子, 青井 裕美, 関根 花菜, 山田 敦子, 小泉 朱里, 石黒 共人, 須賀 新, 西岡 暢子, 高瀬 優, 岡田 基	産婦人科学講座	栄養血管の捻転を契機に診断された Parasitic Leiomyomaの1例	埼玉産科婦人科学会雑誌 44巻113-116 2014
132	伊熊 慎一郎, 田中 いづみ, 山口 貴史, 御木 多美登, 永吉 基, 田中 温, 竹田 省	産婦人科学講座	クロミフェン抵抗性の多嚢胞性卵巢症候群(PCOS)に対するグリシンサプリメントの排卵誘発効果の検討	産婦人科の実際 2017年07月号(63巻 07号)
133	田中 勝, 渡邊 直紀, 青田 泰雄, 安藤 純, 後藤 明彦, 小松 則夫	内科学血液学講座	化学療法後にAeromonas hydrophilaによる敗血症性ショックと壊死性筋膜炎を発症した肝硬変合併マントル細胞リンパ腫	臨床血液, 2014; 55(12): 2433-2436
134	佐藤 裕哉*, 佐藤 健, 原田 結花, 嶋本 浩子, 原憲行, 原田 浩徳, 大瀧 慈, 田代 聡	内科学血液学講座	原爆・被ばく関連資料データベース(新聞記事)のテキスト解析の試み	広島医学, 2014; 67(4): 406-409
135	青田 泰雄, 坂井 暢子, 横山 智央, 北川 尚之, 後藤 明彦, 松林 純, 黒田 雅彦, 櫻井 道雄	内科学血液学講座	血小板減少で発症しIgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患類似の所見を呈した免疫血管芽球形T細胞リンパ腫	老年者造血器疾患研究会会誌, 2014; 23: 7-11
136	新島新一.	小児科学講座	乳幼児神経発達のチェックポイント.	山口県小児科医会会報 26:81-2.

137	大日方薫.	小児科学講座	発熱, 下痢, せん妄を主訴とした5歳男児.	小児科診療 77:503-6.
138	大日方薫.	小児科学講座	発熱と皮疹, 多発性骨病変を認めた1歳女児.	小児科診療 77:519-22.
139	松田正, 志方出, 長野省吾, 小関圭子, 津田正晴, 市川正裕, 深澤哲, 師保之, 大山昇一, 横谷進, 高木英行, 横山純好, 奥村秀定, 富樫武弘.	小児科学講座	平成25年度診療所小児科の医業経営実態調査(ダイジェスト版).	日本小児科医会報 47:203-4.
140	清澤伸幸, 大山昇一, 横谷進.	小児科学講座	内科系20領域における診療報酬上の課題、小児関連委員会.	日本内科学会雑誌 103:3067-70.
141	積田綾子, 大日方薫, 金子堅一郎, 清水俊明.	小児科学講座	乳児期早期より卵黄レシチン投与を行ったSmith-Lemli-Opitz症候群の1例.	日本小児栄養消化器肝臓学会雑誌 28:17-21.
142	細澤麻里子, 田中恭子.	小児科学講座	視線計測を用いた早産児における社会的認知機能の評価(中間報告).	発達研究 28:175-80.
143	小林真紀, 菅沼広樹, 毎熊敦子, 大川夏紀, 東海林宏道, 清水俊明.	小児科学講座	硫酸マグネシウムによる低血圧をイオン化マグネシウム測定で評価した超低出生体重児例.	日本周産期・新生児医学会雑誌 50:1332-5.
144	櫻谷浩志, 遠藤周, 西崎直人, 平野大志, 染谷朋之介, 清水俊明.	小児科学講座	早産・超低出生体重が主因と考えられた慢性腎疾患の1例.	小児科診療 77:1851-4.
145	櫻谷浩志, 李翼, 木下恵司, 池田均.	小児科学講座	急性胃軸捻転症の2幼児例.	越谷市立病院院報 年報 38:101-3.
146	櫻谷浩志, 遠藤周, 塚田端葉, 村野弥生, 染谷朋之介, 大友義之, 清水俊明.	小児科学講座	1歳4ヵ月で二次性偽性低アルドステロン症を来した男児例.	日本小児腎不全学会雑誌 34:304-6.
147	森下むつみ, 山口里恵, 林麻貴, 鈴木有里, 辻脇篤志, 五十嵐麻依子, 内藤朋巳, 福岡恵, 有井直人, 大山昇一.	小児科学講座	5年間に結核を疑われて受診した小児53例の検討.	日本小児科学会埼玉地方会ニュースレター 35
148	江原佳奈, 中野聡, 原聡, 大日方薫, 須賀康.	小児科学講座	パリビズマブ筋肉注射後に著明な皮下腫瘍を認めた9ヵ月男児例.	日本小児皮膚科学会雑誌 33:41-4.
149	清水ゆう, 大野香奈, 本庄明日香, 稲毛英介, 神保圭佑, 春名英典, 齊藤俊, 清水俊明.	小児科学講座	セレストミン®長期内服により医原性クッシング症候群をきたした1例.	東京小児科医会報 33:90-4.
150	山田哲史, 原太一, 仲川真由, 漆原康子, 田川雅子, 村上仁彦, 藤永周一郎.	小児科学講座	アセトアミノフェンに対するDLST陽性が判明した難治性尿細管間質性腎炎の14歳男児例.	日本小児腎不全学会雑誌 34:125-7.
151	漆原康子, 原太一, 山田哲史, 藤永周一郎, 内田広夫, 康勝好.	小児科学講座	腹部コンパートメント症候群を呈し腎代替療法を要した神経芽腫の1女児例.	日本小児腎不全学会雑誌 34:130-2.
152	中野聡, 松原知代, 大日方薫, 清水俊明, 木村有太子, 須賀康.	小児科学講座	特異な皮疹がみられた川崎病の6歳女児.	日本小児皮膚科学会雑誌 33:29-34.
153	中野聡, 時田章史, 鈴木光幸, 田中敏博, 松原知代, 清水俊明.	小児科学講座	B型インフルエンザウイルスに対する抗インフルエンザ薬の薬剤感受性と臨床経過の検討.	外来小児科 17:370-4.

154	五十嵐麻依子, 井福真友美, 竹内祥子, 齊藤暢知, 内藤朋巳, 及川奈央, 福嶋恵, 大山昇一	小児科学講座	入院加療を要した肺炎マイコプラズマ感染症患者の後方視的検討.	小児科診療 77:1083-7.
155	石橋千佳, 堀口逸子, 角倉弘行, 稲田英一	麻酔科学ペインクリニック	無痛分娩を選択した女性の出産満足度と母性意識について:ウェブ調査における3歳未満の児をもつ母親を対象に	麻酔 2014;63: 1306-13
156	迫田厚志, 伊熊慎一郎, 馬場万里子, 佐藤正規, 角倉弘行	麻酔科学ペインクリニック	2010年度に行われた緊急帝王切開197症例のNICE分類による総括	麻酔 2014;63(12): 1339-1343
157	小川節郎, 内田英二, 紺野慎一, 井関雅子, 山口重樹, 肥後成人, 南秀尚, 大川宏司, 大高邦章	麻酔科学ペインクリニック	HFT-290の帯状疱疹後神経痛, 慢性腰痛および変形性関節症を対象としたランダム化二重盲検試験	臨床医薬 2014; 30(12): 1111-26
158	小川節郎, 内田英二, 紺野慎一, 井関雅子, 山口重樹, 肥後成人, 南秀尚, 大川宏司, 大高邦章	麻酔科学ペインクリニック	HFT-290の非がん性慢性疼痛を対象とした長期投与試験	臨床医薬 2014; 30(12): 1127-43
159	杉田萌, 長谷川理恵, 会田記章, 勝田陽介, 斉藤理恵, 高橋良佳, 榎本達也, 井関雅子	麻酔科学ペインクリニック	Limited duration-SCSの効果が一時的であり運動療法の継続が有効であったCRPS様帯状疱疹疼痛の1症例	慢性疼痛 2014; 33(1): 153-157
160	中村かんな, 松本園子, 原厚子, 榎本達也, 光畑裕正	麻酔科学ペインクリニック	後仙腸靭帯ブロックにおける超音波診断装置の有用性	麻酔 2014;63(12): 1324-1328
161	佐々木翼, 川越いづみ	麻酔科学ペインクリニック	オキシコドン注を使用した在宅ターミナル患者31例の検討	癌と化学療法 2014;41(11): 1397-1400
162	菅澤佑介, 榎本達也, 松本園子, 飯田史絵, 原厚子, 光畑裕正	麻酔科学ペインクリニック	加味帰脾湯の慢性痛に対する効果	痛みと漢方, 2014; 24: 52-56
163	吉川晶子, 田邊豊, 川口慎憲, 結城法子, 高山美紀, 中村尊子	麻酔科学ペインクリニック	腰神経根ブロックが著効した難治性疼痛併発の腓骨神経麻痺症例	慢性疼痛 2014;33(1): 105- 108
164	杉田萌, 長谷川理恵, 会田記章, 勝田陽介, 斉藤理恵, 高橋良佳, 榎本達也, 井関雅子	麻酔科学ペインクリニック	Limited duration-SCSの効果が一時的であり運動療法の継続が有効であったCRPS様帯状疱疹疼痛の1症例	慢性疼痛 2014;33(1): 153-7
165	森島史織, 酒井宏明, 岡崎敦	麻酔科学ペインクリニック	収縮性心膜炎に対する心膜切除後に右室機能の改善に伴い左室拡張障害が顕在化した透析患者の麻酔管理経験	麻酔 2014;63(2): 175-179
166	今井美奈, 松本園子, 堤祐介, 光畑裕正	麻酔科学ペインクリニック	難治性疼痛に対する四逆散加味方の治療経験	日本東洋医学雑誌 2014;65: 115-23
167	石橋千佳, 堀口逸子, 角倉弘行, 稲田英一	麻酔科学ペインクリニック	分娩歴別、年齢別の出産体験満足度と母性意識について—Web調査における3歳未満の児を持つ母親を対象に—	厚生学の指標 2014; 61(15): 8-14
168	水野 樹, 飯島聡美	麻酔科学ペインクリニック	市販の瞬間接着剤塗布による歯の破折片接着後の歯痛の変化	ペインクリニック 2014;35(1): 111- 113
169	水野 樹, 山本 哲, 横山武志, 有田英子, 花岡一雄	麻酔科学ペインクリニック	血清ラテックス特異的IgE抗体価陰性にもかかわらずラテックスアレルギー症状を呈した手術部新人看護師の1症例	臨床麻酔 2014; 38(4): 673-675
170	水野 樹, 難波 力, 高橋 徹	麻酔科学ペインクリニック	圧力分布測定システムBIG-MAT®を用いた碎石位支脚器に接する腓骨神経走行部位における外圧力測定	麻酔 ,2014; 63(10): 1167-1171

171	齋藤理恵, 木村 信康, 井関 雅子, 増田 豊, 宮崎 東洋	麻酔科学ペインクリニック	第1仙骨神経(S1)の走行と後仙骨孔の位置についての検討 S1神経根ブロックの1指標として.	ペインクリニック 2014..35:1201-1207.
172	小松 修治, 井関 雅子, 森田 善仁, 井福 正貴, 込山 悦子, 飯田 秀雄, 紺田 衣里, 池田 志孝, 稲田 英一	麻酔科学ペインクリニック	ペインクリニックにおける急性・亜急性帯状疱疹患者の実態および治療への期待度調査-皮膚科単独治療群との比較-	ペインクリニック. 2014.35:489-496,.
173	西森友則, 齊藤菜奈, 立石由美子, 杉本富士美, 佐々木智子, 益子健康, 井上大輔, 谷藤泰正	麻酔科学ペインクリニック	医療環境における臭気調査と大豆由来消臭剤の効果	日本健康科学学会誌 Health Science 2014;(1):117-121
174	松本美貴, 竹村浩之, 上野剛, 脇田 満, 久野 豊, 堀井 隆, 田部陽子, 大坂顯通	臨床検査医学講座	尿ケトン体改良試験紙法の特異性に関する評価	医学検査, 2014; 63(5): 586-589
175	山口恵三, 石井良和, 詔田一博, 岩田守弘, 渡邊直樹, 品川雅明, 萱場広之, 木村正彦, 諏訪部章, 賀来満夫, 阿部裕子, 金光敬二, 谷口信行, 村上正巳, 前崎繁文, 柘植 大輔, 白石 昭彦, 井上 達朗, 堀田 昭博, 山城 雄貴, 鈴木 一廣, 梶山 美明, 桑鶴 良平	臨床検査医学講座	Meropenemを含む各種注射用抗菌薬に対する2012年臨床分離株の感受性サーベイランス.	The Japanese Journal of Antibiotics, 2014; 67(2): 73-107
176	柘植 大輔, 白石 昭彦, 井上 達朗, 堀田 昭博, 山城 雄貴, 鈴木 一廣, 梶山 美明, 桑鶴 良平	上部消化管外科学講座	カバードステントにて止血した食道癌放射線化学療法後頸部大血管破綻の2例	IVR: Interventional Radiology, 2014;29 (2):153-156
177	石崎陽一, 川崎誠治	肝胆膵外科学講座	PBC:診断と治療の進歩 (6)PBCに対する肝移植治療	臨床消化器内科 29(11), 1507-13, 2014
178	石崎陽一, 川崎誠治	肝胆膵外科学講座	肝細胞癌に対する治療 -腹腔鏡下肝切除-	Hepatology Practiceシリーズ5 巻 肝癌診療を極める, 金子周一,
179	横山泰孝, 森田照正	心臓血管外科学講座	MIDCABの術前3D-CTナビゲーション	インナービジョン, 2014年4月:66-67
180	加藤倫子	心臓血管外科学講座	循環器疾患の薬 急性心不全	Heart, 2014年6月 号
181	横山泰孝	心臓血管外科学講座	困難に挑戦することで未来の扉が開かれる (上)	秀明通信 医療講 演会, 2014年9月: 6-9
182	加藤倫子	心臓血管外科学講座	解くとポイントが見えてくる! はじめての心不全ドリル45 急性期編	HEART nursing, 2014年9月号
183	横山泰孝	心臓血管外科学講座	困難に挑戦することで未来の扉が開かれる (下)	秀明通信 医療講 演会, 2014年10月: 16-19
184	榊原直樹, 神作 麗, 島袋高志, 山岡啓信, 天野 篤	心臓血管外科学講座	大伏在静脈起始部拡大に対する血管内レーザー焼灼術の治療戦略	日本血管内治療学 会誌, 2014;15(1): 60-65
185	榊原直樹, 神作 麗, 山岡啓信, 明石 浩和, 天野 篤	心臓血管外科学講座	パルスレーザーによる血管内焼灼術の進歩	脈管学, 2014;54: 185-192
186	齋藤洋輔, 丹原圭一	心臓血管外科学講座	ハイリスクな高齢者に発症した下行大動脈瘤切迫破裂の1例	順天堂醫事雑誌, 2014;60:79-81
187	上野泰康, 服部有俊, 阪野孝充, 鈴木健司	呼吸器外科学講座	左肺全摘除術後2ヶ月でBenign Emptying of the Postpneumonectomy Space (BEPS)を認めた1例	肺癌, 2014; 54: 141-145

188	福井麻里子, 高持一矢, 北村嘉隆, 王志明, 林大久生, 鈴木健司	呼吸器外科学講座	胸腺腫(WHO分類Type B3)術後に発症した重症筋無力症の1例	肺癌54: 52-56, 2014
189	内田真介, 高持一矢, 王志明, 鈴木健司	呼吸器外科学講座	Dedifferentiated solitary fibrous tumorと診断された巨大胸腔内腫瘍の1切除例	肺癌 54 (4): 226-227, 2014
190	内田真介, 高持一矢, 北村嘉隆, 金野智明, 王志明, 鈴木健司	呼吸器外科学講座	巨大中縦隔腫瘍(Castleman病)の1切除例—術前気管支動脈塞栓術の有用性と手術アプローチについて	日本呼吸器外科学会雑誌 29 (1): 95-100, 2015
191	澁谷聡一, 土井崇, 山高篤行	小児外科学講座	新生児期に手術された直腸Y型管状腸	日小外会誌 47/1 2015年1月号
192	濟陽寛子, 連利博, 矢内俊裕, 松田諭, 川上肇, 平井みさ子, 藤木豊	小児外科学講座	携帯電話のメールを利用した便色カラーカードによる胆道閉鎖症スクリーニング	日小外会誌 第50巻6号2014.10月 pp1017-1021
193	河野春奈, 堀江重郎	泌尿器科学講座	【内科疾患 最新の治療 明日への指針】(第3章)腎臓 多発性嚢胞腎(解説/特集)	内科 (0022-1961)113巻6号 Page1170-1171(2014.06)
194	河野春奈, 堀江重郎	泌尿器科学講座	【腎臓病のすべて】腎臓病各論 診断とエビデンスに基づいた治療 多発性嚢胞腎の診断と最新の治療(解説/特集)	医学のあゆみ (0039-2359)249巻9号 Page835-839(2014.05)
195	河野春奈, 堀江重郎	泌尿器科学講座	Clinical nephrology 腎不全 ADPKDの新たな治療(解説) 河野春奈, 堀江重郎	Annual Review腎臓 2014巻 Page251-256(2014.01)
196	石井 義之	泌尿器科学講座	内分泌・化学療法後直腸浸潤により再発し、骨盤内全摘術を施行した、扁平上皮癌への分化を伴う前立腺癌の1例	泌尿器外科, 2014; 27 (10), 1715~1719
197	松本美真、竹村浩之、上野剛、脇田満、久野豊、堀井隆、田部陽子、大坂顯通	輸血学講座	尿ケトン体改良試験紙法の特異性に関する評価.	医学検査, 63:586-588, 2014
198	内野小白谷, 馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 坂本優子, 野沢雅彦, 金子和夫	整形外科科学講座	末端肥大症に伴う変形性股関節症に対する人工股関節全置換術.	内野小白谷, 馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 坂本優子, 野沢雅彦, 金子和夫
199	大沢亜紀, 吉田圭一, 五味基央, 青木浩平, 金澤博明, 丸山祐一郎, 金子和夫	整形外科科学講座	周術期の痛みの管理 人工膝関節置換術における関節周囲多剤カクテル療法の術後疼痛と理学療法に対する有用性	大沢亜紀, 吉田圭一, 五味基央, 青木浩平, 金澤博明, 丸山祐一郎, 金子和夫
200	市原理司, 原章, 楠瀬浩一	整形外科科学講座	当院における橈骨遠位端骨折に合併した尺骨茎状突起骨折の臨床成績	市原理司, 原章, 楠瀬浩一
201	乾哲也, 馬場智規, 小林英生, 本間康弘, 金子和夫, 諸橋達	整形外科科学講座	新体操選手に比較的軽微な外傷で発症した大腿骨頸基部骨折の1例.	乾哲也, 馬場智規, 小林英生, 本間康弘, 金子和夫, 諸橋達
202	金栄智, 馬場智規, 金子和夫	整形外科科学講座	チタン製髓内釘の屈曲変形を生じた大腿骨骨幹部骨折後再骨折.	金栄智, 馬場智規, 金子和夫
203	金澤博明, 丸山祐一郎, 大沢亜紀, 吉田圭一, 金子和夫	整形外科科学講座	NexGen LPS-Flex人工膝関節全置換術後の中期成績—客観的&患者立脚型評価での検討	金澤博明, 丸山祐一郎, 大沢亜紀, 吉田圭一, 金子和夫
204	栗原大聖, 馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 湯浅崇仁, 小川晴規, 金子和夫	整形外科科学講座	Dual Mobility CupとDirect anterior ApproachによるTHA脱臼予防	栗原大聖, 馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 湯浅崇仁, 小川晴規, 金子和夫

205	古賀有希久, 馬場智規, 本間康弘, 小林英生, 湯浅崇仁, 金子和夫	整形外科科学講座	前方進入法を用いて行ったdual mobility人工股関節全置換術の1例	古賀有希久, 馬場智規, 本間康弘, 小林英生, 湯浅崇仁, 金子和夫
206	小林英生, 馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 湯浅崇仁, 金子和夫	整形外科科学講座	楔状テーパーステムを用いた前方アプローチと後方アプローチでX線学的な差が臨床成績に影響を及ぼすか?	小林英生, 馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 湯浅崇仁, 金子和夫
207	小林英生, 馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 湯浅崇仁, 金子和夫	整形外科科学講座	THAにおける後方アプローチから前方アプローチに切り替えた後のインプラント設置の検討	小林英生, 馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 湯浅崇仁, 金子和夫
208	小松 淳, 牟田 智也, 名倉 奈々, 小畑 宏介, 杉山 陽一, 勝部 定信, 金子 和夫	整形外科科学講座	腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下片側進入両側除圧術と内視鏡下筋肉温存型腰椎椎弓間除圧術との比較・検討 L4/L5単椎間による比較	小松 淳, 牟田 智也, 名倉 奈々, 小畑 宏介, 杉山 陽一, 勝部 定信, 金子 和夫
209	五味基央, 最上敦彦, 市原理司, 大林治, 岩瀬秀明, 金子和夫	整形外科科学講座	脛骨遠位端骨折に対するBIOMET社製PHOENIX tibial nailの特性と有用性	五味基央, 最上敦彦, 市原理司, 大林治, 岩瀬秀明, 金子和夫
210	坂本優子	整形外科科学講座	上腕骨近位部骨折の治療	坂本優子
211	櫻庭景植;	整形外科科学講座	スポーツ障害の診かた・治し方。スポーツ現場での救急対応—整形外科系。	櫻庭景植;
212	櫻庭景植;	整形外科科学講座	スポーツ障害・外傷とリハビリテーション。	櫻庭景植;
213	佐藤照友旭, 櫻庭景植, 土屋陽祐, 丸山伸也, 越智英輔.	整形外科科学講座	男子アルペンスキー選手における身体組成及び骨代謝・骨密度のシーズン変化についての縦断的研究.	佐藤照友旭, 櫻庭景植, 土屋陽祐, 丸山伸也, 越智英輔.
214	田中将, 奥田貴俊, 馬場智規, 金子和夫	整形外科科学講座	両側大腿骨骨幹部骨折術後に両側骨癒合が遷延したHIV陽性患者の1例.	田中将, 奥田貴俊, 馬場智規, 金子和夫
215	富永修一, 櫻庭景植.	整形外科科学講座	中高年下腿切断者の身体活動量に関連する因子の検討.	富永修一, 櫻庭景植.
216	馬場智規, 野沢雅彦, 前澤克彦, 一青勝雄, 金子和夫	整形外科科学講座	強直性脊椎炎に対する人工股関節全置換術と再置換術.	馬場智規, 野沢雅彦, 前澤克彦, 一青勝雄, 金子和夫
217	馬場智規, 金子和夫, 本間康弘, 小林英生, 一青勝雄	整形外科科学講座	人工股関節置換術後の臼蓋コンポーネント周囲骨折	馬場智規, 金子和夫, 本間康弘, 小林英生, 一青勝雄
218	馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 小林英生, 湯浅崇仁, 金子和夫	整形外科科学講座	人工股関節全置換術に対する術中の臼蓋コンポーネント周辺骨折	馬場智規, 本間康弘, 松本幹生, 小林英生, 湯浅崇仁, 金子和夫
219	橋本貴幸, 櫻庭景植;	整形外科科学講座	足部内在屈筋筋力トレーニングに効果的な足関節肢位の検証～針筋電図検査を用いた足部内在屈筋筋活動を中心に～	橋本貴幸, 櫻庭景植;
220	本間康弘, 馬場智規, 小林英生, 松本幹夫, 末原義之, 湯浅崇仁, 金子和夫, フィリップ エルニグ	整形外科科学講座	人工股関節全置換術後脱臼ハイリスク患者に対する人工関節機種種の選択—デュアルモビリティカップの有用性	本間康弘, 馬場智規, 小林英生, 松本幹夫, 末原義之, 湯浅崇仁, 金子和夫, フィリップ エルニグ
221	中嶽誠, 河合祥雄, 広沢正孝, 櫻庭景植, 小熊英伸, 島内憲夫, 鈴木美奈子, 田辺正, 鈴木大地, 吉村雅文, 青葉 幸洋, 山田満, 佐久間和彦, 越川一紀, 仲村明, 青	整形外科科学講座	運動部に所属する大学生の栄養素摂取の実態.	中嶽誠, 河合祥雄, 広沢正孝, 櫻庭景植, 小熊英伸, 島内憲夫, 鈴木美奈子, 田辺正, 鈴木大地, 吉村雅文, 青葉 幸洋, 山田満, 佐久間和彦, 越川一紀, 仲村明, 青

222	前澤克彦, 桜庭景植:	整形外科科学講座	III-2ランニング量からみた障害発生. ランニング障害のリハビリテーションとリコンディショニング,	前澤克彦, 桜庭景植:
223	松本幹生, 馬場智規, 本間康弘, 小林英生, 金子和夫	整形外科科学講座	Forgotten Joint Score-12(FJS-12)の有用性の検討	松本幹生, 馬場智規, 本間康弘, 小林英生, 金子和夫
224	松本 幹生, 馬場智規, 本間康弘, 小林 英生, 湯浅 崇仁, 小川 晴規, 金子 和夫, 前澤 克彦	整形外科科学講座	人工股関節全置換術後に臼蓋コンポーネントが骨盤内にmigrationし外腸骨動脈仮性動脈瘤より大量出血を認めた1例	松本 幹生, 馬場智規, 本間 康弘, 小林 英生, 湯浅 崇仁, 小川 晴規, 金子 和夫
225	諸橋達, 大林治, 最上敦彦, 神田章男, 岩瀬秀明, 金子和夫, 馬場智規	整形外科科学講座	後側方侵入法によるTHA術後に発症した尿失禁が側方侵入法による反対側THA術後に改善した一例	諸橋達, 大林治, 最上敦彦, 神田章男, 岩瀬秀明, 金子和夫, 馬場智規
226	諸橋達, 最上敦彦, 神田章男, 内藤聖人, 大林治, 金子和夫.	整形外科科学講座	大腿骨近位部骨折患者の術前における肺血栓塞栓症・深部静脈血栓塞栓症のスクリーニング(造影CTとD-dimer値の比較).	諸橋達, 最上敦彦, 神田章男, 内藤聖人, 大林治, 金子和夫.
227	百村 励, 米澤 郁穂, 奥田 貴俊, 嶋村 之利, 峰松 和夫, 金子和夫	整形外科科学講座	思春期特発性側彎症に対する装具治療の成績 胸椎カーブと腰椎カーブの比較	百村 励, 米澤 郁穂, 奥田 貴俊, 嶋村 之利, 峰松 和夫, 金子 和夫
228	山本康弘, 工藤俊哉, 原章, 丸山祐一郎, 横山実	整形外科科学講座	放射線照射後脛骨骨髓炎に対して血管柄付き腓骨移植を施行した1例	山本康弘, 工藤俊哉, 原章, 丸山祐一郎, 横山実
229	湯浅崇仁 前澤克彦 有富健太郎 野沢雅彦 金子和夫	整形外科科学講座	80歳以上の高齢者に対するセメントレス人工股関節全置換術の臨床成績	湯浅崇仁 前澤克彦 有富健太郎 野沢雅彦 金子和夫
230	吉澤秀和, 林 礼人, 名取悠平, 水野博司	形成外科学講座	当科における過去15年間の顔面神経麻痺静的再建術の変遷	日形会誌 2014, 34(4): 252-259
231	望月真理子, 小泉拓也, 小室裕造	形成外科学講座	婦人科悪性腫瘍の膈転移(Sister Mary Joseph's nodule)に対し腫瘍切除術を行った3例	日形会誌 2014; 34(2): 113-118
232	林 礼人, 名取悠平, 吉澤秀和, 水野博司	形成外科学講座	麻痺性兎眼に対する軟骨移植によるLevator lengthening法	形成外科 2014; 57(5): 489-496
233	林 礼人, 山本有平, 垣淵正男, 松田健, 古川洋志, 橋川和信, 渡辺頼勝, 上田和毅	形成外科学講座	顔面神経再建方法における定義ならびに呼称 ~ukushima提言~	日形会誌 2014; 34(11): 783-796
234	林 礼人, 名取悠平, 吉澤秀和, 水野博司, 栢森良二	形成外科学講座	顔面神経完全麻痺発症後長期経過例に対する舌下神経縦二分割移行術	Facial N Res Jpn 2014; 34: 28-31
235	林 礼人, 名取悠平, 吉澤秀和, 水野博司	形成外科学講座	顔面神経麻痺再建における咬筋神経と舌下神経併用例の検討	Facial N Res Jpn 2014; 34: 129-132
236	佐藤瑠美子, 名取悠平, 堀口雅敏, 林礼人, 水野博司	形成外科学講座	鼻骨骨折整復固定術におけるL字型フープを用いた術中超音波検査の有用性について	日形会誌 (in press)
237	林 礼人, 西田匡伸, 瀬野久和, 井上雅博, 岩田浩嗣, 白澤友裕, 新井 一, 栢森良二, 小室裕造, 梁井 皎	形成外科学講座	我々の行ってきた急性期顔面神経麻痺に対する舌下神経縦二分割移行について	日形会誌 (in press)
238	椎名秀一朗, 佐藤隆久, 近藤祐嗣, 建石良介	消化器画像診断・治療研究室	State of the Art 大腸癌肝転移に対するラジオ波焼灼術(RFA)	Frontiers in Gastroenterology 2014;19:14-22

239	三浦寛子、崔仁煥、 福村由紀	消化器画像診断・治療研究 室	膵管病変スクリーニングのためのMRCPに ついて	臨床画像 2014;30:1296-1300
240	椎名秀一朗、建石良 介、小俣政男	消化器画像診断・治療研究 室	【内科疾患 最新の治療 明日への指針】 (第2章)消化器 転移性肝がん	内科 2014;113:1087- 1090
241	Mamat Osman、福村 由紀、八尾隆史、石 崎陽一、崔仁煥	消化器画像診断・治療研究 室	膵・胆管合流異常症に合併した胆嚢肝様 腺癌の1例	胆道 2014;28:660-666
242	西森友則、斎藤菜奈、立石 由美子、杉本富士美、佐々 木智子、益子健康、【井上大 輔】、谷藤泰正	緩和医療学研究室	医療環境における臭気調査と大豆由来消臭 剤の効果	Health Science 2014;30:117-21
243	東洋英和女学院大 学死生学研究室編、 奥野滋子	緩和医療学研究室	緩和医療現場における「お迎え」現象とそ の周辺	死生学年報、 2014、135-156.
244	奥野滋子	緩和医療学研究室	ひとりで死ぬのだって大丈夫	朝日新聞出版、 2014 ,単行本
245	水嶋章郎	緩和医療学研究室	緩和ケアにおける専門医教育の現状と課 題	ホスピス緩和ケア白 書、2014、17-18
246	小倉加奈子、松本俊 治	人体病理病態学講座	知っている役立つ泌尿器病理24.	臨床泌尿器 科、2014;68:187- 190
247	松本俊治、坂口亜寿 美、青木裕志、小倉 加奈子	人体病理病態学講座	大型血管炎の病理.	臨床画像、2014; 30:431-438
248	坂口亜寿美、小倉加 奈子、松本俊治、阿 部弥生、太田剛、荻 島大貴	人体病理病態学講座	子宮内膜に局限した子宮腺肉腫の一例	本婦人科病理学会 誌、2014;5:35-37
249	Mamat Osman、福村 由紀、八尾隆史、石 崎陽一、崔仁煥	人体病理病態学講座	膵・胆管合流異常症に合併した胆嚢肝様 腺癌の1例	胆道 ,2014;28巻4 号 Page 660-666
250	中山祥未、石崎陽 一、福村由紀、川崎 誠治	人体病理病態学講座	膵・胆管合流異常を伴った重複胆管の1例	手術、2014;68巻12 号 Page 1633-1637
251	吉田賢作、大石英 則、山本宗孝、寺西 功輔、原田佳尚	寄付講座(脳神経血管内治 療学講座)	出血性解離性椎骨動脈瘤に対してステント のみ留置した一例.	Journal of Neuroendovascular Therapy (in press) 【査読有】
252	野中宣秀、大石英 則、菅康郎、山本宗 孝、新井一	寄付講座(脳神経血管内治 療学講座)	80歳以上のくも膜下出血患者に対する脳 血管内治療の治療成績.	脳卒中の外科 42: 243-246, 2014【査 読有】
253	清水崇、堀中直明、 大石英則、井関征 祐、菱井誠人	寄付講座(脳神経血管内治 療学講座)	コイル塞栓術後脳動脈瘤に対する外科治 療-特に clippability に関する検討-	脳卒中の外科 42: 408-413, 2014【査 読有】

- 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 1. 病院倫理委員会で審査を行う人を対象とする医学系研究の範囲 2. 病院倫理委員会承認までの手順 3. 申請書類について 4. 人を対象とする医学系研究実施時の手順 5. 人を対象とする医学系研究終了(中止)時の手順 6. 人を対象とする医学系研究にあたっての一般的注意事項	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年11回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・ 研修の主な内容 「臨床研究に関する倫理指針」の改正について	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

個人のキャリア形成に合わせ、様々な進路（下記参照）がある。 ① 学位 ② 学位、専門医 ③ 学位、専門医、指導医 ④ 学位、専門医、指導医、留学・その他
--

2 研修の実績

研修医の人数	90人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
志賀 教克	総合診療科	助教	12年	
伊藤 誠悟	循環器内科	准教授	22年	
加藤 順子	消化器内科	准教授	19年	
十合 晋作	呼吸器内科	准教授	21年	
堀越 哲	腎・高血圧内科	先任准教授	36年	
野澤 和久	膠原病・リウマチ内科	准教授	23年	
高久 智生	血液内科	准教授	16年	
藤谷 与士夫	糖尿病・内分泌内科	准教授	24年	
波多野 琢	脳神経内科	准教授	16年	
黄田 常嘉	精神科	准教授	19年	
清水 俊明	小児科・思春期科	教授	32年	
梶山 美明	食道・胃外科	教授	31年	
丹羽 浩一郎	大腸・肛門外科	助手	11年	
須郷 広之	肝・胆・膵外科	准教授	24年	
堀本 義哉	乳腺科	准教授	15年	
梶本 完	心臓血管外科	准教授	14年	
王 志明	呼吸器外科	准教授	23年	
山高 篤行	小児外科・小児泌尿生殖器外科	教授	30年	
下地 一彰	脳神経外科	准教授	19年	
前澤 克彦	整形外科・スポーツ診療科	准教授	26年	
水野 博司	形成外科	教授	25年	
池田 志孝	皮膚科	教授	31年	
和久本 芳彰	泌尿器科	准教授	29年	
中谷 智	眼科	准教授	23年	
伊藤 伸	耳鼻咽喉・頭頸科	准教授	15年	
白石 昭彦	放射線科	准教授	24年	
太田 剛志	産婦人科	准教授	16年	
工藤 治	麻酔科	助教	18年	
平山 哲	臨床検査科	准教授	22年	
福村 由紀	病理診断科	准教授	16年	
相原 恒一郎	救急科	准教授	24年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	院長 代田 浩之
管理担当者氏名	各部署責任者 (繁藤勝、米澤和彦、川上竜太郎、大島純子、等)

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院日誌類：管理課 入院診療録：診療録管理室(平成21年5月以降は電子カルテシステム内) 外来診療録、X線写真：医事課、カルテ室	病院日誌については、管理課において年度別に保管 手術記録を含む入院診療録については、患者別に保管(順次マイクロフィルム化) ただし、平成21年5月以降の入院診療録については、診療科別に医事課担当で保管
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課	主に所属別、診療科別
	高度の医療の提供の実績	管理課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究推進支援センター 管理課	
	高度の医療の研修の実績	医事課	
	閲覧実績	管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携室 医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	付則に基づき、年1回以上医療安全管理委員会の議題として取り上げ、改正を検討。
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	毎月第3木曜日にリスクマネジメント全体委員会、第4水曜日に医療安全管理委員会を開催。隔月で危機管理・職業倫理委員会を開催。また、3ヶ月ごとに医療機器安全管理委員会を開催。
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	・順天堂医院医療安全マニュアル 他	セーフティレクチャー(医療安全研修会)で「医療安全」「健康管理」「医療機器安全管理」「医薬品安全管理」「感染対策」などについて講義。また、e-learningを使用して基礎講習会を全職員が受講。年間2回以上の受講を義務としている。
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	・順天堂医院医療安全マニュアル 他	昨年度多く報告されたインシデント事例をリスクマネジメント全体委員会で検討し対策を立てて実施し、検証している。 重大事例は、医療安全管理委員会にて検討。
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	・順天堂医院医療安全マニュアル 他	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室長 堀 賢 ICN 4名 事務員1名	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理室 ・順天堂医院医療安全マニュアル 他	医療安全管理室に属する管理内容は医療安全管理指針に準拠する。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	サービス課 「患者さん相談コーナー」	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室	順天堂医院感染対策ガイドラインマニュアル2015、ポケットセーフティマニュアル、学内HP、医療情報端末IE
	第一	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室	順天堂規約集 規第平12-6
	第一	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室	年次ごとに実施（別紙参照）
	項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室	感染対策委員会で報告・検討（MRS A・MDRO・各種届出必要な感染症）血液培養ラウンド、感染症ポケットマニュアル発行、ICTラウンド、手指衛生遵守率の測定
	各号及び	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部課長補佐 佐藤邦義	
	第九	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室)	開催日、出席者（人数把握は医療安全管理室）、研修内容を記録し一元管理
	条の二十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室)	手順書は、病院全体として作成、改訂時は、医療安全管理委員会にて承認後、各部署に配付する。実施状況については薬剤師と各部署担当者で確認し医薬品安全責任者に報告。一覧表を一元管理
	第一	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 (医薬品情報室)	学会・企業・行政・院内各部署からの情報を薬剤部(医薬品情報室)において収集・解析・一元管理し、必要な情報を発信する。 (DI ニュース、医療情報端末への掲載など)
	号に掲げる	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室長 天野 篤	
	体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室	年度ごとに開催日、機種、出席者、内容を記録し保管
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室	年度ごとに計画し、実施記録を機器ごとに分類し保管	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学室	製造販売業者、厚生労働省、PMDA、JCQHC等から情報を収集分析し、医療機器安全性情報としてレター等で周知	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
閲覧責任者氏名	各所属長、院長 代田 浩之
閲覧担当者氏名	各所属長、米澤 和彦（管理課長）、川上 竜太郎（医事課長）、大島 純子（診療録管理室係長）
閲覧の求めに応じる場所	診療録閲覧室、会議室
閲覧の手続の概要 診療録は「順天堂大学医学部附属順天堂医院の医療機関における診療情報の提供に関する指針」に基づき対応している。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2件
閲覧者別	医 師	延 件
	歯 科 医 師	延 件
	国	延 1件
	地方公共団体	延 1件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 総則 2. 組織体制 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 4. 安全管理のための職員研修の実施 5. 医療事故発生時の対応方法 6. 患者相談窓口の設置 7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順 8. 医療従事者と患者およびその家族間との情報共有 他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年34回
・ 活動の主な内容： I. 医療安全管理指針 P. 1～P. 21 II. 医療事故防止体制 P. 22 VI. 医療安全に関する報告の流れ P. 26	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年17回
・ 研修の主な内容： I. 医療安全管理指針 4. 安全管理のための職員研修の実施 P. 15～P. 17	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： I. 医療安全管理指針 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 P. 11～P. 15 II. 医療事故防止体制 P. 22 VI. 医療安全に関する報告の流れ P. 26	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (6名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (3) 名 ・ 活動の主な内容： I. 医療安全管理指針 2. 組織体制P. 2～P. 10 3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策 P. 11～P. 15 4. 安全管理のための職員研修の実施 P. 15～P. 17 5. 医療事故発生時の対応方法 P. 17～P. 19	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

I 医療安全管理指針

1. 総則

1) 安全管理指針の目的

医療は、患者と医療従事者の信頼関係、医療に対する信頼の下で、患者の救命や健康回復を最優先として行われるべきものであり、患者を中心とした安全で質の高い医療を提供しなければならない。この実行のために全ての医療従事者は医療安全に取り組むものとする。このため本指針は、順天堂大学医学部附属順天堂医院における医療安全管理に関する基本方針を定めるとともに、院内の責任体制を明確にし、医療安全管理の具体的な推進方策について定めることを目的とする。

2) 順天堂医院における医療安全管理の基本方針

安全な医療を提供するためには、医療従事者一人ひとりが患者の安全を守る意識を持つことが不可欠ではあるが、近年の医療の高度化・複雑化等を背景に、医療従事者個人の努力に依存した医療安全管理は困難になってきている。このため、当院においては医療安全管理をシステム化し、院長、医療安全管理を統括する医療安全管理室室長、医療安全管理者、医療安全管理委員会、リスクマネジメント全体委員会を中心として有機的な体制を構築し、総合的管理の一環として組織横断的に取り組む。また、常により質の高い安全な医療提供体制を構築するのみならず、患者・家族に対する接遇に留意し、計画・実施・評価・改善の一連の過程において継続的な見直しを行うことにより、医療現場の状況の変化に適切かつ迅速に対応した医療安全管理を実施する。更に、医療安全管理に資する情報を職員全体で共有し、組織における安全文化を醸成するため、発生した医療事故、ヒヤリ・ハット事例情報等の分析結果や、医療安全管理委員会等で検討・決定された事故予防対策等を、速やかに職員にフィードバックするとともに、各種の関連する研修会を通じて、医療安全管理に関する職員の教育や啓発に努めるものとする。

3) 医療安全管理における職員の責務

(1) 院長の責務

院長は、医院における最高責任者として、医療安全管理に必要な組織体制を整備し、これを指揮・監督する。具体的には、本指針に基づいて円滑かつ効果的に医療安全管理が遂行できるよう、医療安全管理活動の具体的目標や予算の策定、職員の能力や適性に応じた人事・処遇、職場環境の整備等を行い、医院を一つの組織体として適正に管理する。

(2) 個々の職員の責務

全ての職員は、患者の安全を最優先し、安全に医療を提供する責務があることを十分に認識して業務に当たる。このため、職員は医療従事者としての基本的な倫理観や知識・技術の継続的な習得を行い、患者の安全確保に努める。また、職員は、チーム医療の担い手としての役割と責任を果たすために、日ごろから緊密な協力体制を築き、本人の医療安全管理活動へ積極的かつ主体的に参加する。

2. 組織体制

医院における医療安全管理ならびに事故発生時の緊急対応について、医院の組織全体が効果的・効率的に機能するよう、以下の役職および組織等を設置する。

1) 医療安全推進部(2007年4月組織変更)

病院の安全管理の強化のため、平成19年4月医療安全推進部が発足した。医療安全推進部は、医療安全管理室・感染対策室・健康管理室から構成されている。検討案件の性質により3室が適宜連携して組織横断的に問題解決にあたる。

(1) 医療安全推進部・各管理室の構成

- ① 医療安全推進部・各管理室には以下の各号に掲げる者とする。
 - i 管理室長
 - ii 管理室副室長
 - iii 医療安全管理者(医療安全管理室)
 - iv 事務職員
 - v その他必要な職員

- ②室長、副室長、医療安全管理者は院長が任命する者をもって充てる。
- ③医療安全管理室、感染対策室、健康管理室の職員は院長が任命する。

(2) 医療安全管理室の役割

医療安全管理室は、次に掲げる各号についてその役割を担う(感染対策室、健康管理室の役割の詳細は各室マニュアルに記載)。

- ①医療の安全を確保するための改善方策に関すること
 - 「インシデントレポート」による情報の収集・分析
 - 医療事故予防策、再発防止策の立案、実施、評価および見直し
 - 安全な医療提供のためのガイドラインやマニュアルの策定に関すること
 - 患者からの苦情・要望等の分析および医療安全管理への活用
- ②医療安全管理のための職員への企画・運営および院内広報等の企画・実施
- ③医療事故発生時の対応に関すること
 - 診療録・看護記録等への記載状況についての確認・指導
 - 患者への診療や説明等の対応状況についての確認・指導
- ④医療安全管理委員会の円滑な運営に関すること
 - 医療安全管理委員会に対する議題の提案
 - 医療安全管理委員会の資料作成、議事録作成等の庶務
- ⑤医療安全管理に関する院内の連絡調整
- ⑥その他医療安全管理に関する業務

2) 安全管理者の配置

(1) 医療安全管理者

(医療安全管理者の役割)

医療安全管理者は、医師、薬剤師または看護師のいずれかの資格を有し、所定の医療安全管理研修を修了したものとす。

医療安全管理者は、医療安全管理室の構成員となり医療安全に関する体制の構築に参画し、医療安全管理室の業務に関する企画立案および評価、委員会等の各種活動の円滑な運営を支援する。また、医療安全に関する職員への教育・研修、情報の収集と分析、対策の立案、事故発生時の対応、再発防止策立案、発生予防および発生した事故の影響拡大の防止等に努める。そして、これらを通し、安全管理体制を組織内に根づかせ機能させることで医院における安全文化の熟成を促進する。

医療安全管理者は、医療安全対策の推進に関する業務を専ら従事し、医療安全部門の各組織ならびに各安全管理者と連携して、以下の業務を行う。

- ① 医療安全管理部門の業務に関する企画立案および評価を行う。
- ② 定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する。
- ③ 各部門における医療事故防止担当者への支援を行う
- ④ 医療安全対策の体制確保のための各部門との調整を行う
- ⑤ 医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修を企画・実施する
- ⑥ 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援する

(2) 医療機器安全管理責任者(2007年4月、医療法改正により配置)

医療機器安全責任者1名を配置し、放射線担当者1名、医療機器担当者1名、医療材料担当者1名が協力して医療機器の安全使用に関する業務を担う。

(医療機器安全管理責任者の役割)

医療機器安全管理責任者は、医療機器に関する十分な知識を有する医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士のいずれかの資格を有する者とし、医療機器に関わる安全管理のための体制を確保するため、医療安全管理委員会や各安全管理者と連携し、以下の業務を行う。

- ①教職員に対し、新しい医療機器を使用する際や安全操作の教育が必要な医療機器に関する研修を定期的に行い実施し記録する。
- ②医療機器の保守点検に関する計画の策定および保守点検を適切に行い実施し記録する。
- ③医療機器の添付文書、取扱説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報整理と管理を行う。
- ④医療機器の不具合情報や安全性情報等を製造販売業者等から一元収集し、得られた情報を医療機器取扱者に適切に提供している。
- ⑤管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集を関係法令に留意し、院長に報告する。

(3) 医薬品安全管理責任者(2007年4月、医療法改正により配置)

医薬品安全管理責任者1名を配置し、医薬品の安全使用に関わる業務を担う。

(医薬品安全管理責任者の役割)

医薬品安全管理責任者は、医薬品に関する十分な知識を有する医師、薬剤師または看護師のうちのいずれかの資格を有する者とし、医薬品に関わる安全管理のための体制を確保するため、医療安全管理委員会や各安全管理者と連携し、以下の業務を行う。

- ①医薬品の安全使用のための業務に関する手順書を作成し、管理する。
- ②教職員に対する医薬品の安全使用のための研修を実施し、記録する。
- ③医薬品の業務手順書に基づく状況を確認し、記録する。
- ④医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医薬品の安全確保を目的とした改善のための方策を実施する。

3) 医療安全管理委員会

(目的)

委員会は、医療法(昭和23年法律第205号)に基づき、医院全体および各部門における医療事故防止体制の整備

を図り、医院における医療事故防止の取り組みを効果的に推進するために、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 医療安全管理指針の策定・見直し・改正に関する事項
- (2) 医療安全管理マニュアルの策定・見直し・改正に関する事項
- (3) 医療安全管理指針の職員への周知および医療安全管理に関する職員研修の企画・立案に関する事項
- (4) 医療事故等発生に係る対応および再発防止策の検討立案に関する事項
- (5) 医療安全に関する順天堂医院長(以下「院長」という。)からの諮問事項
- (6) その他医療安全の推進のために必要な事項

(委員会の構成)

医療安全推進部長、医療安全管理室長、感染対策室長、医療安全管理者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、看護部長、薬剤部より部長または部長を代理する者、栄養部より部長または部長を代理する者、放射線部より部長または部長を代理する者、事務部長、その他委員会が必要と認めた者 若干名

(委員会の開催)

原則として月1回開催する。

(委員会の出席)

委員会へ出席できない場合は必ず代理出席をする。

(情報の取扱い)

- ① 委員は、その職務に関して知り得た情報について、既に公表されているものを除き、院長の許可なく他に漏らしてはならない。
- ② 委員は、患者のプライバシーを特に尊重しなければならない。
- ③ 情報の取扱いは関係する職員すべてに適用されるものとする。

4) リスクマネジメント全体委員会

(目的)

医院全体の安全管理に関する連絡・意見交換を行い、各部門における医療安全活動および問題点の報告等により、適正かつ効率的に事故防止を図る。

(委員会の構成)

委員長：1名

副委員長：医療安全管理者他若干名

リスクマネジャー：

医師、薬剤師、看護師、放射線・臨床検査技師、事務職員など、各診療科・部門より若干名とし、部門から選任された職員から責任者を置く。その他委員会が認めたもの若干名

(委員会の開催)

委員会は原則として月1回開催する。

(委員会の出席)

委員会へ出席できない場合は必ず代理出席をする。

(小委員会の設置)

委員会は必要に応じて小委員会を設置することができる。小委員会の委員長はリスクマネジメント全体委員会の委員長が任命する。

(小委員会の任務)

各診療科・部門から選任されたリスクマネジャーは、必ず小委員会に所属し、医療事故の原因、防止方法に関する検討・提言、医療安全管理委員会、委員会活動に対する提案を行う。

(リスクマネジャーの配置)

各部門・部署の管理者を補佐し、医療安全管理活動を推進する者として、各部門、部署にリスクマネジャーを配置する。リスクマネジャーは各部門・部署の責任者が任命する。

(1) リスクマネジャーの役割

リスクマネジャーは、次に掲げる各号についてその役割を担う。

- ① 部門の管理者を補佐し、医療安全対策を推進する。
- ② 各部門・部署における「インシデントレポート」の提出の促進・収集・分析。
- ③ 各部門・部署における事故予防策、再発防止策の検討・推進。
- ④ 医療安全研修会等の出席状況取りまとめ。
- ⑤ 途中就任した医療従事者へ、安全指針の周知。
- ⑥ 医院全体の医療安全管理に関する事項を当該部門の

委員会等に報告し、各医療従事者に周知する。周知状況を医療安全管理室に報告する。

- ⑦ 医院全体の医療安全管理に関する各部門・部署の意見のとりまとめ、提案。

(2) リスクマネジメント小委員会

医療安全管理委員会、医療安全管理室と連携して、各部門・部署における安全対策を円滑に進めるための討議を行うことを目的として、リスクマネジメント小委員会および全体委員会を定期的を開催する。

5) SE チーム

(チームの構成)

医療安全推進部長、医療安全管理室長、その他チームが必要と認めた者若干名

(チームの業務内容)

院長、関連診療科または部門の求めにより、医療事故等の原因究明が適切に実施されるよう早急に調査・分析を行い、患者や家族への診療や説明などの対応状況ならびに診療録や看護記録などへの記載状況について確認・指導する。

6) SE 対策委員会

(委員会の構成)

SE チーム、医療安全管理室副室長、医療安全管理者、医療安全管理室員、関係診療科医局長、担当医、関係看護師長、看護師、管理課職員、その他委員会が必要と認めた者若干名

(委員会の開催)

重大な問題が生じた場合、または患者や家族からの苦情により、当該診療科・部門のみでは対応が難しい場合に随時開催する。

(委員会の審議)

事故等の原因究明、対応策等を策定し、必要があれば医療安全管理委員会で協議し、事例調査委員会に報告するとともに、医療安全対策への活用を行う。

7) 事例調査委員会

(委員会の構成)

委員長：院長

委員：副院長、総医局長、医療安全推進部長、医療安全管理室長、医療安全管理者、感染対策室長、事務部長、顧問弁護士、管理課長、医療安全管理室員

担当部署：教授、前任准教授、医局長、担当医、担当師長、その他委員会が必要と認めた者若干名

(委員会の業務内容)

- ① 重大事故発生後、関連部署職員が集まり事故の概要、原因について時系列で詳細に分析し、患者・家族への対応、外部機関への対応を早急に検討する。
- ② 事故発生の際の診療科等に医療事故防止の具体的指導を行う。

8) 外部調査委員会

(委員会の目的)

医療安全推進部長の進言に基づき、院長の求めにより、重大事故発生後、当院の外部から公正・中立かつ客観的な視座によって医療事故内容の検討と評価を行い、もって当院の医療安全管理体制および医療の質の向上に資することを目的とする。

(委員会の構成)

- ① 発生した医療事故の医療行為が分析できる専門医
- ② 事例調査委員会の調査手法、論点を客観的に評価できる弁護士・法律家など
- ③ 科学的に事故原因を究明できる薬剤師・看護師・臨床工学技士・診療放射線技師など
- ④ 医療事故を多角的方面より分析できるジャーナリストなど
- ⑤ その他、院長が指名した者

(委員会の業務内容)

- ① 当該事例に関する情報の収集
- ② 当該事例に関する医療内容の検討・評価
- ③ 当該事例に関する外部評価報告書の作成
- ④ 医療安全管理体制および医療の質の向上に関する提

言

⑤その他、本委員会の目的を達成するために必要なこと

9) 危機管理・職業倫理委員会(2009年4月発足)

(委員会の構成)

委員長：病院管理学教授

委員：個人情報管理委員長、接遇マナー・職業倫理委員長、危機管理委員長、薬剤部長、看護部長、事務部長、総医局長、RM 全体委員長、臨床研修センター運営委員長、感染対策室長、医事課長、サービス課長、本郷地区情報センター、警備課長、医療安全管理者

危機管理・職業倫理委員会は「個人情報管理委員会」「接遇マナー・職業倫理委員会」「危機管理委員会」の3委員会で構成され、それぞれに委員長と委員を配置する。

(委員会の開催)

個人情報管理委員会」「接遇マナー・職業倫理委員会」「危機管理委員会」の各委員会は、適宜委員会を開催し、リスク情報の収集、病院への影響度の評価、対策等を行い、2ヶ月に1回、3委員会を統合した会議を開催する。

10) 医療機器安全管理委員会(2012年12月発足)

(委員会の構成)

委員長：医療機器安全管理責任者

委員：臨床工学室技士長、臨床工学室主任、放射線部主任、資材供給課長、臨床検査部技師長、看護安全管理課長

(委員会の開催)

委員会は、医療機器安全管理責任者が招集し、年4回6月、9月、12月、3月に定例会を開催する。

(委員会の業務内容)

- ①医療機器定期研修計画の策定と実施の評価
- ②医療機器保守点検計画の策定と実施の評価
- ③医療機器の安全管理上の問題点の抽出と対応策の立案、緊急事態発生時の対応
- ④医療機器に関する安全性情報の院内周知
- ⑤医療機器の標準化の策定

3. 医療の安全確保を目的とした改善のための方策

医療の安全確保を図るためには、各々の業務を医療安全の観点から見直し、その結果に基づいて医院全体で医療安全管理に取り組むべき必要がある。標準化、統一化、規則化の推進、正確で効率的な情報管理を促進するとともに、策定された安全対策を計画・実施・評価という一連の過程から、さらなる改善活動を通じて常に見直していく必要がある。当院における医療事故等の報告体制は、こうした改善活動の一環として重要である。更に、当院の医療安全管理活動を評価し、改善につなげていくために、内部評価、外部評価を実施する。

1) 医療事故等に関する報告制度

(1) 報告制度の目的

医院では、医療事故につながる可能性のある問題点を把握して効果的な安全対策を講じるため、全職員を対象にインシデントレポート事例の報告を制度化し、その収集を促進するとともに、収集した情報を活用して組織全体で継続的な業務改善に取り組む。

(2) 報告制度の対象とする事例

報告制度で対象とする事例は、以下のとおりとする。

① 医療事故(アクシデント)

医療に係わる場所で、医療の全過程において発生するすべての人身事故一切を包含し、医療従事者が被害者である場合や廊下で転倒した場合なども含む。

② ヒヤリ・ハット(インシデント)

日常診療の場で、誤った医療行為などが患者に実施される前に発見されたもの、あるいは、誤った医療行為などが実施されたが、結果として患者に影響を及ぼすに至らなかったもの。

(3) 報告経路と報告方法

① 医療事故ならびにヒヤリ・ハット事例を体験または発見した職員は、その概要をインシデントレポートシステムに入力し、翌日までに上司および当該リスクマネージャーに報告する。

- ②当該リスクマネジャーは、提出された報告の内容を確認し、当該部門・部署の管理者に報告する。
- ③部門・部署の管理者は必要に応じ、リスクマネジャーに調査・分析を指示する。
- ④リスクマネジャーは、調査・分析の結果を部門・部署の管理者および医療安全管理室に報告する。報告は24時間以内に行う。
- ⑤医療安全管理室は、一定期間内に提出されたインシデントレポートを集計し、所定の期日ごとに医療安全管理委員会およびリスクマネジメント全体委員会で報告する。

(4) 重大な医療事故の場合の報告

重大な医療事故が発生した場合には、以下に定める手続きに従って報告を行う。

①対象となる医療事故

- i 当該行為によって患者が死亡または死亡に至る可能性がある場合
- ii 当該行為によって患者に重大もしくは不可逆的傷害を与え、または与える可能性がある場合
- iii その患者等から苦情を受けた場合

②報告経路と報告方法

- i 重大な医療事故発生時には、直ちに当該リスクマネジャーに報告する。報告を受けたリスクマネジャーは、医療上必要な指示を与え、各部門・部署の責任者を經由して速やかに院長および医療安全管理室長に報告する。また、緊急を要する場合にはひとまず口頭で報告し救命措置の遂行に支障を来たさない範囲で遅滞なくシステムによる報告を行う。
- ii 患者の生死に関わる重大かつ緊急な場合は、上記経路を省略して院長に直接報告することができる。

(5) インシデントレポートの分析

医療安全管理室は、報告されたインシデントレポートから当該部門・部署担当のリスクマネジャーと連携し、事例の分析・対処にあたる。複数部門・部署間に関連する問題、医院全体の医療の質に関わる問題などは医療安全管理室ならびに医療安全管理者が中心となって事例の分析にあ

たる。医療安全管理室は事例分析と策定した事故予防策案ならびに再発防止策案を医療安全管理委員会に報告する。

(6) 事故予防策・再発防止策の検討と決定

医療安全管理委員会は医療安全管理室からの報告に基づいて、分析結果の妥当性、リスクの重大性、リスク予測の可否、システム改善の必要性、事故予防策ならびに再発防止策等について協議する。

(7) 事故予防策・再発防止策の職員への周知徹底実施

医療安全管理室は、医療事故およびヒヤリ・ハット事例の分析・実施・評価結果や、医療安全管理委員会の協議に基づいて決定された事故予防策・再発防止策について、リスクマネジメント全体委員会で報告した後、各部門・部署の責任者およびリスクマネジャーを通じて全員に周知・徹底する。また、定期的な職員研修の実施、ニュースレター等により、周知徹底を図る。

(8) 事故予防策、再発防止策の実施状況の調査・評価と継続的な改善活動

医療安全管理室は、事故予防策や再発防止策の実施状況を定期的に調査・評価し、必要に応じた見直しを継続的に行う。

なお、事故予防策や再発防止策の調査・評価結果や見直しに関する、医療安全管理委員会への報告等の手続きについては、「(5)インシデントレポートの分析」、「(6)事故予防策・再発防止策の検討と決定」に準ずる。

(9) リスクマネジャーとの連携

医療安全管理室は、インシデントレポートの分析・評価、事故予防策・再発防止策の検討およびその実施状況の調査等にあたっては各部門・部署のリスクマネジャーと連携してこれを行う。

(10) 診療録への記載

医療事故が発生した場合には、その内容と、患者や家族への説明など事故発生時の対応状況を診療録、看護記録等に正確に記載する。

(11) 報告者の保護

インシデントレポート報告者に対し、報告があった事実のみで、正当な事由なく不利益な処分を行わない。

(12) 守秘義務

医療事故やヒヤリ・ハット事例について本報告制度によって職務上知りえたものは、その内容を正当な事由なく他の第三者に告げてはならない。

2) 医療の安全確保を図るためのその他の方策

(1) 標準化・規則化等の推進

医療の質の向上と安全性を高めるためには、医療行為等の作業手順の統一化、入院時診療計画(クリニカルパス)の活用、物品の保管や配置等の統一化等によって標準化を図るとともに、医院における業務活動については可能な限り規則化し、その遵守を徹底することが重要である。また、高度化・複雑化する医療において、適切な診療情報管理、情報伝達を行うため、情報管理手法の統一化や、情報システムの導入・活用を推進する。

医院では、業務活動の標準化、規則化等を推進するため、各部門・部署における業務マニュアルを整備するとともに、医療安全管理にとって重要な規則や手順等は院内規則・手順として明記し、その内容の周知徹底を図る。また各業務マニュアルおよび院内規則・手順は、適宜評価・見直しを行い、現場の安全と医療の質をより向上させるものとしなければならない。

(2) 医療安全管理活動の評価

① 内部評価活動

医療安全管理室は、医院における医療安全管理活動の成果を評価し、一層の改善を行うため、日常的な院内の巡回等を活用して、以下の事項について内部評価活動を行う。

- i 診療録や看護記録等の記載状況
- ii 業務マニュアル等の整備、見直し状況
- iii 本指針および各種マニュアルの遵守状況
- iv インシデント結果の活用状況

② 外部評価の活用

当院の安全管理上の問題点について、外部からの評価によって明らかにすることを目的として、(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価、他の医療機関

との相互評価など、第三者による評価を積極的に活用する。

4. 安全管理のための職員研修の実施

医療安全管理に関する基本的な考え方や、医療事故予防・再発防止の具体的な方策を職員に周知徹底することにより、個々の教職員の安全に対する意識を高め倫理意識や安全文化を醸成し、安全に業務を遂行するための能力の向上を図ることを目的として職員研修を実施する。また、研修には e-learning 等を活用し、全職員が受講できるよう配慮して実施する。

1) 医療安全管理室の役割

(1) 研修の実施

医療安全管理室は、医療安全管理に関する以下の研修を計画し、実施する。

① 医療機関全体に共通する医療安全管理に関する研修

目的：医療安全管理に関する基本的な考え方を理解するとともに、リスク感性および医療安全に関する個々の責務に関する啓発を図る。

受講対象：全職員

開催回数：年 12 回程度

② 新規採用者に対する医療安全管理に関する研修

目的：順天堂医院の理念と医療安全管理に対する基本的な考え方を理解するとともに、医療安全を確保するために遵守しなければならない事項に関する知識を修得する。

受講対象：新規採用者

開催回数：年 3 回程度(新規採用者研修の全体研修の一部として実施)

③ 指導者の研修

目的：指導者の役割を理解し、具体的な活動を行う上での医療安全の知識、技能を修得する。

受講対象：指導者

開催回数：年 2 回以上

④臨床研修医の研修

目的：医師の業務を理解し、具体的な業務を行う上でのモラル、知識、技能を修得する。

受講対象：臨床研修医

開催回数：月1回程度

(2)各部門・部署への支援

医療安全管理室は、各部門・部署が医療安全管理に関する研修を実施する際には、必要に応じて研修計画への参加や講師派遣などの協力を行うとともに、各部門・部署における研修の実施状況を把握し、積極的な研修実施を促す。

(3)研修参加の促進

医療安全管理室は、リスクマネジャーと連携し、研修への職員の積極的な参加を促す。

2)各部門・部署のリスクマネジャーの役割

(1)研修の実施

各部門・部署は、その管理責任において、職員の職種、部門・部署、職位にふさわしい安全管理能力を得られるよう、以下のような研修を計画し、実施する。

①新人研修

新規採用者に対する研修に加え、新人に対しては、各部門・部署ごとに、医師、看護師などが専門業務を行う上で必要とされる基本的な知識・技術の実践を含めた研修を行う。

②各部門・部署単位での医療安全管理に関する研修

各部門・部署は、専門業務の理解、安全管理の徹底、業務改善への意識付けを行うための研修を実施する。配置転換に伴う転入者に対する研修を各部門・部署単位で必要に応じて実施する。

(2)外部研修への派遣

各部門・部署は、職員の職種、部門・部署、職位にふさわしい安全管理能力を得られるよう、必要に応じて外部研修の活用を行う。

3)医療安全管理者、医療安全管理室職員の研修

院長は医療安全管理者、医療安全管理室職員が医療安全管理に必要な能力確保を図るために、外部研修の派遣など

必要に応じて学習の機会を提供する。また医療安全管理者、医療安全管理室職員は、自ら医療安全管理に関する情報を幅広く収集し、院外での研修会等に積極的に参加することにより、知識・技能の向上に努める。医療安全管理者は、院内・外の研修や情報収集等により、医療事故やヒューマンエラーに対する正しい知識を持ち、安全管理に関わる病院の管理を適正に行うよう努める。

4) 研修の実施記録

医療安全管理室および研修を実施した部門・部署は、医療安全管理に係わる職員研修の実施内容を所定の方法で記録する。その記録は医療安全管理室で保管する。

5. 医療事故発生時の対応方法

医療事故発生時には、患者の救命を最優先して、誠心誠意治療に専念するとともに、事故の内容を明らかにし、医療従事者としての説明責任を適切に果たすために、患者・家族等に誠実に説明する。また、事故の再発防止策を早期に検討し職員に周知徹底する。

1) 初動対応

(1) 患者の安全確保

医療事故が発生した場合は、患者の安全確保を最優先課題とし、医師、看護師等の連携の下、迅速な救命救急処置を行う。事故発生部署の職員だけでは十分に対応できない場合は早急に他の診療科や専門医の応援を求め、医院の総力をあげて対応する。他院への転送が必要な場合は、患者・家族に承認を得た上で速やかに転送する。

(2) 患者に使用した薬剤・器具等の保管

事故発生前後に当該患者に使用した薬剤、注射器等は、事実確認および事故発生要因の検討に活用するために現状を保存しておく必要があるため、廃棄せず、保管する。また、使用した医療機器等の設定値についても、同様の理由により現状を保存する。現状保存の期間、方法については院長が医療安全管理者および事故発生部門・部署の責任者と相談し、決定する。

(3) 事実経過の正確な記録

医療事故発生前後における事実経過については、事実確認および事故発生要因の検討に活用するため、診療録、看護記録等に正確に記録する。

2) 医療事故の報告

医療事故発生時の報告については、「3. 1) 医療事故等に関する報告制度」に定める手続きによる。

3) 患者・家族等への説明

(1) 患者・家族等への説明

事故発生後、救命措置の遂行に支障を来たさない限り可及的速やかに、患者本人・家族等への説明を担当する職員を決定し、事故の状況、現在実施している回復措置、その見通し等について、誠意を持って説明する。患者・家族等の要望および患者の状態の変化等に応じて、その時々状況が理解できるように追加説明を行う。尚、説明時は担当職員と記録者の2名以上で対応する。

(2) 説明内容の記録

説明を行った事実および説明の内容については、説明を行った者が診療録等に明記しておく。また、同席者が記録した「病状治療方針説明記録」は電子カルテにスキャニングし、原本管理ファイルまたは診療録に綴じる。

4) 警察への届出

医療過誤により死亡または傷害が発生した場合、またはその疑いがある場合は、院長が所轄警察署(本富士警察署)に届出を行うことがある。

5) 事故の再発防止

医療事故発生後、医療安全管理室、医療安全管理委員会等において、事故の再発防止について検討し、再発防止策を策定し、職員全員に徹底する。

6) 事例調査委員会の設置・招集

院長は、自らまたは医療安全管理委員会の審議に基づき

医療事故の事実調査、患者・家族等への対応、外部関係機関への対応、医事紛争への対応、再発防止策の検討等を目的として、必要に応じて事例調査委員会を設置・招集することができる。

7) 重大事故発生時の施設内職員および他の患者への対応

重大事故発生後、速やかに組織としての方針を決定し、全職員に事故発生的事实と経過を説明することを基本とする。説明はあらかじめ準備した資料に基づいて行う。その際、部署・患者・事故当事者等が特定されないように十分留意する。

他の患者への対応は、説明する範囲(病室、当該部署、施設全体)と内容を組織の対応方針に基づき決定する。

8) 重大な事故に関わった職員への対応

事故により重大な結果を招いた場合、当事者となった職員へは適切な配慮や長期的な支援が必要である。医療のプロセス・システムには、誰もが事故当事者となりうる危険性が潜んでいる。個人を責めるのではなく、医療のプロセス・システム全体に策を講ずることで再発防止を図る、という考え方を基本とする。重大事故に関わった職員は、院長および所属長が必要と判断した場合にメンタルクリニックを受診させることができる。その後のサポートは人・組織・機能を活かした支援体制を整え、当事者の状況に応じた支援内容を検討し、実施する。なお健康管理室(内線 3108)にてこころのケアを担当している。

6. 患者相談窓口の設置

患者から寄せられる苦情等について迅速に対応するとともに、患者の意見や要望を聞き、医院の医療安全管理に積極的に活用し、病院運営全般に反映させ、情報公開に資するため、相談窓口を設置し対応する。

1) 患者相談窓口の体制

患者相談窓口を設置し、患者・家族等からの相談に対応する担当者を配置する。

2) 患者相談窓口の業務

患者相談窓口の存在を患者・家族に徹底するとともに、相談を行ったことにより患者や家族などが不利益を受けないよう配慮しなければならない。

3) 患者相談窓口に関する院内掲示

患者相談窓口担当者は、患者相談窓口の活動の趣旨、設置場所、対応時間等について、病院受付、待合室、病室等における掲示や、入院時の案内等を通じて、患者・家族等に幅広く案内するよう努める。

7. 安全な医療を提供するための院内規則・手順

医院では安全管理のための重要な規則や手順を以下のように決定し職員に周知している。チーム医療の中で、これらの規則・手順が職員によって遵守され、また評価されることは、患者安全を確保する上で極めて重要である。

(例) ポケットテーブルティーマニュアル、医療事故防止(対策)マニュアル、感染対策ガイドラインマニュアル、IPSG 関連手順書 など

8. 医療従事者と患者およびその患者間との情報の共有

患者の病状、治療方針、リスクおよび合併症等を患者およびその家族等に必要かつ十分に説明をして同意を得ること。更に説明を受けることを希望する患者および家族等に対しては、積極的に情報共有を行い、医療従事者と患者およびその家族等との情報共有を図ることに努める。

本指針は、患者および家族等から閲覧の求めがあった場合には、これに応じる。また、本指針についての照会には、医療安全管理室が対応する。

9. 付 則

医療安全管理委員会は、少なくとも毎年1回以上、本指針の見直しを議事として取り上げ、改正を検討する。

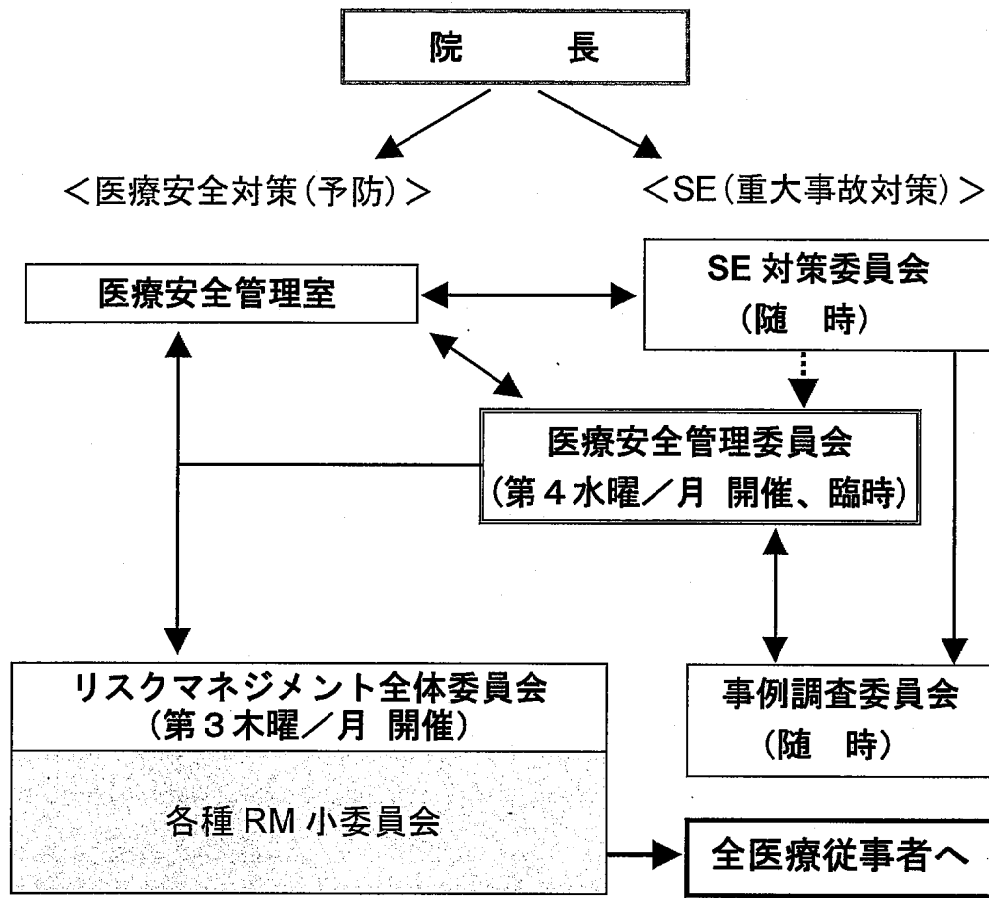
(2007.7.25) (2008.8.27) (2009.2.25)

(2009.4.22) (2009.8.25) (2010.1.27)

(2011.1.24) (2012.2.22) (2013.2.27)

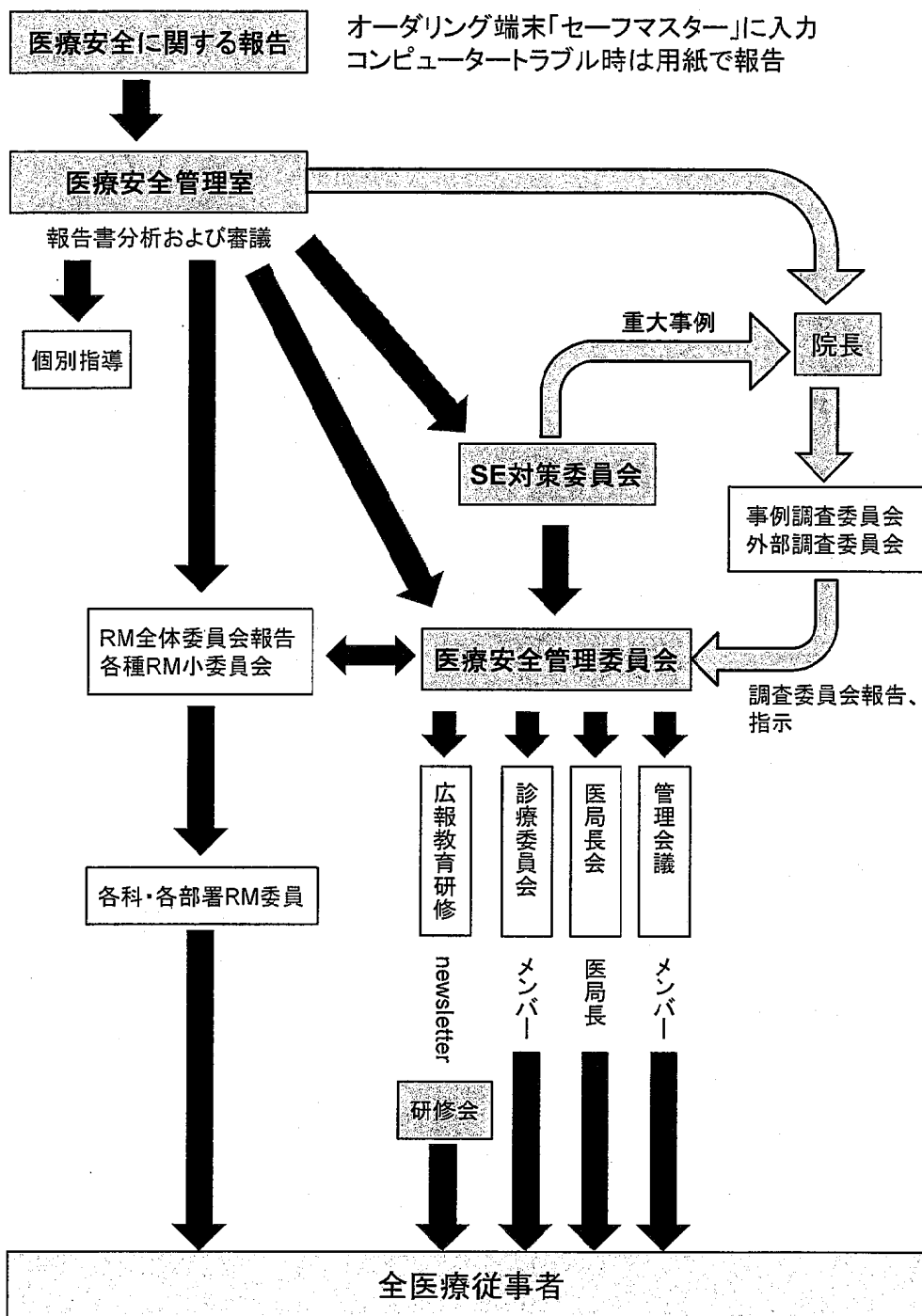
(2014.3.26) (2015.1.28)

Ⅱ 医療事故防止体制



注)
RM : Risk Manager or Risk Management
SE : Sentinel Events

VI 医療安全に関する報告の流れ



(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 医療関連感染対策に関する基本的な考え2) 感染対策委員会の組織に関する基本事項3) 「専任の医療関連感染対策を行うもの」（あるいは院内感染管理者）の配置4) 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針5) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針6) 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針7) 患者等に対する当院の医療関連感染対策指針の閲覧に関する基本方針8) その他医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 院内で発生した感染症の分布とその対応について、ガイドラインマニュアルに従い感染対策室からの現場指導を受けながら有効性の確認や検証を実施2) MRSA院内伝播数に応じ感染対策の実施と徹底を主体的に促すシステムを運営（MRSAレベルゼロシステム）、感染対策の実施状況の報告やアウトブレイク発生対応の報告3) 針刺し切創について、院内の届け出の集計結果を基に改善策を検討4) 滅菌室から、滅菌機・洗浄機の稼働状況の報告、トラブル発生状況と原因、対策の報告を受け必要時、改善策の検討を実施5) ICTラウンドの実施状況の報告および改善策の検討6) 医療関連感染サーベイランスの報告および改善策検討	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年14回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 「当院の感染制御の考え方」「手指衛生と標準予防策」「感染経路別予防策」「針刺し切創・粘膜曝露防止策」感染対策の基本動作については、感染対策講習会（2回/年）や就任時オリエンテーション（研修医・看護師等）で実施。その他、旅行者感染症やインフルエンザ・感染性胃腸炎など季節性や時事の話題性のある疾患について適宜取り上げ注意喚起のために実施している。また、コメディカルや清掃委託業者に対しては、各々の職種の業務内容に合わせた基本的な感染対策（手指衛生と環境整備）について実施している。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1) 選択的MRSA保菌者のスクリーニング検査実施2) 現場主導型のMRSA感染対策活動（レベルゼロシステム）3) 手指衛生順守率向上に向けた取り組み4) MDROサーベイランスとアウトブレイク対応5) 医療関連感染サーベイランス（BSI・SSI・VAP・UTI）と改善の取り組み6) 抗菌薬委員会と連携した抗菌薬処方適正化活動7) ICTラウンド（1回/週）で衛生的な環境の維持とガイドラインマニュアルに沿った感染対策の実施状況の確認	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 注射薬の特性と安全管理・ 麻酔の取り扱い・ 血漿分画製剤の取り扱い・ 抗がん剤の取り扱い	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有・無)・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 患者への医薬品の使用の確認・ 輸血、血液管理の確認・ 医薬品の採用・購入管理業務・ 調剤業務・ 製剤業務・ 病棟業務・ 医薬品情報の業務・ 検査試薬の使用 等	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医薬品情報の院内通知・ 医薬品の副作用情報の収集・ 診療科との情報の共有	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年56回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 人工心肺装置・ 補助循環装置・ 人工呼吸器・ 血液浄化装置・ 除細動器・ 閉鎖式保育器・ 高エネルギー放射線装置・ 輸液ポンプ・ シリンジポンプ・ 全身麻酔器	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 計画の策定 (有・無)・ 保守点検の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 人工心肺装置・ 補助循環装置・ 人工呼吸器・ 血液浄化装置・ 除細動器・ 閉鎖式保育器・ 高エネルギー放射線装置・ 輸液ポンプ・ シリンジポンプ・ 全身麻酔器	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 製造販売業者、厚生労働省、PMDA、JCQHC等からの情報を『Risk Management News Letter』で院内各部署に発信・ 医療機器の安全使用について、セーフティーレクチャーにて研修会を開催	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成25年6月5日、6日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 医師をはじめ多くの専門の医療スタッフが集まり、がん患者さんの治療方針を話し合う合同症例検討会（がん多臓器ワーキンググループ）を実施している。がんは多臓器にわたることも多く、がんではない他の疾患を合併していることもあり、全診療科との協力体制をとり方針を検討している。また、関連病院と連携し、治療を行っている患者さんについても拡大がん多臓器ワーキンググループを定期的に行っている。	

(様式第 8)

順大発第 408 号
平成 27 年 10 月 2 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 学校法人 順天堂
理事長 小川 秀興 (印)

順天堂大学医学部附属順天堂医院の昨年度の業務報告において提出した年次計画の経過について

標記について、医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 20 第 6 号口及び第 7 号口の規定に基づき、次のとおり提出します。

記

1 提出した年次計画の項目

① 紹介率・逆紹介率 2 標榜する診療科 3 専門の医師の配置 4 論文発表

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○を付けること。

2 昨年度および今年度の実績

昨年度提出した年次計画書での報告事項 (実績及び予定措置)	今年度の実績及び承認要件を満たしていない場合の理由
<p>[実績]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 紹介率 : 47.1%・ 逆紹介率 : 45.0% <p>[予定措置]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 毎月第三水曜日に医療連携委員会開催。・ 勉強会（近隣医師会の先生方を対象）の開催。 年2回	<p>[実績]</p> <ul style="list-style-type: none">・ 紹介率 : 56.3%・ 逆紹介率 : 54.0%

(注) 1 左欄には、昨年度の業務報告において様式第 8 として報告した事項を記載すること。

2 右欄には、今年度の実績及び、承認要件を満たしていない場合はその理由を記載すること。

3 今後の具体的措置

--

(注) 本年度も承認要件を満たしていない場合、2で記載した事項以外の更なる措置を記載すること。